

読書活動に関する実態調査

報 告 書

平成26年12月

豊 島 区

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査の概要	3
2. 回答者の属性	5
(1) 児童・生徒－学年・性別	5
(2) 保護者－子どもの学年・性別	5
(3) 保護者－子どもからみた同居家族構成	6
(4) 保護者－子どもの帰宅時の保護者・大人の在宅	6
(5) 区民－年齢	7
(6) 区民－性別	7
(7) 区民－職業	7
(8) 区民－世帯構成	7
(9) 区民－居住地域	7

第2章 調査 I : 児童・生徒／保護者の部

1. 読書時間とその他の行動時間	11
(1) 学校が終わってからの行動	11
(2) 1日平均読書時間	12
(3) 読書時間とその他の行動時間	17
(4) 保護者からみた子どもの読書時間とその他行動時間の印象	19
2. 読書の意識・実態	20
(1) 読書が好きかどうか	20
(2) 本を好きになった時期	22
(3) 子どもが本に興味を持ち始めた時期	23
(4) 本を好きになった最大のきっかけ	25
(5) 子どもが本に興味を持つようになった最大のきっかけ	27
(6) 1か月平均読書冊数	30
(7) 子どもが普段読んでいる本の種類	37
(8) 『書籍・絵本』を読まない理由	39
(9) 好きな本の分野・ジャンル	41
(10) 子どもに読んでほしい本の分野・ジャンル	45
(11) 本を読むきっかけ／本を読むきっかけとなる本	48
(12) 読書頻度	51
(13) 保護者からみた子どもの読書の程度	54
(14) 読書をする場所	56
(15) 読書をする理由	58
3. 読書の環境	61
(1) 本を選んでくれる・すすめてくれる人	61
(2) 大人からの本の読み聞かせの有無	63
(3) 子どもへのこれまでの読み聞かせの程度	64
(4) 子どもに読み聞かせをしていた時期	66
(5) 読みたい本の入手方法	68
(6) 子どもが読む本の入手方法	71
(7) 家庭内の本の有無	73
(8) 子どもからみた保護者の読書の程度	78
(9) 保護者自身の読書頻度	79
(10) 『電子書籍』の利用状況と利用意向	81
(11) 保護者からみた子どもの『電子書籍』の利用状況と利用意向	82
(12) 子どもの読書促進に効果的と思う環境	84
(13) 子どもの読書促進のために普段家庭内で実施していること	87
(14) 子どもの読書促進のために今後家庭内で実施したいこと	90

目 次

4. 豊島区立図書館について	93
(1) 豊島区立図書館の利用経験	93
(2) 豊島区立図書館の利用頻度	98
(3) 保護者自身の豊島区立図書館の利用程度	99
(4) 保護者からみた子どもの豊島区立図書館の利用程度	100
(5) 豊島区立図書館の利用日	103
(6) 豊島区立図書館の利用目的	105
(7) 豊島区立図書館を利用していない状況	108
(8) 豊島区立図書館を利用したいが利用していない(できない)理由	109
(9) 子どもの豊島区立図書館の利用促進のために普段行っていること	110
(10) 子どもの豊島区立図書館の利用促進のために今後行いたいこと	113
(11) 豊島区立図書館の改善点・要望	116
(12) 豊島区立図書館の参加経験行事・認知行事	119
(13) 参加してみたい豊島区立図書館の行事・イベント	122
(14) 子どもに参加させたい豊島区立図書館の行事・イベント	125

第3章 調査Ⅱ：一般区民の部

1. 読書の意識・実態	131
(1) 読書が好きかどうか	131
(2) 読書を好きになった時期	132
(3) 本を好きになった最大のきっかけ	133
(4) 1か月平均読書冊数【本の種別】	135
(5) 1か月平均読書冊数【合計】	137
(6) 普段読む本のジャンル	138
(7) 読みたい本の入手方法	142
(8) 情報を得る媒体	144
(9) 『電子書籍』の利用状況	146
2. 豊島区立図書館について	147
(1) 豊島区立図書館の利用経験	147
(2) 豊島区立図書館の利用頻度	148
(3) 最も頻繁に利用する豊島区立図書館	149
(4) 豊島区立図書館の主な利用日	152
(5) 豊島区立図書館の主な利用時間帯	153
(6) 豊島区立図書館の1回あたりの利用時間	154
(7) 豊島区立図書館の利用目的	155
(8) 豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験	158
(9) 豊島区立図書館のサービスの利用意向	163
(10) 豊島区立図書館のサービスの認知率と利用意向率	168
(11) 豊島区立図書館の満足度	169
(12) 豊島区立図書館のサービス等満足度	170
(13) 豊島区立図書館を利用していない状況	175
(14) 豊島区立以外に利用している図書館の有無	176
(15) 豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス	177

自由記述（一般区民の部）

(1) 豊島区立図書館「利用したいが利用していない(できない)」理由	183
(2) 豊島区立以外に利用している図書館名と施設・サービスのよい点	190

使用した調査票

(1) 小学生用	193
(2) 中学生・高校生用	200
(3) 児童・生徒の保護者用	208
(4) 一般区民用	215

第1章 調査の概要

1. 調査の概要

1. 調査の目的

調査Ⅰ 「豊島区子ども読書活動推進計画（第二次）」の効果を検証し、次期計画（第三次）策定の基礎資料とする。

調査Ⅱ 区民の読書に関する意識や図書館の利用状況等、図書館運営への要望を把握し、今後の図書館利用促進や図書館経営の基礎資料とする。

2. 調査の概要

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象
- 調査Ⅰ : ① 区内小学校（10校）2年生・5年生
 ② 区内中学校（6校）2年生
 ③ 区内高校（2校）2年生
 ④ ①②③の保護者
- 調査Ⅱ : 一般区民
- (3) 抽出方法 調査Ⅱ : 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法
- 調査Ⅰ : ①②③学校にて配付・学校にて回収
 ④児童及び生徒より手渡し配付・郵送回収
- 調査Ⅱ : 郵送配付・郵送回収
- (5) 調査時期 平成26年6月24日～平成26年7月18日
- (6) 調査機関 株式会社 総合企画

3. 回収結果

		配付数	不在返送数	有効配付数	有効回収数	有効回収率
調査Ⅰ	① 小学生	1,199人			1,199人	100.0%
	② 中学生	571人			571人	100.0%
	③ 高校生	613人			613人	100.0%
	④ 保護者	2,429人			878人	36.1%
調査Ⅱ	区民	2,500人	44人	2,456人	563人	22.9%

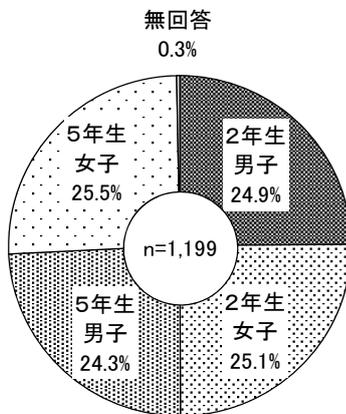
4. 調査結果の見方

- (1) 図・表中のnは該当質問での回答者総数を表す。
- (2) 複数回答は質問に対する回答がいくつでもよい質問を表し、特にことわり書きのない場合は質問に対する回答が1つの単数回答を表す。
- (3) 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。
- (4) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- (5) 図・表について、性別などの基本属性、あるいは読書の嗜好などの分析軸にかかわる回答に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しないことがある。

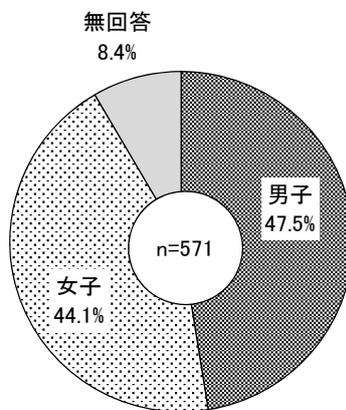
2. 回答者の属性

(1) 児童・生徒—学年・性別

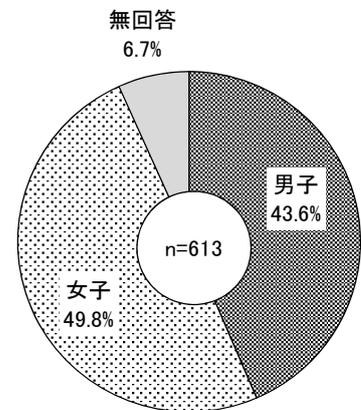
【 小学生（2・5年生） 】



【 中学生（2年生） 】

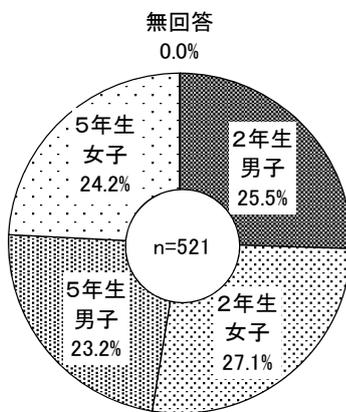


【 高校生（2年生） 】

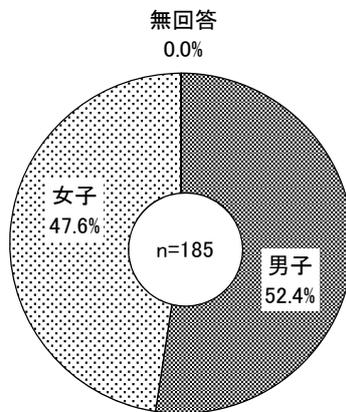


(2) 保護者—子どもの学年・性別

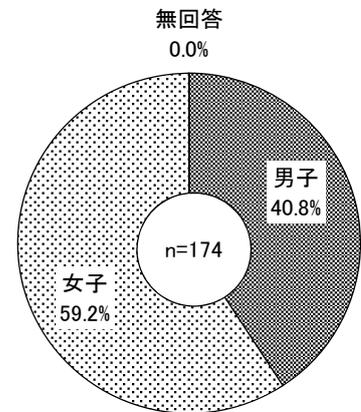
【 小学生（2・5年生） 】



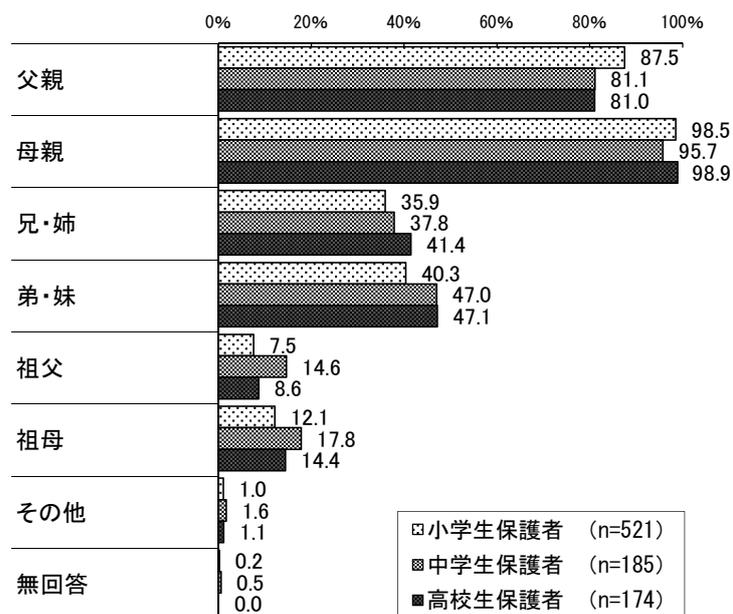
【 中学生（2年生） 】



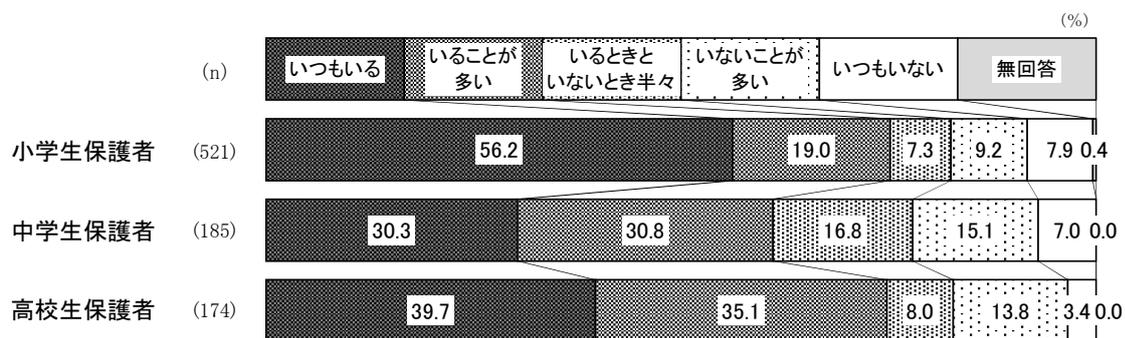
【 高校生（2年生） 】



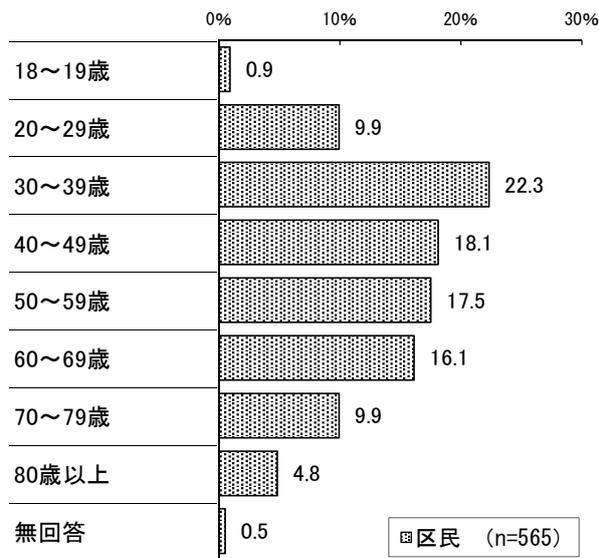
(3) 保護者一子どもからみた同居家族構成（複数回答）



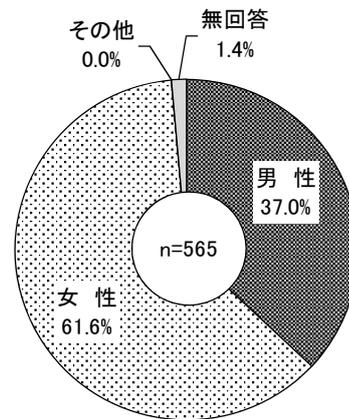
(4) 保護者一子どもの帰宅時の保護者・大人の在宅



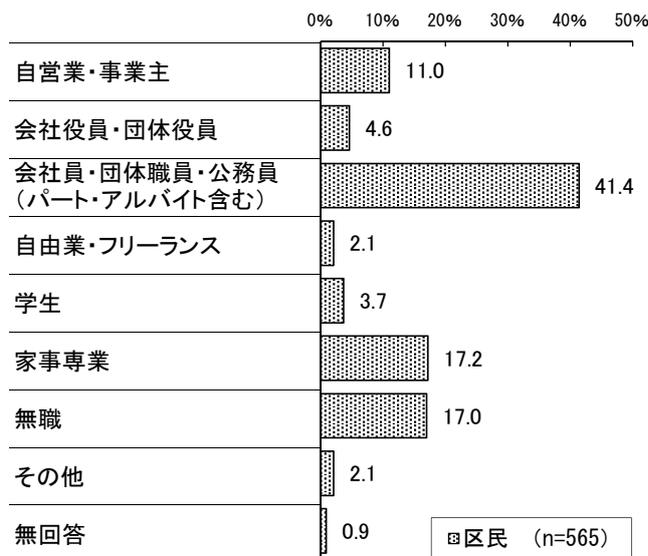
(5) 区民一年齢



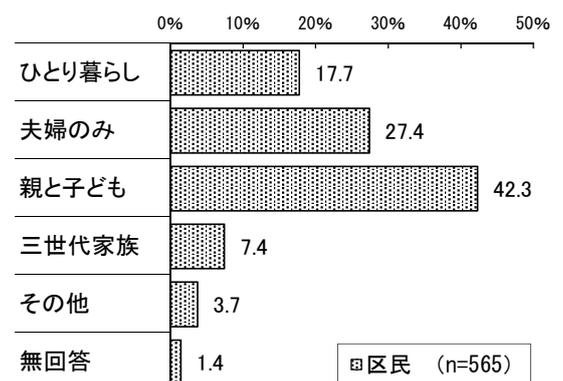
(6) 区民一性別



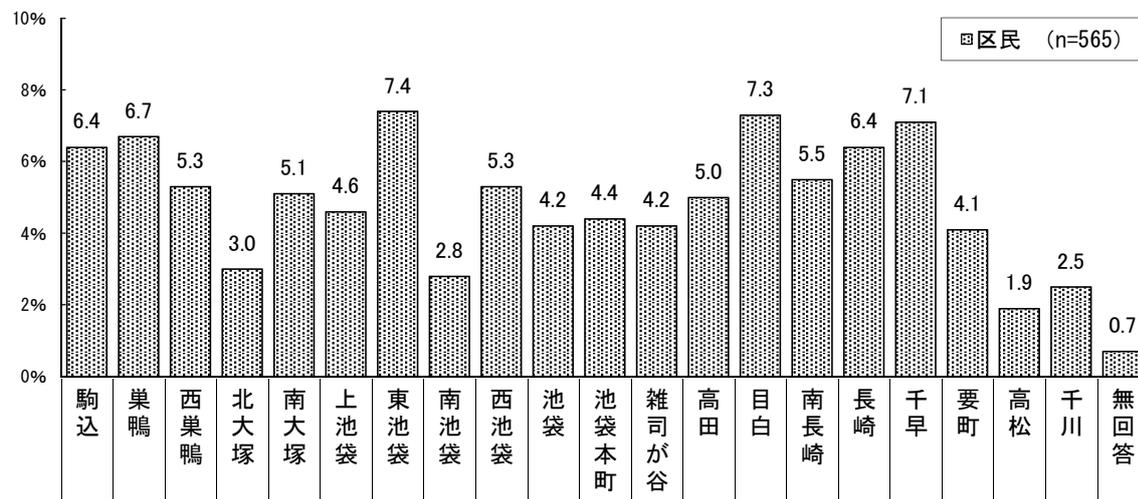
(7) 区民一職業



(8) 区民一世帯構成



(9) 区民一居住地域



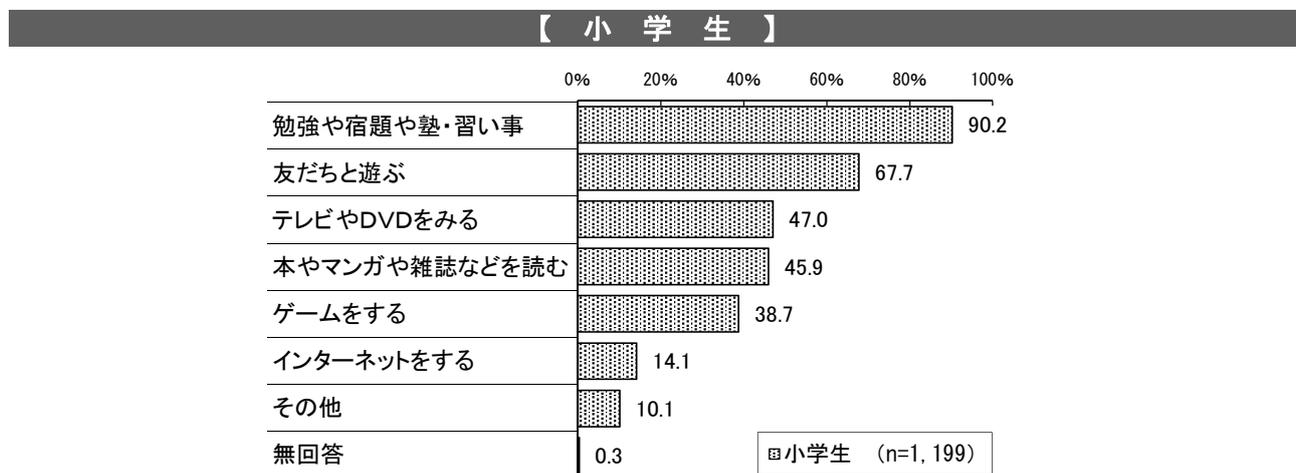
第2章 調査 I : 児童・生徒／保護者の部

1. 読書時間とその他の行動時間

(1) 学校が終わってからの行動（複数回答）

〔小学生:問3〕

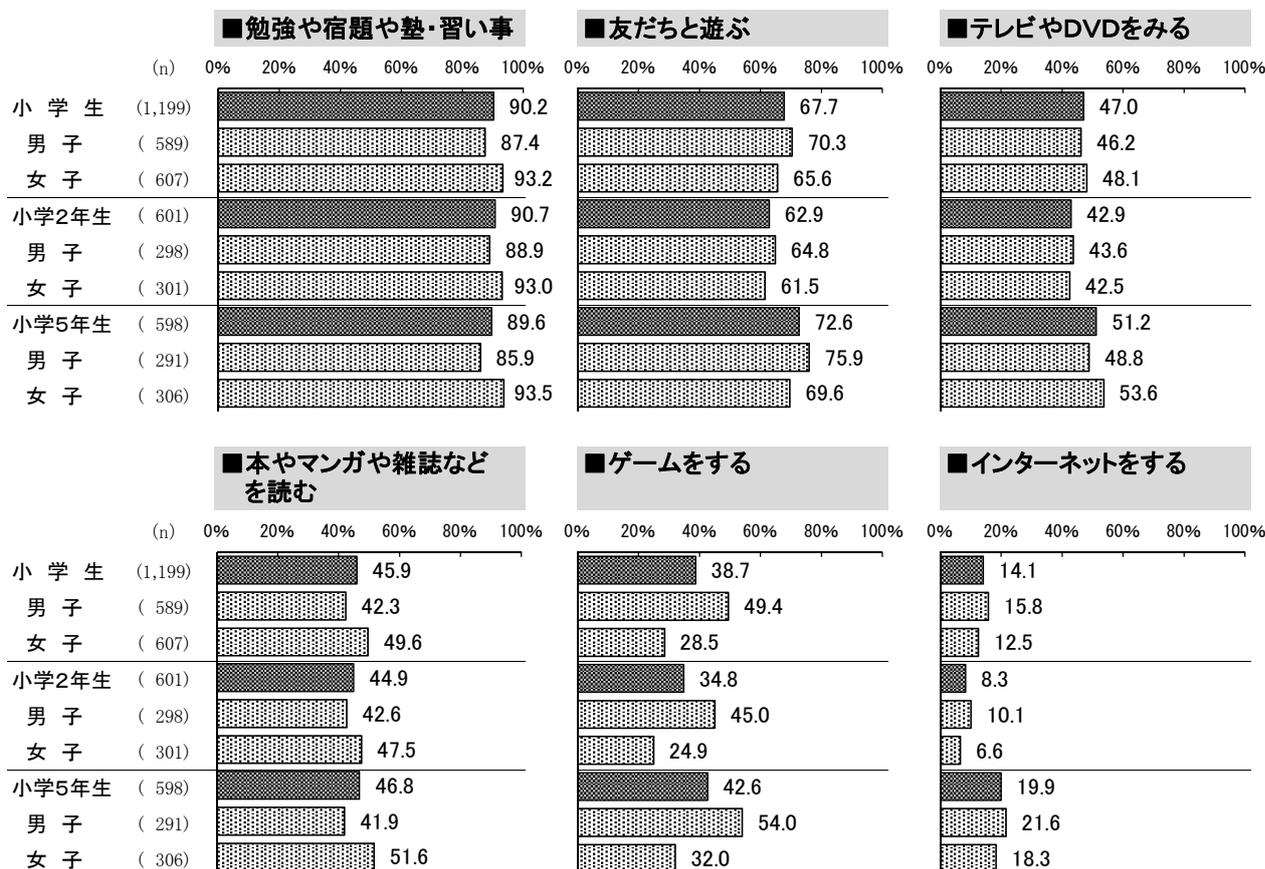
学校が終わってからの行動を小学生にたずねたところ、「勉強や宿題や塾・習い事」（90.2%）が9割を超えて最も多く、次いで「友だちと遊ぶ」（67.7%）、「テレビやDVDをみる」（47.0%）と続き、「本やマンガや雑誌などを読む」（45.9%）は4割台半ばとなっている。



《 学校が終わってからの行動—学年・性別 》

学年別でみると、2年生より5年生は「友だちと遊ぶ」、「テレビやDVDをみる」、「ゲームをする」、「インターネットをする」が8～12ポイントほど多くなっている。

性別でみると、「勉強や宿題や塾・習い事」及び「本やマンガや雑誌などを読む」は、2年生、5年生ともに男子より女子で多い傾向となっている。「友だちと遊ぶ」、「テレビやDVDをみる」、「ゲームをする」、「インターネットをする」は2年生より5年生で多くなり、「ゲームをする」は女子より男子で多い傾向となっている。



(2) 1日平均読書時間

[小学生:問5][中学生:問2]

1日の平均読書時間について小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、小学生は「61～120分」(23.3%)、中学生は「21～30分」(25.9%)の割合が最も多くなっている。高校生は「0分(読まない)」(37.4%)が4割近くとなっており、小学生(4.6%)、中学生(20.3%)と比べて割合が多くなっている。

平均読書時間は、小学生(62.3分)、中学生(50.1分)、高校生(32.2分)と学年が上がるにつれて読書時間が短くなっている。

【小学生・中学生・高校生】



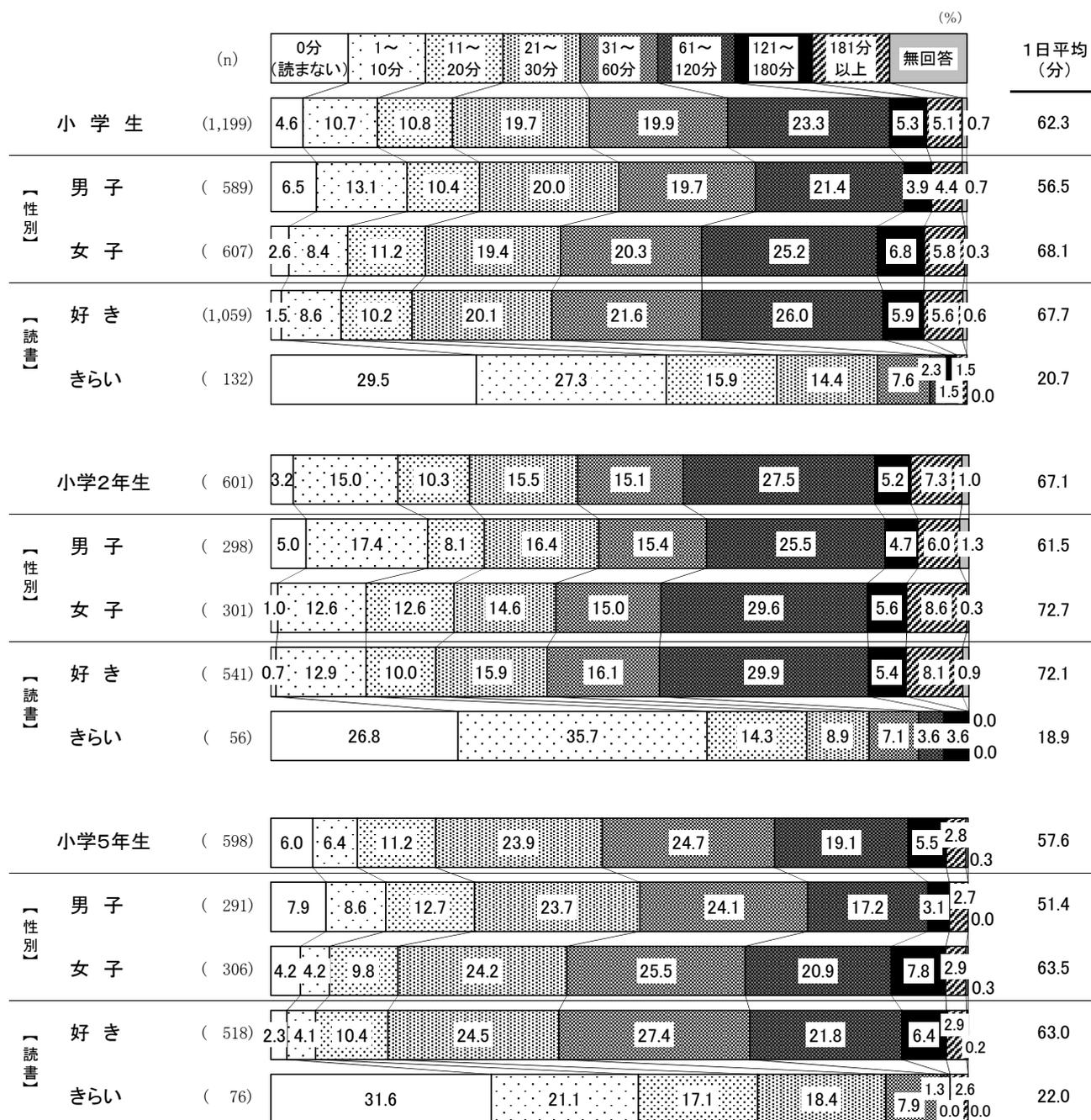
《 1日平均読書時間—学年・性別／読書が好きかどうか 》

1日の平均読書時間について小学生の学年別でみると、2年生（67.1分）は5年生（57.6分）より約10分多くなっている。

性別でみると、2年生、5年生ともに男子より女子の読書時間が多くなっている。

また、読書が好きかどうかでみると、2年生、5年生ともに読書好きな児童は1日の平均読書時間が60分を越えているが、読書がきらいな児童は20分ほどとなっている。

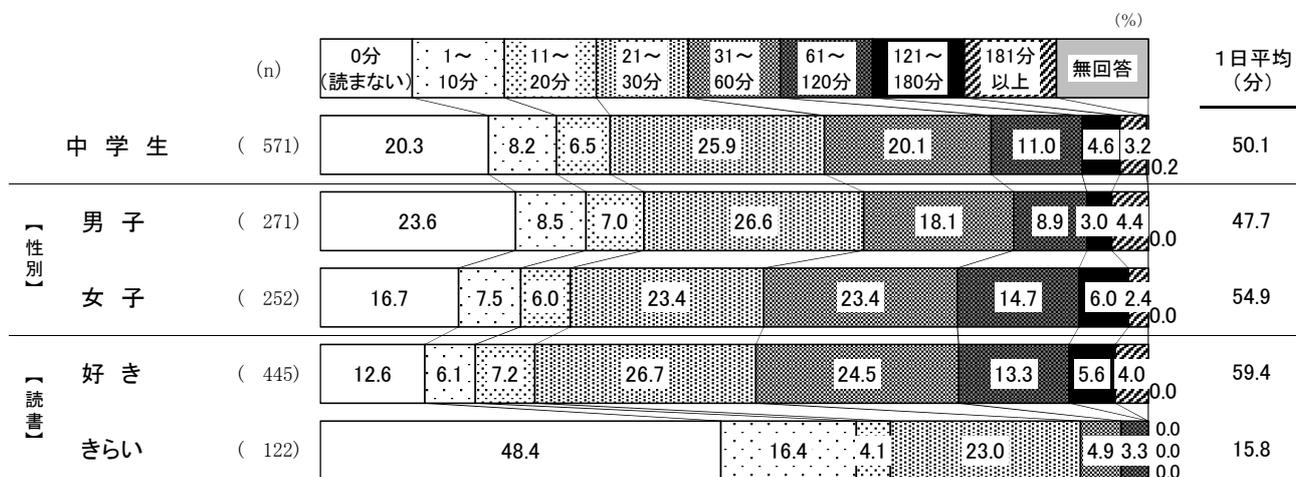
【 小学生 】



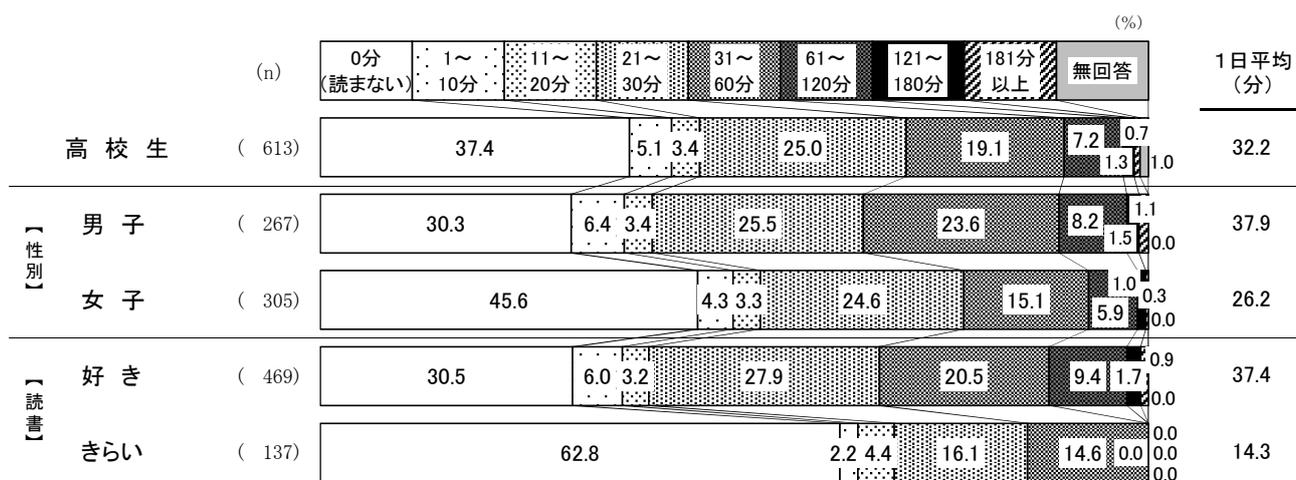
1日の平均読書時間について中学生及び高校生の性別でみると、中学生は男子（47.7分）より女子（54.9分）の方が多く、高校生は男子（37.9分）の方が女子（26.2分）より多くなっている。

また、読書が好きかどうかでみると、読書が好きと回答した生徒の1日の平均読書時間は中学生は59.4分、高校生は37.4分に対し、読書がきらいと回答した生徒はそれぞれ15分前後となっている。

【 中 学 生 】



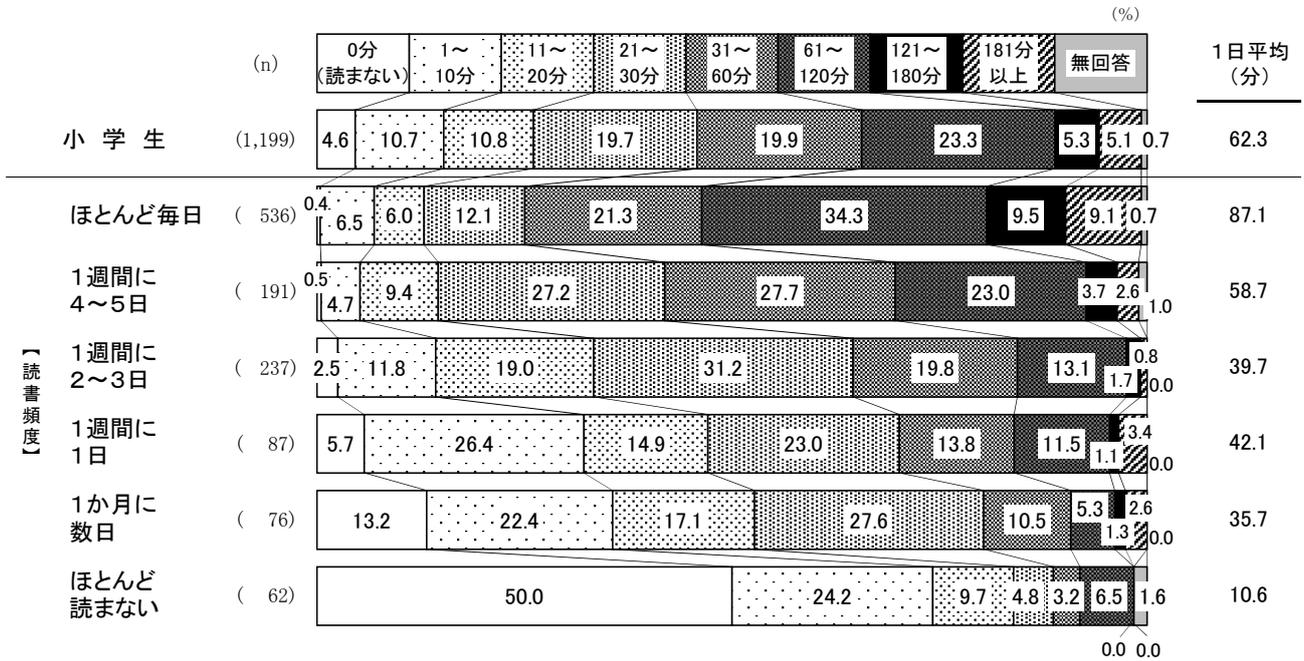
【 高 校 生 】



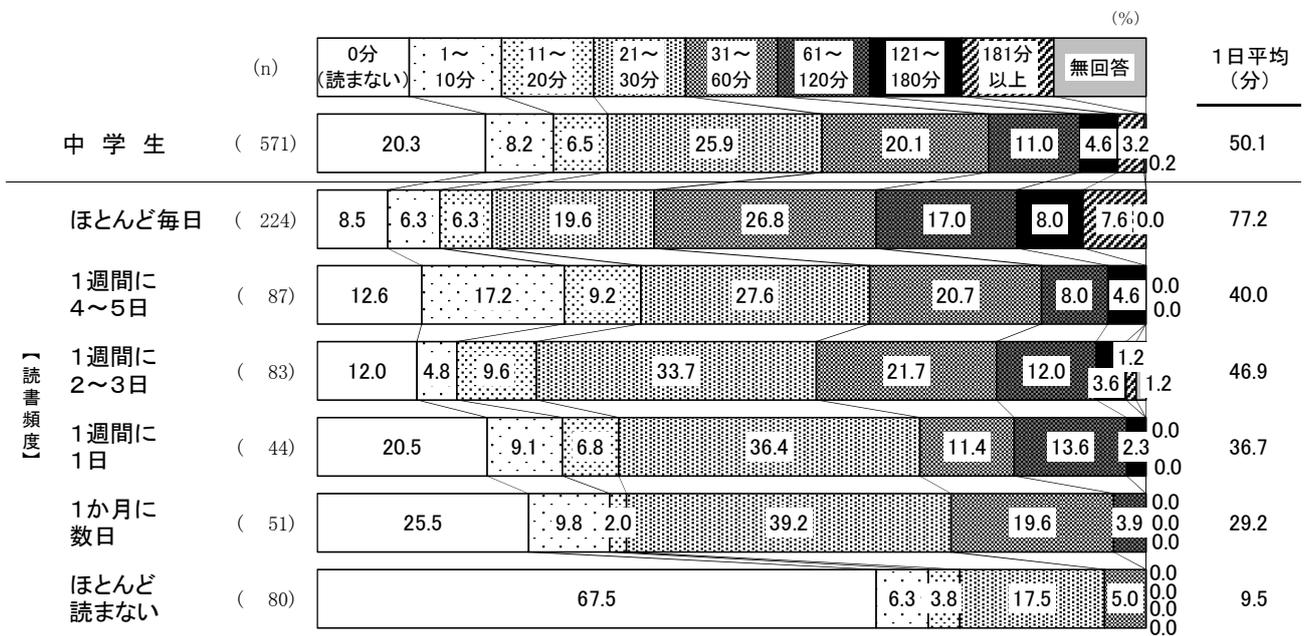
《 1日平均読書時間－読書頻度別 》

読書頻度別でみると、小学生、中学生、高校生ともに読書頻度が高い児童・生徒ほど1日の平均読書時間が多い傾向となっている。

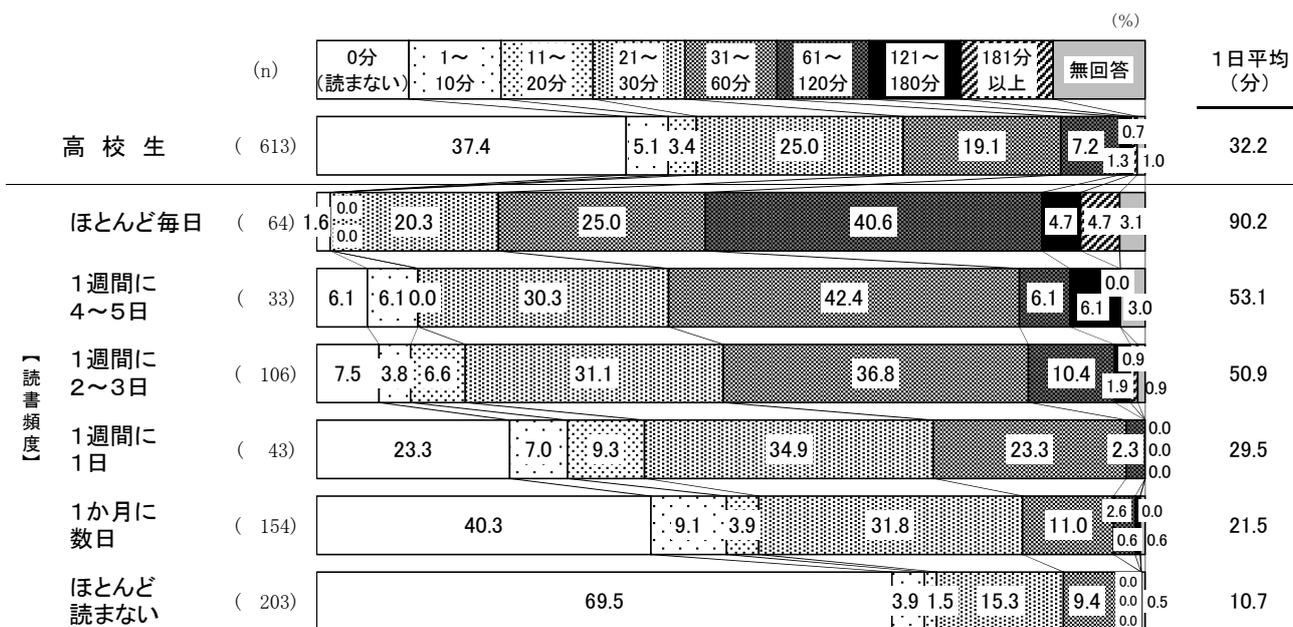
【 小学生 】



【 中学生 】



【 高 校 生 】

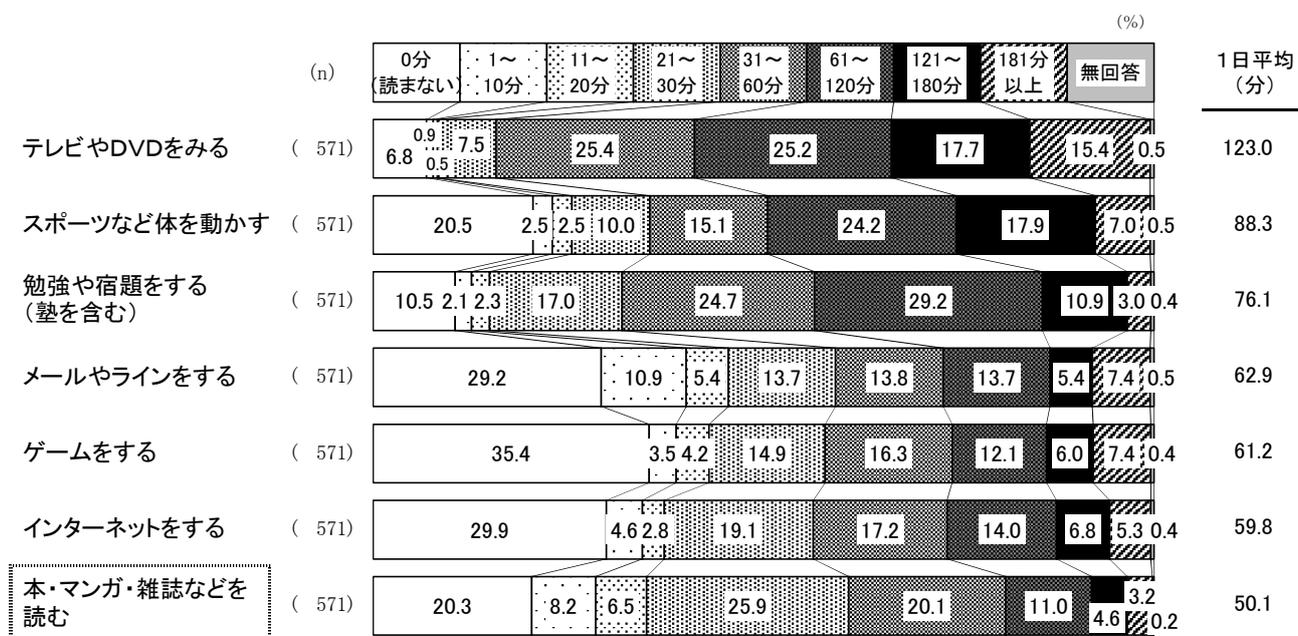


(3) 読書時間とその他の行動時間

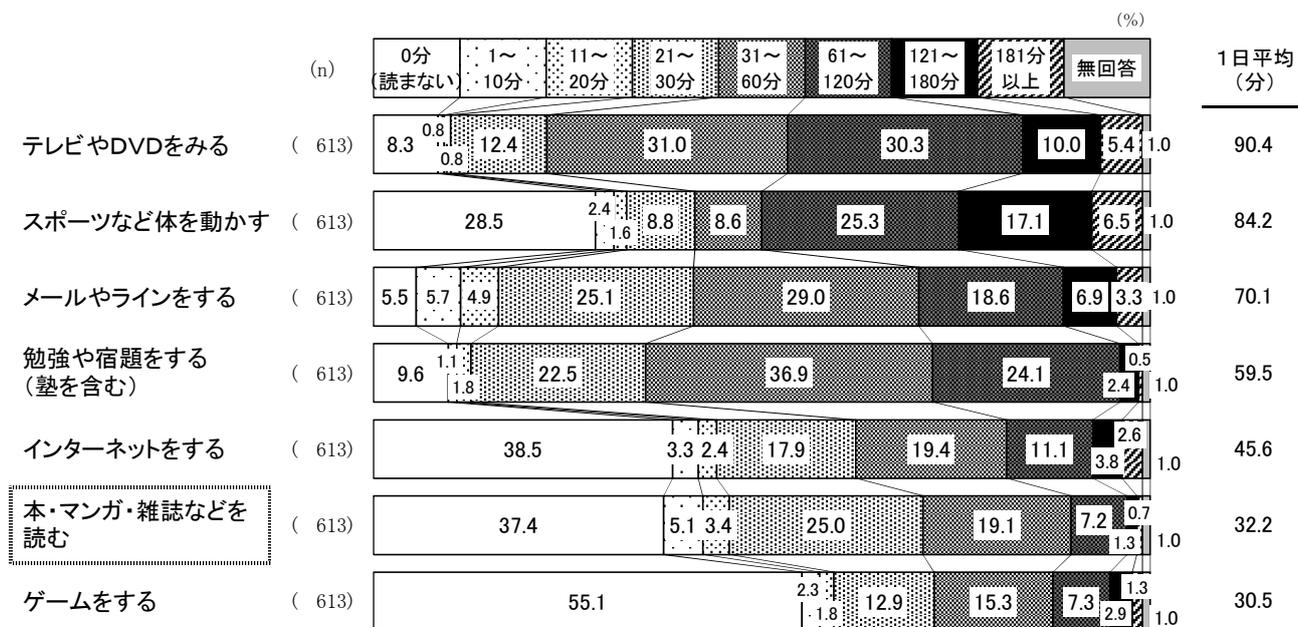
[中学生 : 問2]

読書時間に加え、その他の行動時間について中学生及び高校生にたずねたところ、テレビやDVDをみる時間が1日の平均で中学生(123.0分)、高校生(90.4分)ともに最も多くなっており、スポーツなど体を動かす時間が中学生(88.3分)、高校生(84.2分)ともに次いでいる。本・マンガ・雑誌などを読む時間は、中学生(50.1分)は7項目の中で最も少なく、高校生(32.2分)は7項目中6番目となっている。

【 中 学 生 】



【 高 校 生 】

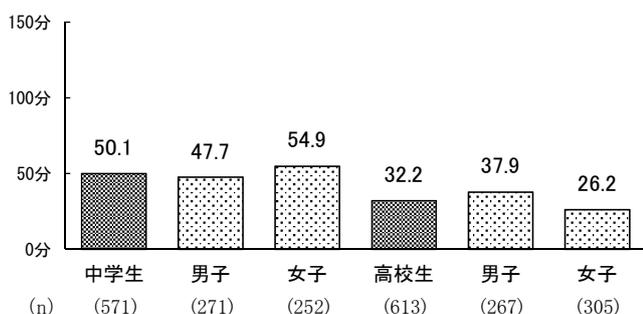


《 1日平均読書時間とその他の行動時間—学年・性別》

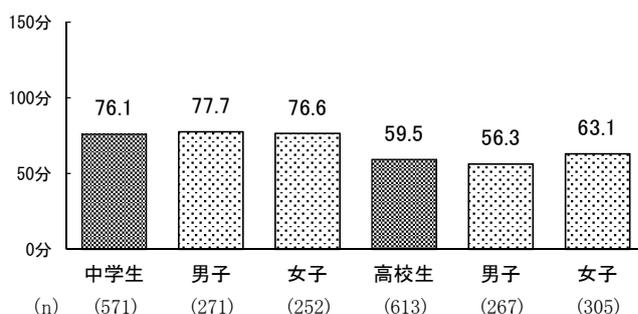
1日の平均読書時間について性別でみると、前述の通り、中学生では男子より女子が、高校生では女子より男子が多くなっている。その他の行動時間については、ゲームをする、スポーツなど体を動かすは女子より男子が多くなっており、テレビやDVDをみる、メールやラインをするは男子より女子が多くなっている。

【 中学生・高校生 】

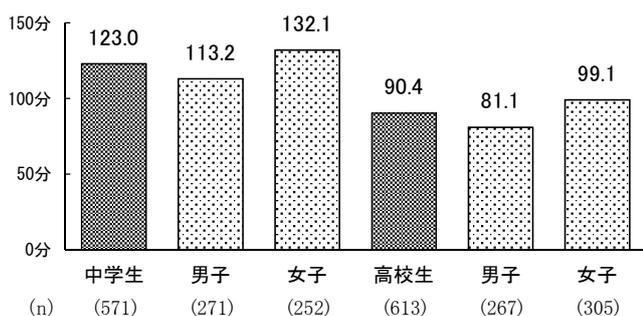
■本・マンガ・雑誌などを読む



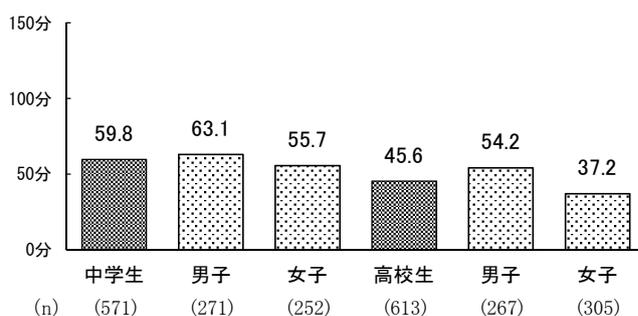
■勉強や宿題をする(塾を含む)



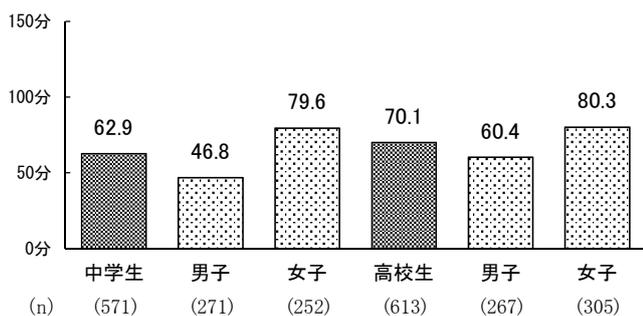
■テレビやDVDをみる



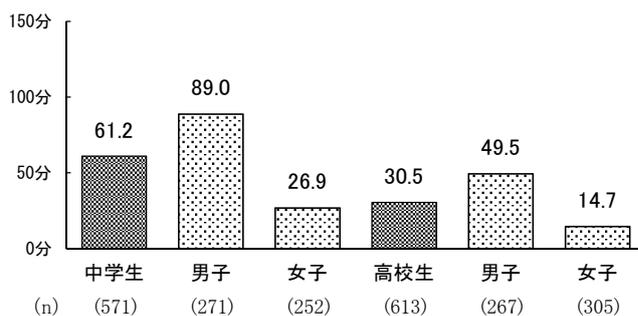
■インターネットをする



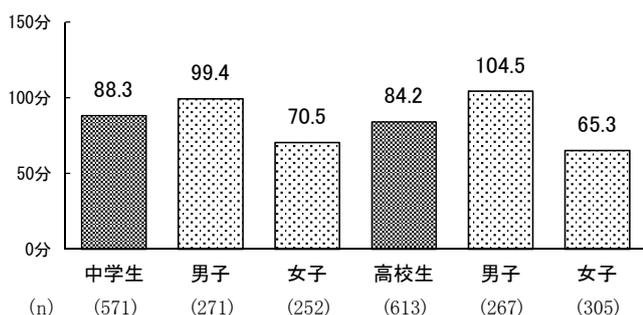
■メールやラインをする



■ゲームをする



■スポーツなど体を動かす

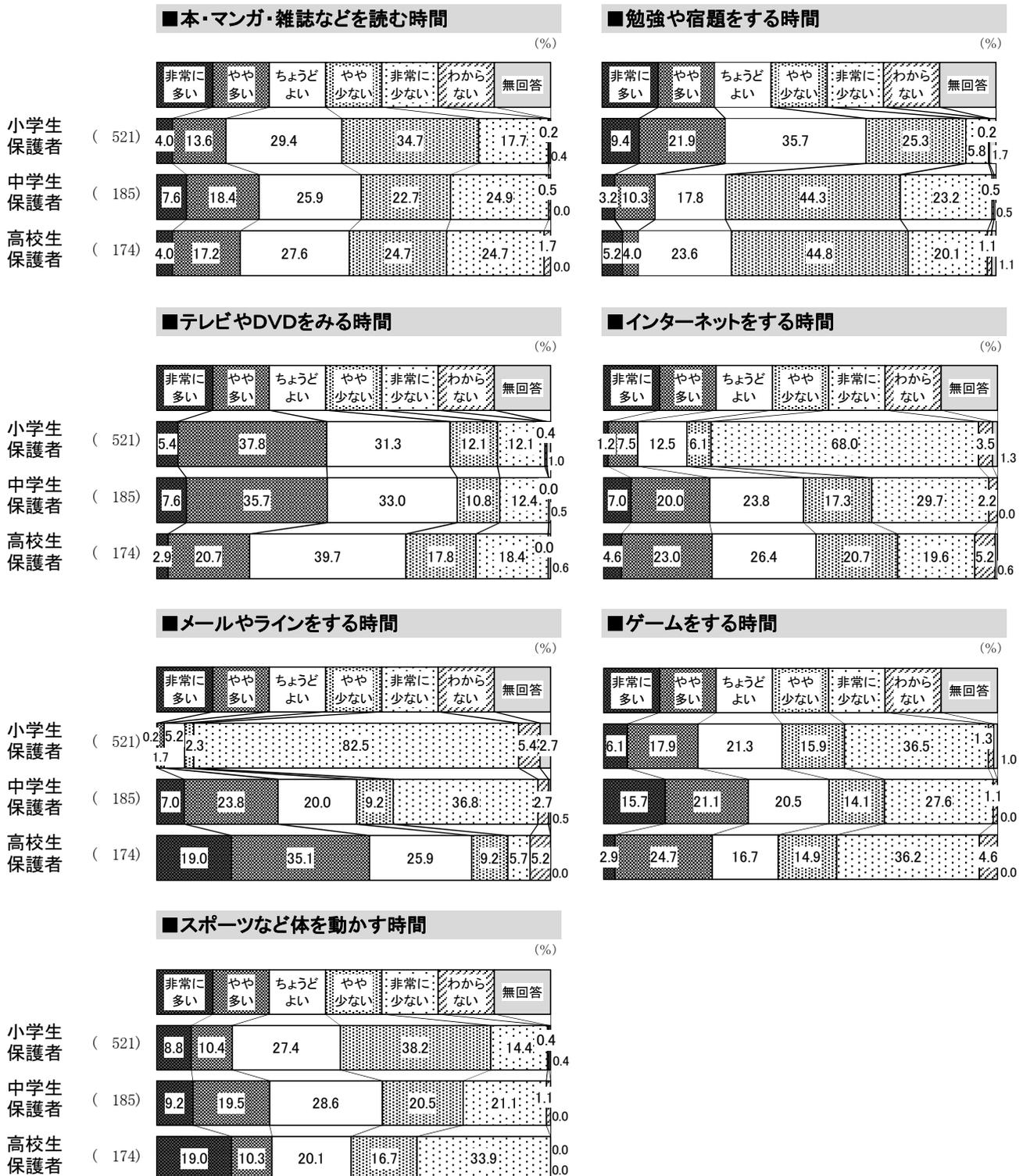


(4) 保護者からみた子どもの読書時間とその他行動時間の印象

〔保護者:問5〕

子どもの読書時間とその他の行動時間の印象について保護者にたずねたところ、本・マンガ・雑誌などを読む時間については「ちょうどよい」は小学生の保護者(29.4%) 中学生の保護者(25.9%)、高校生の保護者(27.6%)それぞれ2割台後半となっている。「多い」計(「非常に多い」+「やや多い」)は小学生の保護者(17.6%)は1割台半ば、中学生の保護者(26.0%)は2割台半ば、高校生の保護者(21.2%)は2割近くとなっている。他方、「少ない」計(「非常に少ない」+「やや少ない」)は小学生の保護者(52.4%)、中学生の保護者(47.6%)、高校生の保護者(49.4%)それぞれ5割近くとなっており、全般に読書時間が「少ない」とする回答の割合が多くなっている。

【 保護者からみた子ども 】



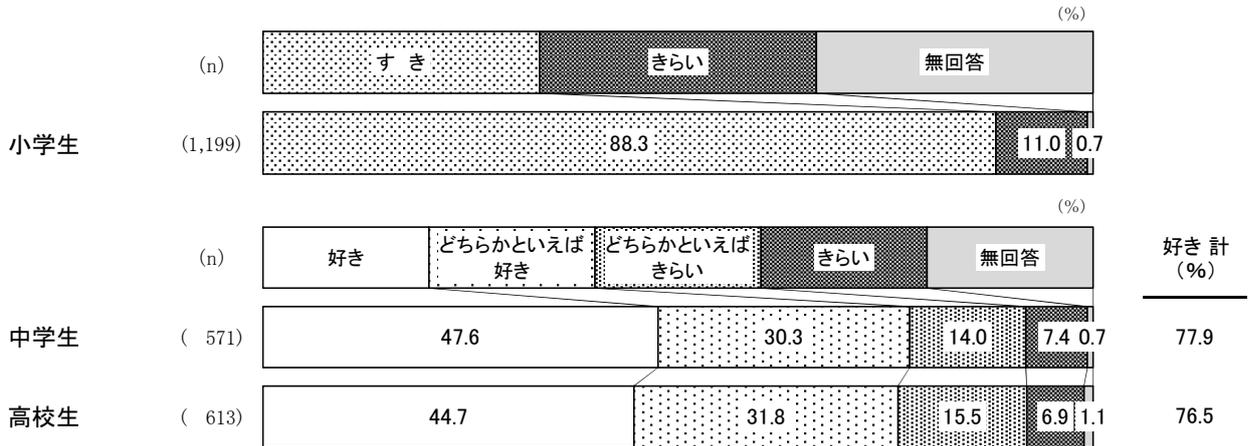
2. 読書の意識・実態

(1) 読書が好きかどうか

[小学生:問4][中学生:問3]

読書が好きかどうかについて小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、小学生は「好き」(88.3%)が9割近くを占めている。中学生は「好き」(47.6%)と「どちらかといえば好き」(30.3%)の計(77.9%)が8割近く、高校生は「好き」(44.7%)と「どちらかといえば好き」(31.8%)の計(76.5%)が7割台半ばとなっている。

【 小学生・中学生・高校生 】

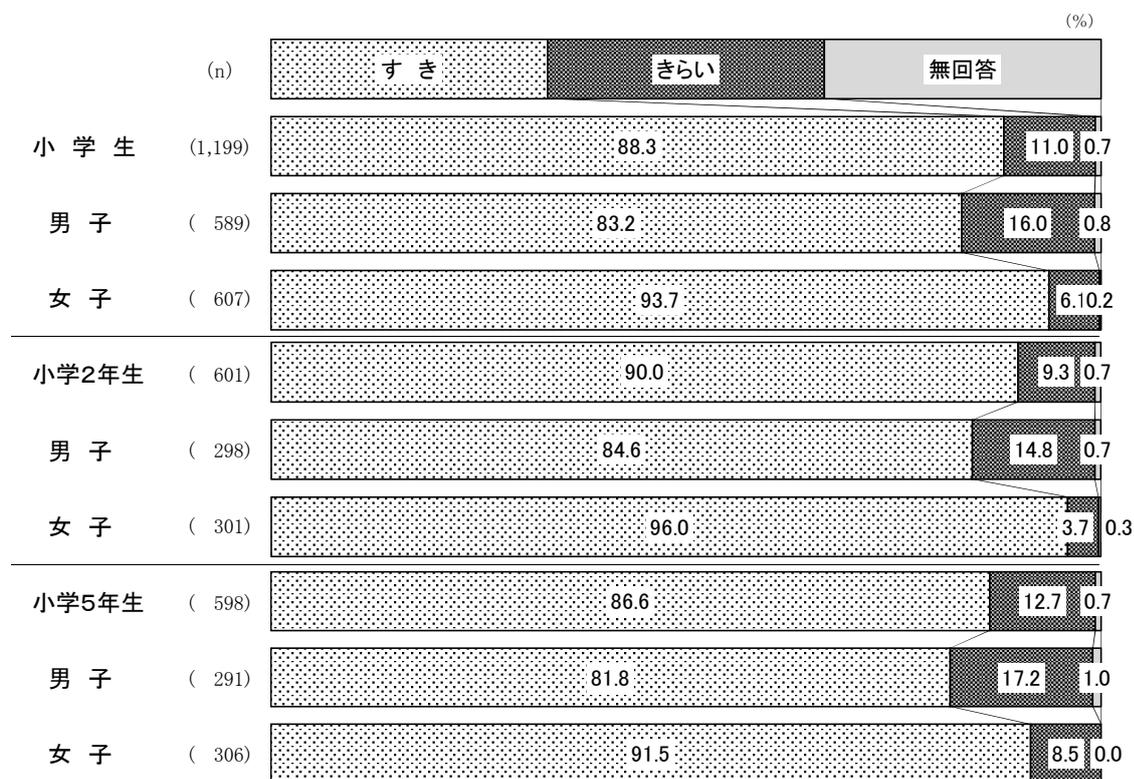


《 読書が好きかどうか—学年・性別》

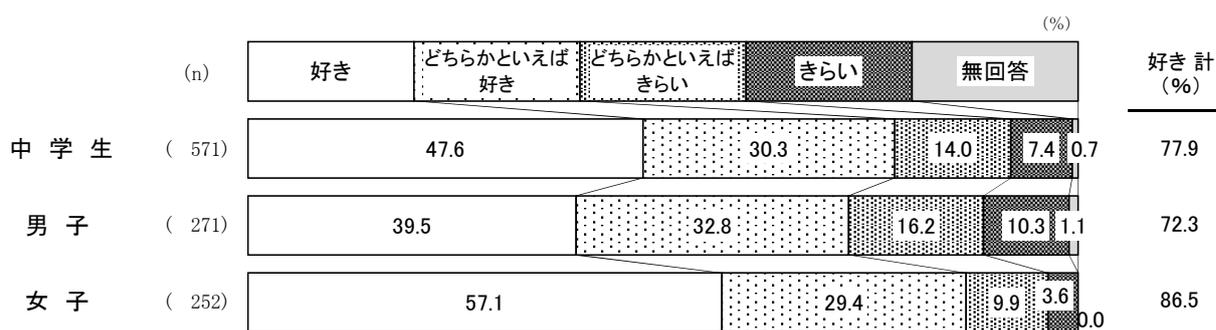
読書が好きかどうかについて小学生の学年別でみると、2年生は「好き」（90.0%）が9割、5年生は「好き」（86.6%）が8割台半ばとなっている。性別では2年生、5年生ともに男子より女子で「好き」の割合が多くなっている。

中学生の性別でみると、小学生と同様に男子より女子で「好き」の割合が多くなっている。高校生については、性別による差が比較的小さくなっている。

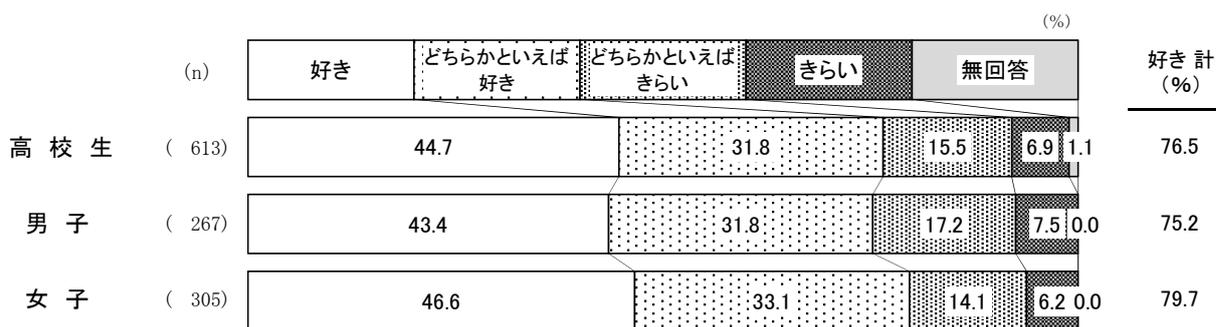
【 小学生 】



【 中学生 】



【 高校生 】

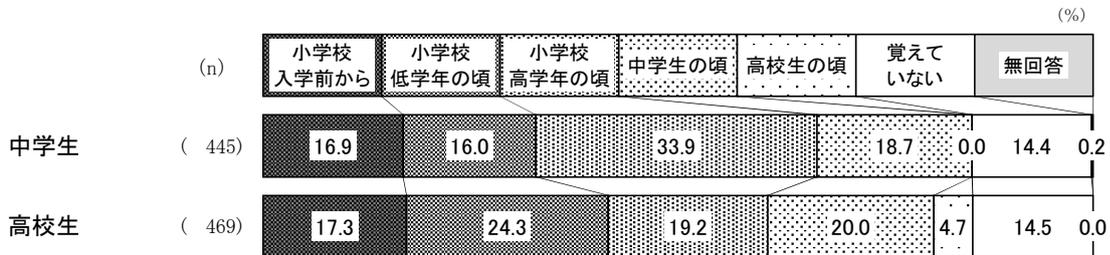


(2) 本を好きになった時期

[中学生 : 問4]

読書が好き、どちらかといえば好きと回答した中学生及び高校生に、本を好きになった時期についてたずねたところ、中学生は「小学校高学年の頃」(33.9%)が最も多く、「中学生の頃」(18.7%)が次いでおり、高校生は「小学校低学年の頃」(24.3%)が最も多く、「中学生の頃」(20.0%)が次いでいる。中学生も高校生も本を好きになった時期は分散している。

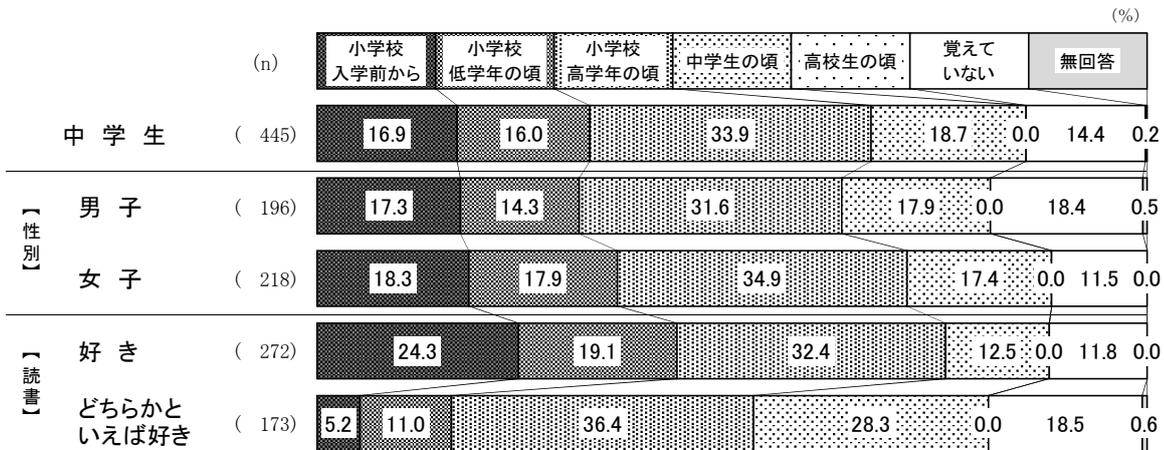
【 中学生・高校生 】



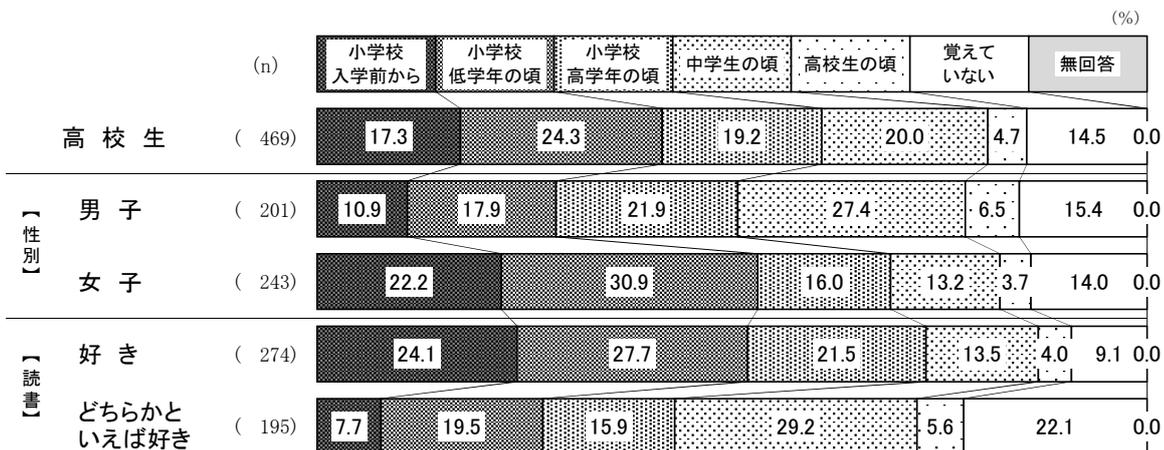
《 本を好きになった時期－学年・性別／読書が好きかどうか 》

本を好きになった時期について性別でみると、中学生、高校生ともに男子より女子の方が若い頃に本が好きになったと回答する割合が多い傾向で、高校生は中学生よりも差が大きくなっている。読書が好きかどうかでみると、中学生、高校生ともに読書が好きと回答した生徒は、どちらかといえば好きと回答した生徒より若い頃から本が好きになったと回答する割合が多くなっている。

【 中 学 生 】



【 高 校 生 】



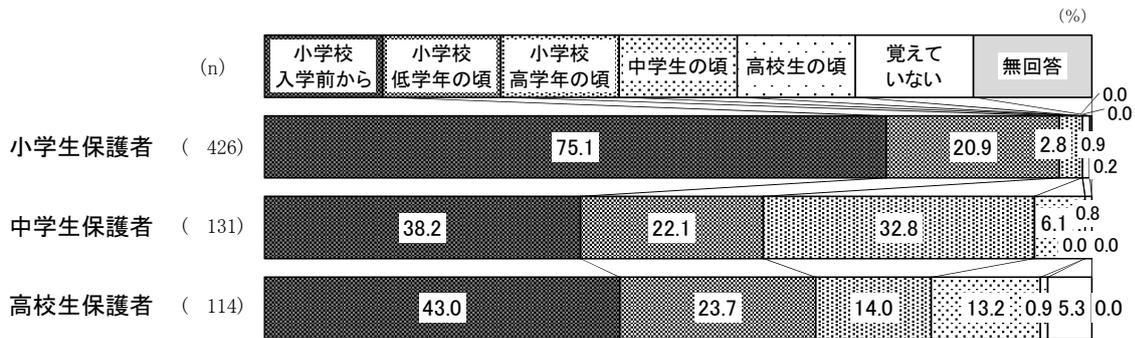
(3) 子どもが本に興味を持ち始めた時期

[保護者:問8]

子どもが本をよく読んでいる、たまに読んでいると回答した保護者に、子どもが本に興味を持ち始めた時期についてたずねたところ、小学生の保護者は「小学校入学前から」(75.1%)が7割台半ばを占めている。中学生の保護者及び高校生の保護者は「小学校入学前から」(各々 38.2%、43.0%)が4割近くとなっている。

中学生及び高校生については、前述の生徒自身による本を好きになった時期の回答に比べて保護者からみた子どもが本に興味を持ち始めた時期の方が、幼い頃からの割合が多くなっている。

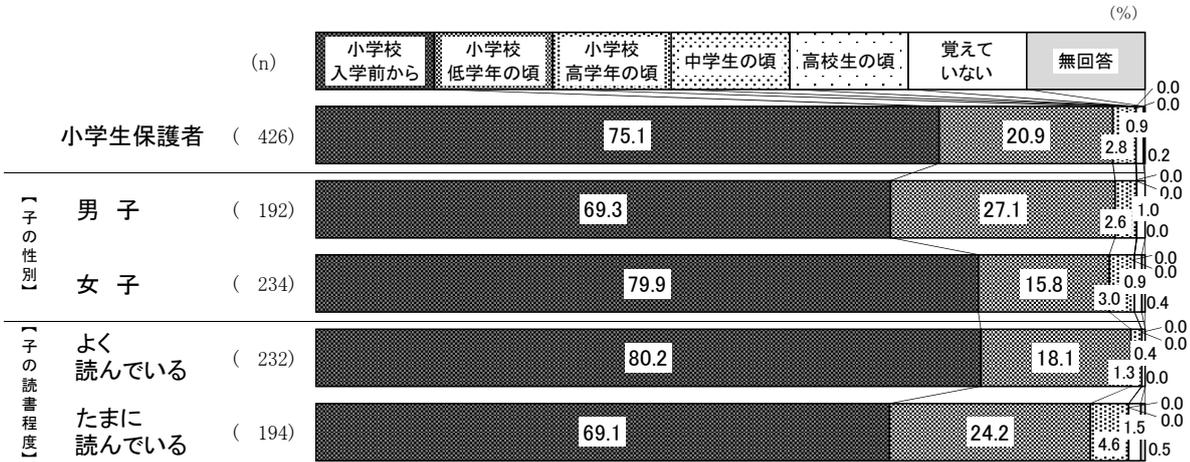
【 保護者からみた子どもの状況 】



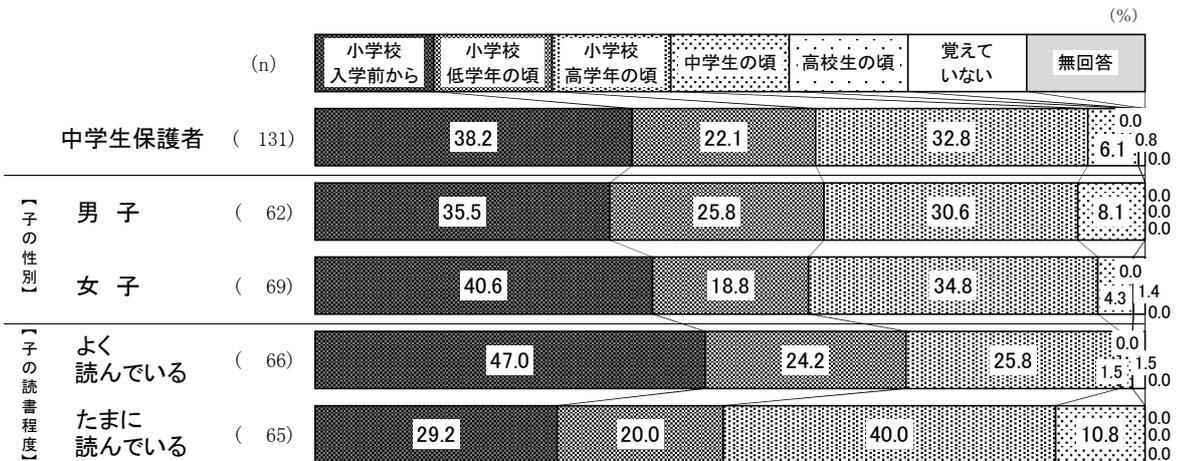
《 子どもが本に興味を持ち始めた時期—子どもの性別／子どもの読書程度別》

子どもが本に興味を持ち始めた時期について子どもの性別でみると、小学生、中学生、高校生ともに男子より女子の保護者の方が幼い頃から本に興味を持ち始めたと回答する割合が多くなっている。子どもの読書の程度別では、よく読んでいると回答した保護者はたまたま読んでいると回答した保護者より幼い頃から本に興味を持ち始めたと回答する割合が多くなっている。

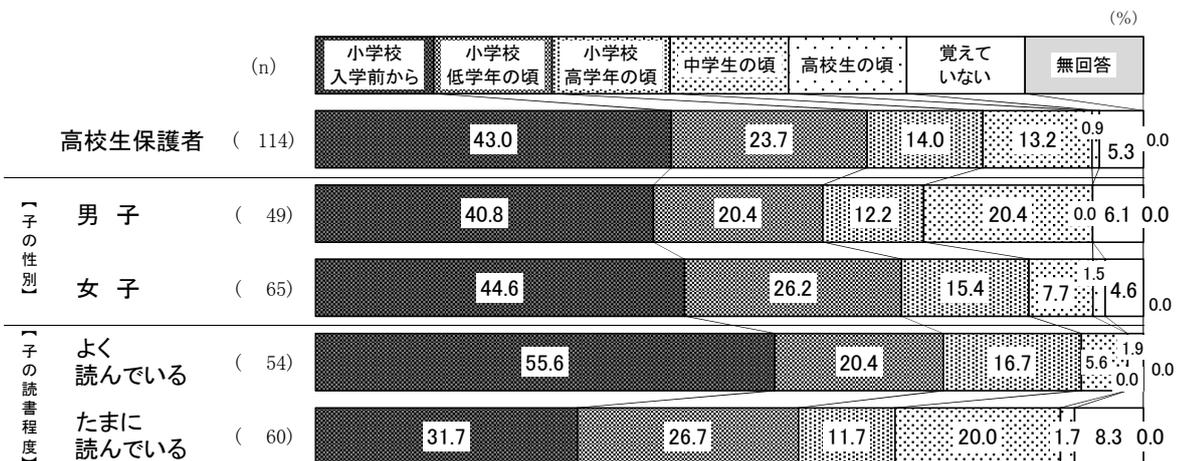
【 小学生保護者 】



【 中学生保護者 】



【 高校生保護者 】

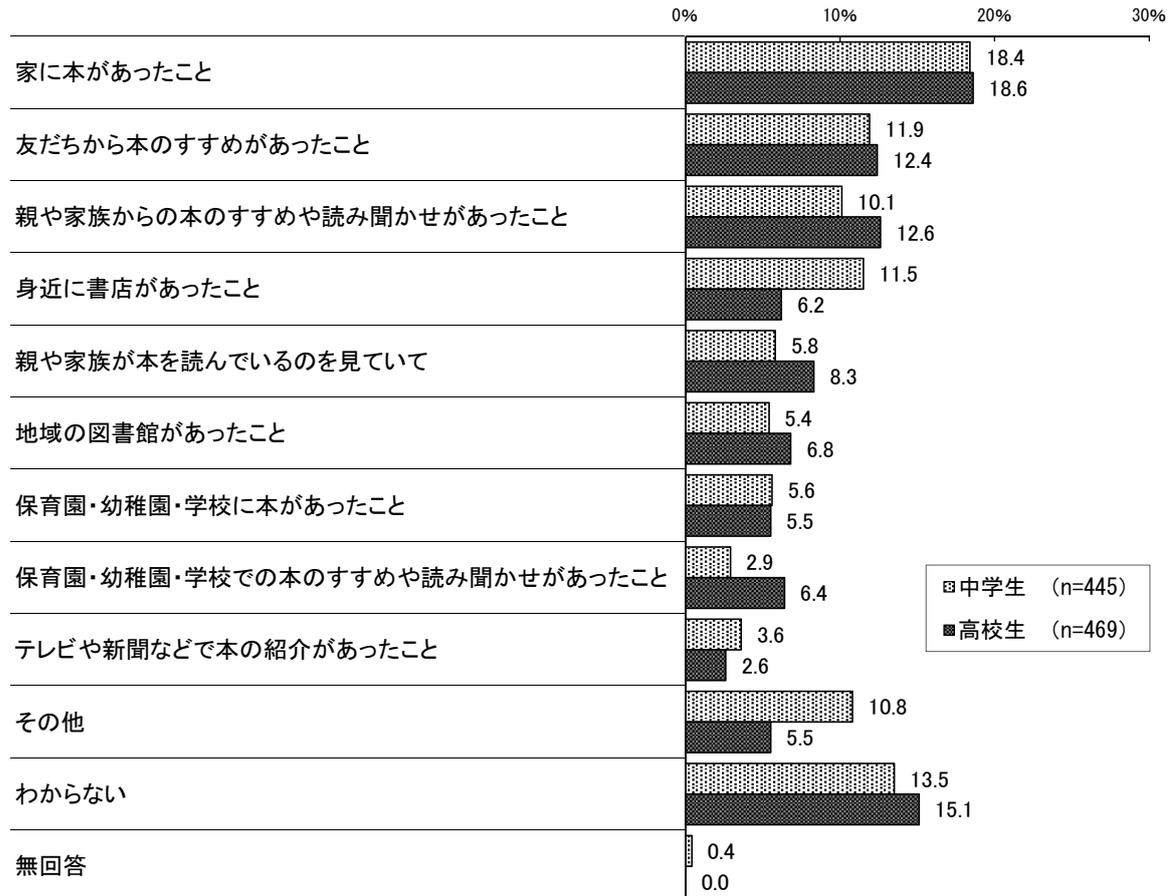


(4) 本を好きになった最大のきっかけ（単数回答）

〔中高生：問5〕

読書が好き、どちらかといえば好きと回答した中学生及び高校生に、本を好きになった最大のきっかけについてたずねたところ、中学生、高校生ともに「家に本があったこと」（各々18.4%、18.6%）が2割近くと最も多くなっている。中学生は「友だちから本のすすめがあったこと」（11.9%）、「身近に書店があったこと」（11.5%）、高校生は「親や家族からの本のすすめや読み聞かせがあったこと」（12.6%）、「友だちから本のすすめがあったこと」（12.4%）の順となっている。「地域の図書館があったこと」は中学生（5.4%）、高校生（6.8%）となっている。

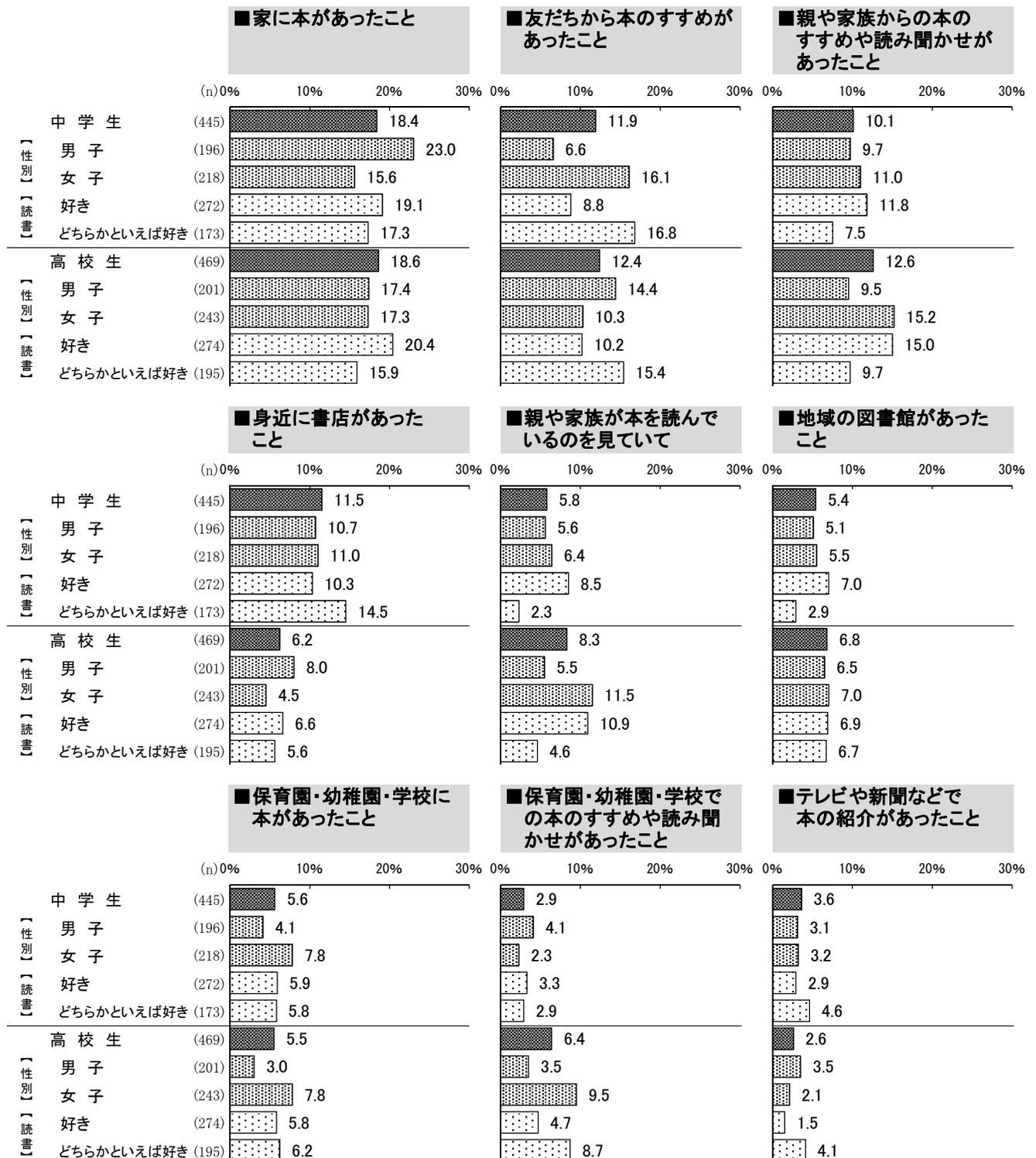
【 中学生・高校生 】



《 本を好きになった最大のきっかけ（単数回答）－学年・性別／読書が好きかどうか 》

本を好きになった最大のきっかけについて性別でみると、中学生は男子は女子より「家に本があったこと」が多く、女子は男子より「友だちから本のすすめがあったこと」や「保育園・幼稚園・学校に本があったこと」などの回答が多くなっている。高校生は男子は女子より「友だちからの本のすすめがあったこと」や「身近に書店があったこと」などが多く、女子は男子より「親や家族からの本のすすめや読み聞かせがあったこと」、「親や家族が本を読んでいるのを見ていて」、「保育園・幼稚園・学校に本があったこと」、「保育園・幼稚園・学校での本のすすめや読み聞かせがあったこと」などの回答が多くなっている。

読書が好きかどうかでみると、中学生、高校生ともに読書が好きと回答した生徒は、どちらかといえば好きと回答した生徒より「家に本があったこと」、「親や家族からの本のすすめや読み聞かせがあったこと」、「親や家族が本を読んでいるのを見ていて」などの家庭内の環境に関連する項目の回答が多い傾向となっている。



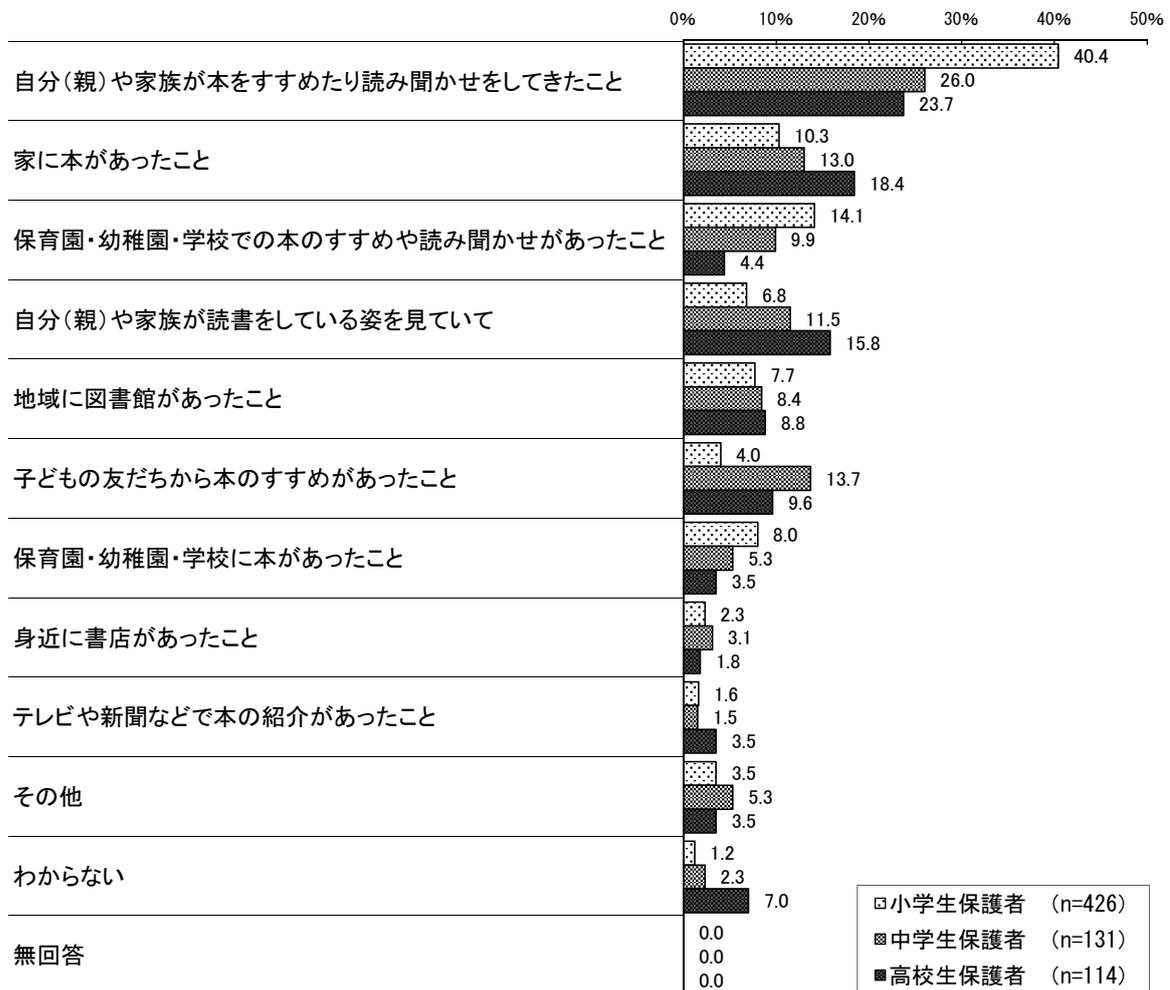
(5) 子どもが本に興味を持つようになった最大のきっかけ（単数回答）

〔保護者:問7〕

子どもが本をよく読んでいて、たまに読んでいと回答した保護者に、子どもが本に興味を持つようになった最大のきっかけについてたずねたところ、「自分（親）や家族が本をすすめたり読み聞かせをしてきたこと」が小学生の保護者（40.4%）が4割、中学生の保護者（26.0%）、高校生保護者（23.7%）が2割台半ばと最も多くなっている。小学生の保護者は次いで「保育園・幼稚園・学校での本のすすめや読み聞かせがあったこと」（14.1%）、「家に本があったこと」（10.3%）の順となっている。中学生及び高校生の保護者は「家に本があったこと」（各々13.0%、18.4%）、「自分（親）や家族が読書をしている姿を見ていて」（各々11.5%、15.8%）の順となっている。

「地域に図書館があったこと」は小学生の保護者（7.7%）、中学生の保護者（8.4%）、高校生の保護者（8.8%）ともに1割弱となっている。

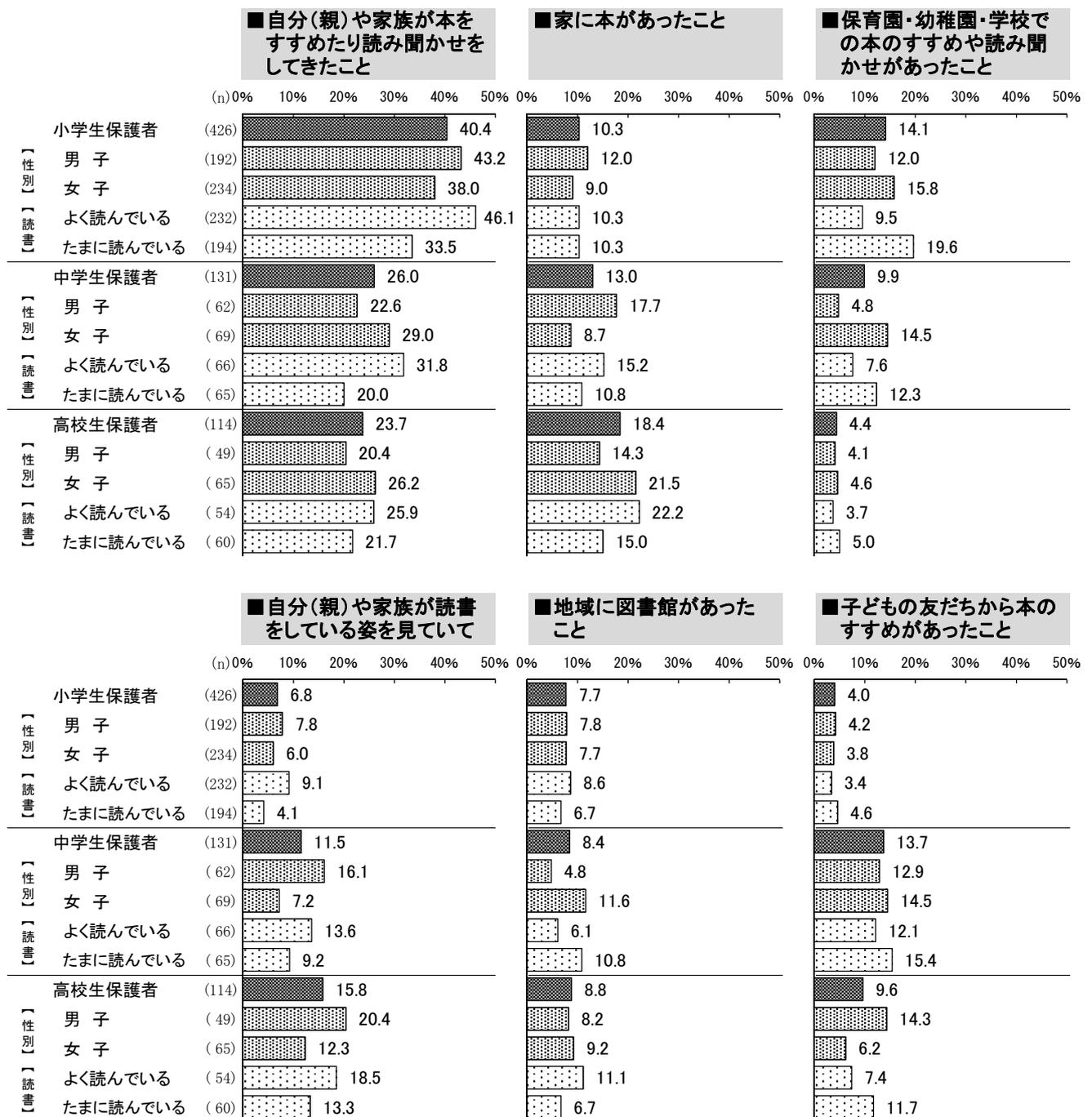
【 保護者からみた子どもの状況 】

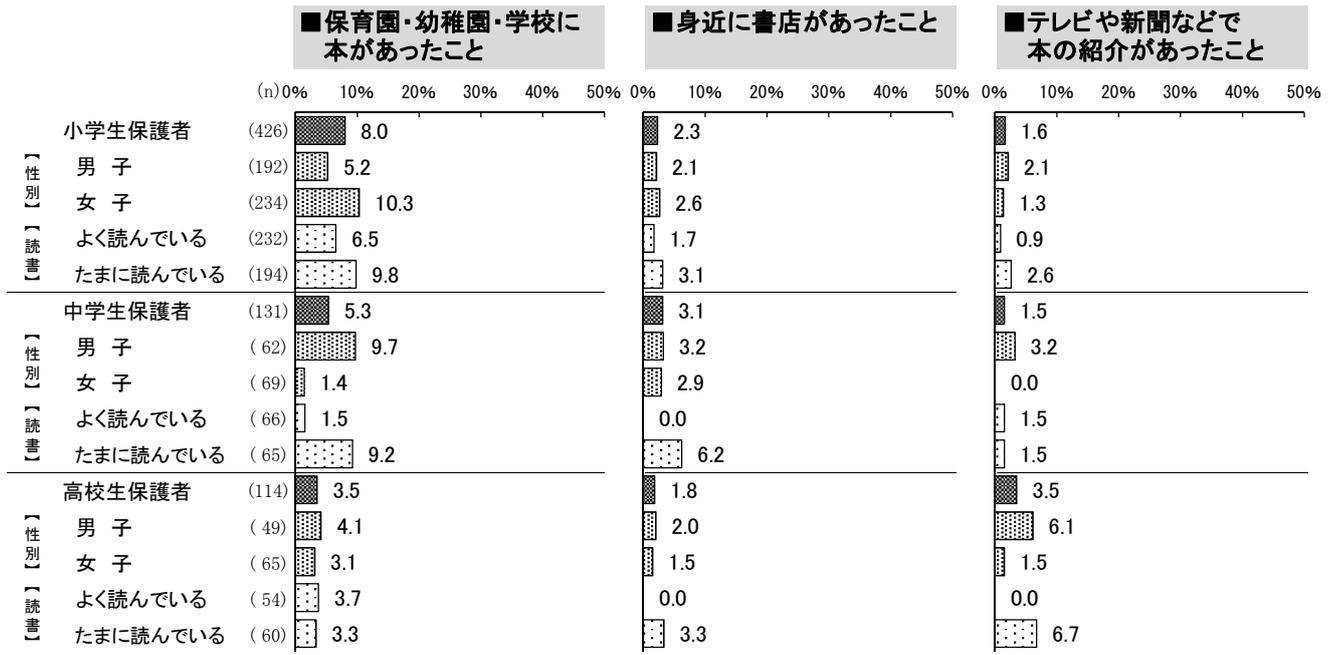


《 子どもが本に興味を持つようになった最大のきっかけ —子どもの学年・性別／子どもの読書頻度別— 》

子どもが本に興味を持つようになった最大のきっかけについて子どもの性別でみると、各学年の性別に共通する特徴的な傾向はみられないが、中学生及び高校生は女子より男子の保護者は「自分（親）や家族が読書をしている姿を見ていて」の回答が多く、男子より女子の保護者は「自分（親）や家族が本をすすめたり読み聞かせをしてきたこと」の回答が多くなっている。

子どもの読書の頻度別でみると、よく読んでいると回答した保護者はたまに読んでいると回答した保護者より「自分（親）や家族が本をすすめたり読み聞かせをしてきたこと」、「家に本があったこと」、「自分（親）や家族が読書をしている姿を見ていて」など家庭環境に関連する項目の回答が多くなっている。他方、たまに読んでいると回答した保護者はよく読んでいると回答した保護者より「保育園・幼稚園・学校での本のすすめや読み聞かせがあったこと」、「子どもの友だちから本のすすめがあったこと」、「保育園・幼稚園・学校に本があったこと」など家庭以外の環境に関連する項目の回答が多い傾向となっている。





(6) 1か月平均読書冊数

[小学生:問6][中学生:問6]

1か月の平均読書冊数について小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、物語（書籍）・絵本については、小学生は「1冊」から「21冊以上」まで分散傾向で平均は8.7冊となっている。中学生は「1冊」及び「2～3冊」が中心で平均3.1冊、高校生は平均1.0冊となっている。「0冊」は小学生（14.3%）、中学生（27.5%）と学年が上がるにつれて多くなり、高校生（56.1%）は半数を越えている。

学習参考書・図鑑の平均冊数は、小学生3.4冊、中学生0.6冊、高校生0.3冊となっている。

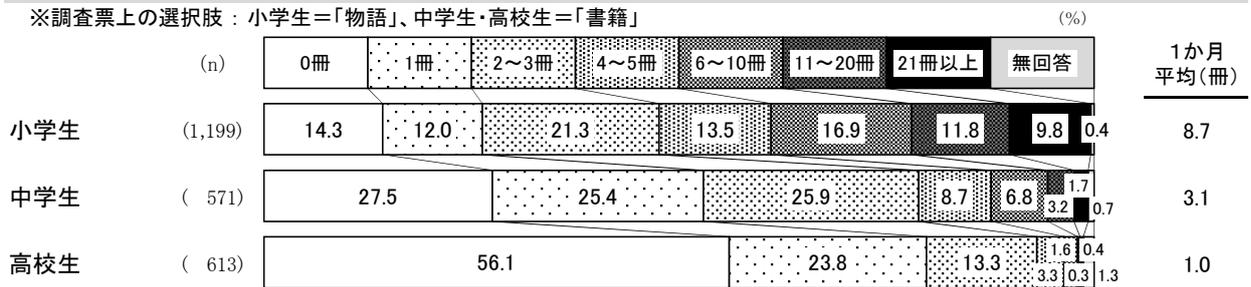
マンガ・コミックは今回調査した4つの分野において最も読書冊数が多く、平均冊数は小学生8.8冊、中学生8.2冊、高校生4.6冊となっている。

雑誌は各学年ともに「0冊」が6割前後となっており、平均冊数は小学生1.7冊、中学生1.2冊、高校生0.8冊となっている。

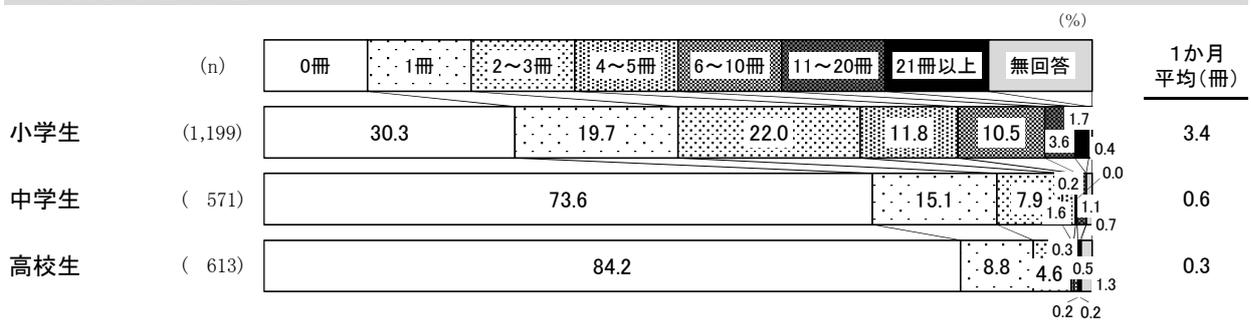
【 小学生・中学生・高校生 】

■物語／書籍・絵本

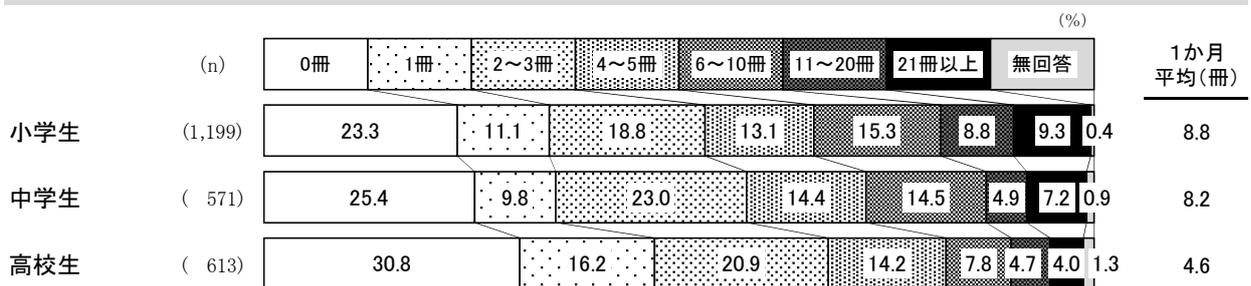
※調査票上の選択肢：小学生＝「物語」、中学生・高校生＝「書籍」



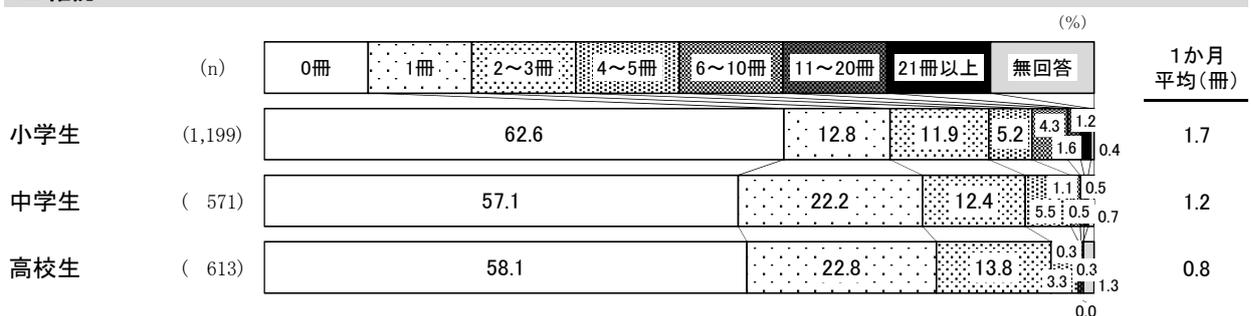
■学習参考書・図鑑



■マンガ・コミック



■雑誌



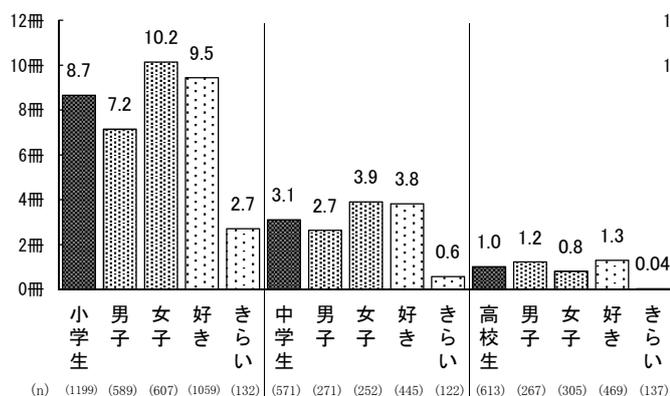
《 1 か月平均読書冊数—学年・性別／読書が好きかどうか 》

1 か月間の平均読書冊数について性別でみると、小学生、中学生及び高校生ともに男子は女子よりマンガ・コミックの冊数が多く、小学生男子は 11.5冊、中学生男子は 10.3冊、高校生男子は 5.8冊となっている。他方、女子は男子より物語／書籍・絵本の冊数が多い傾向となっており、小学生女子は 10.2冊、中学生女子は 3.9冊となっている。

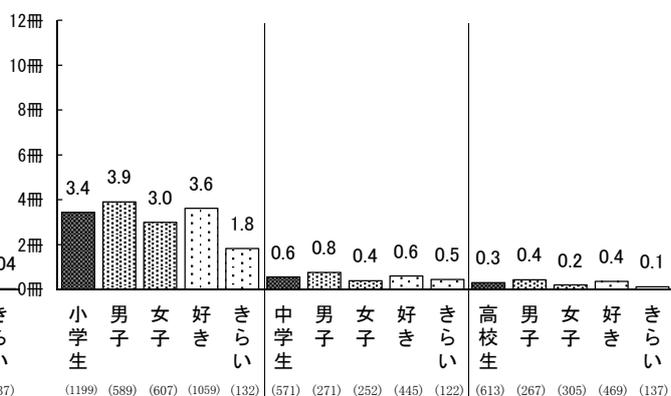
読書が好きかどうかでみると、読書が好きな児童・生徒は読書がきらいな児童・生徒より各分野とも読書冊数が多くなっており、物語／書籍・絵本でその差がより大きくなっている。小学生は読書が好きな児童は 9.5冊に対して読書がきらいな児童は 2.7冊、中学生は読書が好きな生徒は 3.8冊に対して読書がきらいな生徒は 0.6冊となっている。

また、読書がきらいな児童・生徒においても、マンガ・コミックについては小学生で 6.4冊、中学生で 4.7冊、高校生で 2.3冊ほど読んでいる。

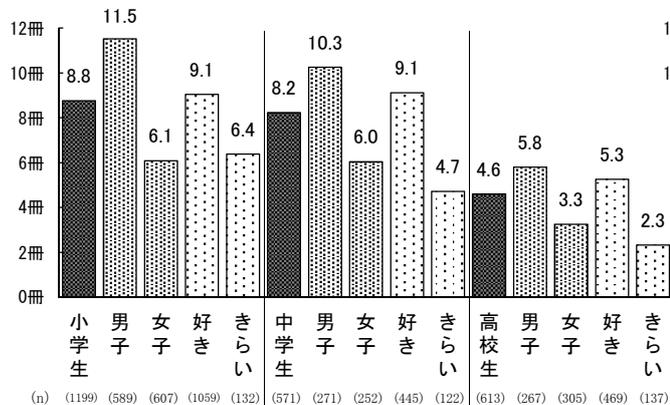
■物語／書籍・絵本



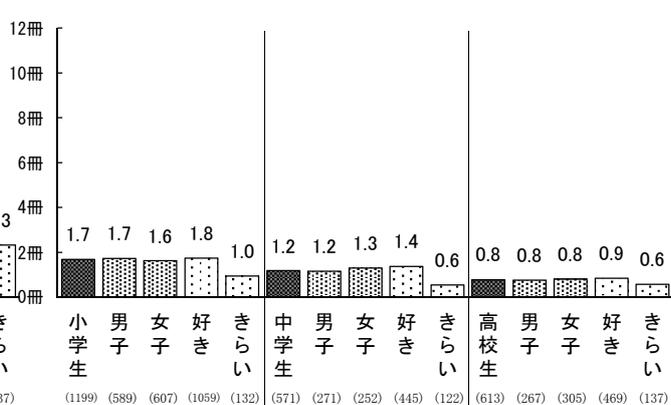
■学習参考書・図鑑



■マンガ・コミック

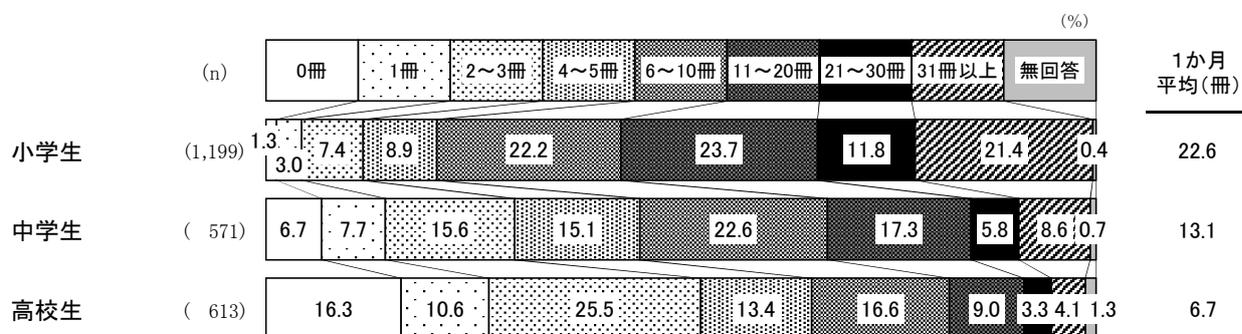


■雑誌



合計（物語／書籍・絵本、学習参考書・図鑑、マンガ・コミック、雑誌の計）読書冊数は、小学生は「11～20冊」（23.7%）、中学生は「6～10冊」（22.6%）、高校生は「2～3冊」（25.5%）がそれぞれ最も多く、1か月の平均冊数は小学生が22.6冊、中学生が13.1冊、高校生が6.7冊と学年が上がるにつれて少なくなる傾向となっている。

■合計（物語／書籍・絵本＋学習参考書・図鑑＋マンガ・コミック＋雑誌）

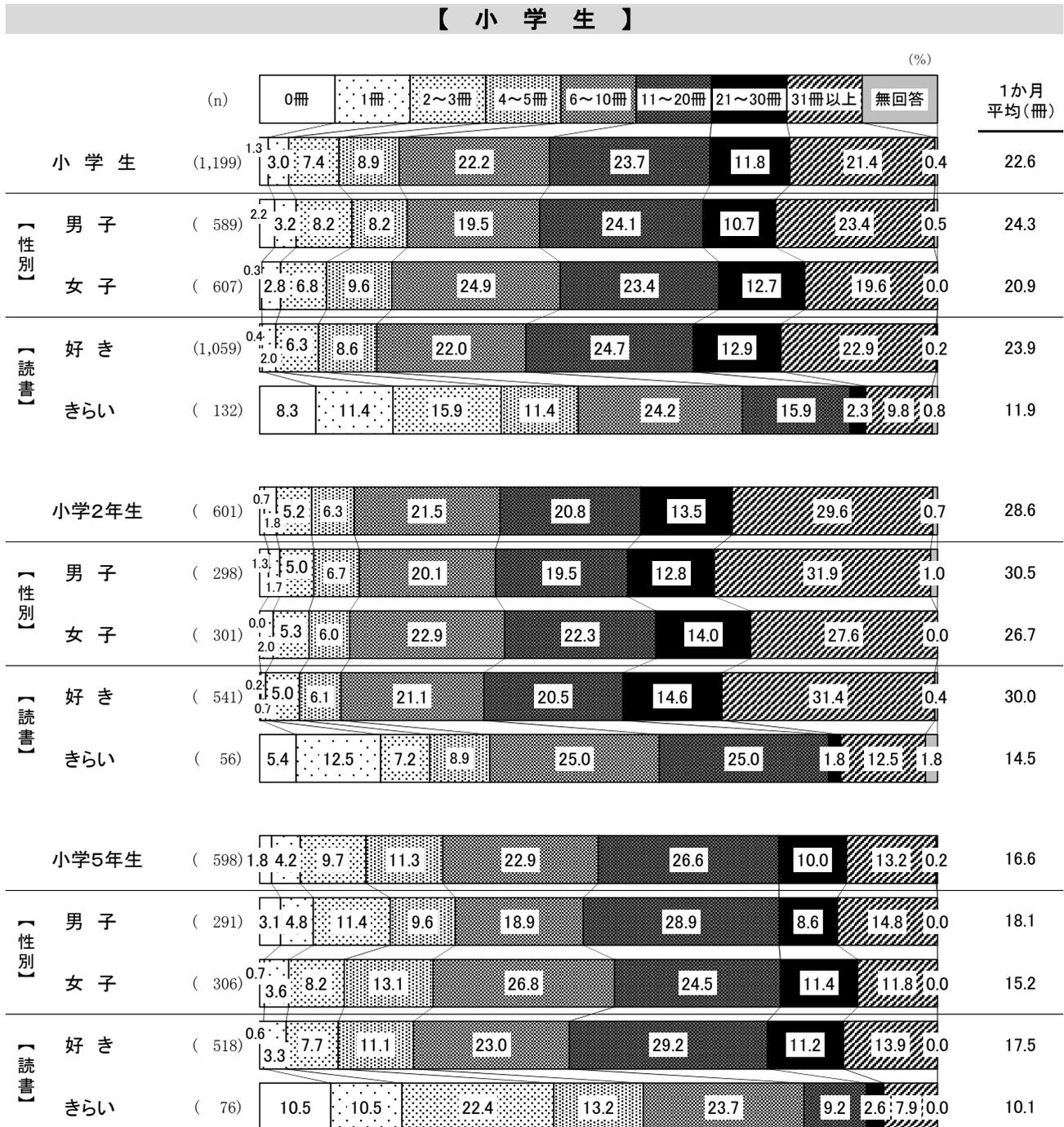


《 1 か月平均読書冊数（合計）－学年・性別／読書が好きかどうか 》

1 か月の平均読書冊数の合計を小学生の学年別でみると、2 年生（28.6冊）は5 年生（16.6冊）より 12冊ほど多くなっている。

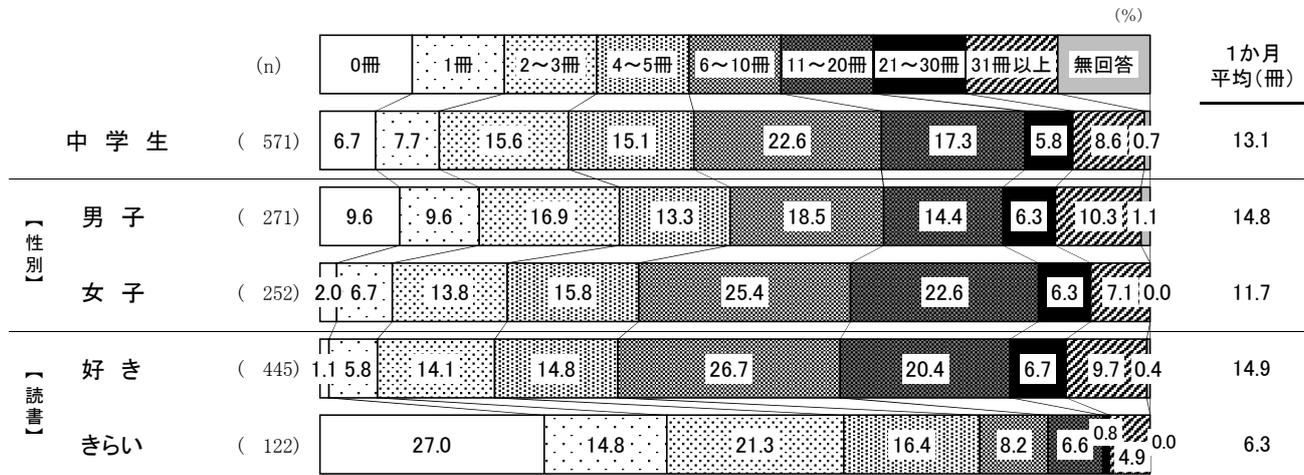
性別でみると、2 年生、5 年生ともに女子より男子の平均冊数が 3～4 冊ほど多くなっており、これはマンガ・コミックの冊数が男子で多いことと関連している。

読書が好きかどうかでみると、2 年生、5 年生ともに読書が好きな児童はきれいな児童に比べて 2 倍近く読書冊数が多くなっている。

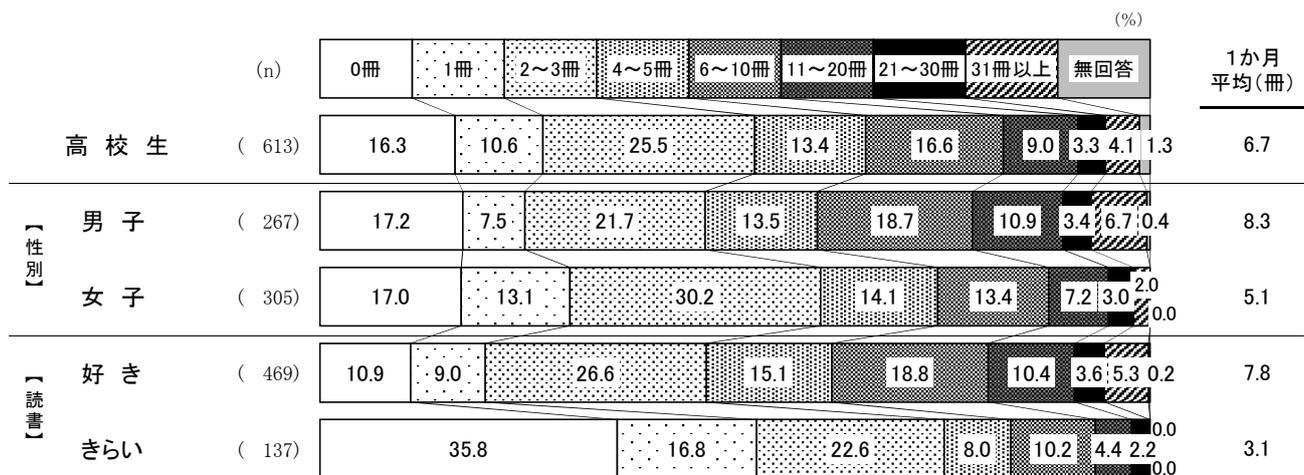


中学生及び高校生について性別でみると、男子は女子より1か月の平均読書冊数が多く、また、読書が好きかどうかでみると、読書が好きなのは読書がきらいな生徒の2倍近くの冊数を読んでおり、小学生と同様の傾向となっている。

【 中 学 生 】

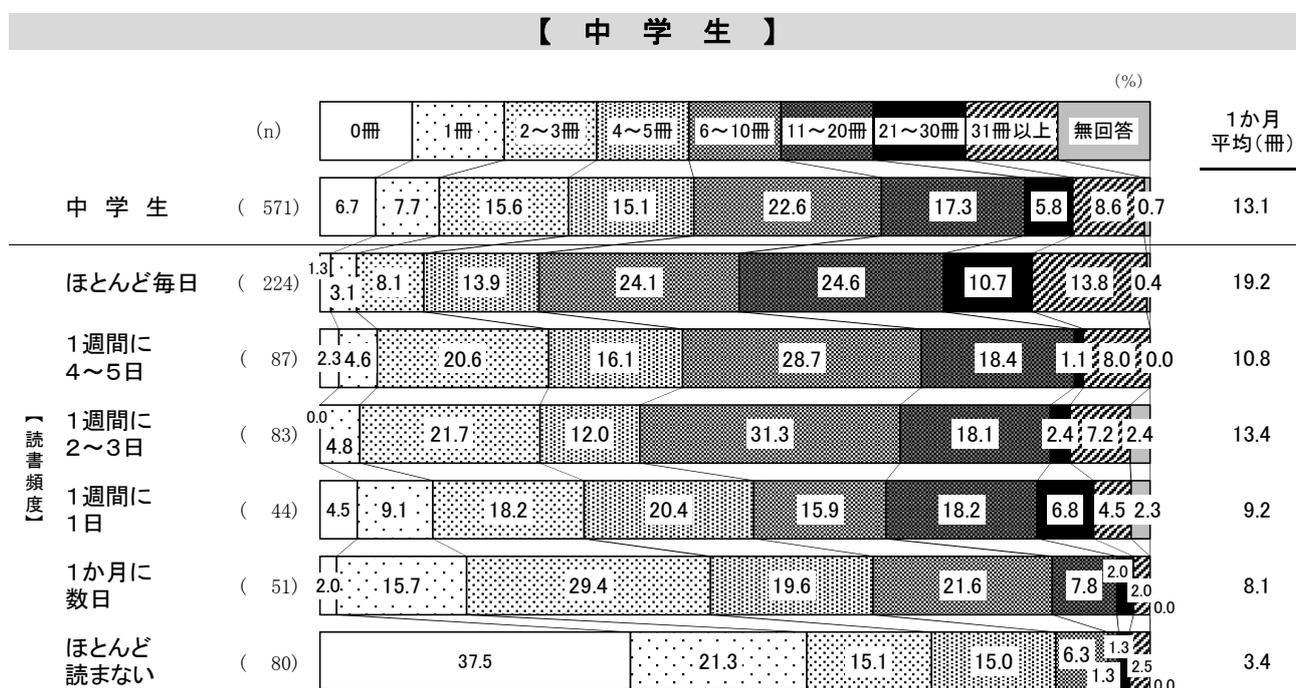
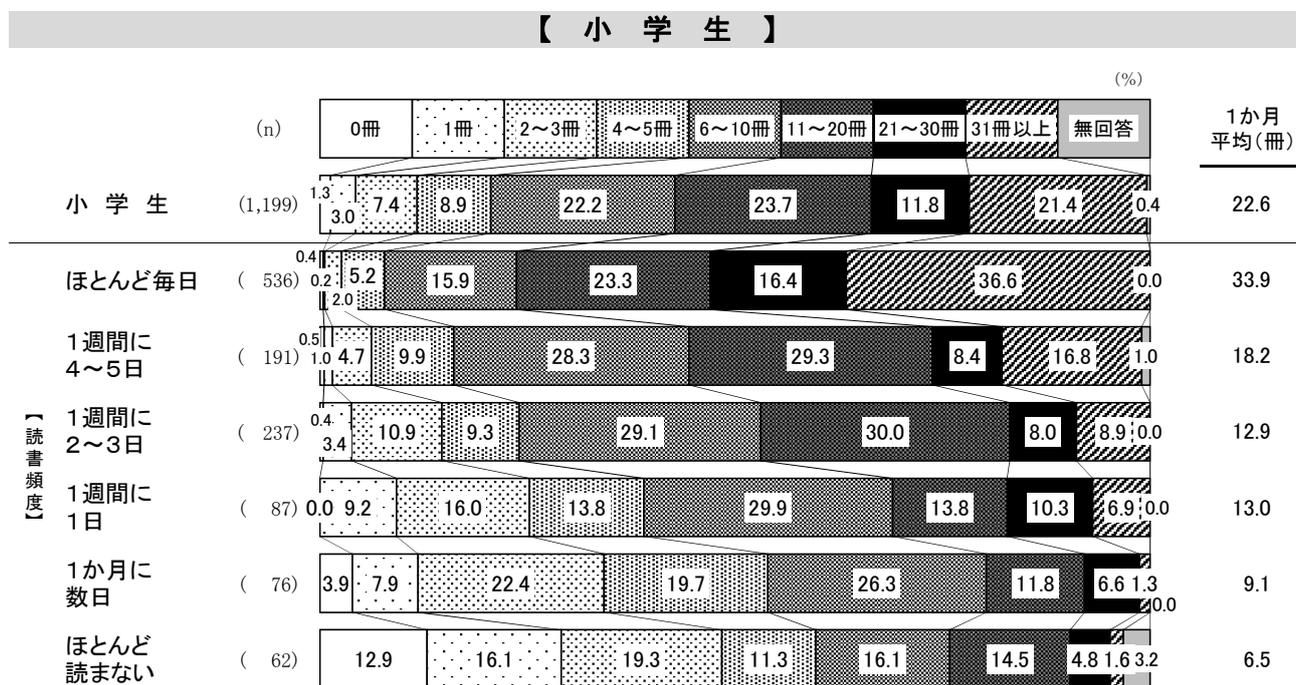


【 高 校 生 】

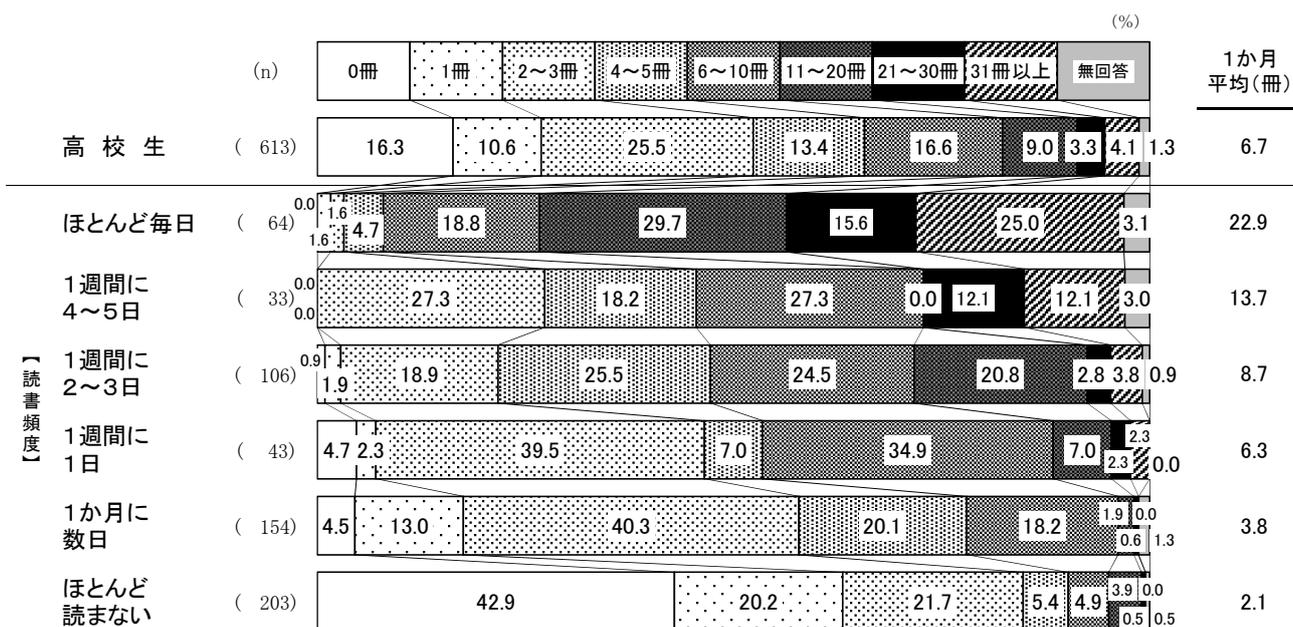


《 1か月平均読書冊数（合計）－読書頻度別 》

1か月の平均読書冊数（合計）について読書頻度別でみると、小学生、中学生及び高校生ともに読書頻度が高いほど読書冊数が多くなっている。ほとんど毎日読書をする小学生は平均 33.9冊と1日平均1冊の計算となる。



【 高 校 生 】

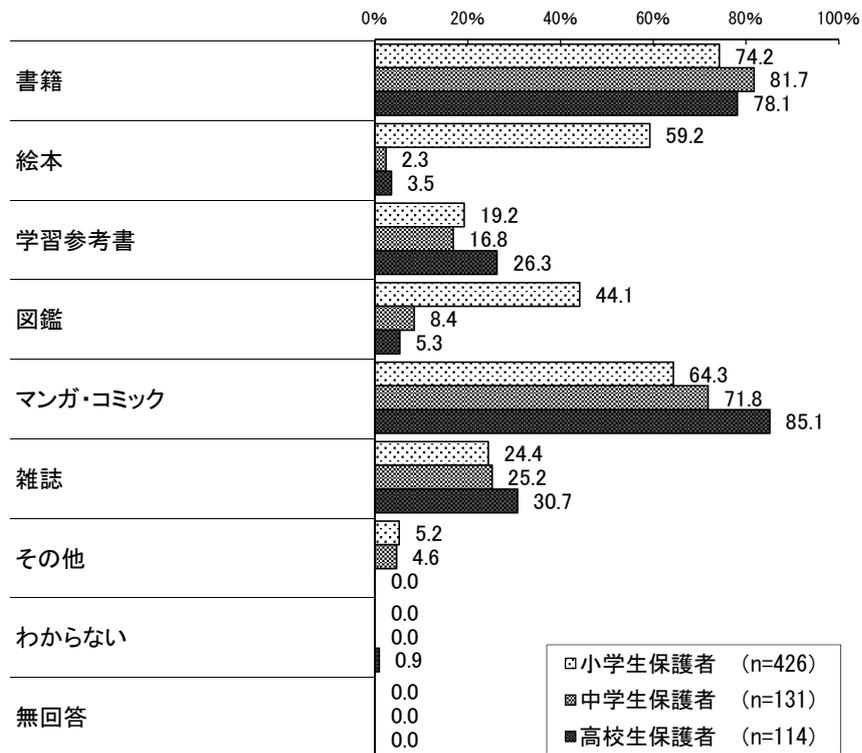


(7) 子どもが普段読んでいる本の種類（複数回答）

〔保護者：問9〕

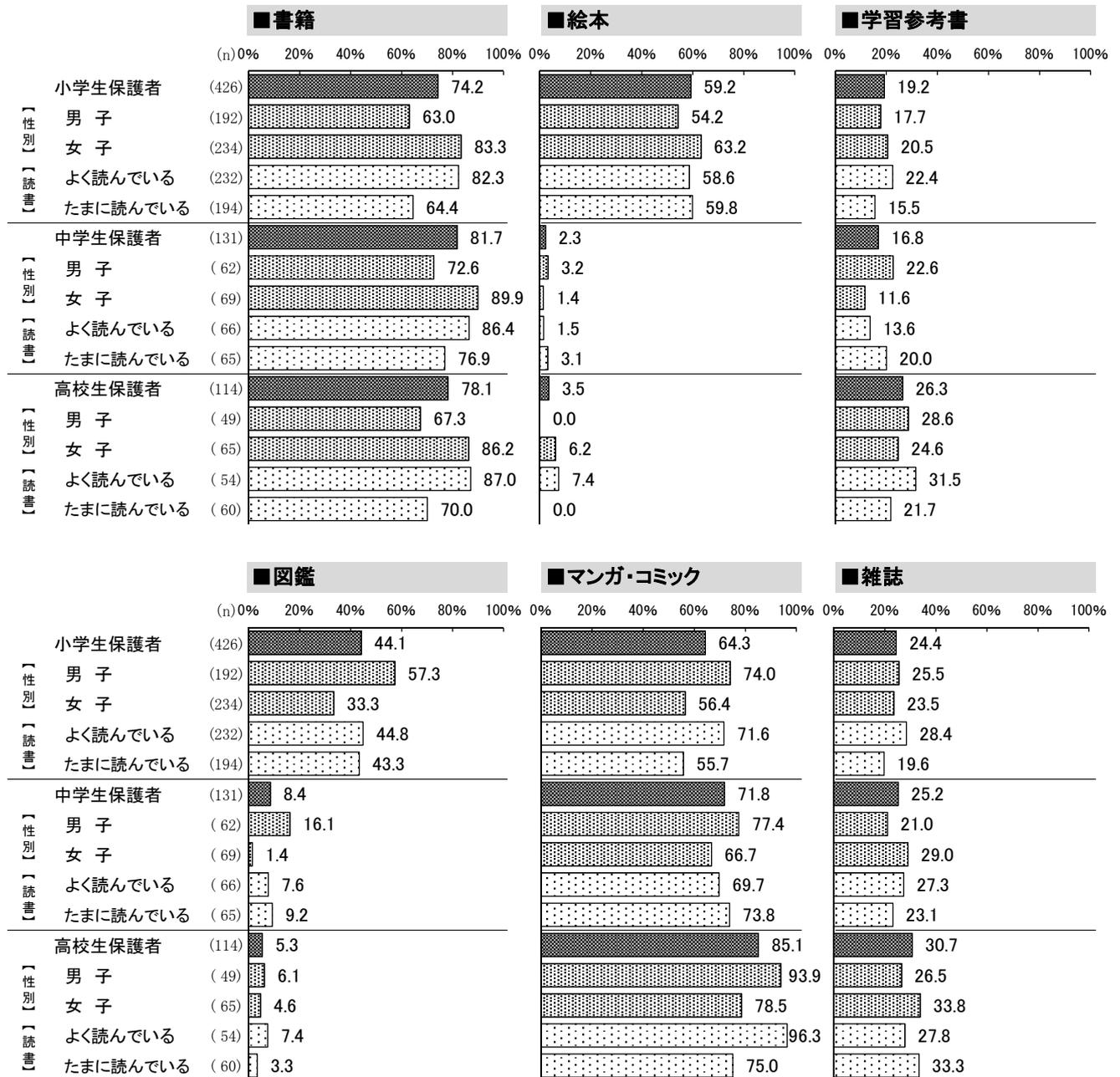
子どもが本をよく読んでいる、たまに読んでいると回答した保護者に、子どもが普段読んでいる本の種類についてたずねたところ、小学生の保護者は「書籍」（74.2%）が最も多く、「マンガ・コミック」（64.3%）、「絵本」（59.2%）の順、中学生の保護者は「書籍」（81.7%）が最も多く、「マンガ・コミック」（71.8%）、「雑誌」（25.2%）の順となっている。高校生の保護者は「マンガ・コミック」（85.1%）が最も多く、「書籍」（78.1%）、「雑誌」（30.7%）の順となっている。

【 保護者からみた子どもの状況 】



《 子どもが普段読んでいる本の種類—子どもの学年・性別／子どもの読書程度別 《

子どもが普段読んでいる本の種類について子どもの性別でみると、小学生、中学生及び高校生に共通して、「書籍」は男子より女子の保護者、「マンガ・コミック」は女子より男子の保護者の回答が多くなっている。小学生は「絵本」は男子より女子の保護者、「図鑑」は女子より男子の保護者の回答が多く、中学生及び高校生は「雑誌」は男子より女子の保護者、「学習参考書」は女子より男子の保護で回答が多くなっている。

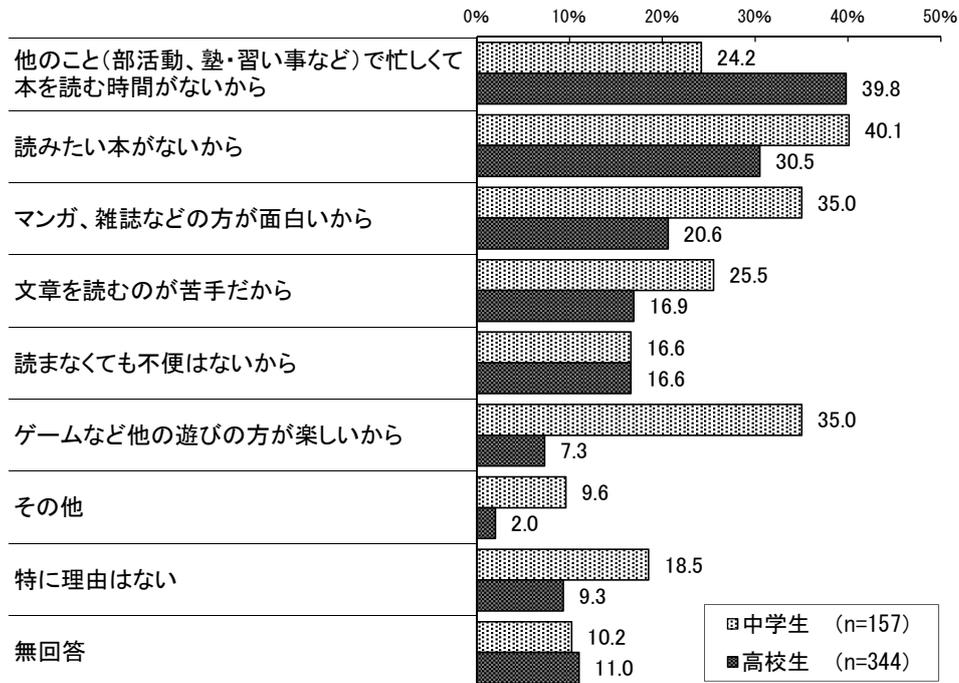


(8) 『書籍・絵本』を読まない理由（複数回答）

〔中高生：問7〕

書籍・絵本を読まない中学生及び高校生にその理由をたずねたところ、中学生は「読みたい本がないから」（40.1%）が最も多く、「マンガ、雑誌などの方が面白いから」、「ゲームなど他の遊びの方が楽しいから」（各々 35.0%）の順となっている。高校生は「他のこと（部活動、塾・習い事など）で忙しくて読む時間がないから」（39.8%）が最も多く、「読みたい本がないから」（30.5%）、「マンガ、雑誌などの方が面白いから」（20.6%）の順となっている。

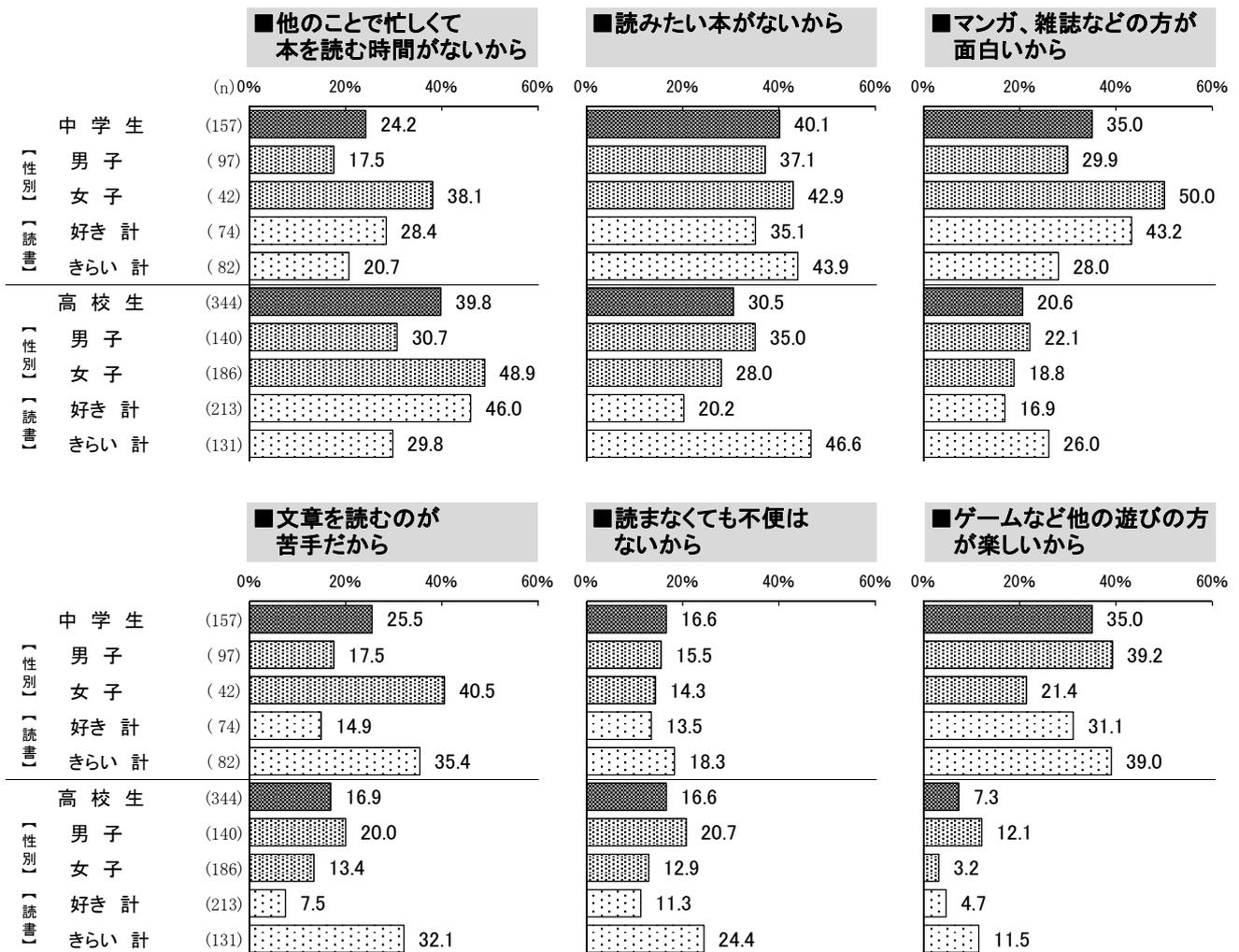
【 中学生・高校生 】



《 『書籍・絵本』を読まない理由—学年・性別／読書が好きかどうか 》

書籍・絵本を読まない理由について性別でみると、中学生は「他のことで忙しくて本を読む時間がないから」、「読みたい本がないから」、「マンガ、雑誌などの方が面白いから」、「文章を読むのが苦手だから」などは男子より女子で回答が多く、「ゲームなど他の遊びの方が楽しいから」は女子より男子で回答が多くなっている。高校生は「他のことで忙しくて本を読む時間がないから」は中学生と同様に男子より女子で回答が多いが、その他の項目は女子より男子で回答が多くなっている。

読書が好きかどうかでみると、中学生、高校生ともに読書が好きな生徒は読書がきれいな生徒に比べて「他のことで忙しくて本を読む時間がないから」の回答が多くなっている。他方、読書がきれいな生徒は読書が好きな生徒に比べて「文章を読むのが苦手だから」の回答が多く、特にその差が大きくなっている。また、読書がきれいな生徒は「読みたい本がないから」、「読まなくても不便はないから」、「ゲームなど他の遊びの方が楽しいから」などの項目も読書が好きな生徒に比べて回答が多くなっている。

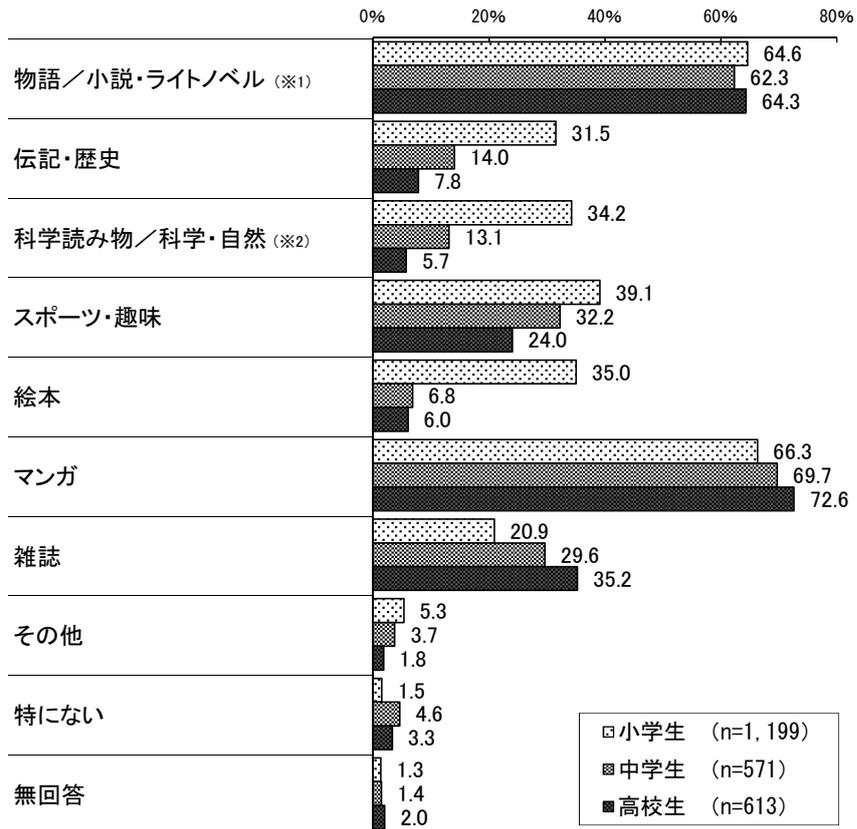


(9) 好きな本の分野・ジャンル（複数回答）

[小学生:問7][中学生:問8]

好きな本の分野・ジャンルについて小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、小学生、中学生及び高校生ともに「マンガ」が6割～7割台で最も多く、次いで「物語／小説・ライトノベル」が6割台となっている。3番目は「スポーツ・趣味」が小学生が4割、中学生が3割、高校生は「雑誌」が3割台半ばとなっている。「伝記・歴史」、「科学読み物／科学・自然」、「スポーツ趣味」などは学年が低いほど回答が多い傾向であり、他方、「マンガ」、「雑誌」は学年が上がるほど回答が多い傾向となっている。

【 小学生・中学生・高校生 】



※1 調査票上の選択肢：小学生＝「物語」、中学生＝「小説・ライトノベル」

※2 調査票上の選択肢：小学生＝「科学読み物」、中学生＝「科学・自然」

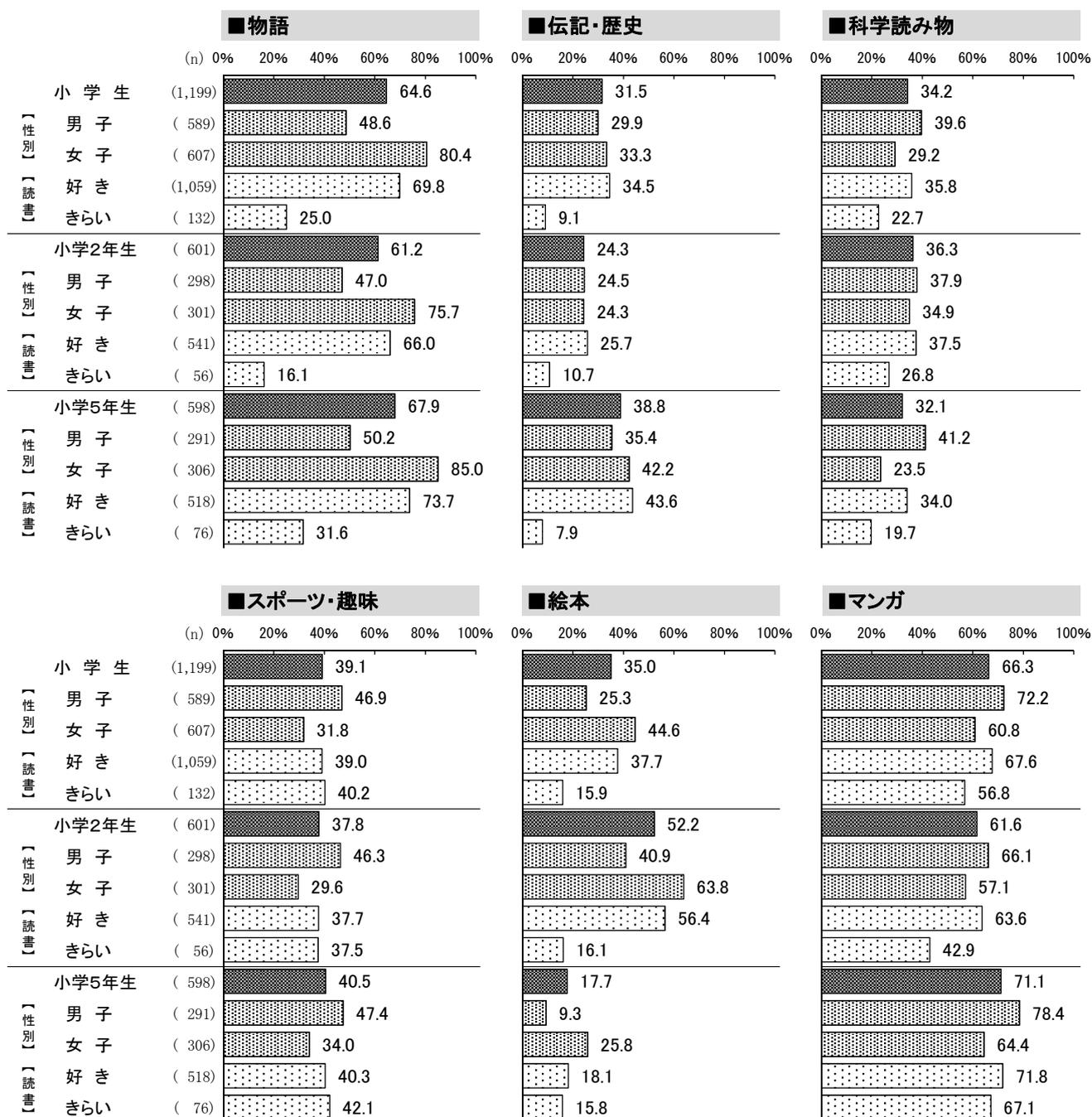
《好きな本の分野・ジャンルー学年・性別／読書が好きかどうか》

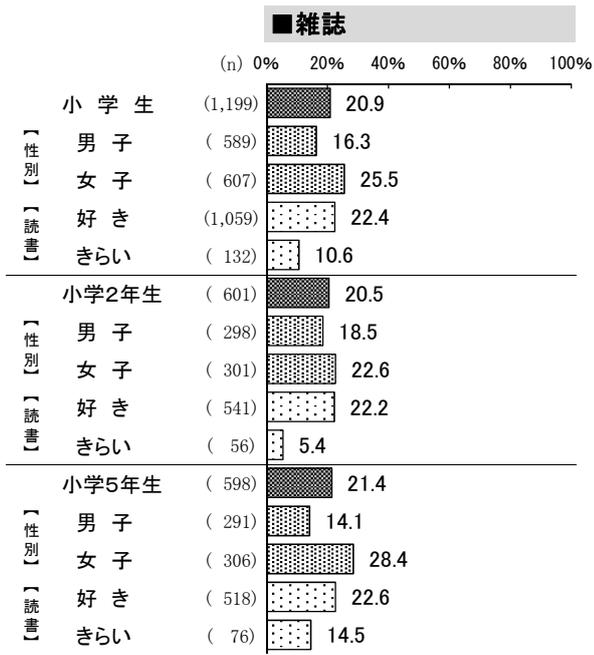
好きな本の分野・ジャンルについて小学生の学年別で見ると、2年生は5年生より「科学読み物」、「絵本」の回答が多く、5年生は2年生より「物語」、「伝記・歴史」「マンガ」の回答が多くなっている。

性別で見ると、2年生、5年生ともに「物語」、「絵本」、「雑誌」は男子より女子の回答が多く、「科学読み物」、「スポーツ・趣味」、「マンガ」は女子より男子で回答が多い傾向となっている。

読書が好きかどうかで見ると、「スポーツ・趣味」を除く各分野・ジャンルについては、読書が好きな児童は読書がきらいな児童に比べて回答が多くなっている。「スポーツ・趣味」は読書が好きかどうかで大きな差はみられない。

【小学生】

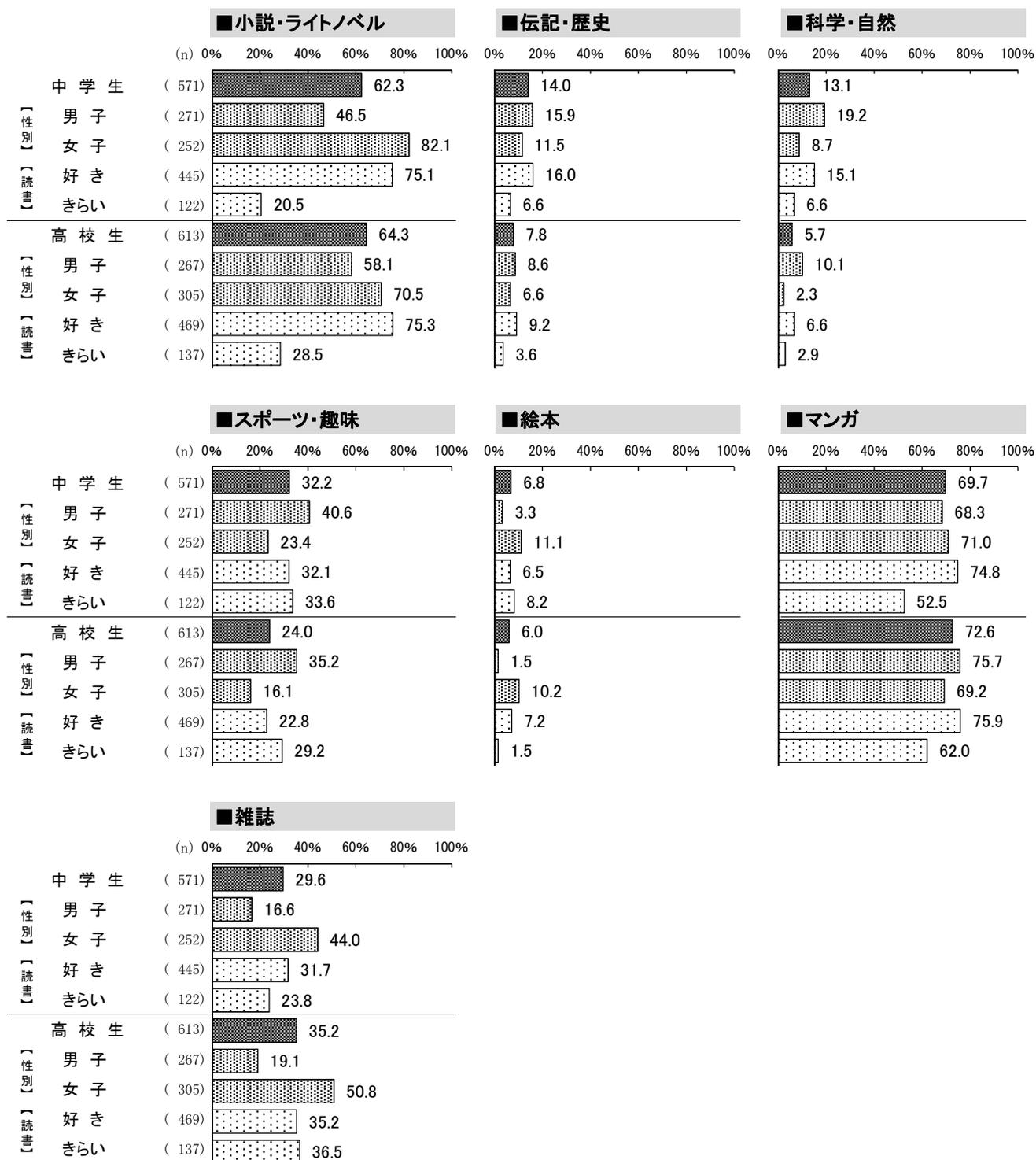




好きな本の分野・ジャンルについて中学生及び高校生の性別でみると、中学生、高校生ともに「小説・ライトノベル」、「雑誌」は男子より女子で回答が多く、「科学・自然」、「スポーツ・趣味」は女子より男子で回答が多くなっており、小学生とほぼ同様の傾向となっている。「マンガ」は小学生では男子で回答が多いが、中学生、高校生では性別による差は比較的小さい。

読書が好きかどうかでみると、「小説・ライトノベル」は読書が好きな生徒は読書がきらいな生徒と比べて回答が多く、その差が比較的大きい。「マンガ」も読書が好きな生徒の方が回答が多くなっており。他方、「スポーツ・趣味」、「雑誌」は読書が好きかどうかによる差は比較的小さい。

【 中学生・高校生 】



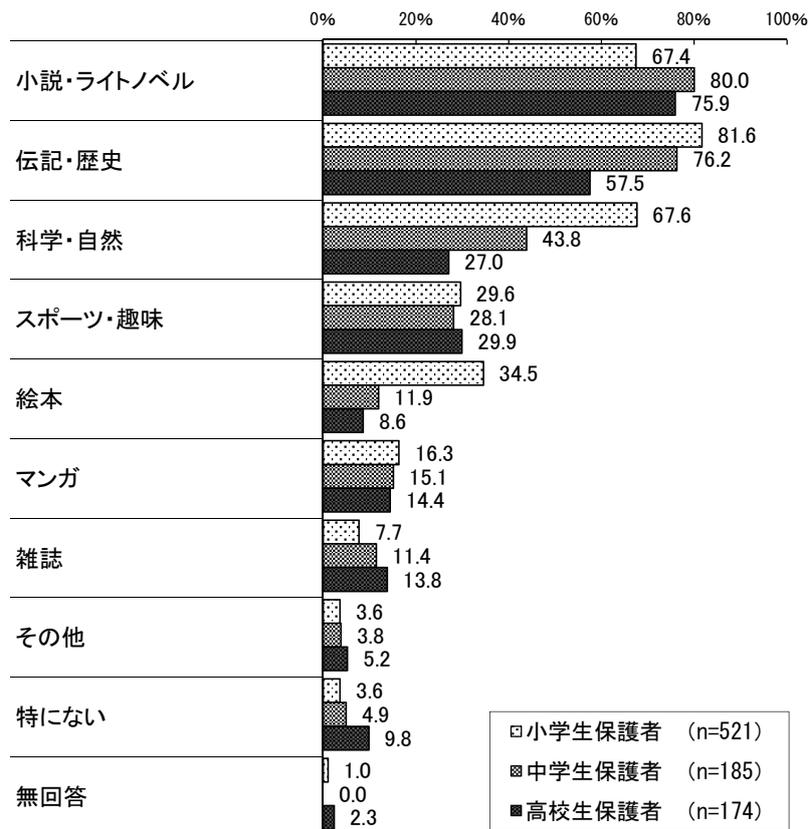
(10) 子どもに読んでほしい本の分野・ジャンル（複数回答）

〔保護者：問15〕

子どもに読んでほしい本の分野・ジャンルについて保護者にたずねたところ、小学生の保護者は「伝記・歴史」（81.6％）が最も多く、「科学・自然」（67.6％）、「小説・ライトノベル」（67.4％）の順となっている。中学生の保護者は「小説・ライトノベル」（80.0％）、「伝記・歴史」（76.2％）、「科学・自然」（43.8％）の順となっており、高校生の保護者は「小説・ライトノベル」（75.9％）、「伝記・歴史」（57.5％）、「スポーツ・趣味」（29.9％）の順となっている。

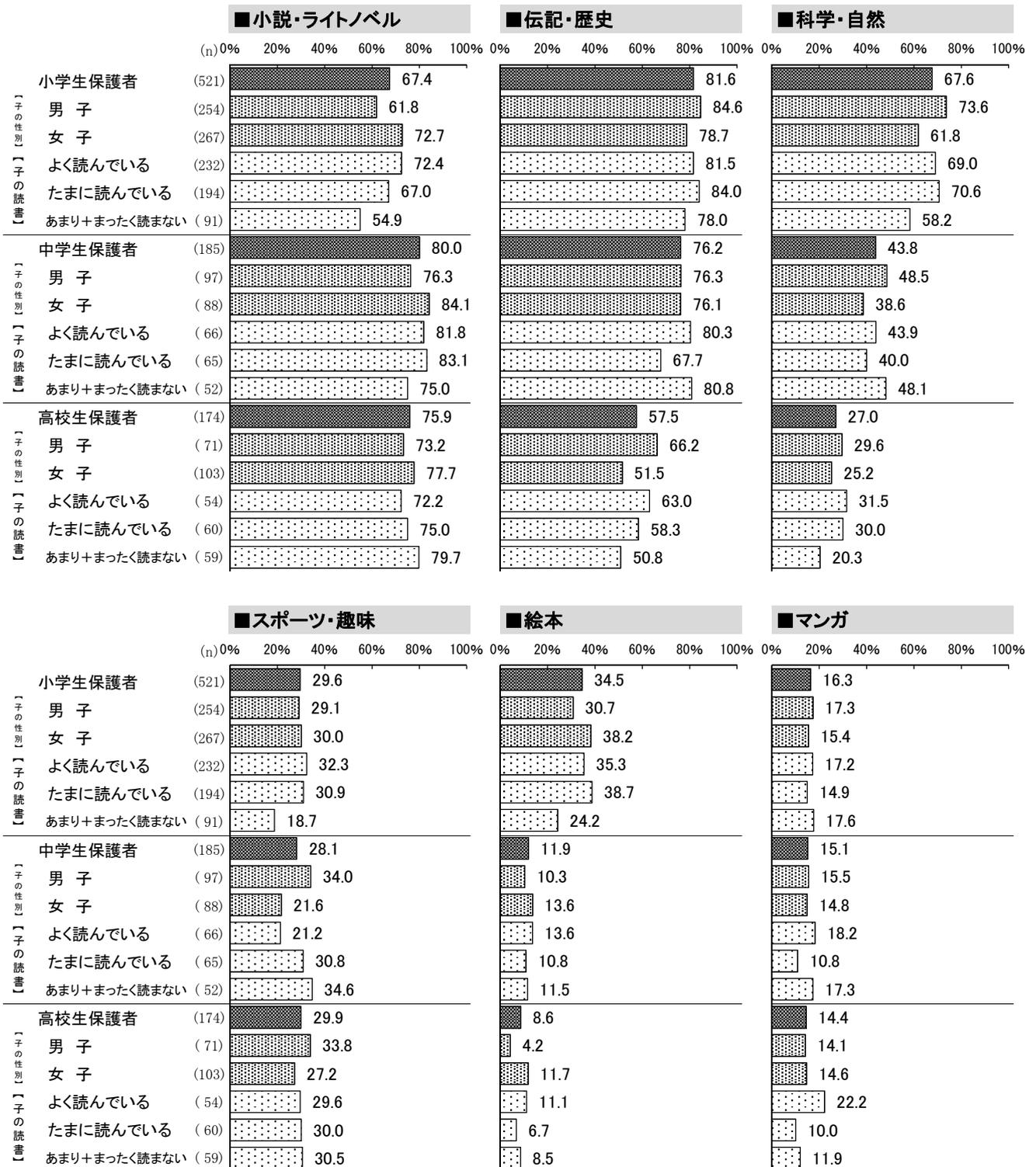
前述の児童・生徒本人とで比較すると、「（物語）小説・ライトノベル」は児童・生徒と保護者に共通して回答が多いが、保護者で回答の多い「伝記・歴史」は児童・生徒では少なく、保護者で回答の少ない「マンガ」や「雑誌」は児童・生徒では回答が多くなっている。

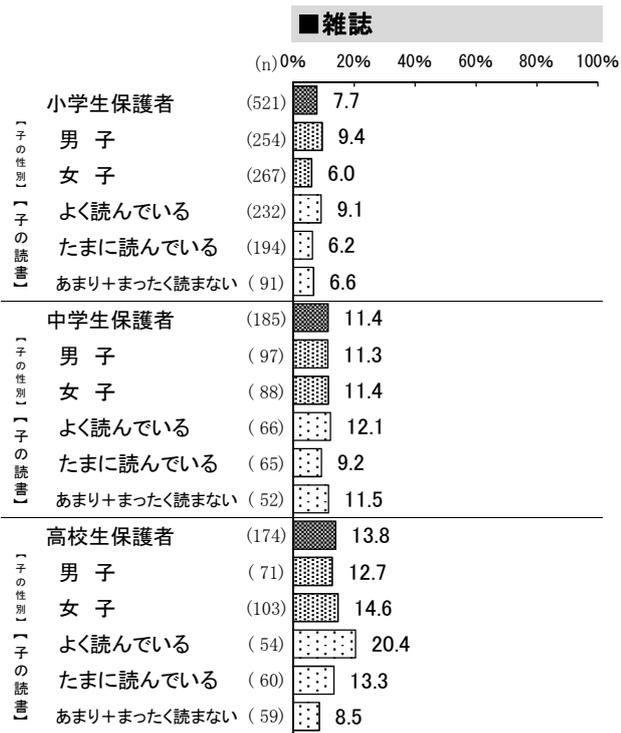
【 保護者からみた子どもの状況 】



《 子どもに読んでほしい本の分野・ジャンル—子どもの学年・性別／子どもの読書程度別》

子どもに読んでほしい本の分野・ジャンルについて子どもの性別でみると、男子より女子の保護者で「小説・ライトノベル」が、女子より男子の保護者で「伝記・歴史」、「科学・自然」、「スポーツ・趣味」などの回答が多い傾向であるが、前述の児童・生徒本人の性別による差に比べて子どもの性別による保護者の回答の差は小さい。

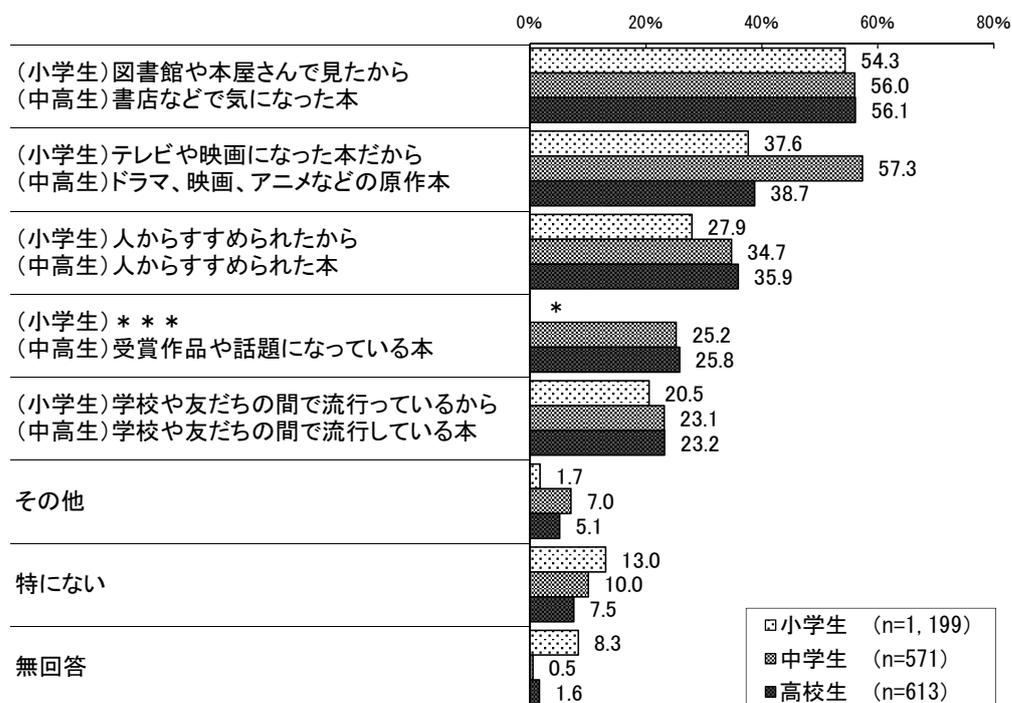




(11) 本を読むきっかけ／本を読むきっかけとなる本（複数回答） [小学生:問8][中学生:問9]

本を読むきっかけについて小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、小学生、中学生及び高校生の回答の傾向は似ており、小学生では「図書館や本屋さんで見たから」（54.3%）、中学生及び高校生では「書店などで気になった本」（各々 56.0%、56.1%）が半数を越えて多く、「ドラマ、映画、アニメなどの原作本」、「人からすすめられたから／人からすすめられた本」が次いでいる。なお、中学生は「ドラマ、映画、アニメなどの原作本」（57.3%）が最も多くなっている。

【 小学生・中学生・高校生 】



図中「*」… 選択肢無し

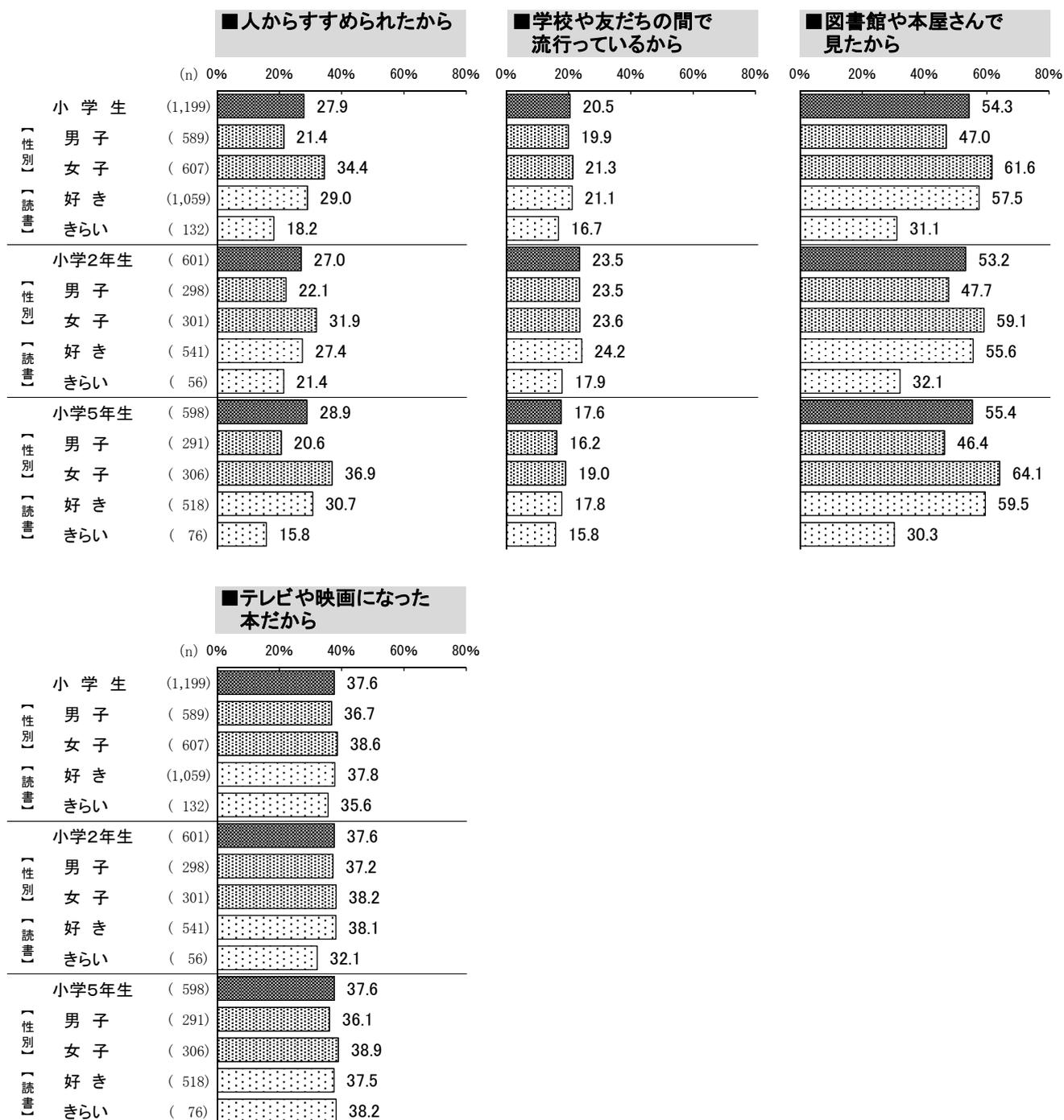
《 本を読むきっかけ／本を読むきっかけとなる本—学年・性別／読書が好きかどうか 》

本を読むきっかけについて小学生の学年別でみると、2年生と5年生とで特徴的な差はみられない。

性別でみると、2年生、5年生ともに「人からすすめられたから」、「図書館や本屋さんで見たから」は男子より女子で回答が多くなっている。「学校や友だちの間で流行っているから」、「テレビや映画になった本だから」は性別による差は小さくなっている。

読書が好きかどうかでみると、読書が好きな児童は読書がきらいな児童に比べて「人からすすめられたから」、「図書館や本屋さんで見たから」の回答が多くなっており、「学校や友だちの間で流行っているから」、「テレビや映画になった本だから」は読書が好きかどうかによる差は小さくなっている。

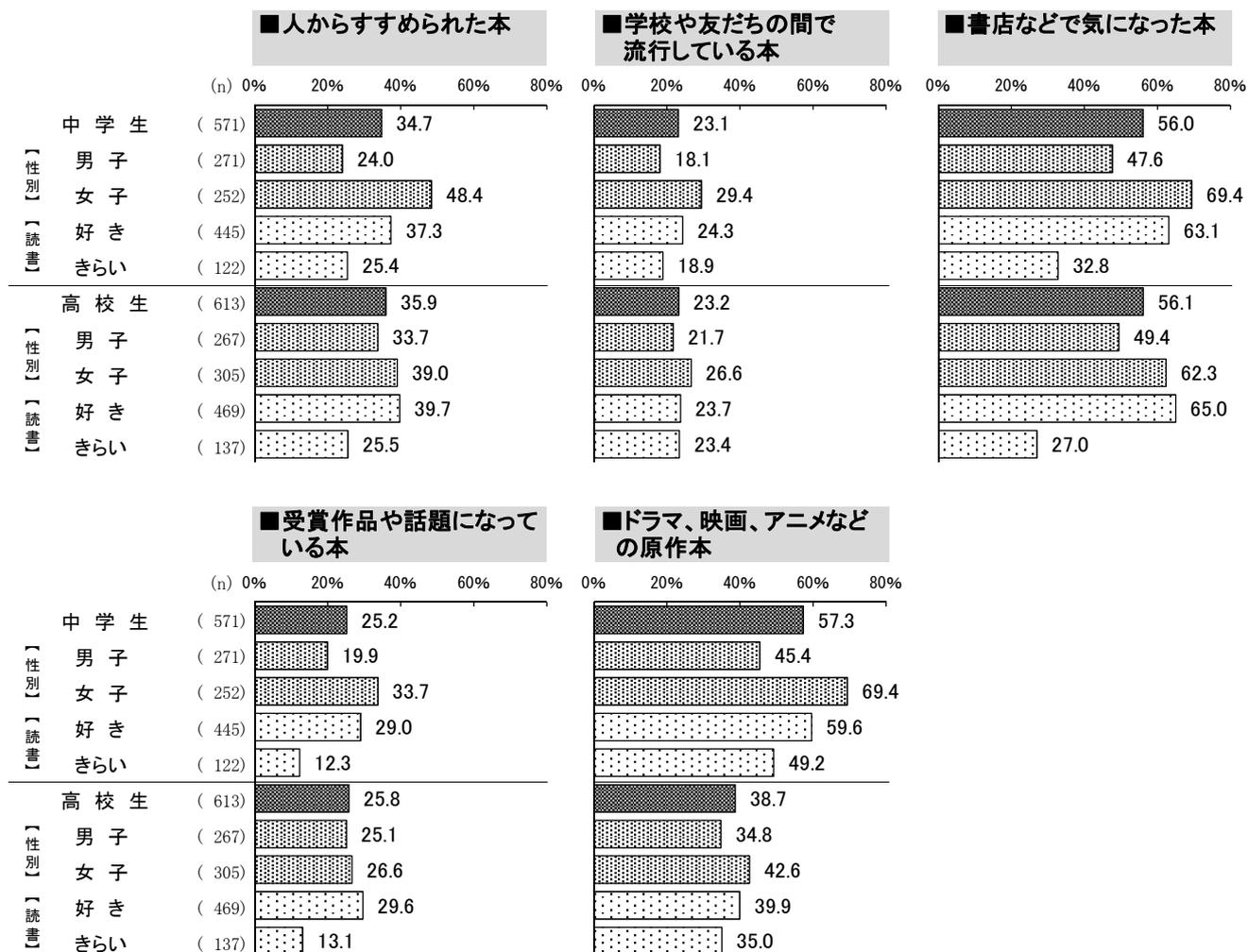
【 小学生 】



本を読むきっかけについて性別で見ると、中学生と高校生に共通していずれの項目も男子より女子の回答が多い傾向となっており、中学生は高校生に比べてその差が大きくなっている。

読書が好きかどうかで見ると、いずれの項目も読書が好きな生徒は読書がきらいな生徒より回答が多くなっており、「書店などで気になった本」はその差が大きくなっている。

【 中学生・高校生 】

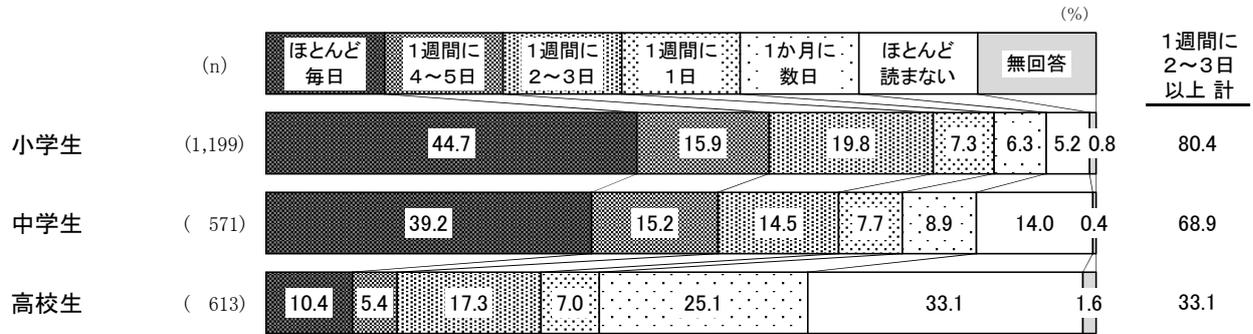


(12) 読書頻度

[小学生:問12][中学生:問12]

読書頻度について小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、「ほとんど毎日」は小学生(44.7%)は4割台半ば、中学生(39.2%)は4割、高校生(10.4%)は1割となっている。高校生は「1か月に数日」(25.1%)と「ほとんど読まない」(33.1%)で6割近くを占めている。1週間に2～3日以上のは、小学生(80.4%)は8割、中学生(68.9%)は7割近く、高校生(33.1%)は3割近くとなっており、学年が上がるにつれて読書頻度が下がる傾向となっている。

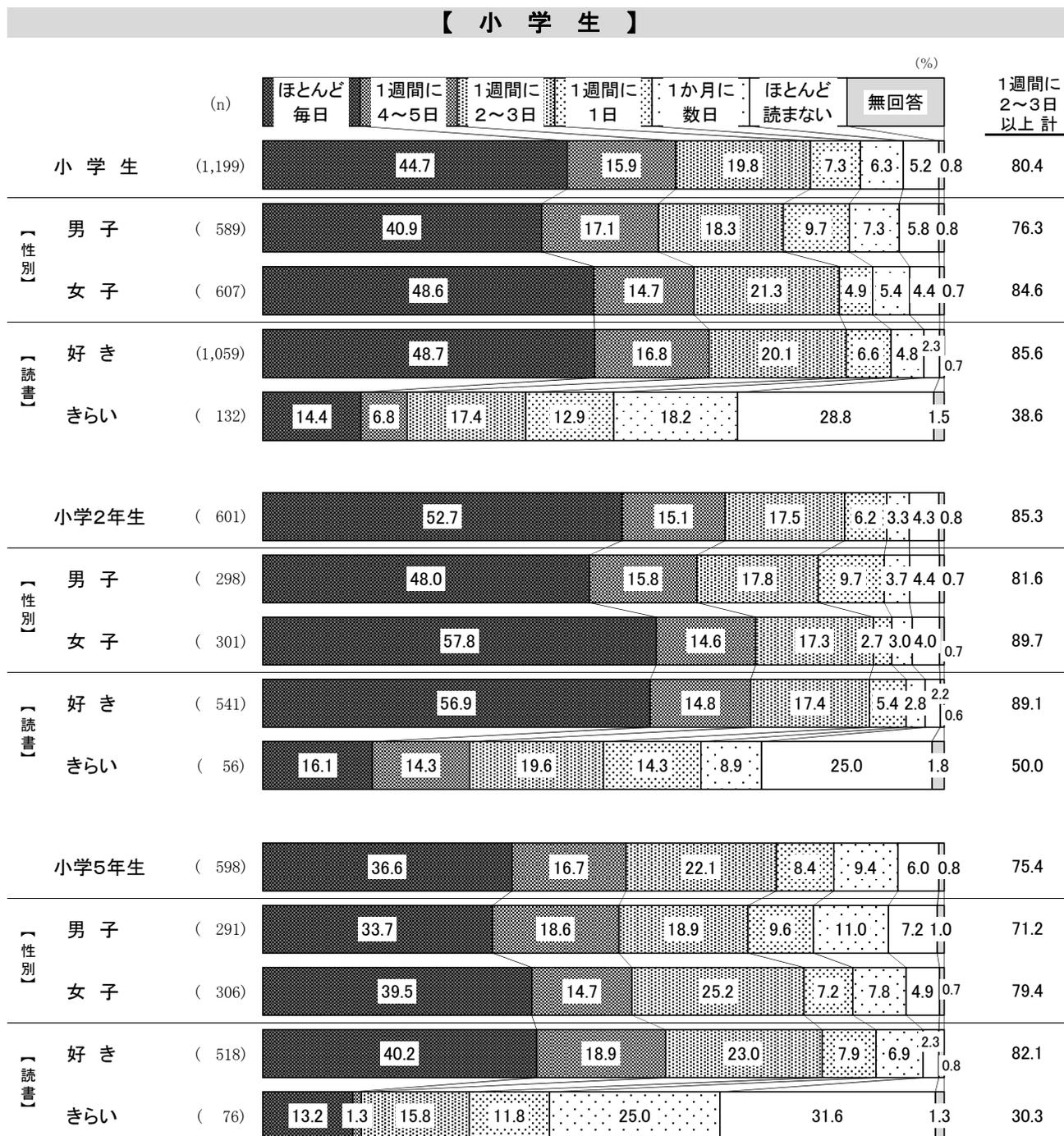
【 小学生・中学生・高校生 】



《 読書頻度－学年・性別／読書が好きかどうか 》

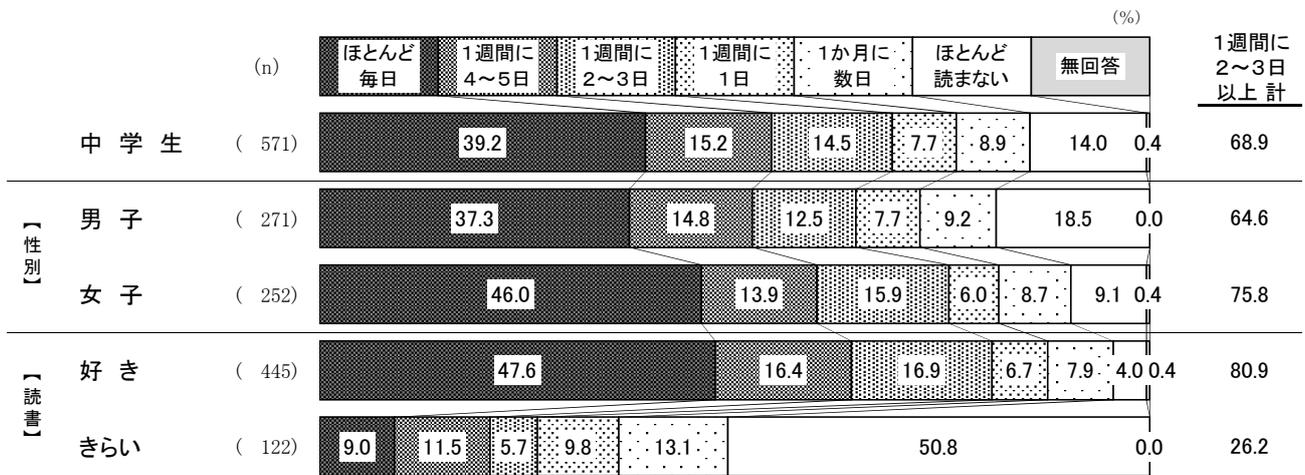
読書頻度について小学生の学年別でみると、2年生は「ほとんど毎日」(52.7%)が半数を越えている。1週間に2～3日以上は、2年生(85.3%)は8割台半ば、5年生(75.4%)は7割台半ばとなっている。

性別でみると、2年生、5年生ともに男子より女子の方が読書頻度が高くなっている。

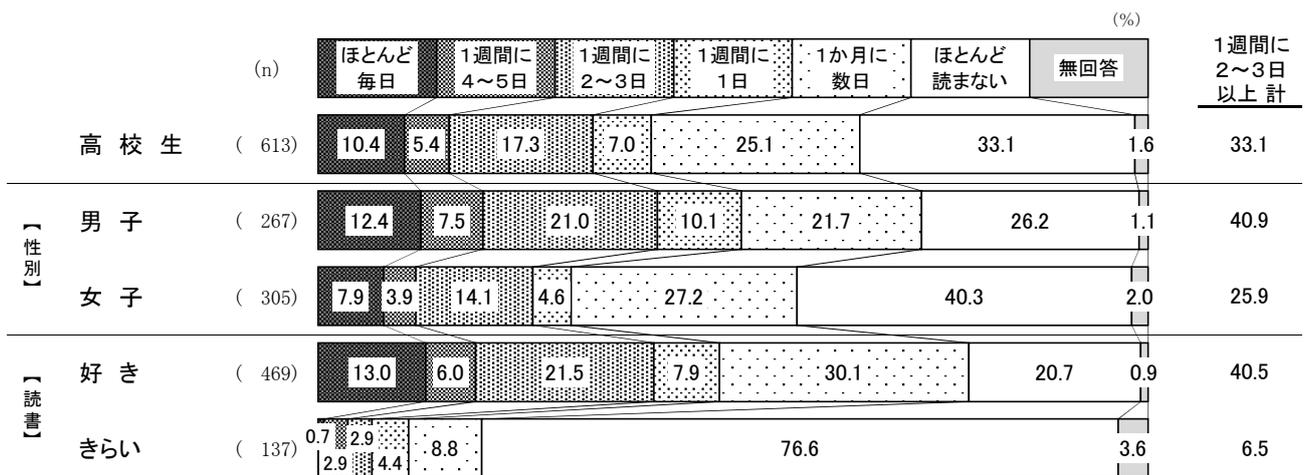


中学生及び高校生の性別でみると、中学生は男子より女子の読書頻度が高く、高校生は女子より男子の読書頻度が高くなっている。

【 中 学 生 】



【 高 校 生 】

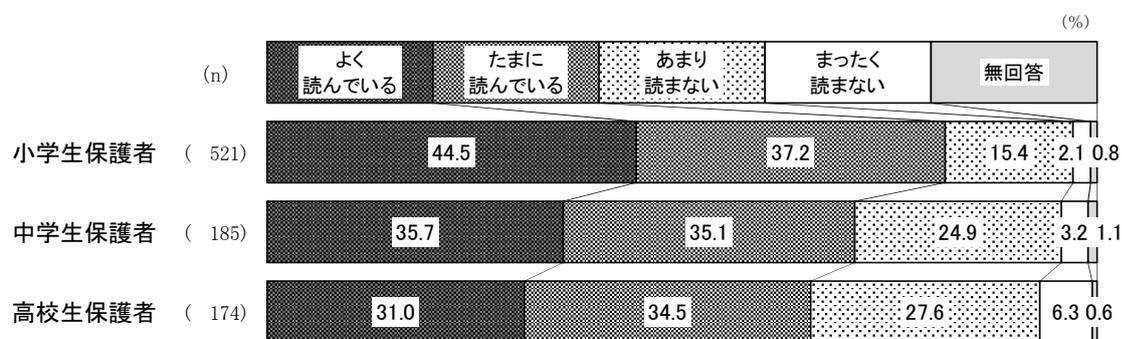


(13) 保護者からみた子どもの読書の程度

〔保護者：問6〕

子どもの読書の程度について保護者にたずねたところ、「よく読んでいる」は小学生の保護者（44.5%）は4割台半ば、中学生の保護者（35.7%）は3割台半ば、高校生の保護者（31.0%）は3割近くと子どもの学年が上がるにつれて読書頻度が下がっており、前述の児童・生徒自身の回答と同様の傾向となっている。

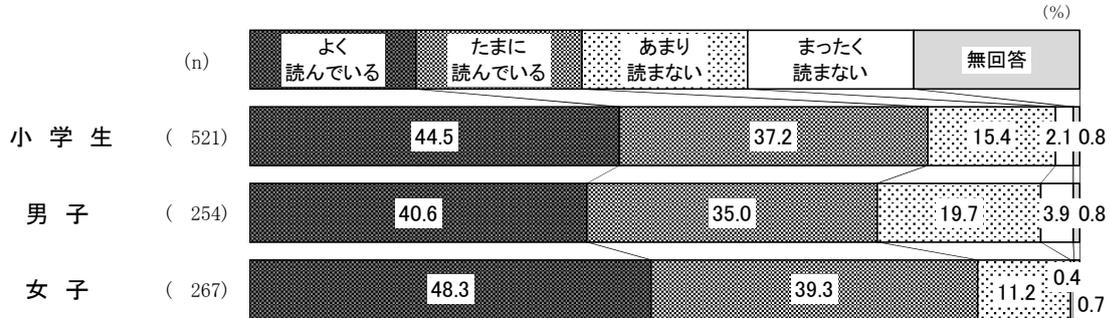
【 保護者からみた子どもの状況 】



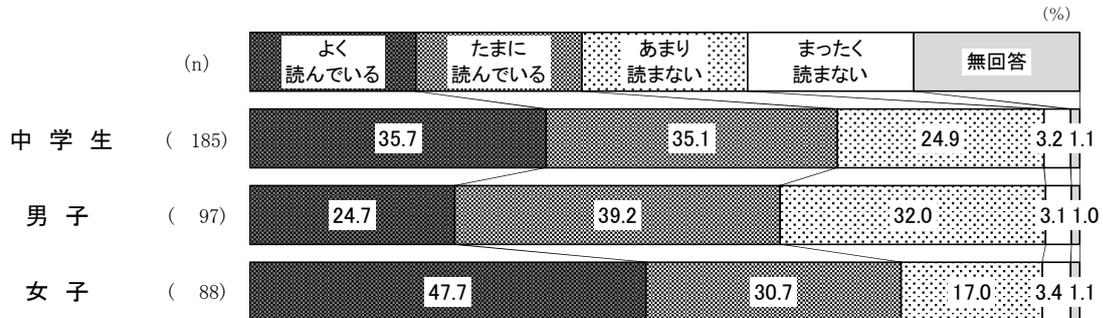
《 保護者からみた子どもの読書の程度－学年・性別 》

子どもの性別で見ると、小学生及び中学生は男子より女子の保護者の方が子どもが本を読んでいると回答する割合が多く、高校生は女子より男子の保護者の方が子どもが本を読んでいると回答する割合が多くなっており、前述の生徒自身の回答と同様の傾向となっている。

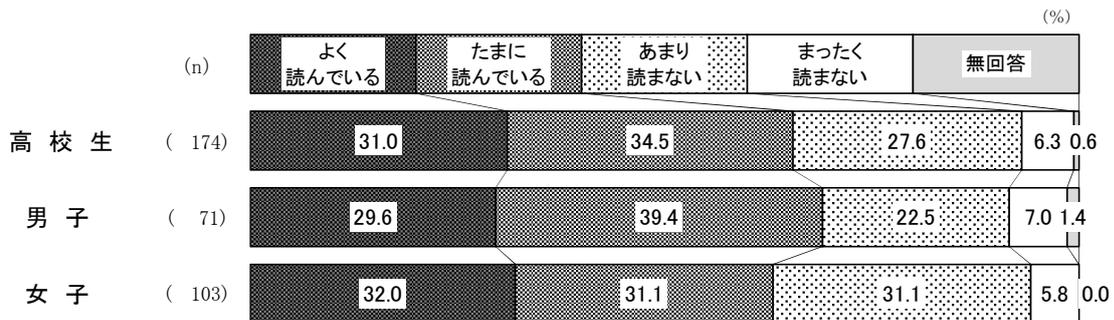
【 小学生保護者 】



【 中学生保護者 】



【 高校生保護者 】

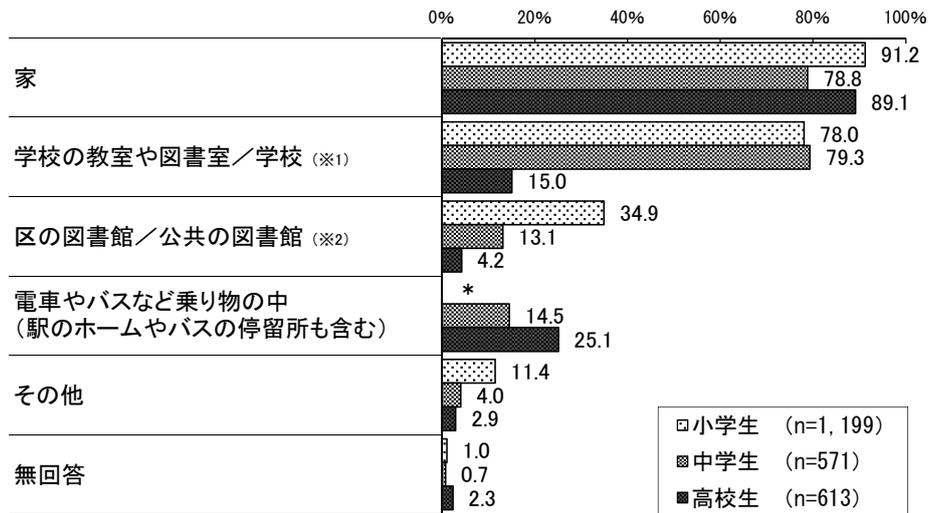


(14) 読書をする場所（複数回答）

[小学生:問13][中学生:問13]

読書をする場所について小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、小学生、中学生及び高校生ともに「家」が8～9割と最も多くなっている。小学生及び中学生は「学校の教室や図書室／学校」（各々 78.0%、79.3%）が次いでいるが、高校生は「学校」（15.0%）は1割台半ばと小学生や中学生と比べて少なく、高校生は「電車やバスなどの乗り物の中（駅のホームやバスの停留所も含む）」（25.1%）が2番目に多くなっている。「公共の図書館」は小学生（34.9%）は3割台半ば、中学生（13.1%）は1割近く、高校生（4.2%）は1割未満となっている。

【小学生・中学生・高校生】

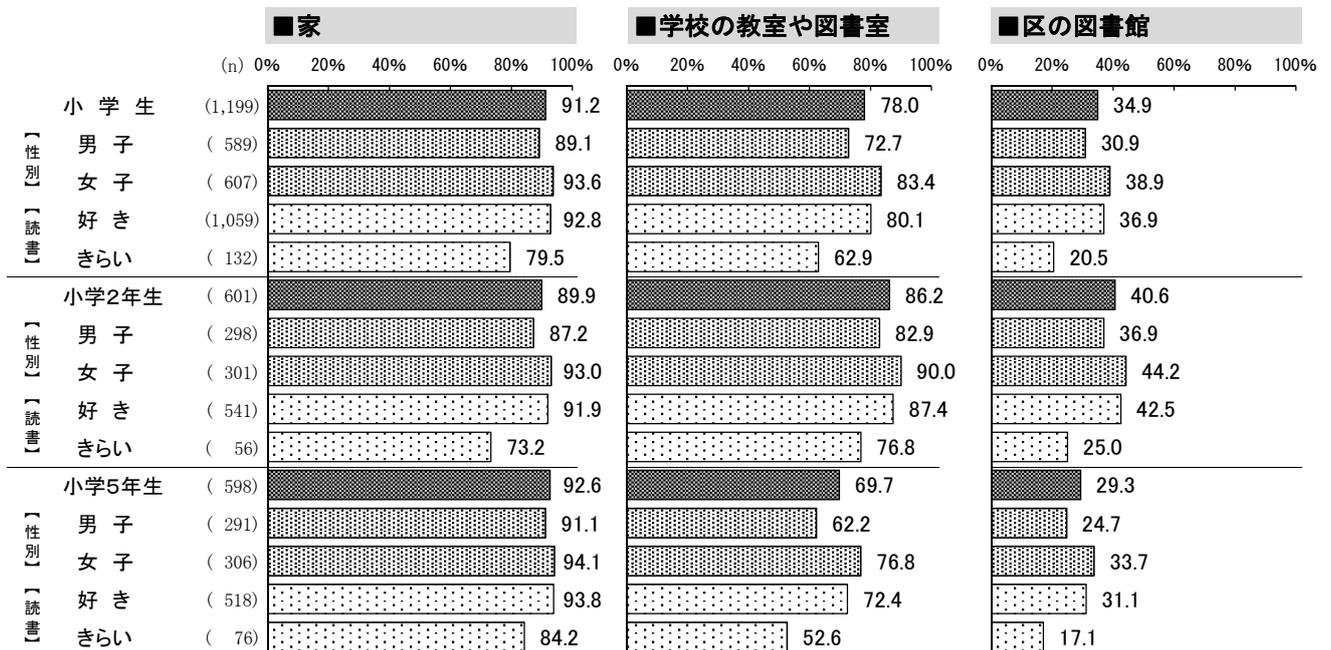


※1 調査票上の選択肢：小学生＝「学校の教室や図書室」、中学生＝「学校」
 ※2 調査票上の選択肢：小学生＝「区の図書館」、中学生＝「公共の図書館」
 図中「*」… 選択肢無し

《 読書をする場所－学年・性別／読書が好きかどうか 》

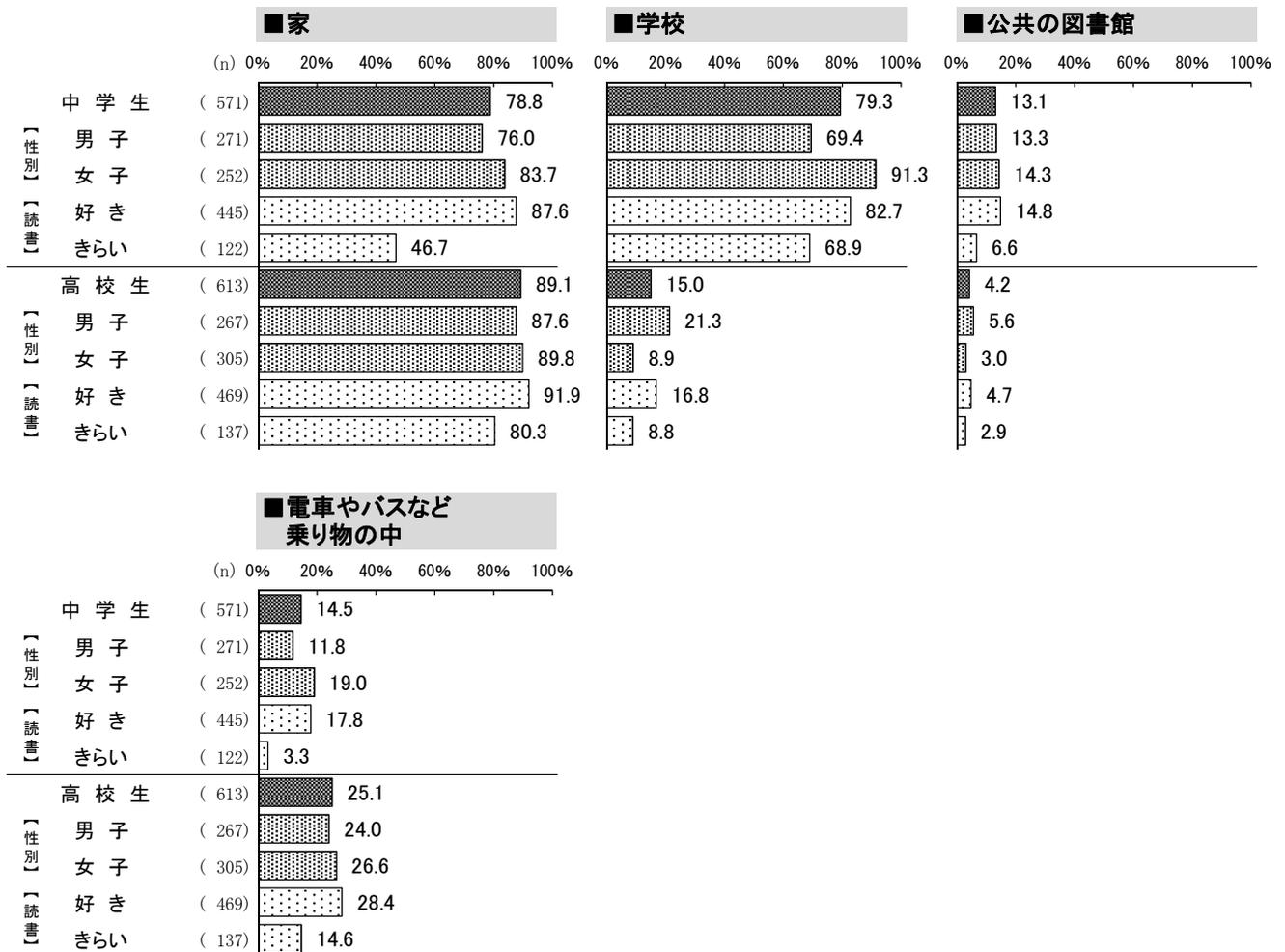
読書をする場所について小学生の学年別でみると、「学校の教室」や「区の図書館」は5年生より2年生で回答が多くなっている。

【小学生】



中学生及び高校生の性別で見ると、中学生は各場所ともに男子より女子の回答が多くなっており、高校生は「学校」は女子より男子の回答が多くなっている。

【 中学生・高校生 】

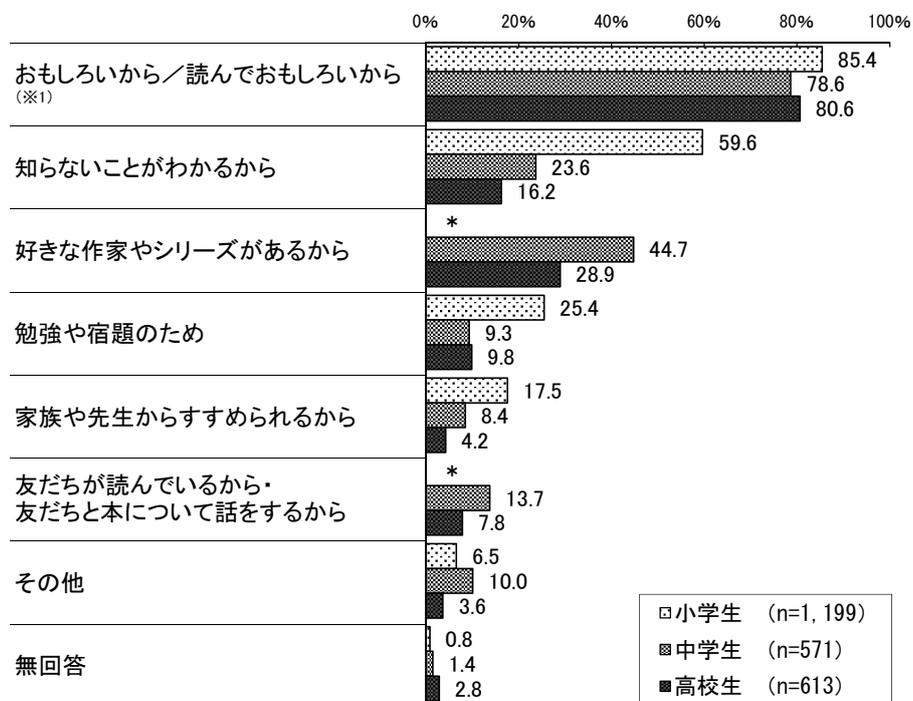


(15) 読書をする理由（複数回答）

〔小学生：問14〕〔中学生：問14〕

読書をする理由について小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、小学生、中学生及び高校生ともに「おもしろいから／読んでおもしろいから」が8割前後で最も多くなっている。次いで、小学生は「知らないことがわかるから」が6割、中学生及び高校生は「好きな作家やシリーズがあるから」が各々4割半ば、3割近くとなっている。

【 小学生・中学生・高校生 】



※1 調査票上の選択肢：小学生＝「おもしろいから」、中学生＝「読んでおもしろいから」
 図中「*」… 選択肢無し

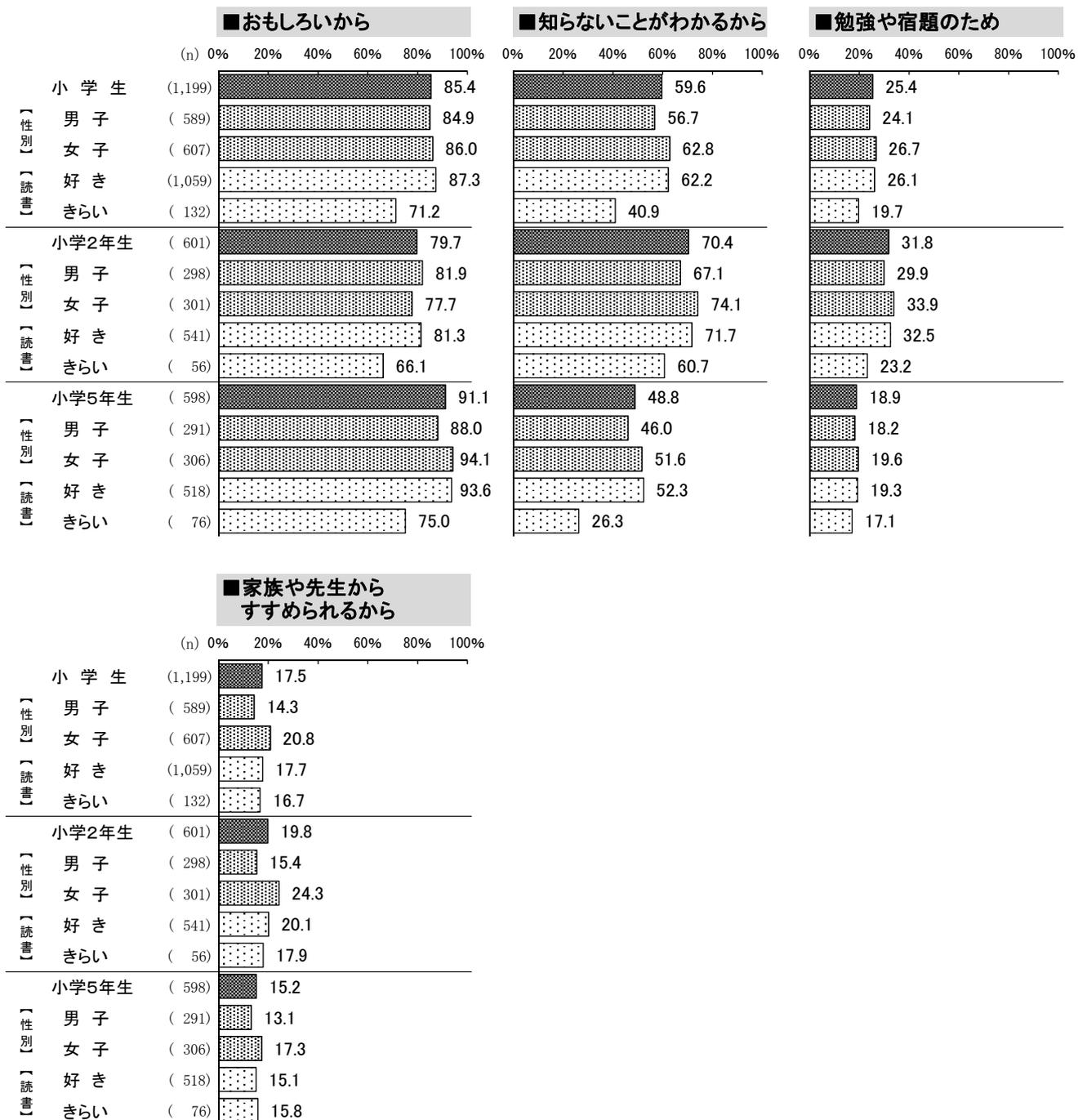
《 読書をする理由—学年・性別／読書が好きかどうか 》

読書をする理由について小学生の学年別で見ると、「おもしろいから」は2年生より5年生、「知らないことがわかるから」、「勉強や宿題のため」などは5年生より2年生で回答が多くなっている。

性別で見ると、特徴的な傾向はみられない。

読書が好きかどうかで見ると、2年生、5年生ともに読書が好きな児童は読書がきらいな児童に比べて「おもしろいから」、「知らないことがわかるから」の回答が多くなっており、「勉強や宿題のため」、「家族や先生からすすめられるから」は読書が好きかどうかによる差は比較的小さくなっている。

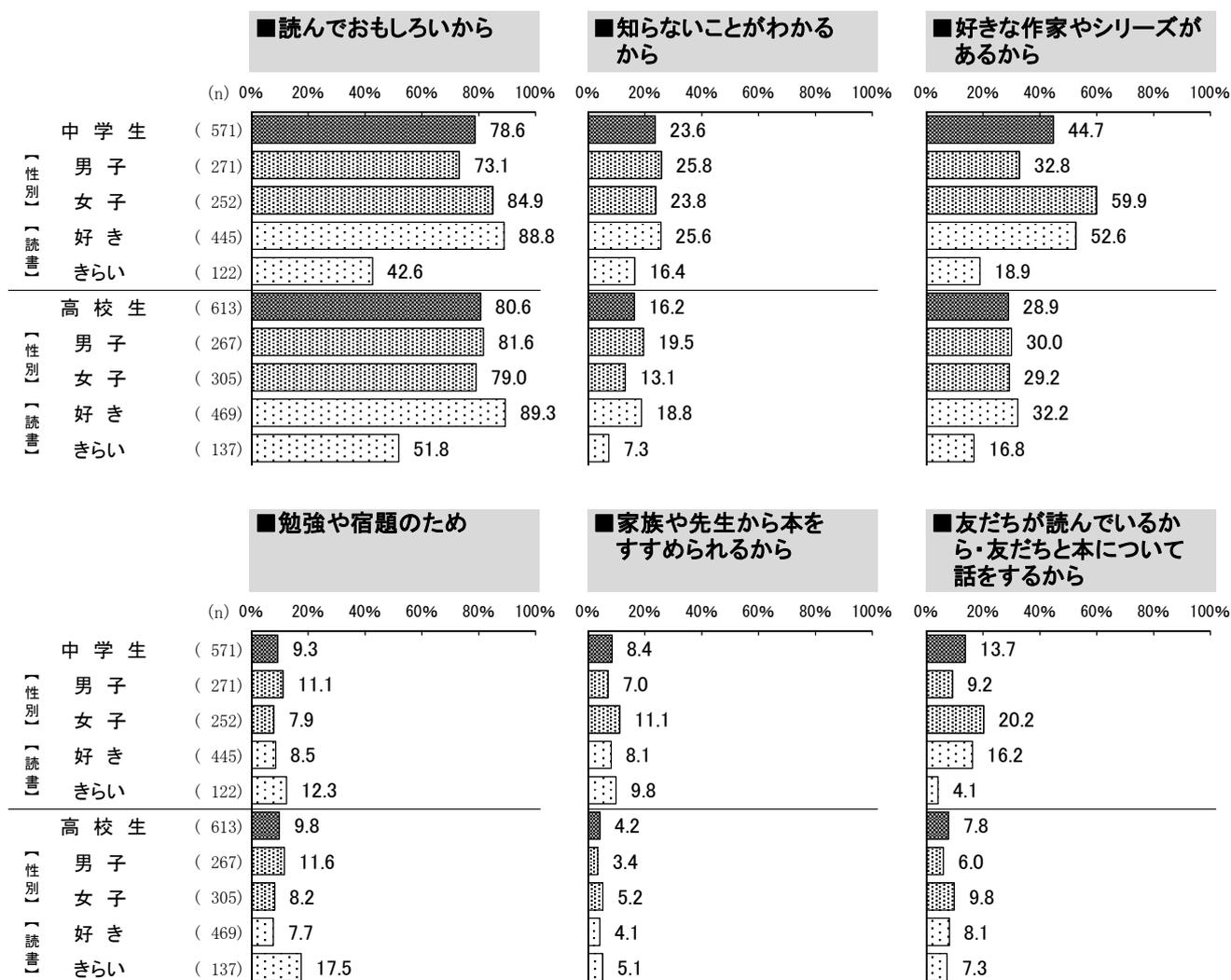
【 小学生 】



中学生及び高校生の性別でみると、中学生は「読んでおもしろいから」、「好きな作家やシリーズがあるから」、「友だちが読んでいるから・友だちと本について話をするから」などは男子より女子で回答が多くなっている。高校生は性別による差が比較的小さい。

読書が好きかどうかでみると、中学生、高校生ともに読書が好きな生徒は読書がきらいな生徒に比べて「読んでおもしろいから」、「好きな作家やシリーズがあるから」の回答が多く、その差が比較的大きい。

【 中学生・高校生 】



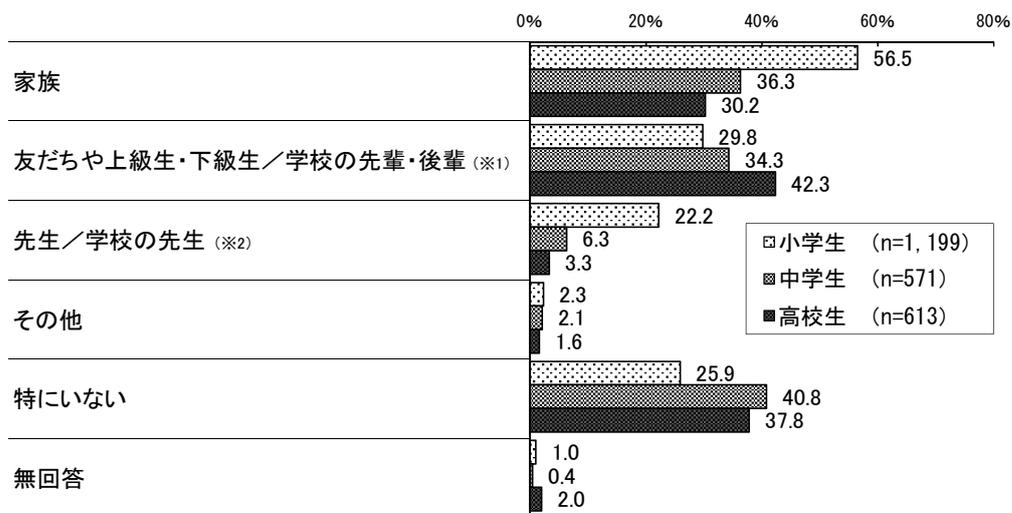
3. 読書の環境

(1) 本を選んでくれる・すすめてくれる人（複数回答）

〔小学生:問9〕〔中学生:問10〕

本を選んでくれる・すすめてくれる人について小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、小学生は「家族」（56.5%）が最も多く、「友だちや上級生・下級生」（29.8%）、「先生」（22.2%）の順となっている。中学生は「家族」（36.3%）が最も多く、「友だちや学校の先輩・後輩」（34.3%）が次いでいる。高校生は「友だちや学校の先輩・後輩」（42.3%）が最も多く、「家族」（30.2%）が次いでいる。「特にいない」は中学生（40.8%）、高校生（37.8%）と小学生（25.9%）に比べて多くなっている。

【 小学生・中学生・高校生 】



※1 調査票上の選択肢：小学生＝「友だちや上級生・下級生」、中学生＝「友だちや学校の先輩・後輩」

※2 調査票上の選択肢：小学生＝「先生」、中学生＝「学校の先生」

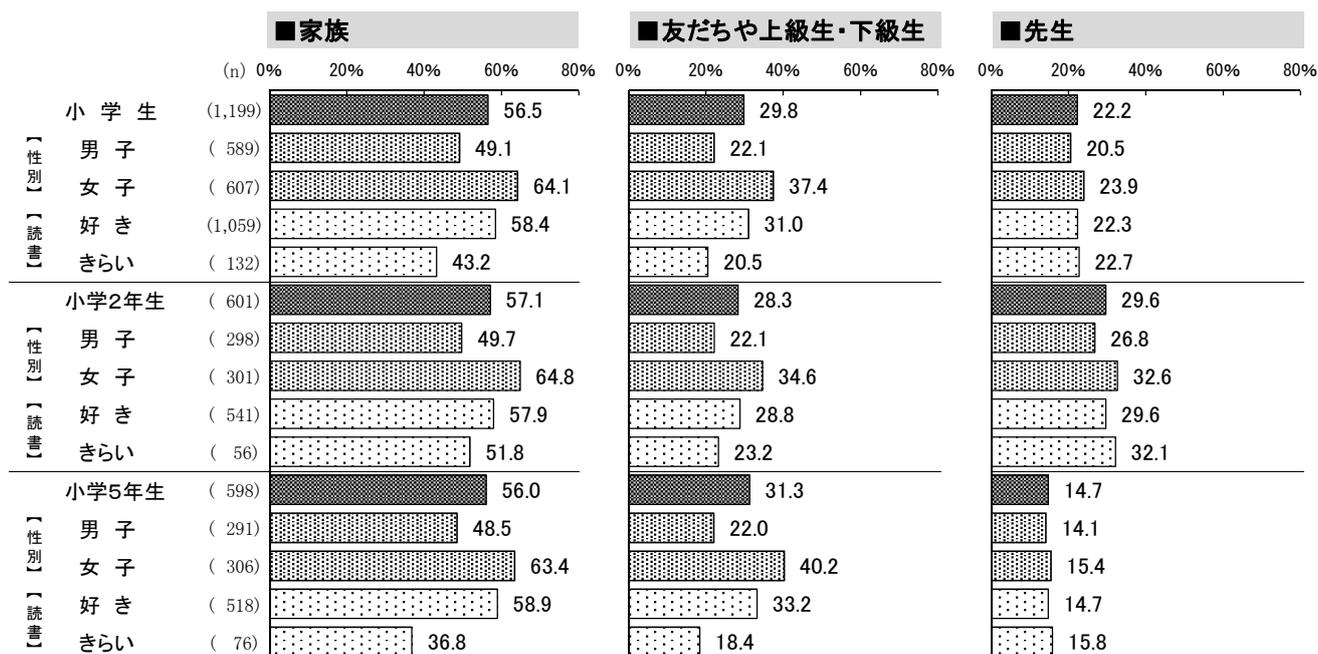
《 本を選んでくれる・すすめてくれる人—学年・性別／読書が好きかどうか 》

本を選んでくれる・すすめてくれる人について小学生の学年別でみると、「家族」、「友だちや上級生・下級生」については2年生、5年生とで大きな差はみられない。「先生」は2年生(29.6%)は5年生(14.7%)より多くなっている。

性別でみると、2年生、5年生ともに「家族」、「友だちや上級生・下級生」は男子より女子で回答が多く、「先生」は性別による差は比較的小さい。

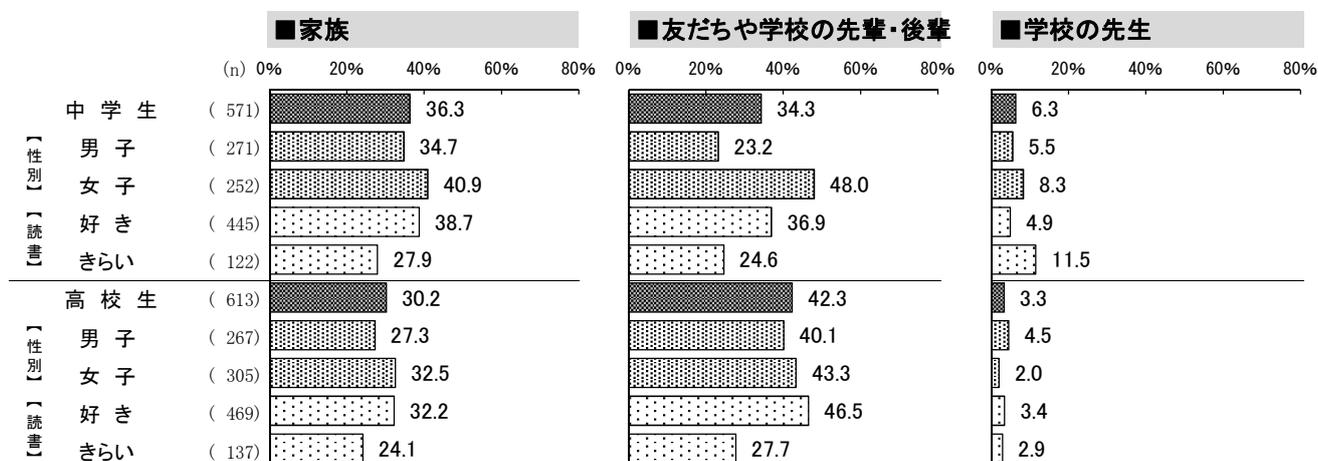
読書が好きかどうかでみると、「家族」や「友だちや上級生・下級生」は読書が好きな児童は読書がきらいな児童より回答が多く、「先生」は読書が好きかどうかによる差は比較的小さい。

【 小学生 】



中学生及び高校生の性別でみると、中学生、高校生ともに全般的に男子より女子で多くっており、中学生の「友だちや学校の先輩・後輩」でその差が比較的大きい。

【 中学生・高校生 】

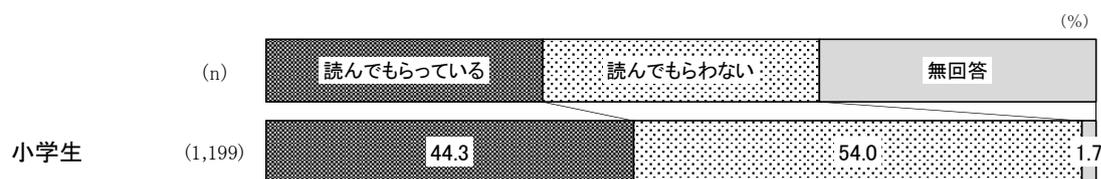


(2) 大人からの本の読み聞かせの有無

〔小学生:問10〕

大人からの本の読み聞かせの有無について小学生にたずねたところ、小学生全体で「読んでもらっている」(44.3%)が4割台半ばとなっている。

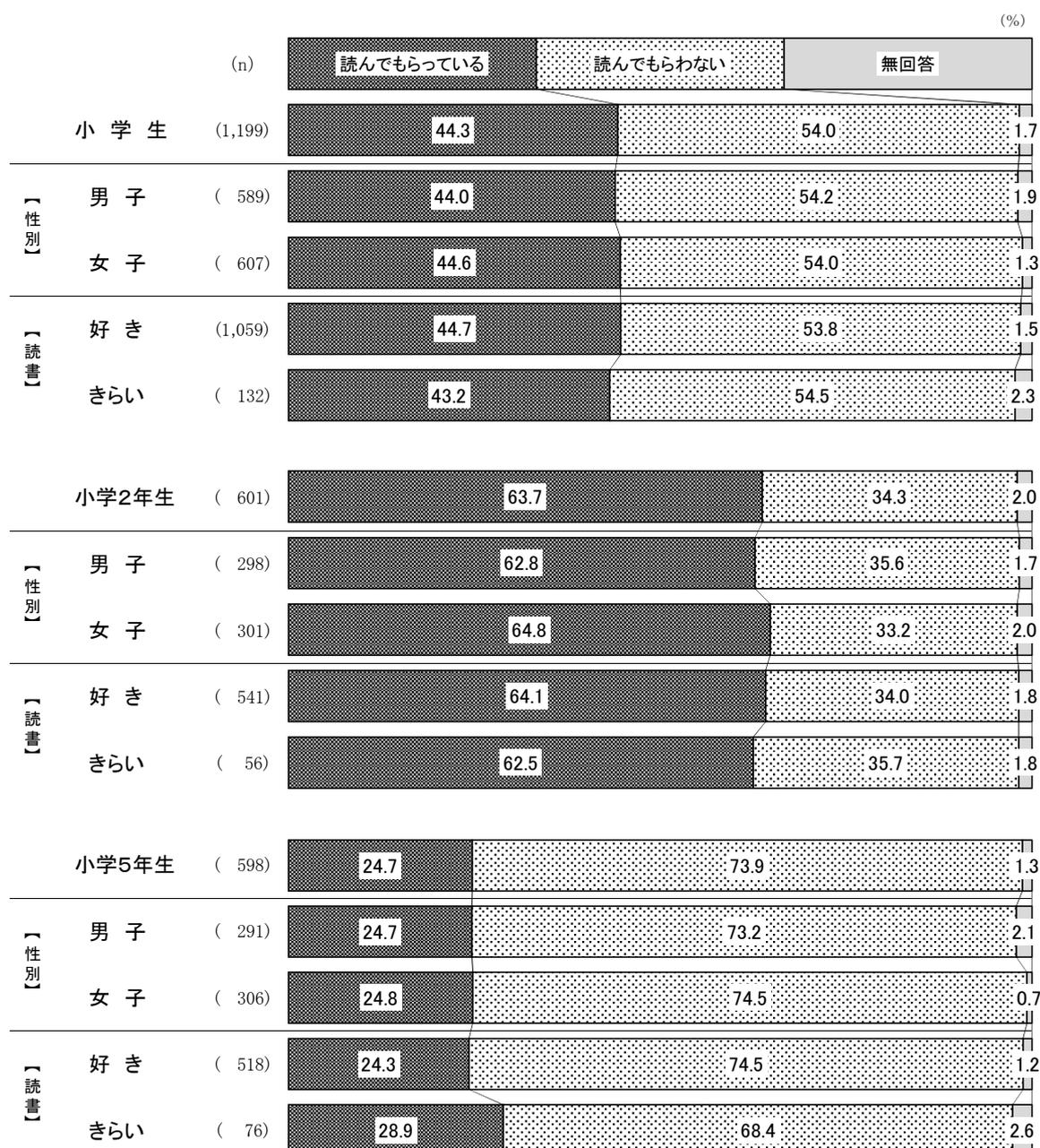
【小学生】



《大人からの本の読み聞かせの有無—学年・性別／読書が好きかどうか》

大人からの本の読み聞かせの有無について小学生の学年別でみると、「読んでもらっている」は2年生(63.7%)は6割台半ば、5年生(24.7%)は2割台半ばとなっており、5年生は2年生の半数を下回っている。

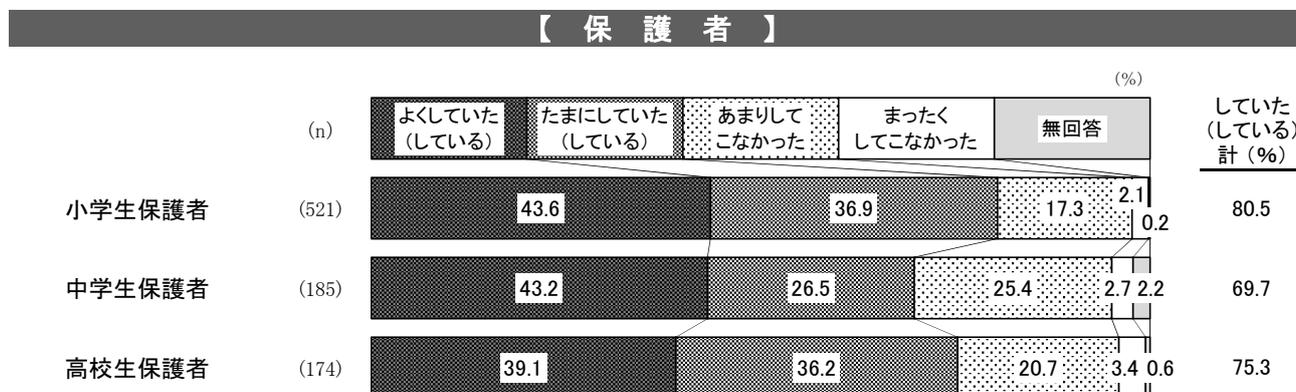
性別や読書が好きかどうかによる大きな差はみられない。



(3) 子どもへのこれまでの読み聞かせの程度

[保護者:問11]

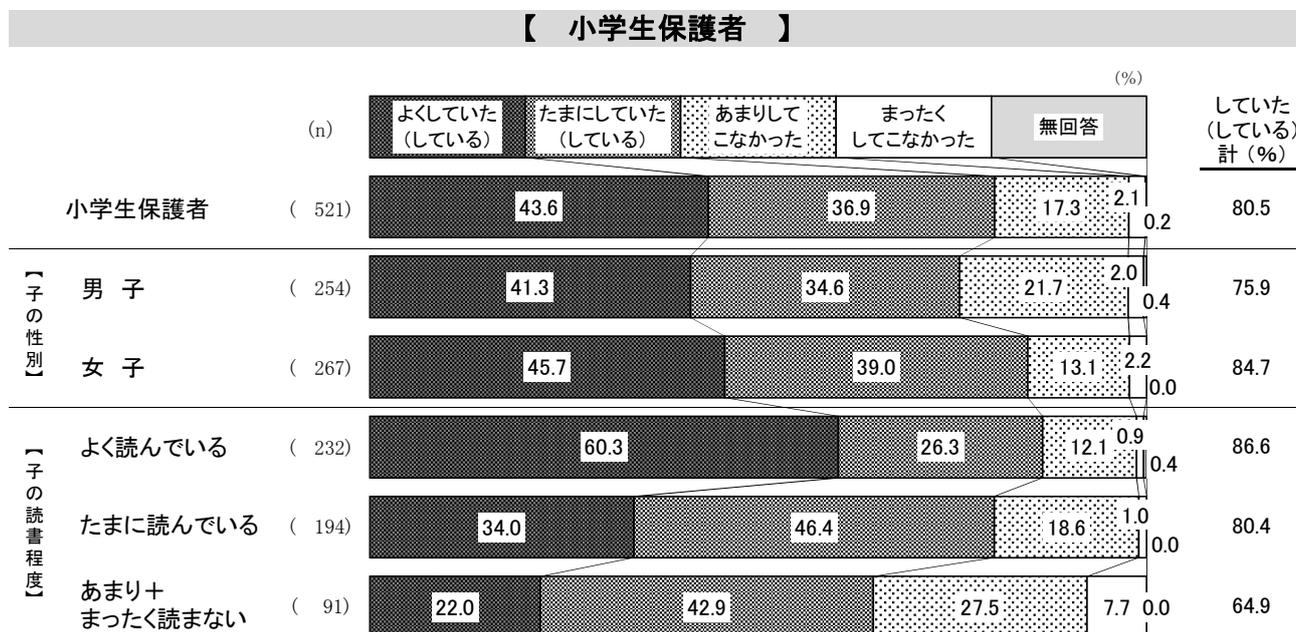
子どもへのこれまでの読み聞かせの程度について保護者にたずねたところ、「よくしていた（している）」は小学生の保護者（43.6%）、中学生の保護者（43.2%）、高校生の保護者（39.1%）と大きな差はみられない。読み聞かせをしていた（している）計（「よくしていた」＋「たまにしていた」）では小学生の保護者（80.5%）は8割、中学生の保護者（69.7%）は7割、高校生（75.3%）は7割台半ばとなっている。



《 子どもへのこれまでの読み聞かせの程度—子どもの性別／子どもの読書程度別 》

子どもへのこれまでの読み聞かせについて小学生の保護者の子どもの性別では、男子より女子の保護者の方が読み聞かせをしていた（している）とする割合が多くなっている。

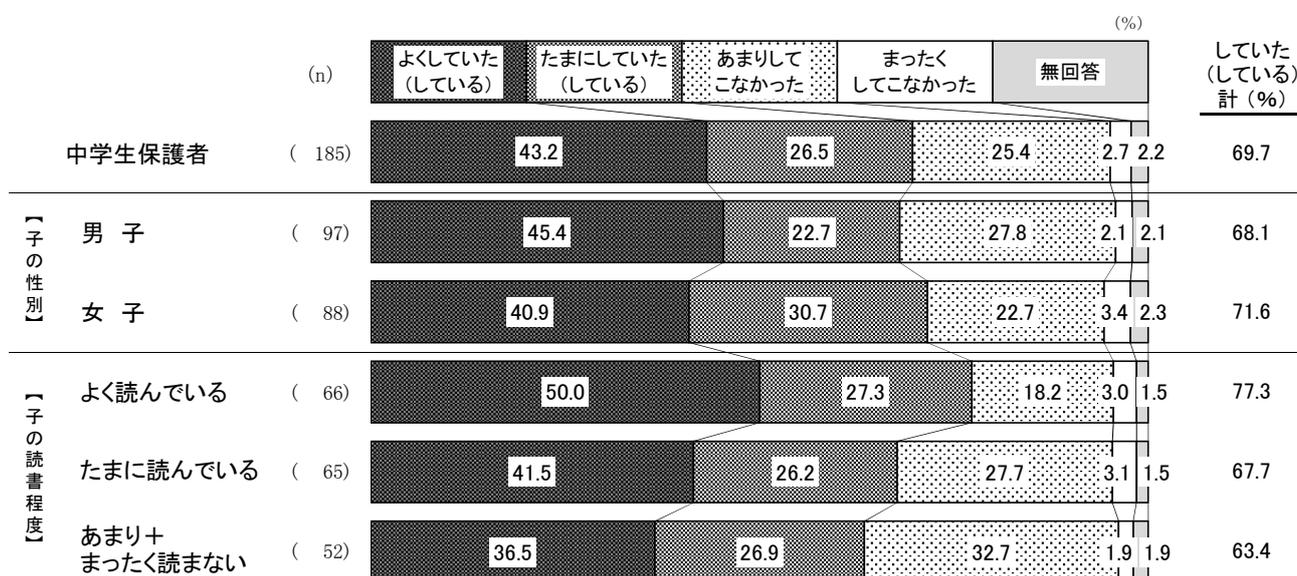
子どもの読書の程度別では、子どもがよく読んでいると思う保護者ほど読み聞かせをしていた（している）とする割合が多くなっている。



中学生の保護者の子どもの性別では、男子より女子の保護者の方が読み聞かせをしていたとする割合が多く、小学生の保護者と同様の傾向となっている。

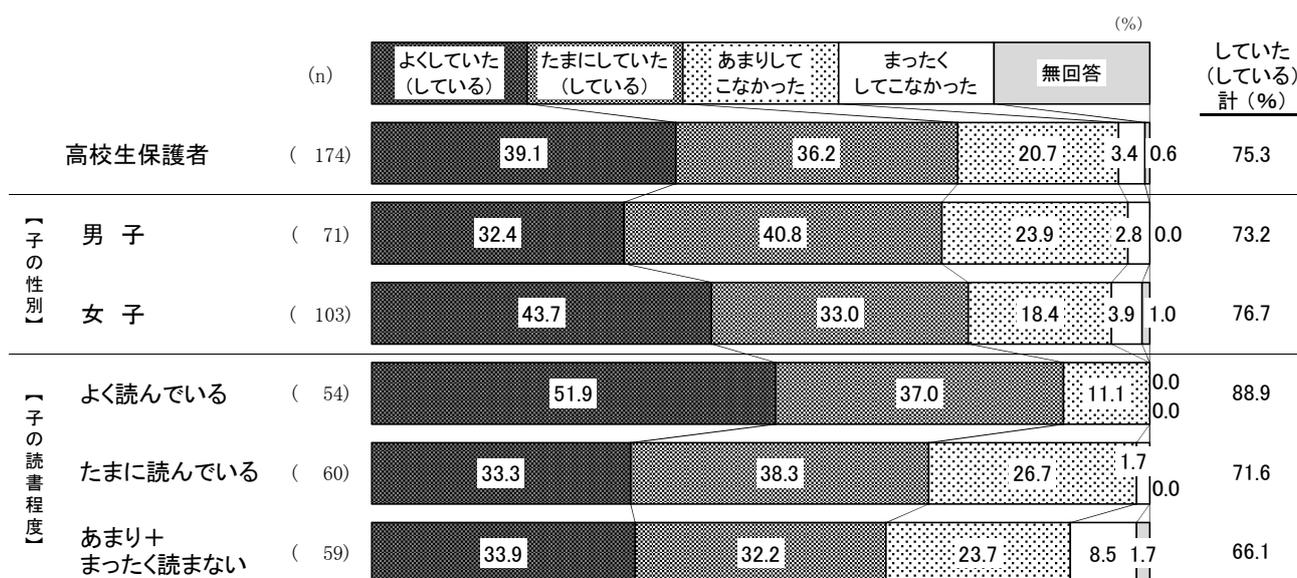
子どもの読書の程度別では、子どもがよく読んでいると思う保護者ほど読み聞かせをしていたとする割合が多く、小学生の保護者と同様の傾向となっている。

【 中学生保護者 】



高校生の保護者についても、小学生や中学生と同様の傾向で、男子より女子の保護者の方が読み聞かせをしていたとする割合が多く、また、子どもがよく読んでいると思う保護者ほど読み聞かせをしていたとする割合が多くなっている。

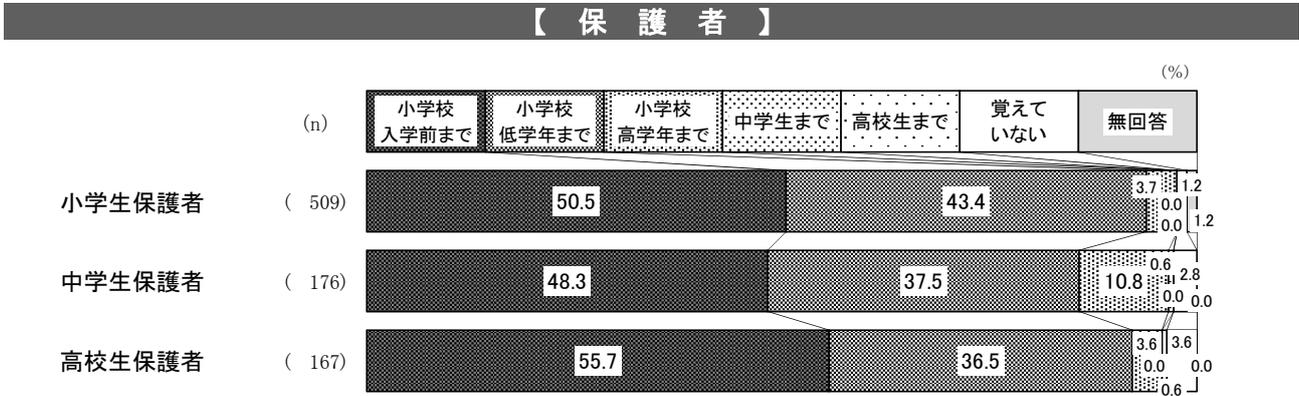
【 高校生保護者 】



(4) 子どもに読み聞かせをしていた時期

[保護者:問12]

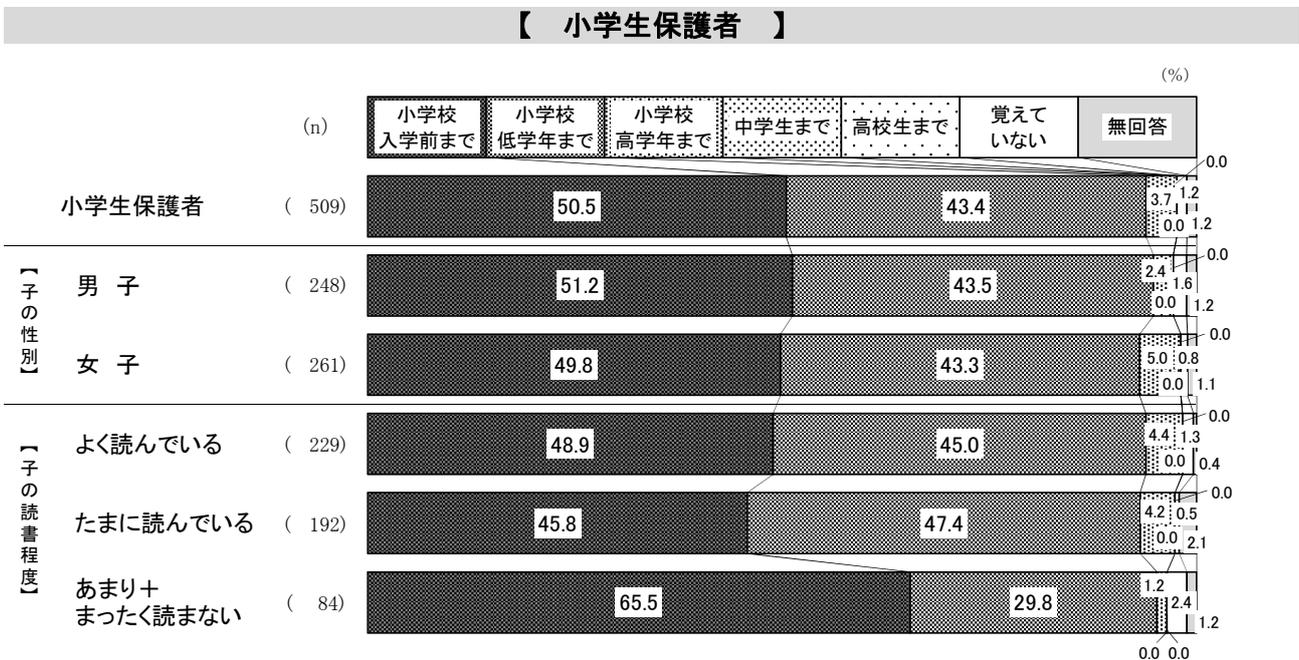
子どもに読み聞かせをしていたと回答した保護者に、読み聞かせをしていた時期をたずねたところ、「小学校入学前まで」が小学生の保護者(50.5%)、中学生の保護者(48.3%)、高校生の保護者(55.7%)とともに半数前後で最も多くなっている。次いで「小学校低学年まで」が小学生の保護者(43.4%)、中学生の保護者(37.5%)、高校生の保護者(36.5%)となっており、「小学校入学前」から「小学校低学年まで」で9割程度を占めている。



《 子どもに読み聞かせをしていた時期—子どもの性別／子どもの読書程度別 》

子どもに読み聞かせをしていた時期について小学生の保護者の子どもの性別では、大きな差はみられない。

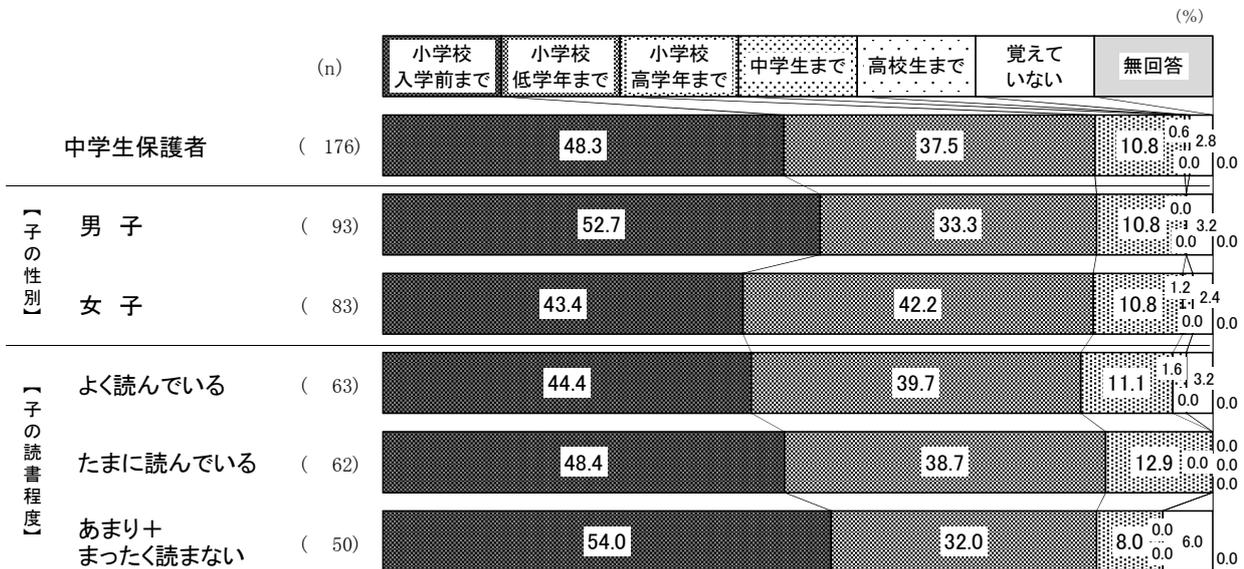
子どもの読書の程度別では、「小学校入学前まで」は、あまり+まったく読まないと思う保護者(65.5%)が、よく読んでいると思う保護者(48.9%)、たまに読んでいると思う保護者(45.8%)より多くなっており、就学以降の読み聞かせの割合が少なくなっている。



中学生の保護者の子どもの性別では、女子より男子の保護者の方が「小学校入学前まで」の割合が多く、「小学校低学年まで」は女子の保護者の方が割合が多くなっている。

子どもの読書の程度別では、読んでいないと思う保護者ほど「小学校入学前まで」の割合が多く、就学以降の読み聞かせの割合が少なくなっている。

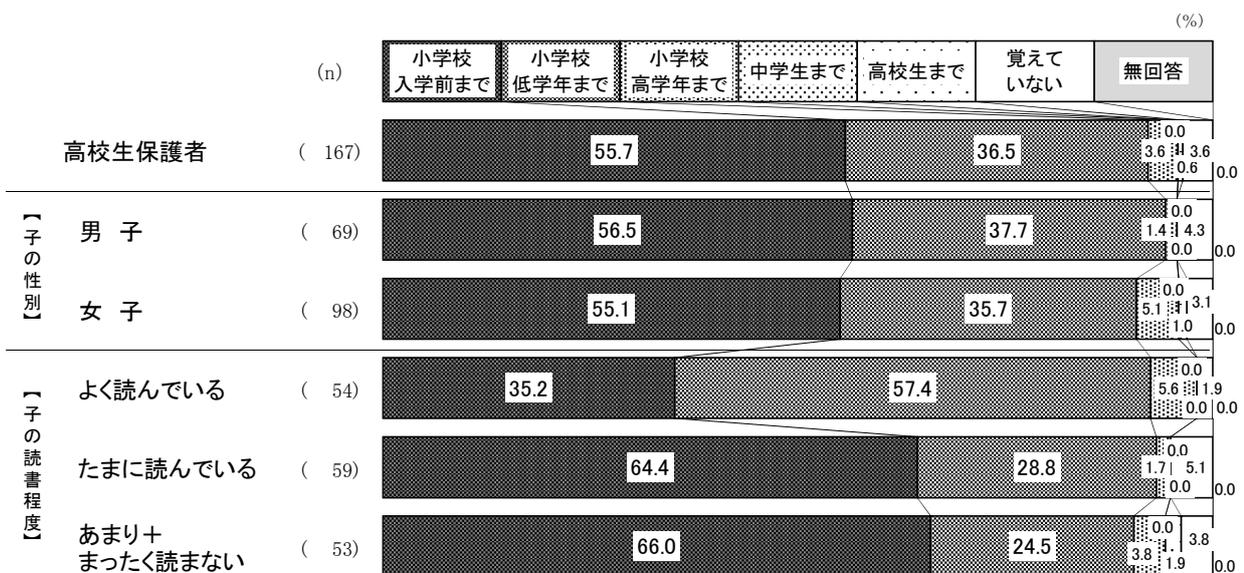
【 中学生保護者 】



高校生の保護者の子どもの性別では、大きな差はみられない。

子どもの読書の程度別では、よく読んでいると思う保護者は、たまに読んでいる、あまり+まったく読まないと思う保護者より就学以降の読み聞かせの割合が多くなっている。

【 高校生保護者 】



(5) 読みたい本の入手方法（複数回答）

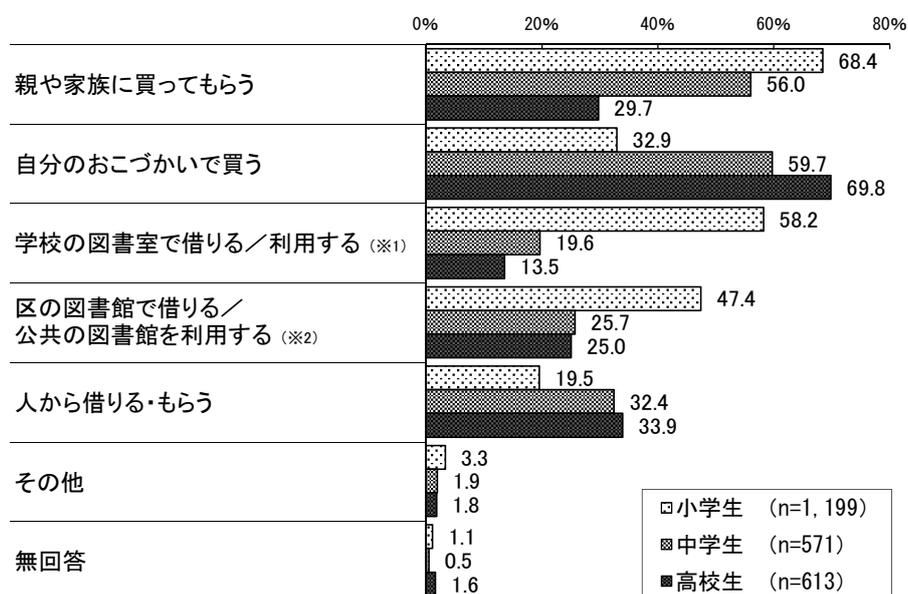
〔小学生：問11〕〔中高生：問11〕

読みたい本の入手方法について小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、小学生は「親や家族に買ってもらう」（68.4%）が最も多く、「学校の図書室で借りる」（58.2%）、「区の図書館で借りる」（47.4%）の順となっている。中学生は「自分のおこづかいで買う」（59.7%）が最も多く、「親や家族に買ってもらう」（56.0%）、「人から借りる・もらう」（32.4%）の順となっており、高校生は「自分のおこづかいで買う」（69.8%）、「人から借りる・もらう」（33.9%）、「親や家族に買ってもらう」（29.7%）の順となっている。

「親や家族に買ってもらう」、「学校の図書室で借りる／利用する」、「区の図書館で借りる／公共の図書館を利用する」は学年が上がるにつれ回答が少なくなり、「自分のおこづかいで買う」、「人から借りる・もらう」は学年が上がるにつれて回答が多くなる傾向となっている。

「公共の図書館を利用する」は、中学生及び高校生は小学生の半分程度の回答となっている。

【 小学生・中学生・高校生 】



※1 調査票上の選択肢：小学生＝「学校の図書室で借りる」、中高生＝「学校の図書室を利用する」

※2 調査票上の選択肢：小学生＝「区の図書館で借りる」、中高生＝「公共の図書館を利用する」

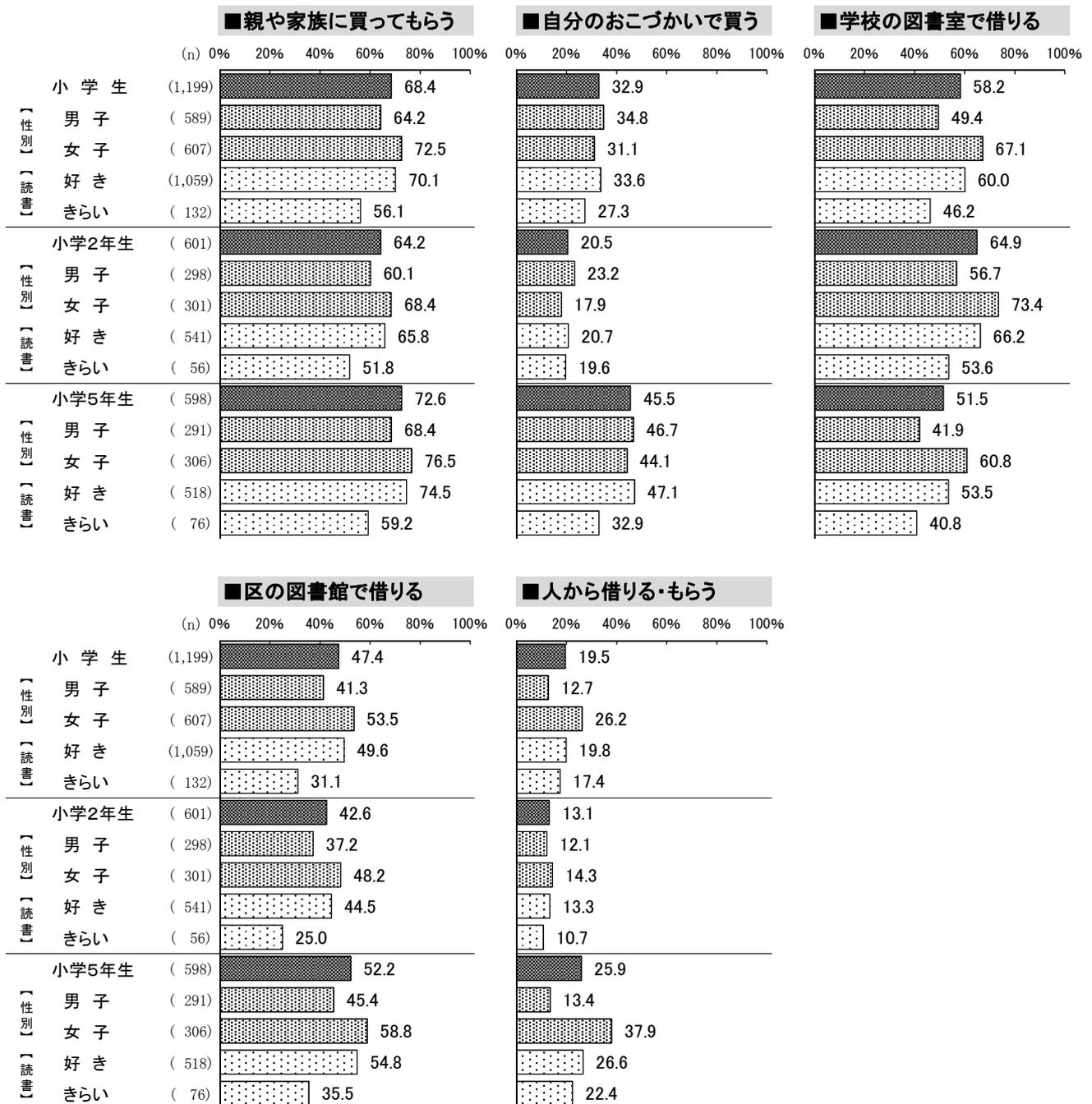
《 読みたい本の入手方法—学年・性別／読書が好きかどうか 》

読みたい本の入手方法について小学生の学年別でみると、2年生は5年生より「学校の図書室で借りる」の回答が多く、その他の入手方法は2年生より5年生の回答が多くなっている。

性別でみると、2年生、5年生ともに「自分のおこづかいで買う」を除く入手方法について、男子より女子の方が回答が多くなっている。

読書が好きかどうかでみると、読書が好きな児童は読書がきらいな児童よりいずれの入手方法も回答が多く、「区の図書館で借りる」はその差が最も大きくなっている。

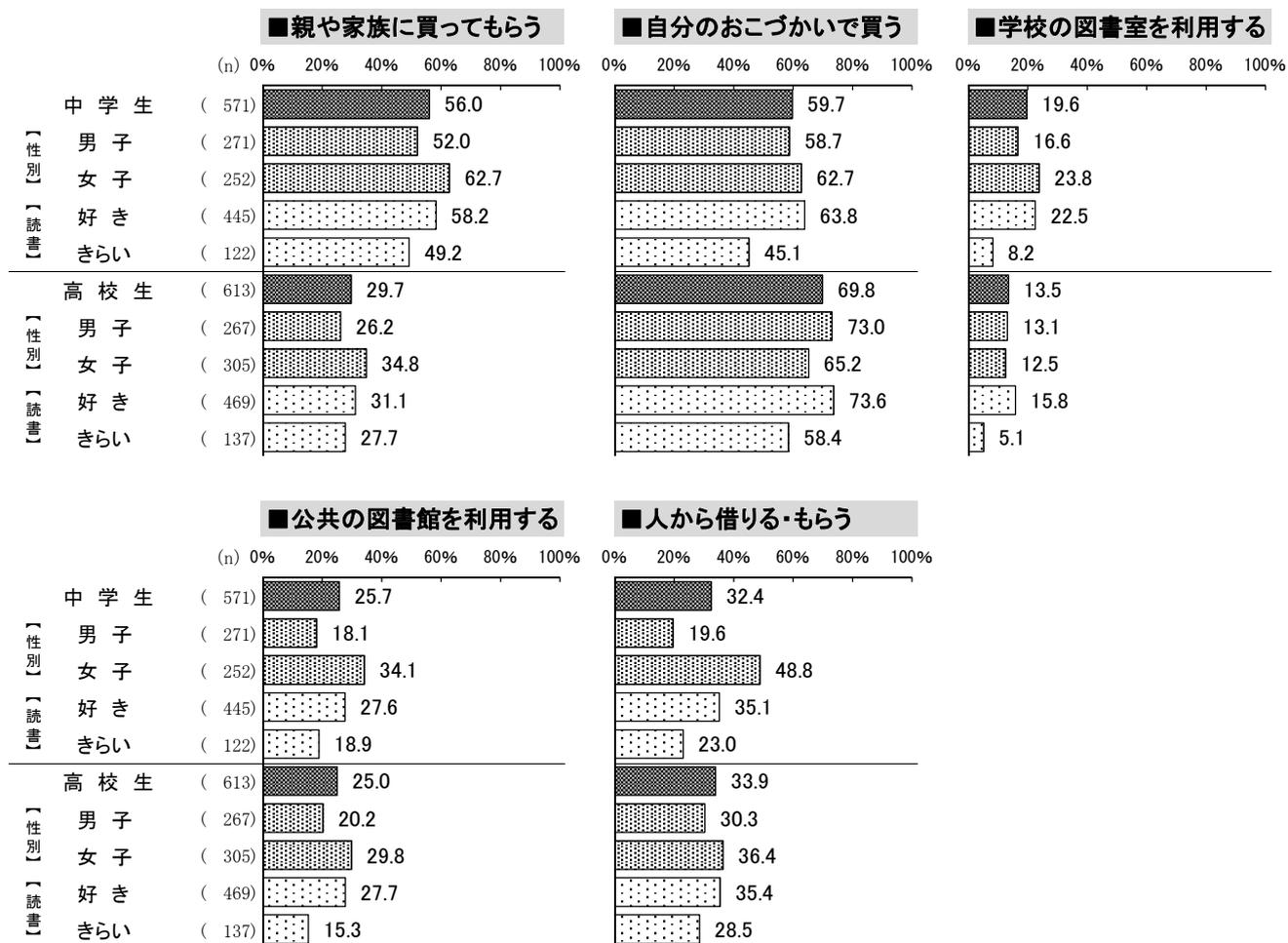
【 小学生 】



中学生及び高校生の性別でみると、中学生、高校生ともに「親や家族に買ってもらう」、「公共の図書館を利用する」、「人から借りる・もらう」は男子より女子で回答が多くなっている。

読書が好きかどうかでみると、読書が好きな生徒は読書がきらいな生徒よりいずれの入手方法も回答が多く、「自分のおこづかいで買う」はその差が最も大きくなっている。

【 中学生・高校生 】



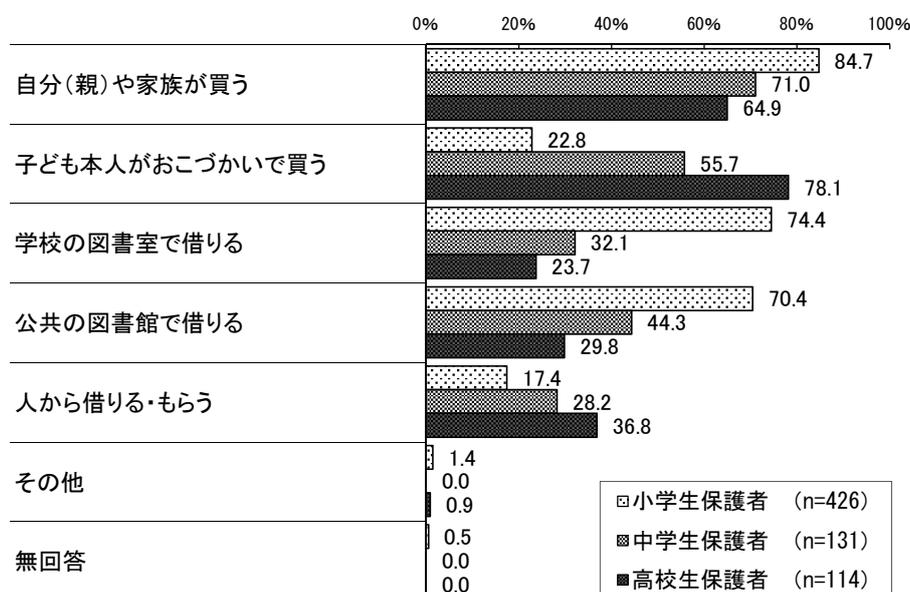
(6) 子どもが読む本の入手方法 (複数回答)

〔保護者:問10〕

子どもが本をよく読んでいる、あるいはたまに読んでいると回答した保護者に、読む本の入手方法についてたずねたところ、小学生の保護者は「自分(親)や家族が買う」(84.7%)が最も多く、「学校の図書室で借りる」(74.4%)、「公共の図書館で借りる」(70.4%)の順となっている。中学生の保護者は「自分(親)や家族が買う」(71.0%)が最も多く、「子ども本人がおこづかいで買う」(55.7%)、「公共の図書館で借りる」(44.3%)の順となっており、高校生の保護者は「子ども本人がおこづかいで買う」(78.1%)が最も多く、「自分(親)や家族が買う」(64.9%)、「人から借りる・もらう」(36.8%)の順となっている。

「自分(親)や家族が買う」、「学校の図書室で借りる」、「公共の図書館で借りる」は学年が上がるにつれ回答が少なくなり、「自分のおこづかいで買う」、「人から借りる・もらう」は学年が上がるにつれて回答が多くなっており、前述の児童・生徒自身の傾向と同様となっている。

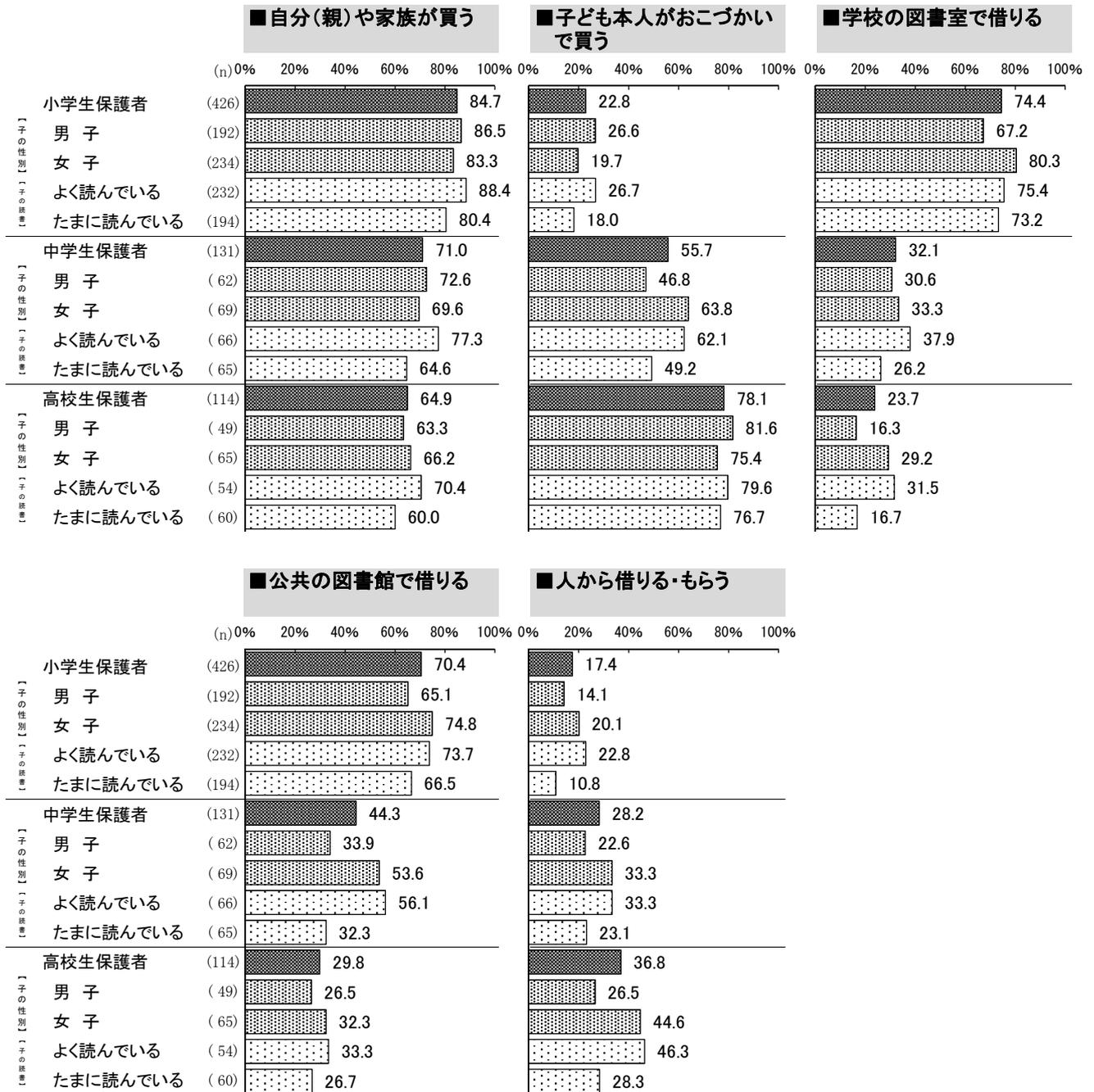
【 保 護 者 】



《 子どもが読む本の入手方法—子どもの学年・性別／子どもの読書程度別 》

子どもが読む本の入手方法について子どもの性別でみると、小学生、中学生、高校生の保護者ともに男子より女子の保護者は「学校の図書室で借りる」、「公共の図書館で借りる」、「人から借りる・もらう」の回答が多くなっている。

子どもの読書の程度別でみると、小学生、中学生、高校生の保護者ともに、子どもが本をよく読んでいると思う保護者はたまに読んでいると思う保護者よりいずれの入手方法も回答が多くなっている。

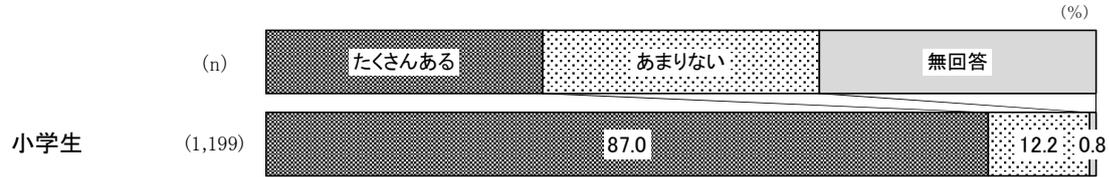


(7) 家庭内の本の有無

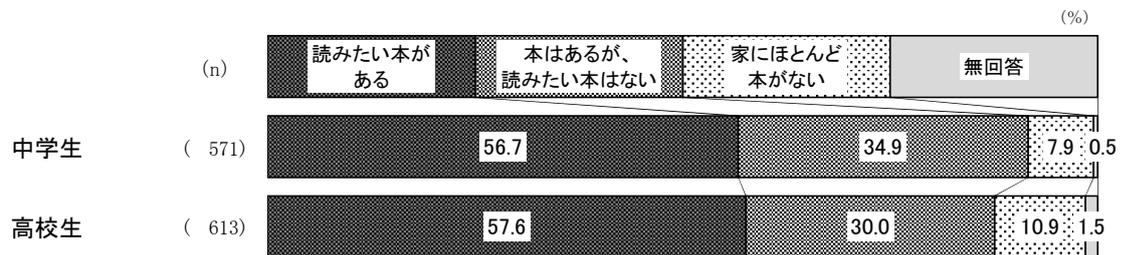
[小学生:問15][中高生:問15]

家庭内の本の有無について小学生、中学生及び高校生にたずねたところ、小学生は「たくさんある」(87.0%)が9割近くとなっており、中学生、高校生は「読みたい本がある」(各々56.7%、57.6%)が6割弱となっている。

【小学生】



【中学生・高校生】

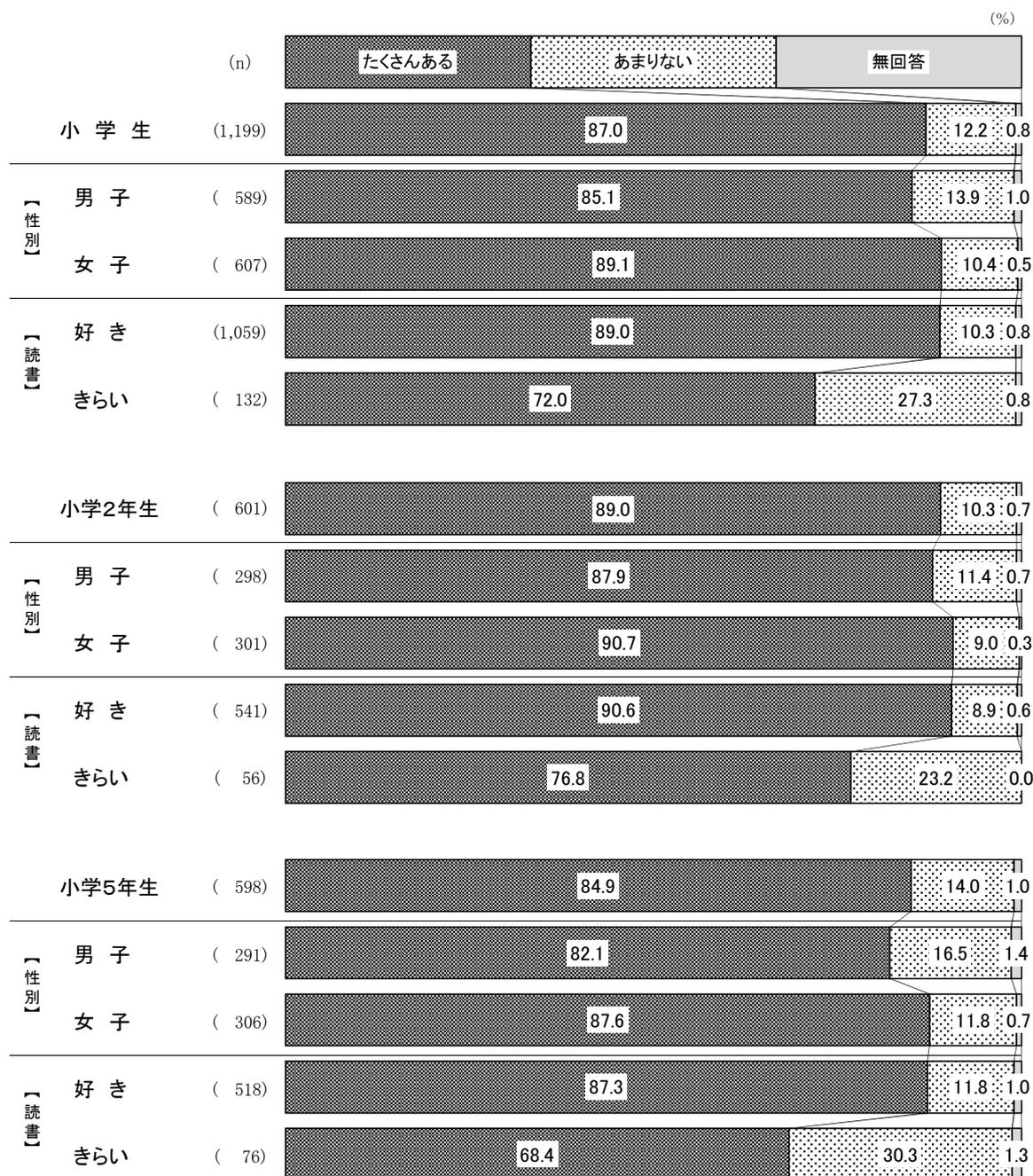


《 家庭内の本の有無－学年・性別／読書が好きかどうか 》

家庭内の本の有無について小学生の学年別でみると、「たくさんある」は2年生（89.0%）は9割近く、5年生（84.9%）は8割台半ばとなっている。

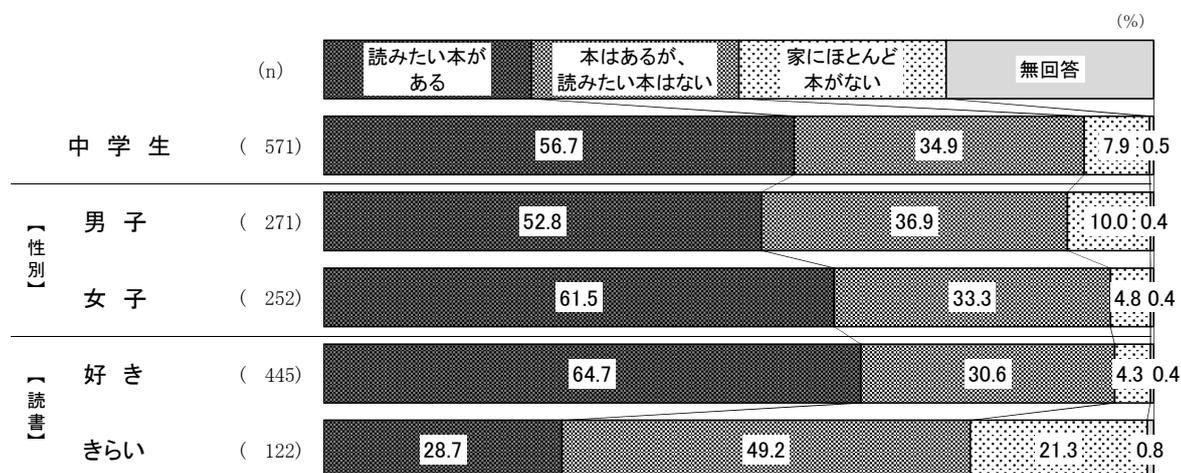
家庭内の本の有無について小学生の性別でみると、2年生、5年生ともに大きな差はみられない。読書が好きかどうかでみると、2年生、5年生ともに、読書が好きな児童は読書がきらいな児童より「たくさんある」の割合が多い傾向となっている。

【 小 学 生 】



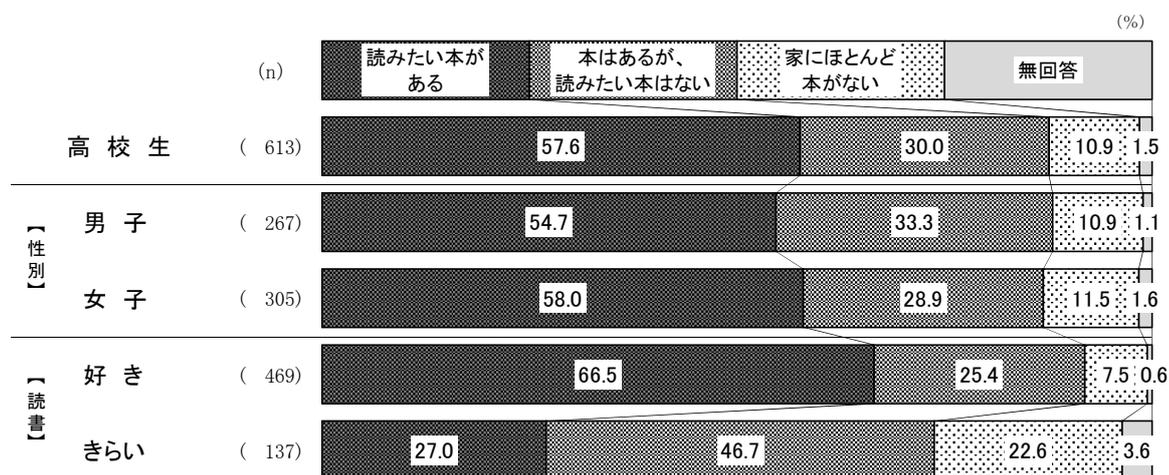
中学生の性別でみると、男子より女子の方が「読みたい本がある」の割合が多くなっている。
読書が好きかどうかでみると、読書が好きな生徒は読書がきれいな生徒に比べ「読みたい本がある」の割合が多くなっている。読書がきれいな生徒は「本はあるが、読みたい本はない」(49.2%)が約半数を占めている。

【 中 学 生 】



高校生の性別でみると、大きな差はみられない。
読書が好きかどうかでみると、読書が好きな生徒は読書がきれいな生徒に比べ「読みたい本がある」の割合が多くなっており、読書がきれいな生徒は「本はあるが、読みたい本はない」(46.7%)が約半数を占めており、中学生と同様の傾向となっている。

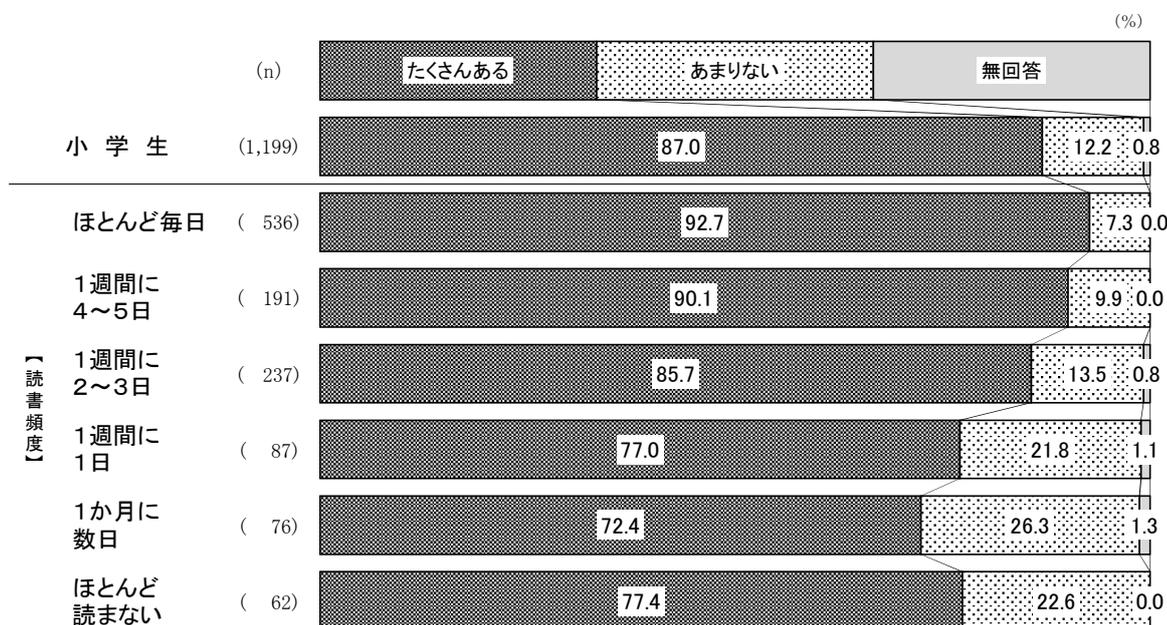
【 高 校 生 】



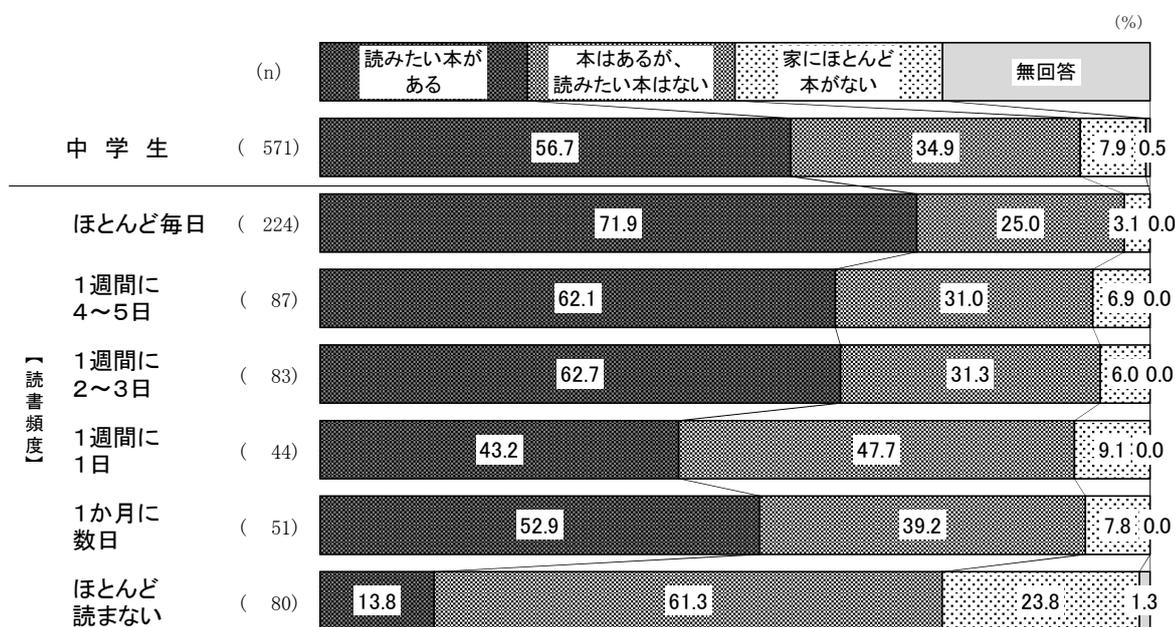
《 家庭内の本の有無－読書頻度別 》

家庭内の本の有無について読書の頻度別に比較すると、小学生、中学生、高校生ともに読書の頻度が高いほど、「たくさんある」、あるいは「読みたい本がある」の割合が多い傾向となっている。

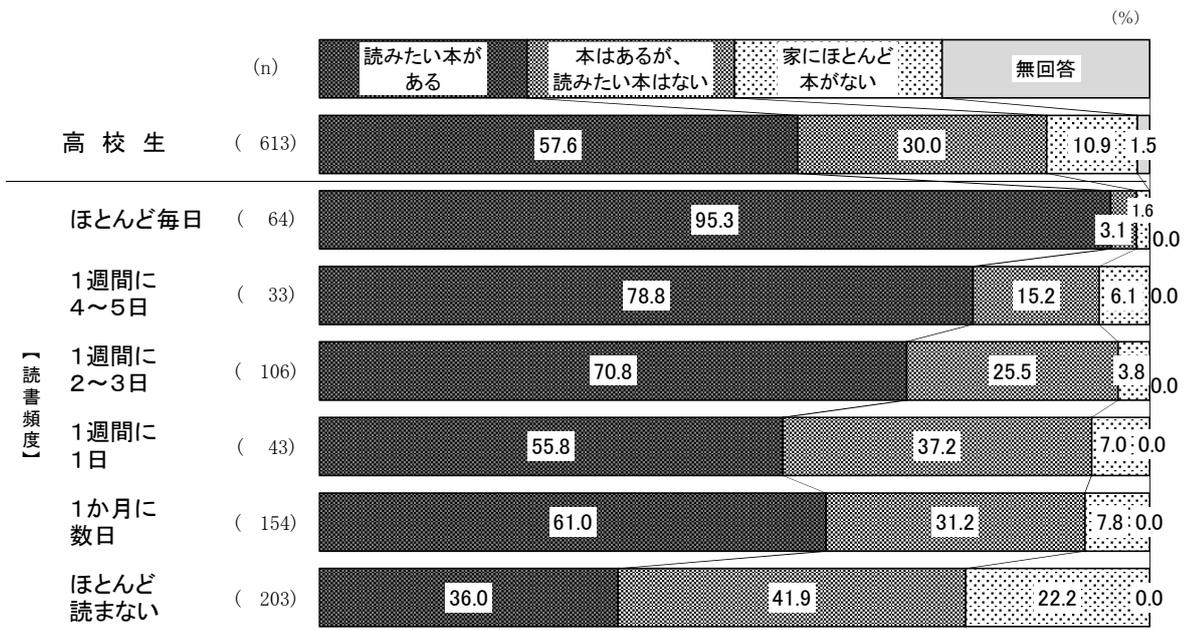
【 小学生 】



【 中学生 】



【 高 校 生 】

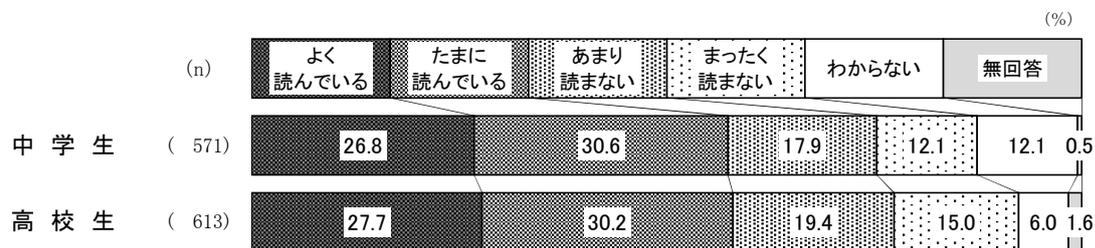


（8）子どもからみた保護者の読書の程度

〔中高校生：問16〕

子どもからみた保護者の読書の程度について中学生及び高校生にたずねたところ、中学生と高校生で大きな差はなく、「よく読んでいる」は中学生（26.8%）、高校生（27.7%）ともに2割台半ば、「たまに読んでいる」は中学生（30.6%）、高校生（30.2%）ともに3割となっている。

【 中学生・高校生からみた保護者の状況 】

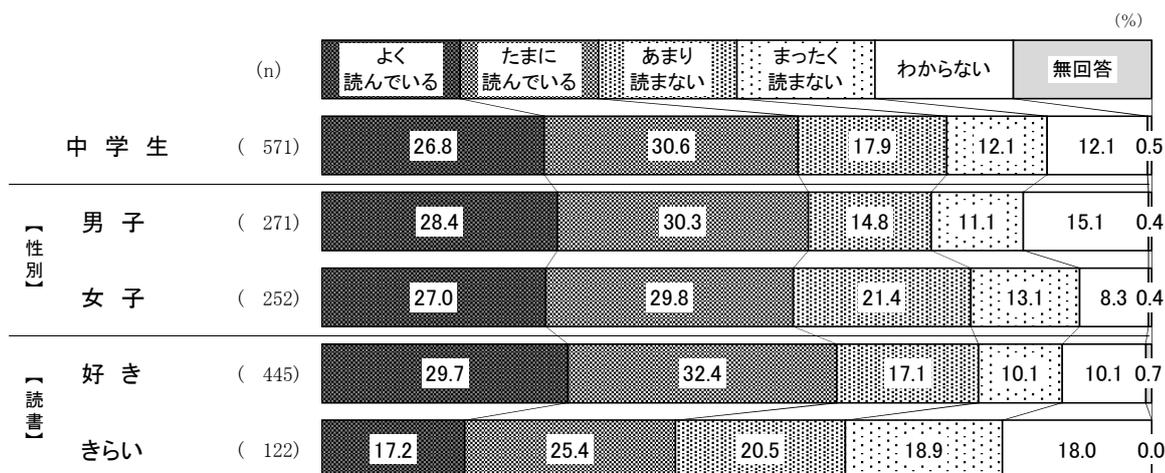


《 子どもからみた保護者の読書の程度—学年・性別／読書が好きかどうか 》

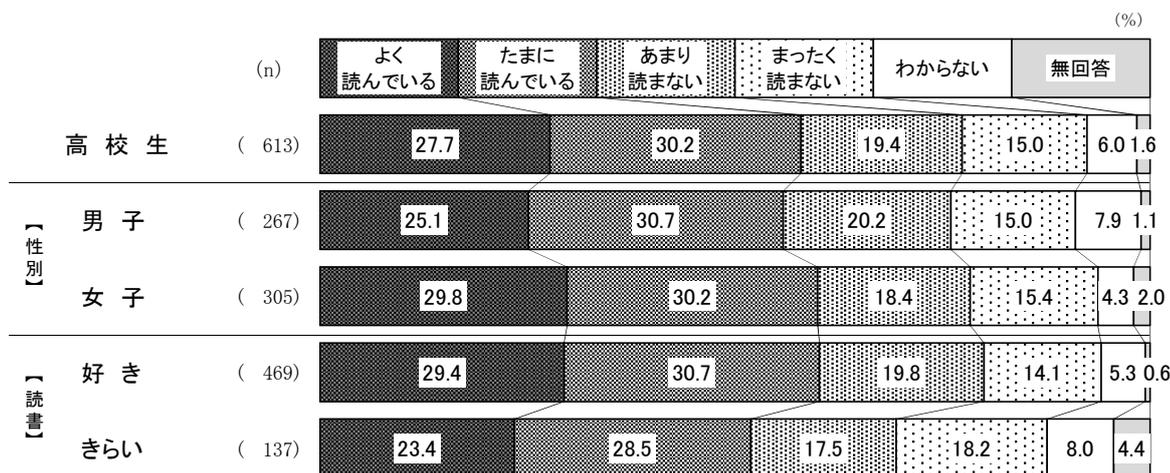
子どもからみた保護者の読書の頻度について性別でみると、中学生、高校生ともに大きな差はみられない。

生徒自身の読書が好きかどうかでみると、中学生、高校生ともに自身が読書好きな生徒は読書がきらいな生徒と比べて保護者が本をよく読んでいると回答する割合が多い傾向となっている。

【 中学生からみた保護者 】



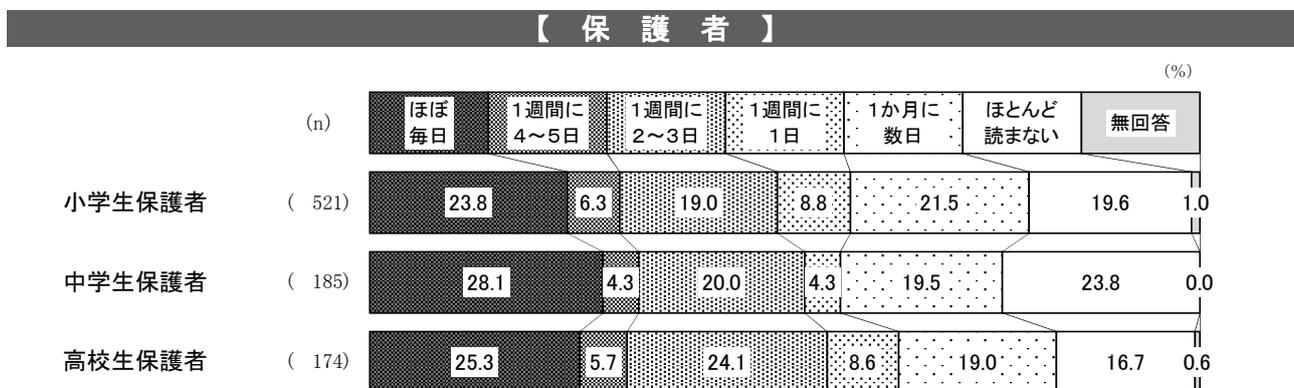
【 高校生からみた保護者 】



(9) 保護者自身の読書頻度

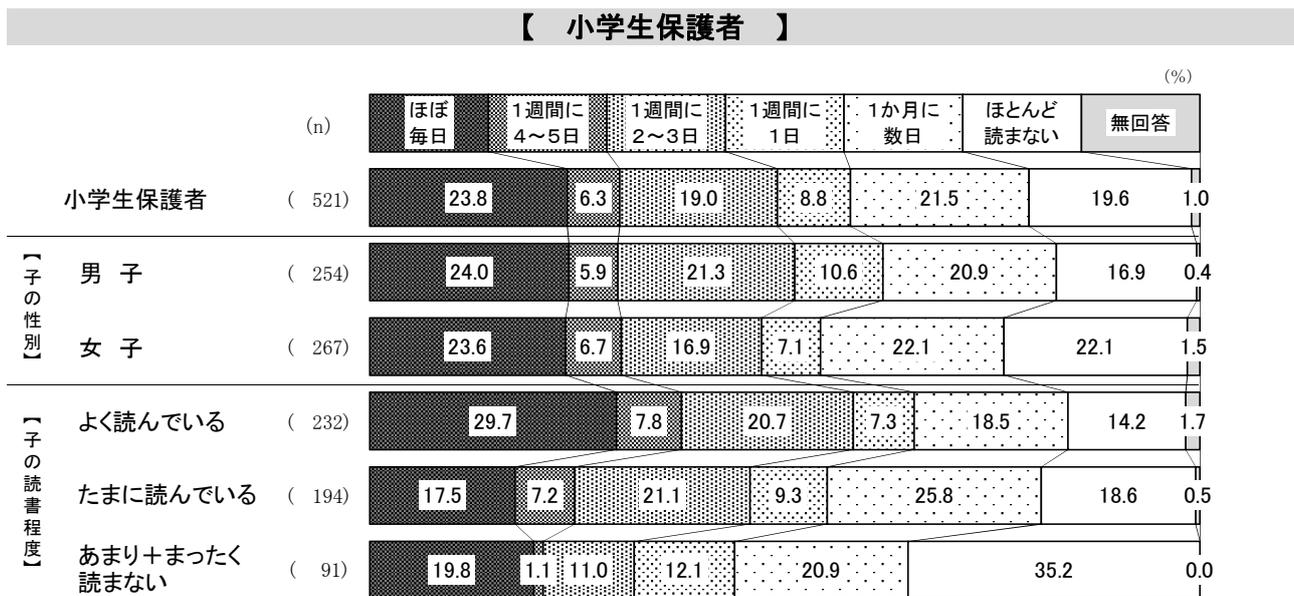
〔保護者：問17〕

保護者自身の読書頻度について保護者にたずねたところ、小学生、中学生、高校生の保護者ともに「ほぼ毎日」が2割台半ば、「1週間に4～5日」が1割未満、「1週間に2～3日」が2割前後となっている。



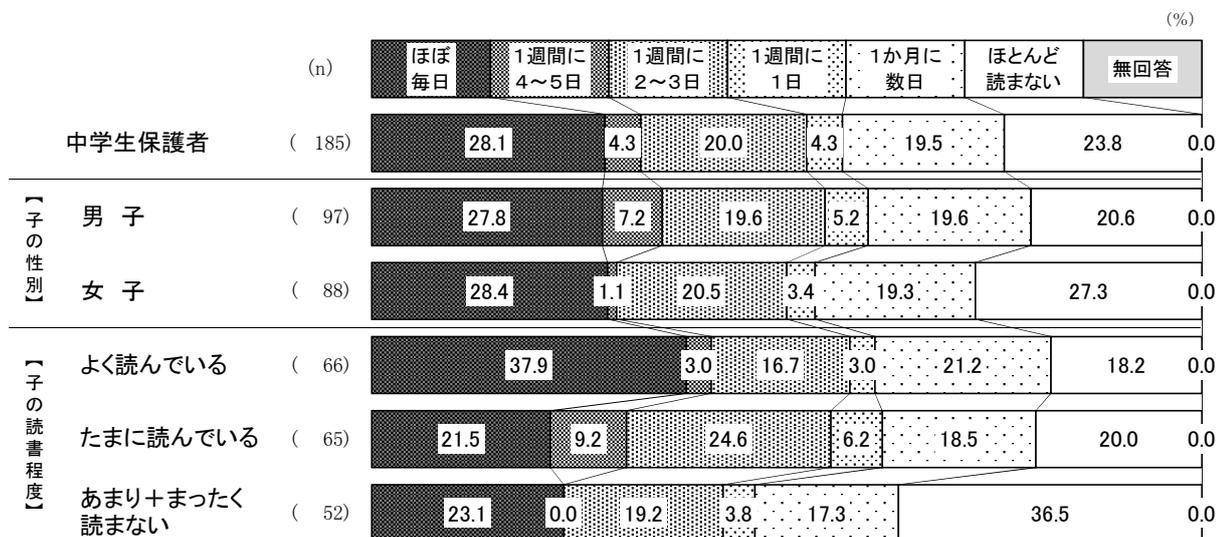
《 保護者自身の読書頻度—子の性別／子の読書程度別 》

小学生の保護者自身の読書頻度について子どもの読書の程度別にみると、子どもがよく読んでいるほど保護者自身の読書頻度も高い傾向となっている。

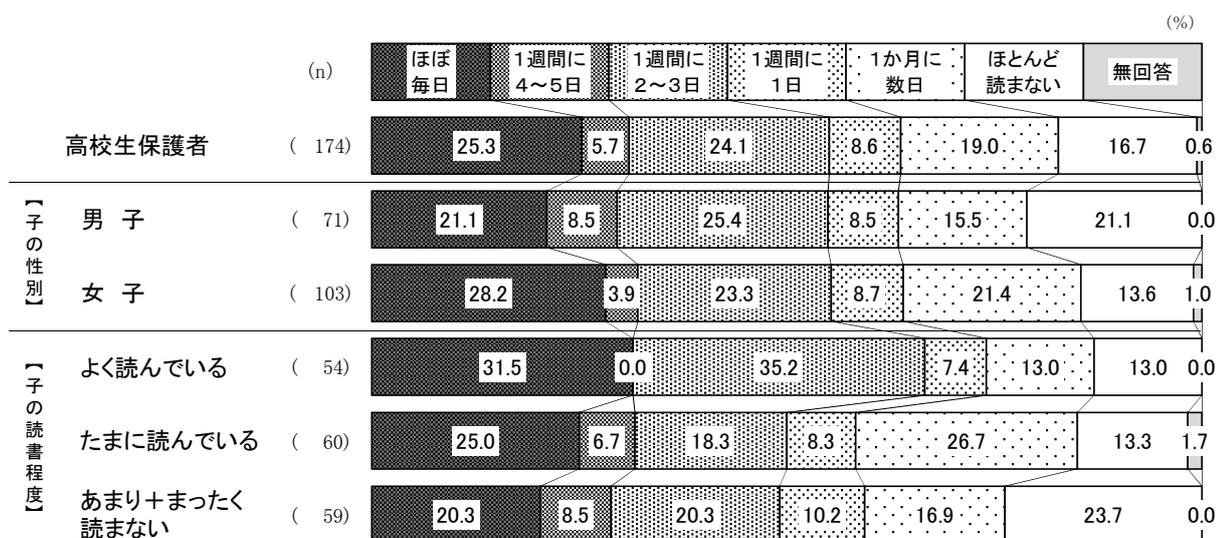


中学生及び高校生の保護者自身の読書頻度についても、子どもがよく読んでいるほど保護者自身の読書頻度も高く、小学生と同様の傾向となっている。

【 中学生保護者 】



【 高校生保護者 】

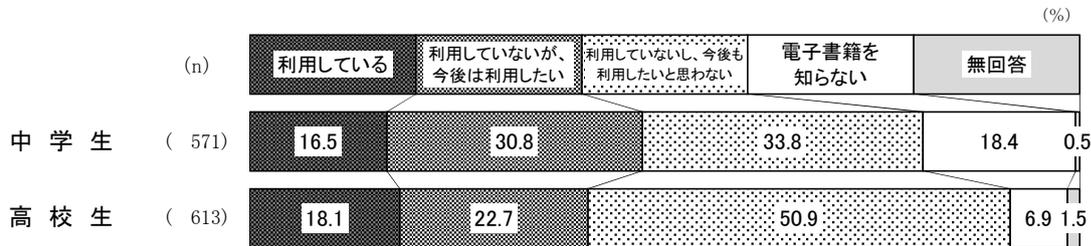


(10) 『電子書籍』の利用状況と利用意向

[中 高 生 : 問 1 7]

電子書籍の利用状況について中学生及び高校生にたずねたところ、「利用している」は中学生(16.5%)より高校生(18.1%)がわずかに多くなっている。「利用していないが、今後は利用したい」は中学生(30.8%)の方が高校生(22.7%)より多くなっており、「利用していないし、今後も利用したいと思わない」は高校生(50.9%)の方が中学生(33.8%)より多くなっている。

【 中 学 生 ・ 高 校 生 】

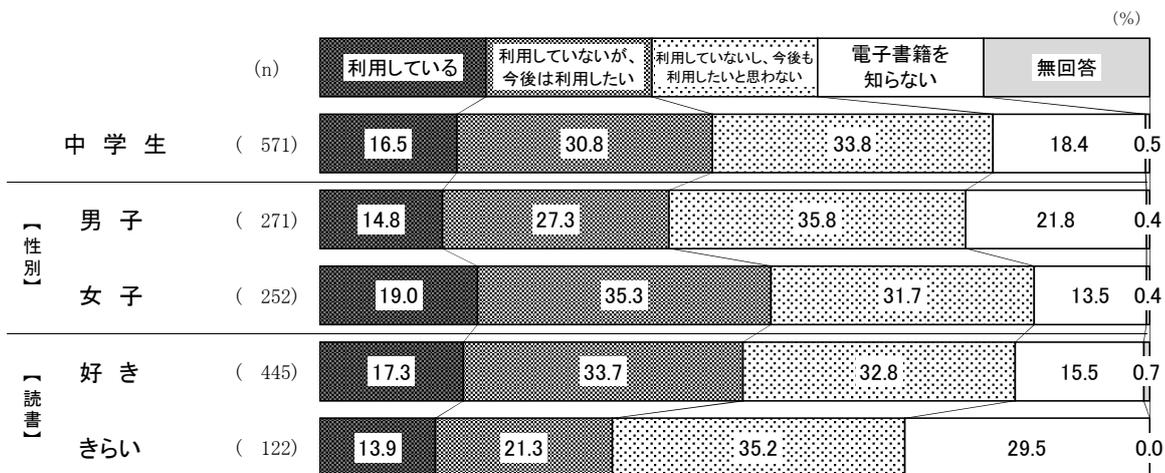


《 『電子書籍』の利用状況と利用意向—学年・性別／読書が好きかどうか 》

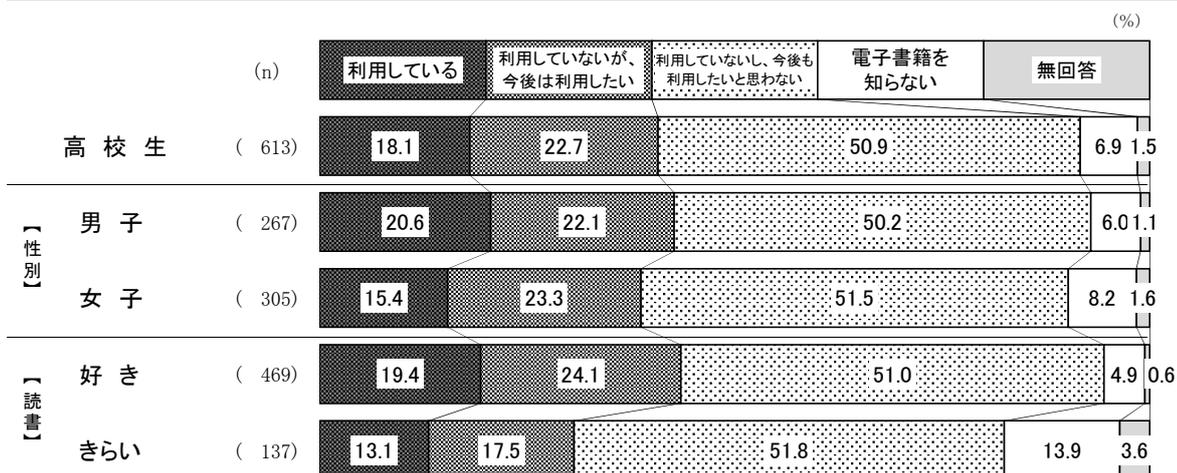
電子書籍の利用状況について中学生及び高校生の性別でみると、中学生は男子より女子の方が「利用している」、「利用していないが、今後は利用したい」の割合が多く、高校生は女子より男子で「利用している」、「利用していないが、今後は利用したい」の割合が多くなっている。

読書が好きかどうかでは、中学生、高校生ともに読書が好きな生徒は読書がきらいな生徒より「利用している」、「利用していないが、今後は利用したい」の割合が多くなっている。

【 中 学 生 】



【 高 校 生 】

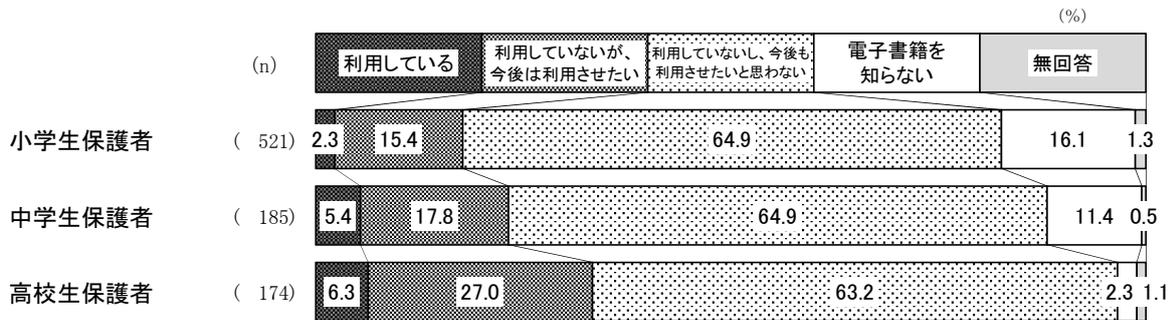


(11) 保護者からみた子どもの『電子書籍』の利用状況と利用意向

〔保護者：問16〕

子どもの電子書籍の利用状況について保護者にたずねたところ、「利用している」は小学生の保護者（2.3%）、中学生の保護者（5.4%）、高校生の保護者（6.3%）と学年が上がるにつれて多くなっている。また、「利用していないが、今後は利用させたい」も小学生の保護者（15.4%）、中学生の保護者（17.8%）、高校生の保護者（27.0%）と学年が上がるにつれて多くなっている。「利用していないし、今後も利用させたいと思わない」は小学生、中学生、高校生の保護者ともに6割半ばとなっている。

【 保護者からみた子どもの状況 】



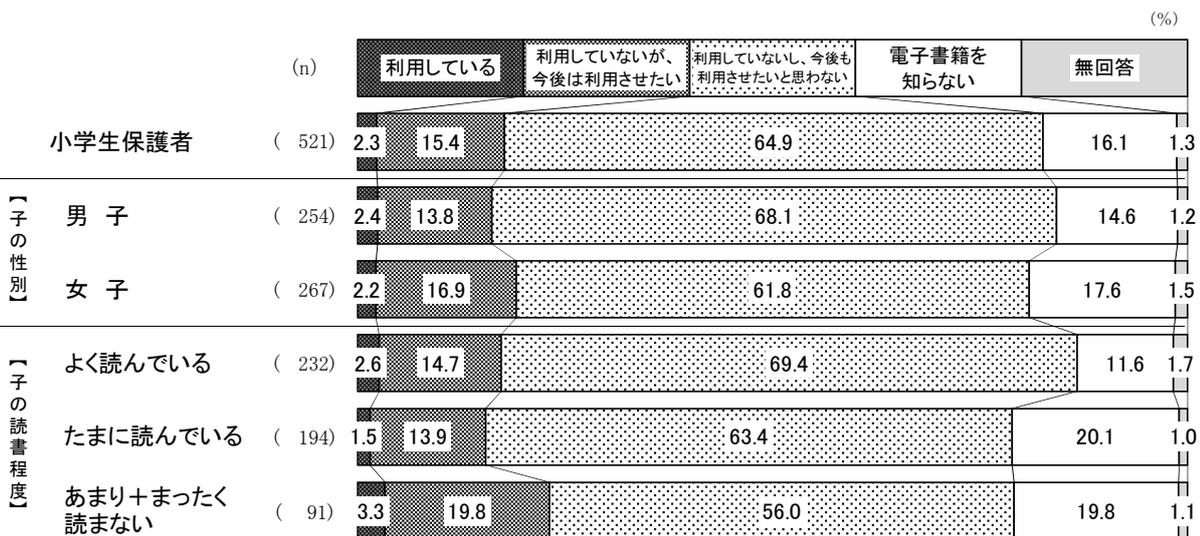
《 保護者からみた子どもの『電子書籍』の利用状況と利用意向

—子の性別／子の読書程度別—

子どもの電子書籍の利用状況について小学生の保護者の子どもの性別でみると、大きな差はみられない。

子どもの読書頻度別でみると、子どもがよく読んでいると思う保護者よりあまり+まったく読まないと思う保護者の方が「利用していないが、今後は利用させたい」の割合が多くなっている。

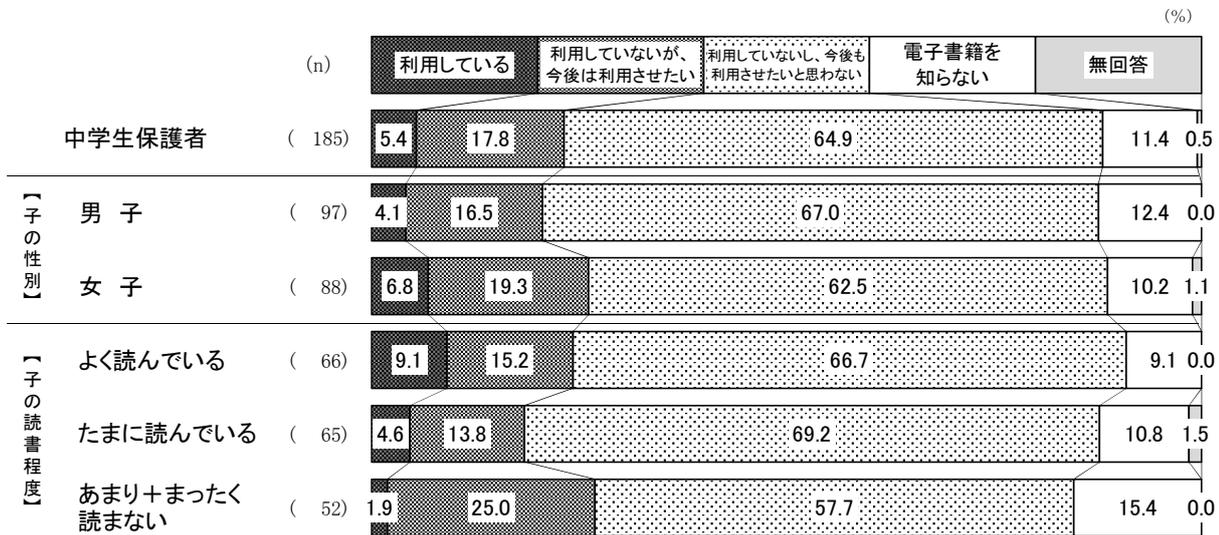
【 小学生保護者 】



中学生の保護者の子どもの性別で見ると、男子より女子の保護者の方が「利用している」、「利用していないが、今後は利用させたい」の割合が多くなっている。

子どもの読書頻度別では、子どもがよく読んでいると思う保護者ほど「利用している」の割合が多くなっている。

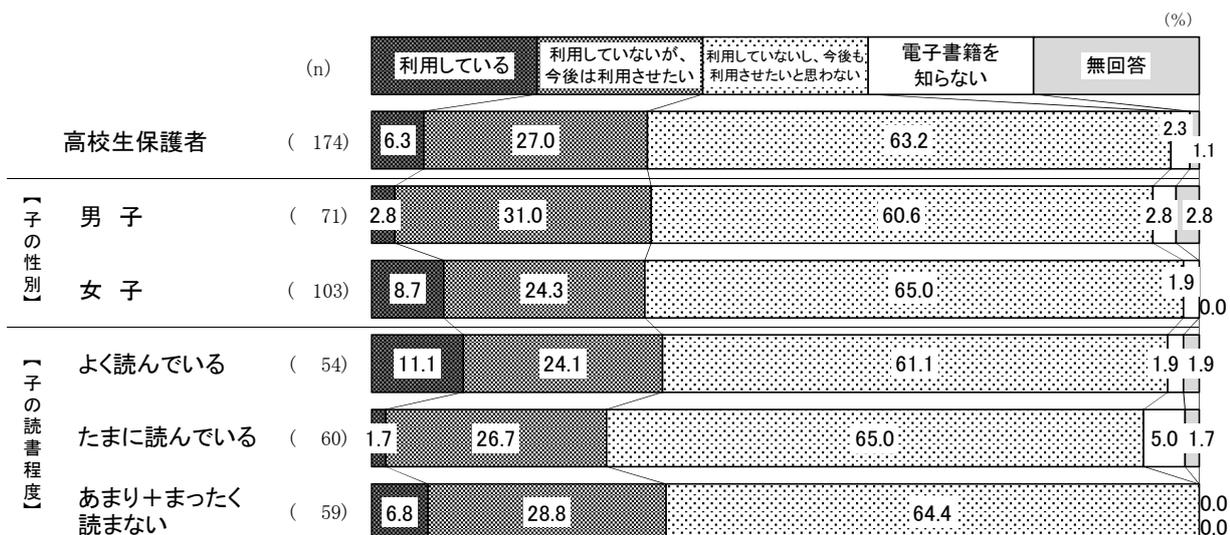
【 中学生保護者 】



高校生の保護者の子どもの性別で見ると、男子より女子の保護者の方が「利用している」の割合が多くなっており、女子より男子の保護者の方が「利用していないが、今後は利用させたい」の割合が多くなっている。

子どもの読書頻度別では、特徴的な傾向はみられない。

【 高校生保護者 】



(12) 子どもの読書促進に効果的と思う環境

〔保護者:問13〕

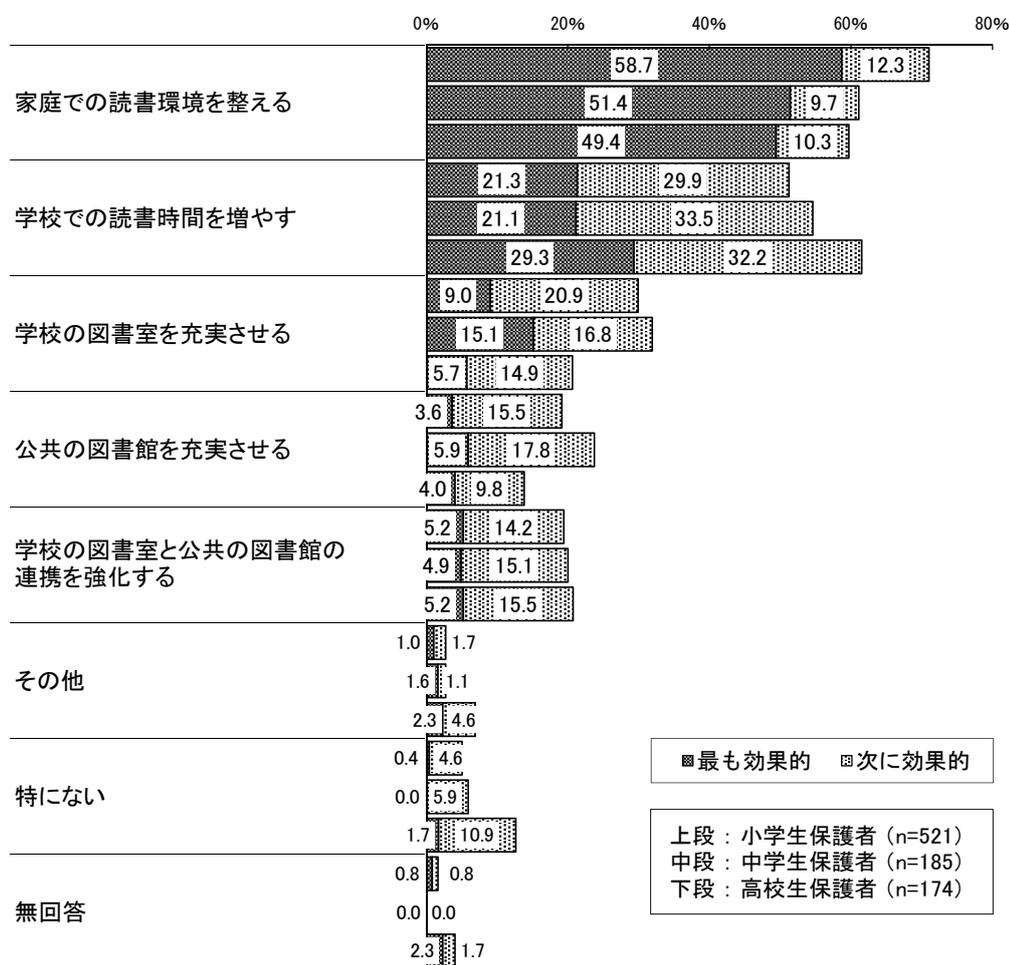
子どもの読書促進に効果的と思う環境について保護者にたずねたところ、最も効果的と思う環境は、小学生、中学生、高校生の保護者ともに「家庭での読書環境を整える」が最も多く、小学生の保護者（58.7%）は6割近く、中学生の保護者（51.4%）、高校生の保護者（49.4%）は5割近くとなっている。次いで「学校での読書時間を増やす」が小学生の保護者（21.3%）、中学生の保護者（21.1%）は2割近く、高校生の保護者（29.3%）は3割近くとなっている。

次に効果的と思う環境は、「学校の図書室を充実させる」が小学生、中学生、高校生の保護者とも3割近く、「学校の図書室を充実させる」が次いでいる。

一般的に、第一に家庭、次に学校という構図ではあるが、小学生では家庭の比重が高くなっており、中学生、高校生と学年が上がるにつれて学校の比重が高まる傾向となっている。

「公共の図書館を充実させる」は、最も効果的と思う環境としてあげられたのは、小学生の保護者（3.6%）、中学生の保護者（5.9%）、高校生の保護者（4.0%）ともに1割未満であり、次に効果的と思う環境としてあげられたのは、小学生の保護者（15.5%）、中学生の保護者（17.8%）、高校生の保護者（9.8%）と1割～2割未満となっている。

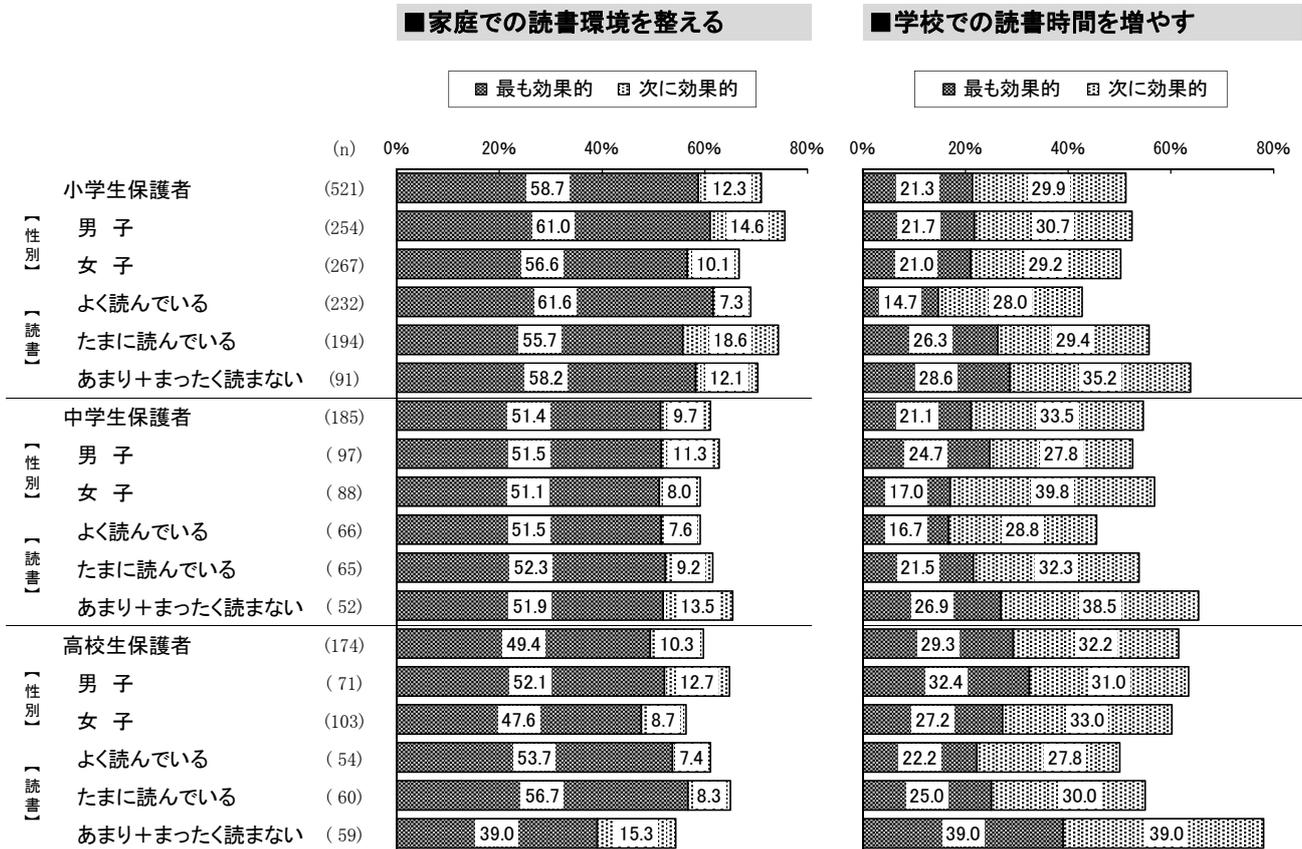
【 保 護 者 】



《 子どもの読書促進に効果的と思う環境—子の性別／子の読書程度別 》

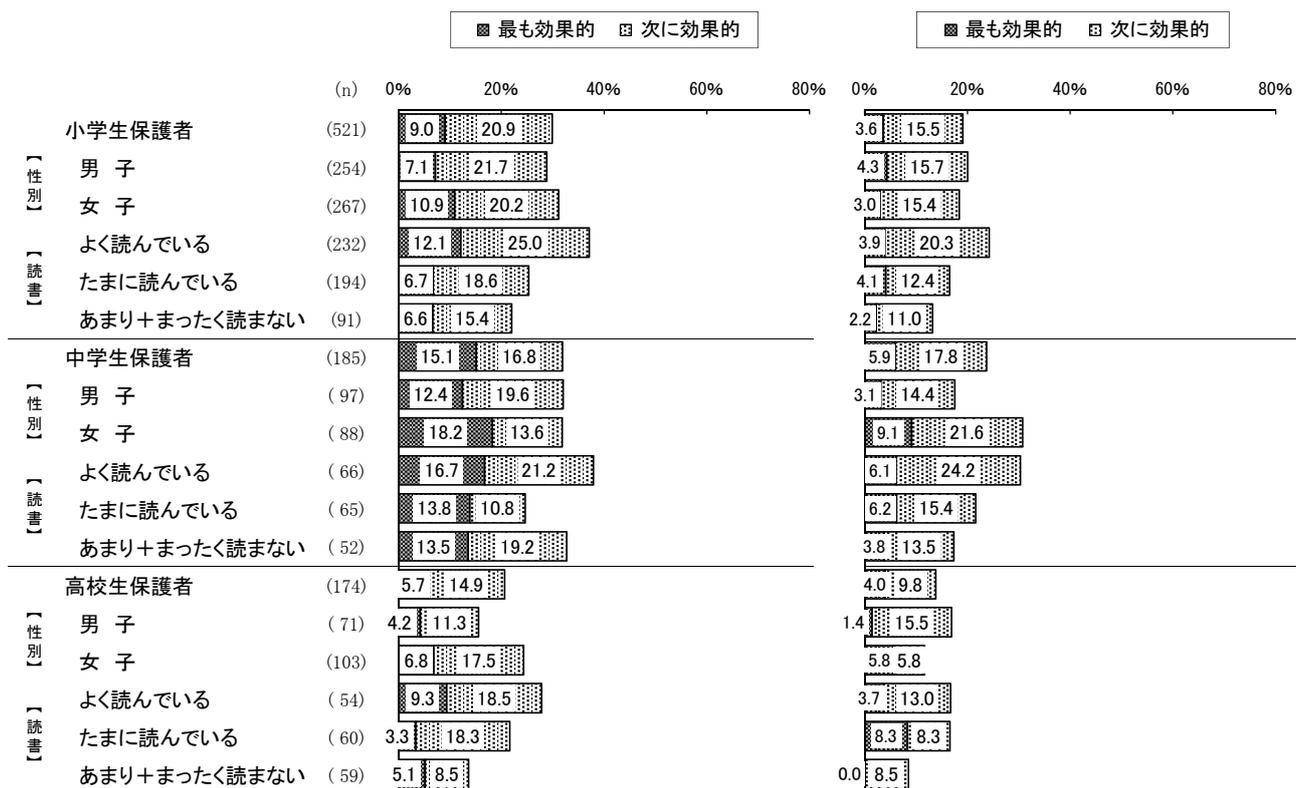
子どもの読書促進に効果的と思う環境について、子どもの性別でみると、「家庭での読書環境を整える」は女子より男子の保護者で、「学校の図書室を充実させる」は男子より女子の保護者で回答が多くなっている。

子どもの読書の程度別でみると、「学校での読書時間を増やす」は子どもが本を読まないと思う保護者ほど回答が多くなっており、「学校の図書室を充実させる」や「公共の図書館を充実させる」は子どもが本をよく読んでいると思う保護者ほど回答が多くなっている。

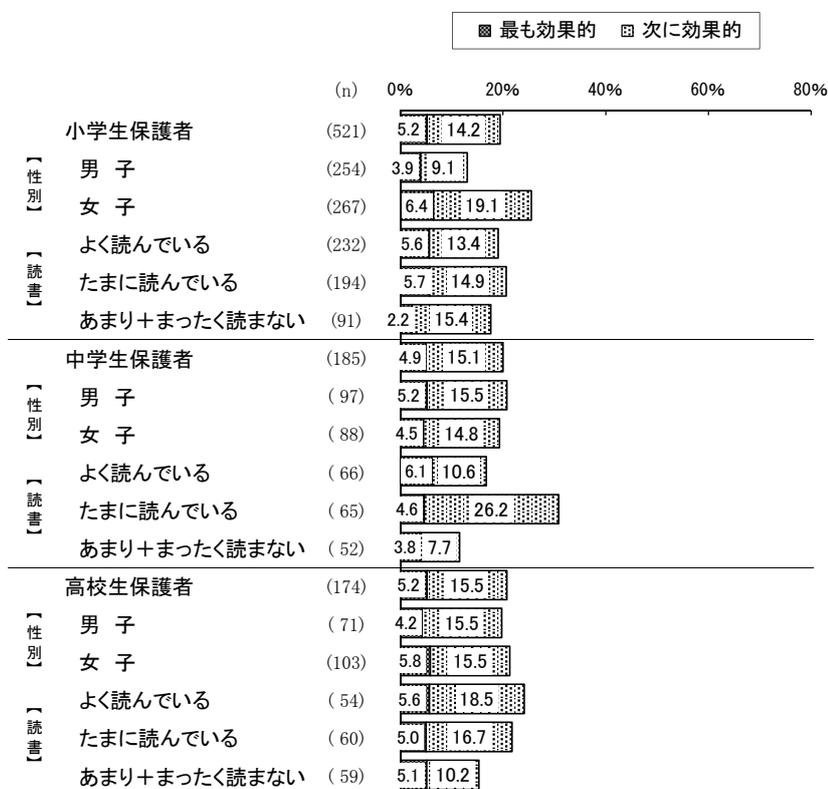


■学校の図書室を充実させる

■公共の図書館を充実させる



■学校の図書室と公共の図書館の連携を強化する

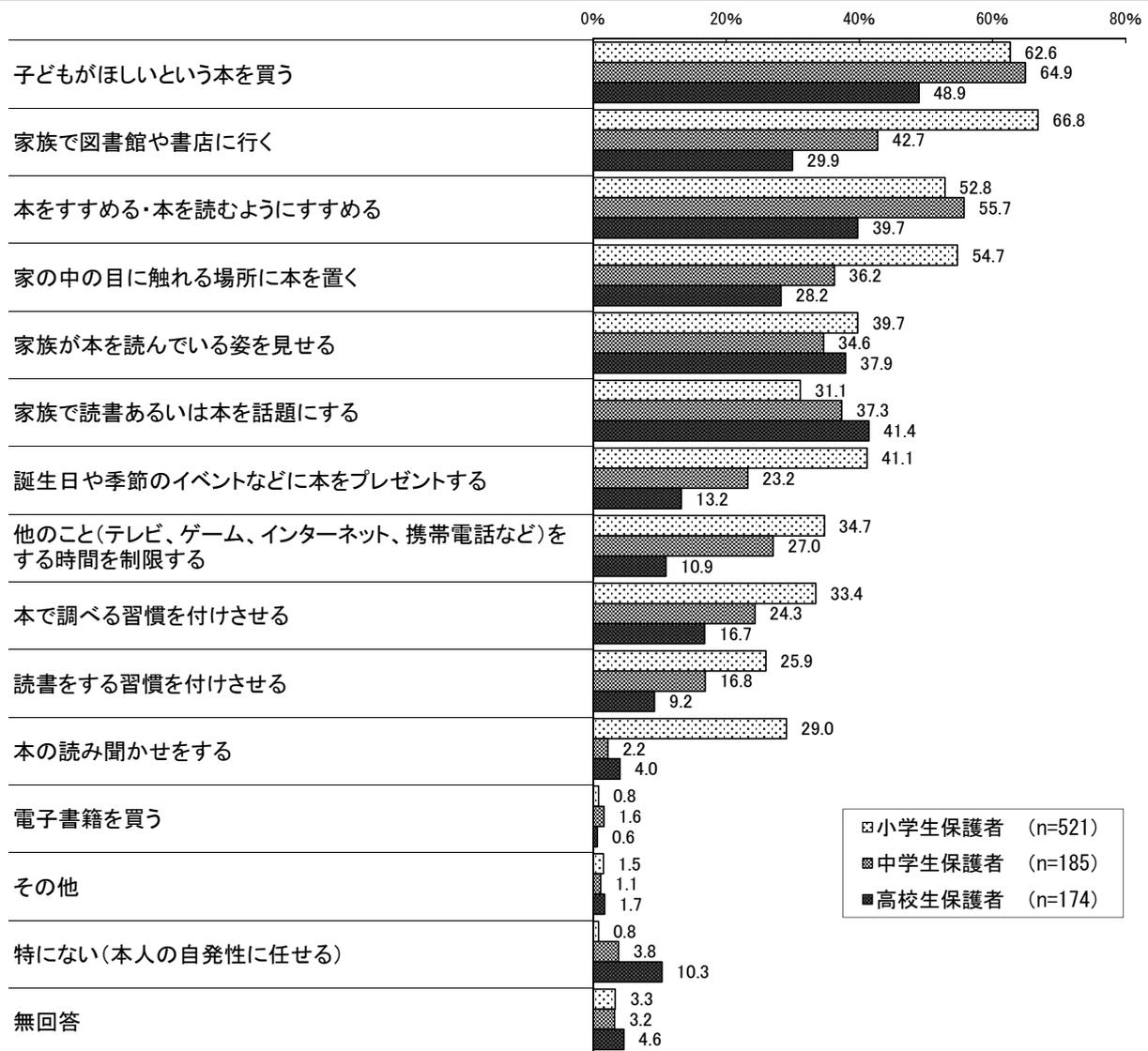


(13) 子どもの読書促進のために普段家庭内で実施していること（複数回答） [保護者:問14]

子どもの読書促進のために普段家庭内で実施していることについて保護者にたずねたところ、小学生の保護者の第1位は「家族で図書館や書店に行く」（66.8%）、第2位は「子どもがほしいという本を買う」（62.6%）、第3位は「家の中の目に触れる場所に本を置く」（54.7%）となっている。中学生の保護者の第1位は「子どもがほしいという本を買う」（64.9%）、第2位は「本をすすめる・本を読むようにすすめる」（55.7%）、「家族で図書館や書店に行く」（42.7%）、高校生の保護者の第1位は「子どもがほしいという本を買う」（48.9%）、第2位は「家族で読書あるいは本を話題にする」（41.4%）、第3位は「本をすすめる・本を読むようにすすめる」（39.7%）となっている。

小学生、中学生、高校生と子どもが大きくなるにつれ、各項目の回答の量が少なくなっており、家庭内で実施していることが全般に減っていく傾向となっている。

【 保 護 者 】

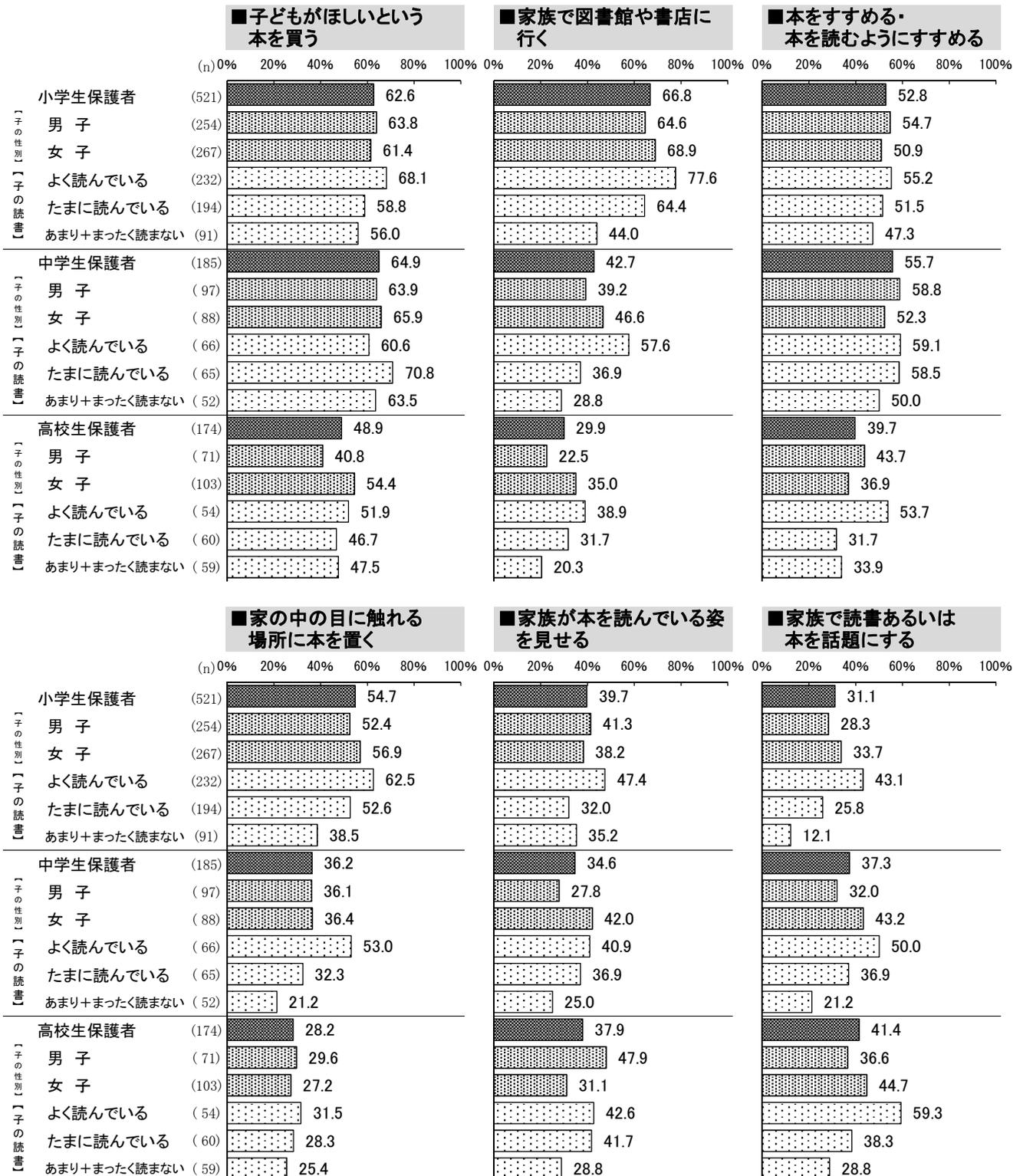


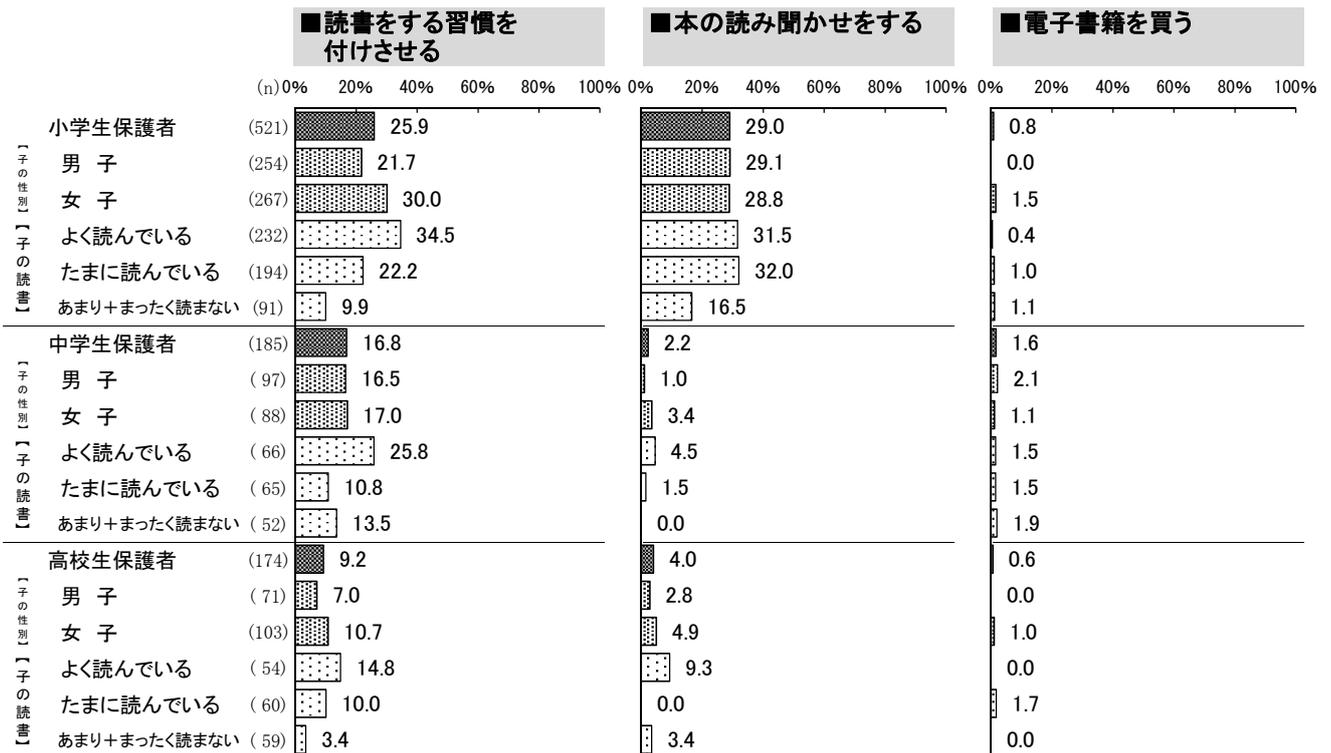
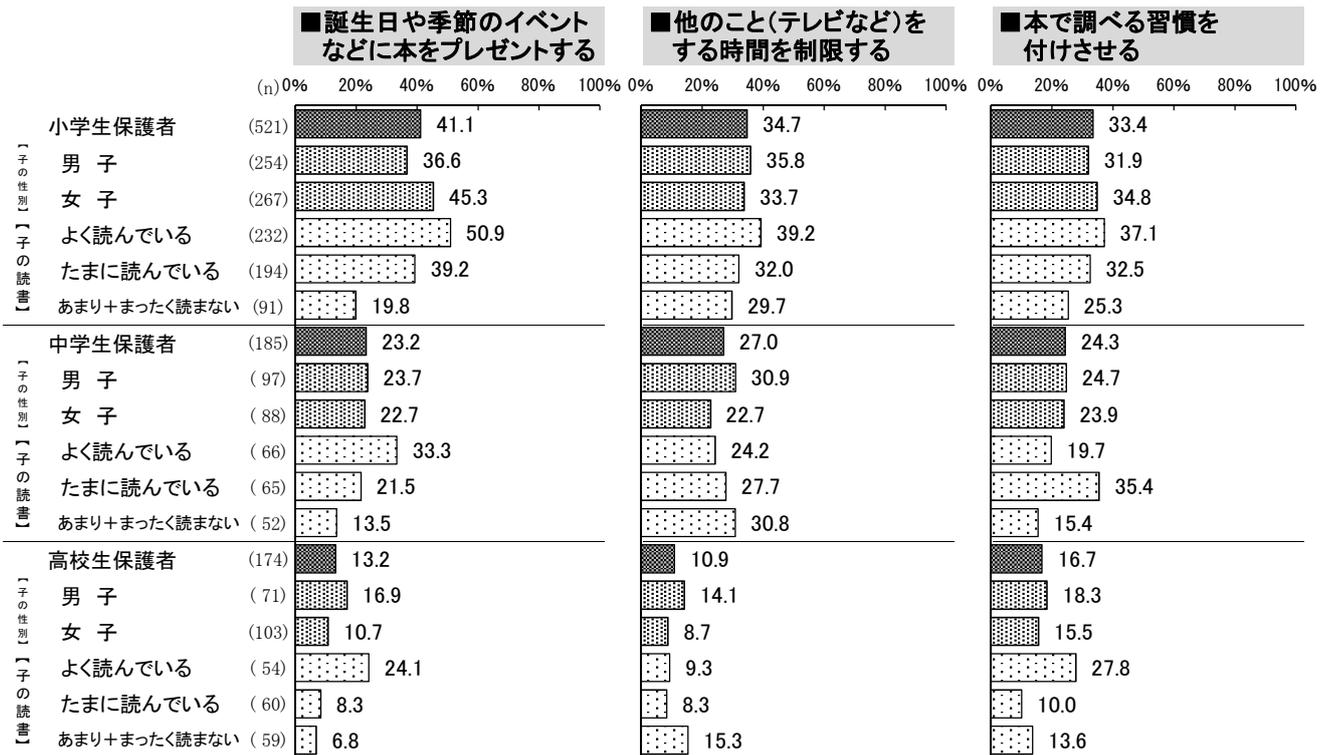
小学生保護者 (n=521)	1位	家族で図書館や書店に行く	66.8%
	2位	子どもがほしいという本を買う	62.6%
	3位	家の中の目に触れる場所に本を置く	54.7%
中学生保護者 (n=185)	1位	子どもがほしいという本を買う	64.9%
	2位	本をすすめる・本を読むようにすすめる	55.7%
	3位	家族で図書館や書店に行く	42.7%
高校生保護者 (n=174)	1位	子どもがほしいという本を買う	48.9%
	2位	家族で読書あるいは本を話題にする	41.4%
	3位	本をすすめる・本を読むようにすすめる	39.7%

《 子どもの読書促進のために普段家庭内で実施していること —子の学年・性別／子の読書程度別— 》

子どもの読書促進のために普段家庭内で実施していることについて、子どもの性別でみると、小学生、中学生、高校生の保護者ともに「本をすすめる・本を読むようにすすめる」、「他のこと（テレビなど）をする時間を制限する」などは女子より男子の保護者で、「家族で図書館や書店に行く」、「家族で読書あるいは本を話題にする」などは男子より女子の保護者で回答が多くなっている。

子どもの読書の程度別では、子どもが本をよく読んでいると思う保護者ほど各項目の回答が多い傾向であるが、「他のこと（テレビなど）をする時間を制限する」は中学生、高校生は、子どもが本を読まないと思う保護者ほど回答が多くなっている。





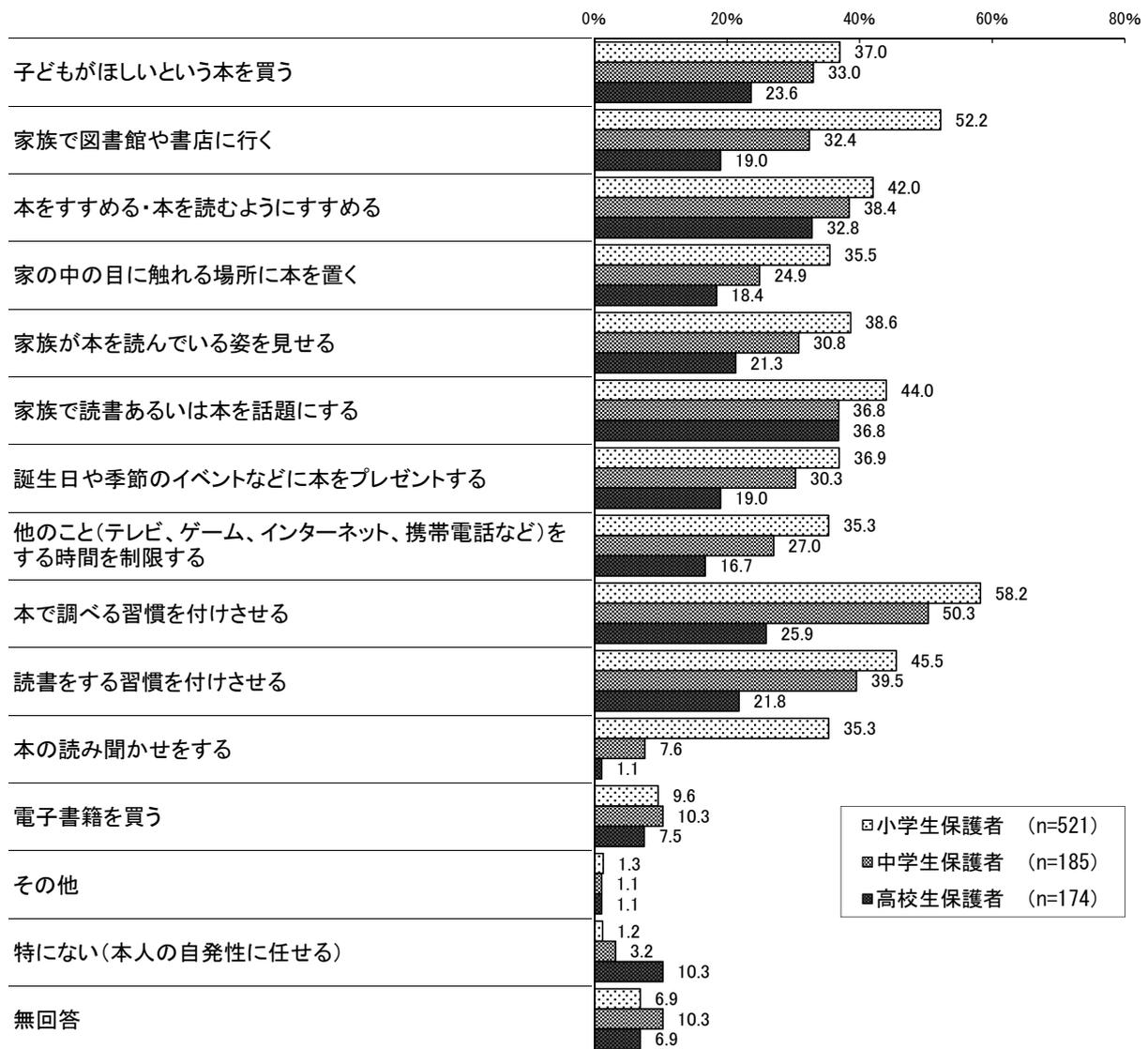
(14) 子どもの読書促進のために今後家庭内で実施したいこと（複数回答）

〔保護者:問14〕

子どもの読書促進のために今後家庭内で実施したいことについて保護者にたずねたところ、小学生の保護者の第1位は「本で調べる習慣を付けさせる」(58.2%)、第2位は「家族で図書館や書店に行く」(52.2%)、第3位は「読書をする習慣を付けさせる」(45.5%)となっている。中学生の保護者の第1位は「本で調べる習慣を付けさせる」(50.3%)、第2位は「読書をする習慣を付けさせる」(39.5%)、第3位は「本をすすめる・本を読むようにすすめる」(38.4%)、高校生の保護者の第1位は「家族で読書あるいは本を話題にする」(36.8%)、第2位は「本をすすめる・本を読むようにすすめる」(32.8%)、第3位は「本で調べる習慣を付けさせる」(25.9%)となっている。

小学生、中学生、高校生と子どもが大きくなるにつれ、各項目の回答の量が少なくなっており、前述の家庭内で実施していることと同様、今後実施したいことも減っていく傾向となっている。

【 保 護 者 】

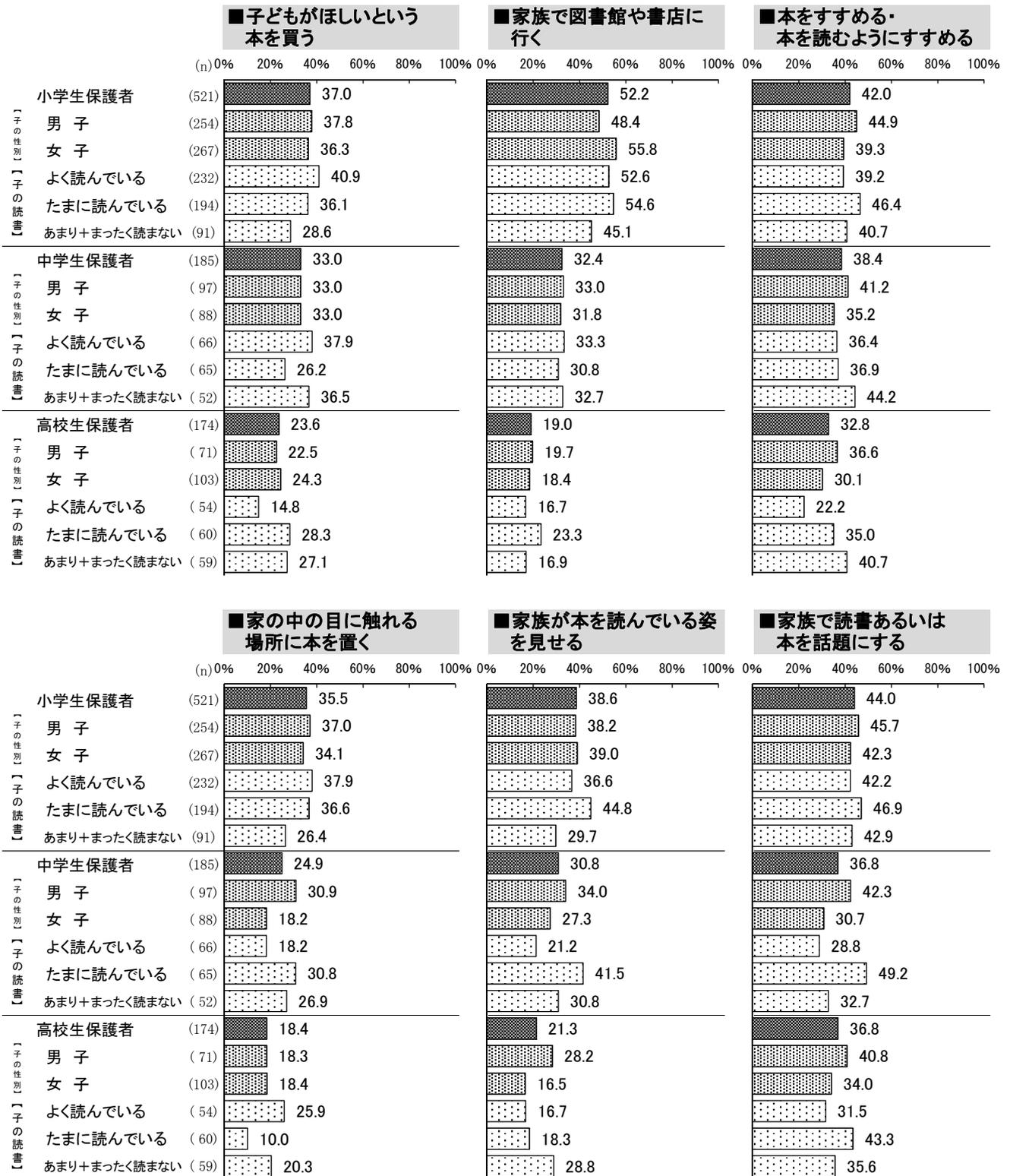


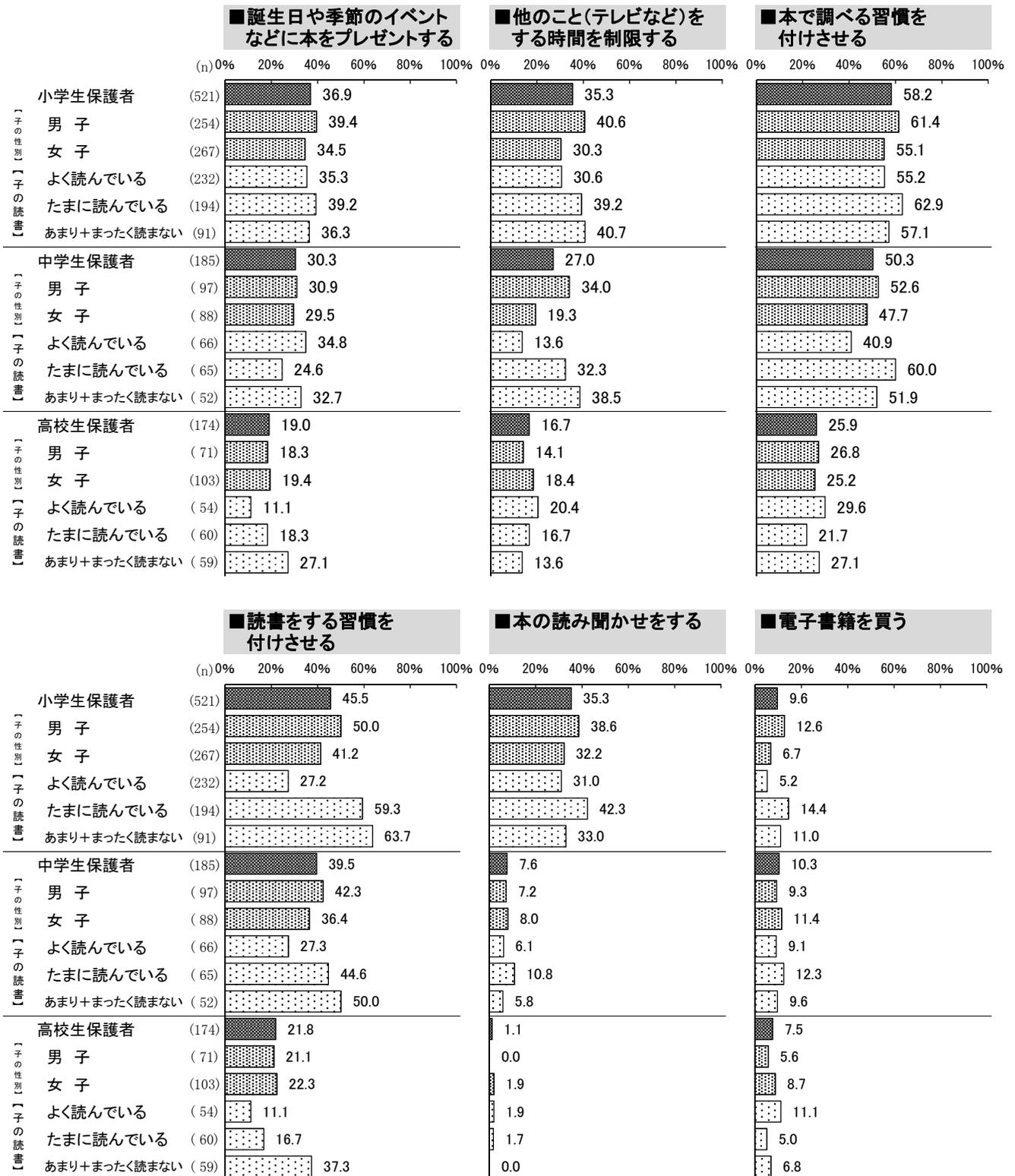
小学生保護者 (n=521)	1位	本で調べる習慣を付けさせる	58.2%
	2位	家族で図書館や書店に行く	52.2%
	3位	読書をする習慣を付けさせる	45.5%
中学生保護者 (n=185)	1位	本で調べる習慣を付けさせる	50.3%
	2位	読書をする習慣を付けさせる	39.5%
	3位	本をすすめる・本を読むようにすすめる	38.4%
高校生保護者 (n=174)	1位	家族で読書あるいは本を話題にする	36.8%
	2位	本をすすめる・本を読むようにすすめる	32.8%
	3位	本で調べる習慣を付けさせる	25.9%

《 子どもの読書促進のために今後家庭内で実施したいこと
 —子の学年・性別／子の読書程度別— 》

子どもの読書促進のために今後家庭内で実施したいことについて、子どもの性別でみると、全般的に女子より男子の保護者で回答が多くなっている。

子どもの読書の程度別では、小学生、中学生、高校生ともに子どもがあまり本を読まないと思う保護者ほど「本をすすめる・本を読むようにすすめる」、「読書をする習慣を付けさせる」の回答が多くなっている。また、小学生や中学生の保護者では、子どもがあまり本を読まないと思う保護者ほど「他のこと（テレビなど）をする時間を制限する」の回答が多くなっている。





4. 豊島区立図書館について

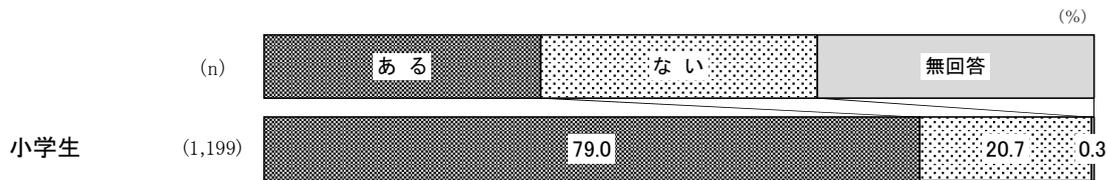
(1) 豊島区立図書館の利用経験

[小学生:問16][中学生:問18]

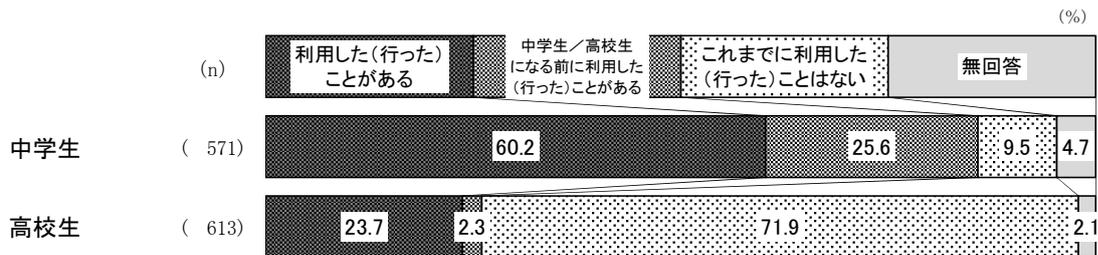
豊島区立図書館の利用経験について小学生2年生は小学生になってから、5年生は4年生（高学年）になってから、中学生は中学生になってから、高校生は高校生になってからの状況をたずねたところ、小学生は「ある」（79.0%）が8割近く、中学生は「利用した（行った）ことがある」（60.2%）が6割、高校生（23.7%）が2割台半ばとなっている。

高校生については、豊島区立の高等学校の生徒に調査を行ったが、豊島区内に居住していない生徒も含まれていることから、「これまでに利用した（行った）ことはない」（71.9%）が7割近くとなっている。

【 小学生 】



【 中学生・高校生 】



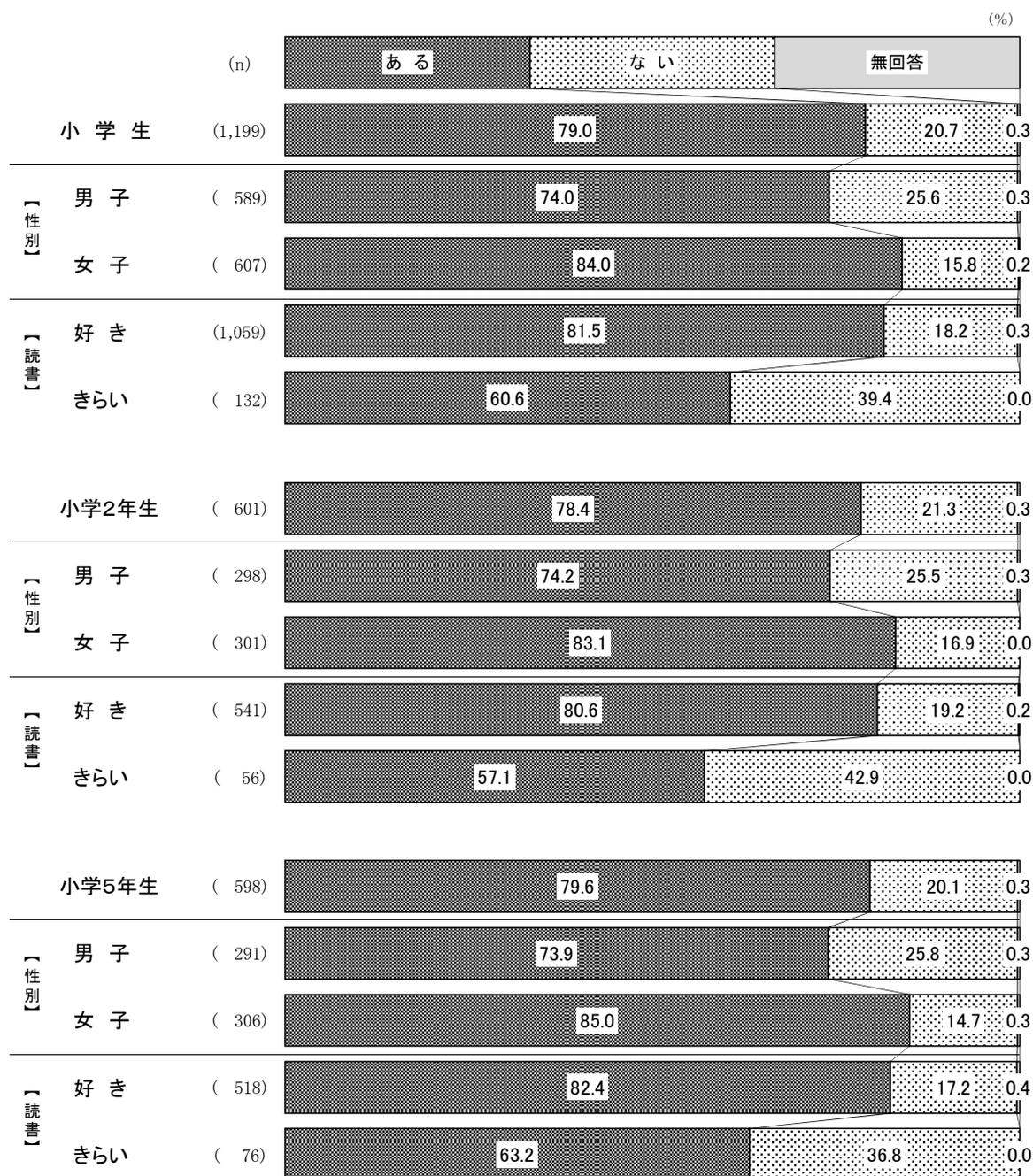
《 豊島区立図書館の利用経験—学年・性別／読書が好きかどうか》

豊島区立図書館の利用経験について小学生の学年別でみると、2年生（78.4%）、5年生（79.6%）とで差はみられず、ともに「ある」が8割近くとなっている。

性別でみると、2年生、5年生ともに「ある」は男子が7割台半ば、女子が8割台半ばと男子より女子の方が図書館の利用経験者の割合が多くなっている。

読書が好きかどうかでみると、2年生、5年生ともに読書が好きな児童は読書がきらいな児童より図書館の利用経験者の割合が多く、読書が好きな児童は「ある」が8割、読書がきらいな児童は6割前後となっている。

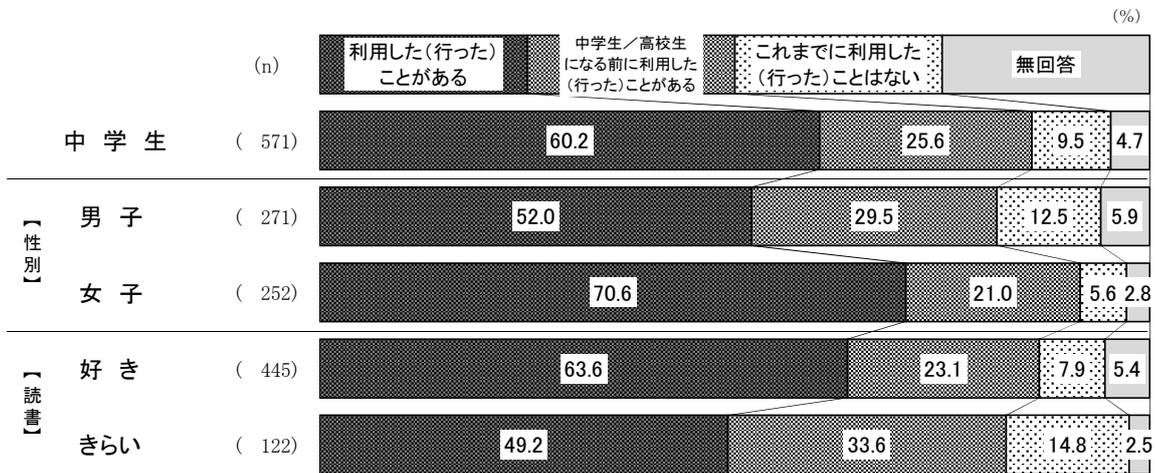
【 小 学 生 】



中学生の性別でみると、小学生同様に男子（52.0%）より女子（70.6%）の方が図書館の利用経験者の割合が多くなっている。

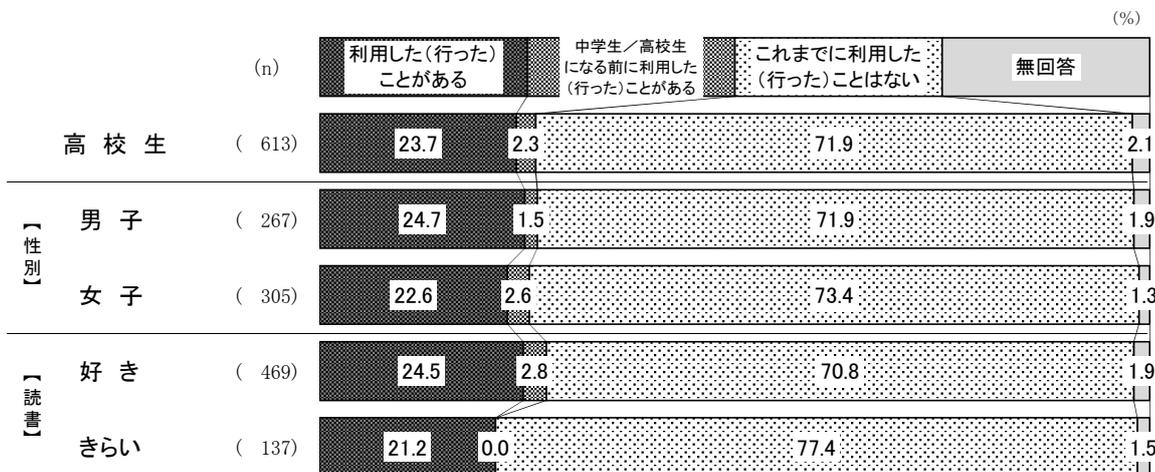
読書が好きかどうかによる差についても小学生と同様、読書が好きな生徒（63.6%）は読書がきらいな生徒（49.2%）より図書館の利用経験者の割合が多くなっている。

【 中 学 生 】



高校生の性別及び読書が好きかどうかでみると、小学生や中学生に比べて大きな差はみられない。

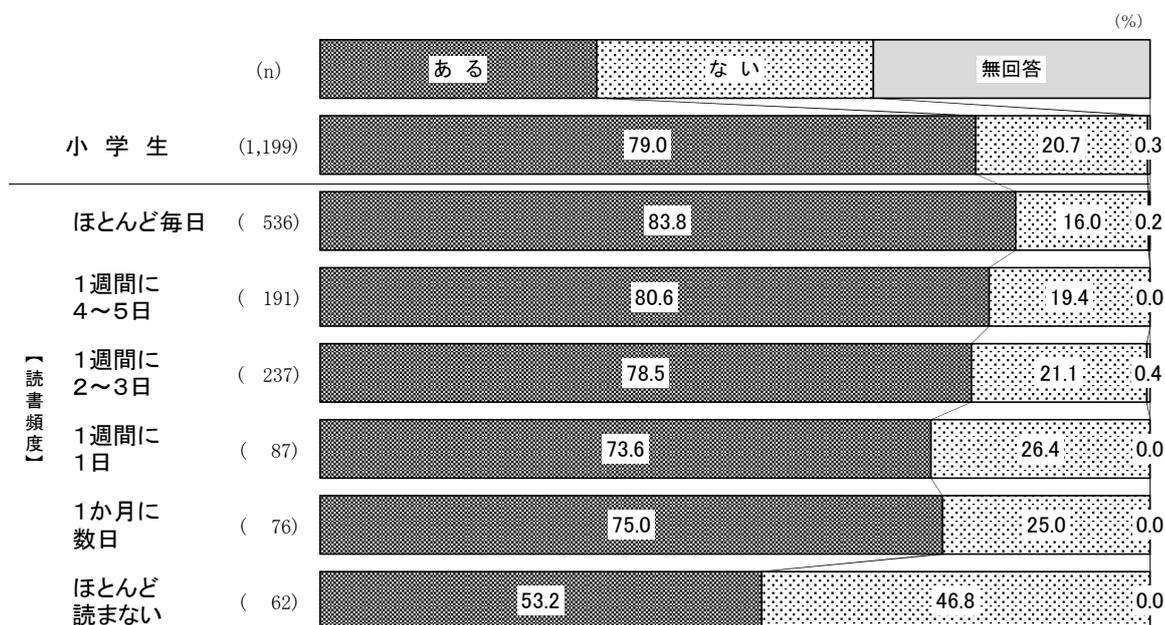
【 高 校 生 】



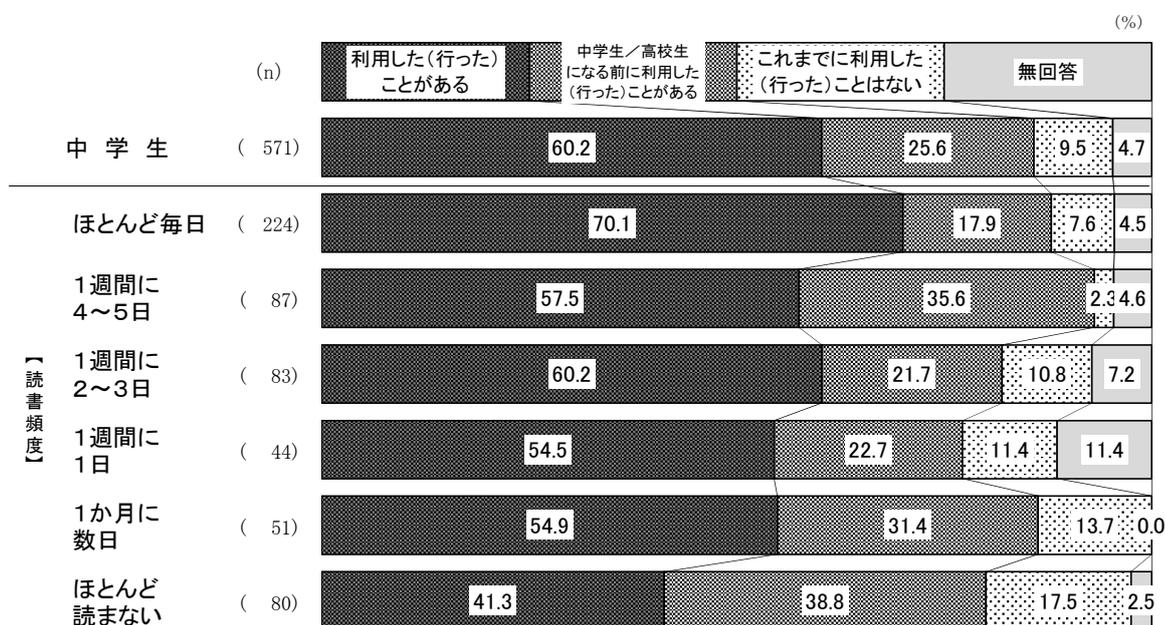
《 豊島区立図書館の利用経験—読書頻度別 》

豊島区立の図書館の利用経験について読書の頻度別でみると、多少ばらつきはあるが、小学生、中学生は読書頻度が高いほど図書館の利用経験者の割合が多い傾向となっている。

【 小学生 】

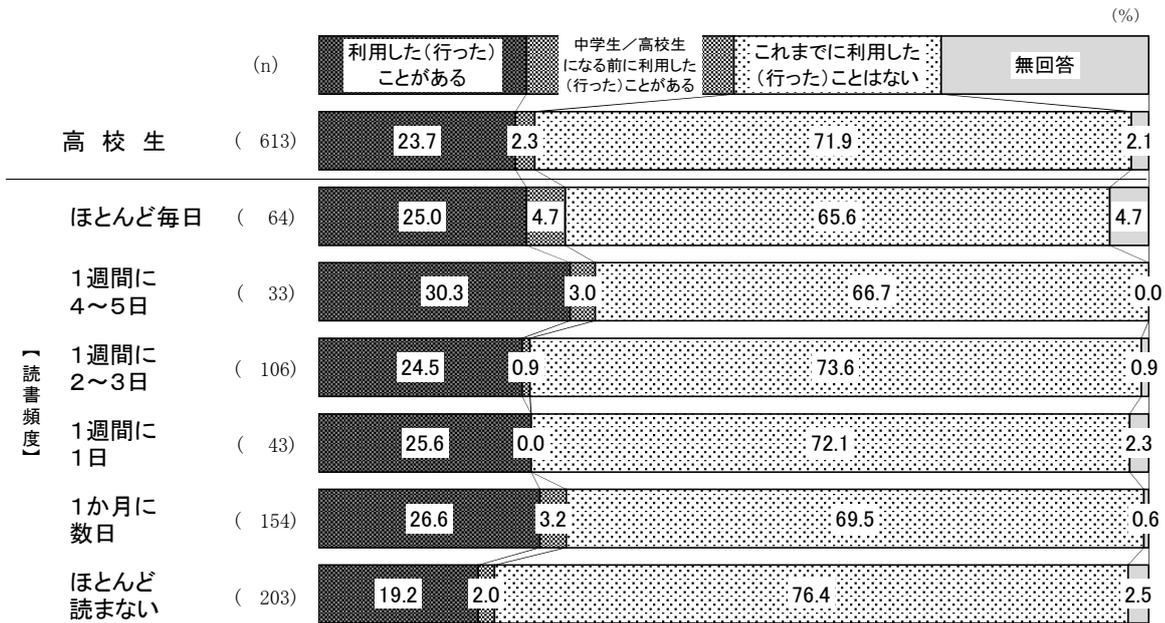


【 中学生 】



高校生については、読書頻度による図書館の利用経験に大きな差はみられない。

【 高 校 生 】

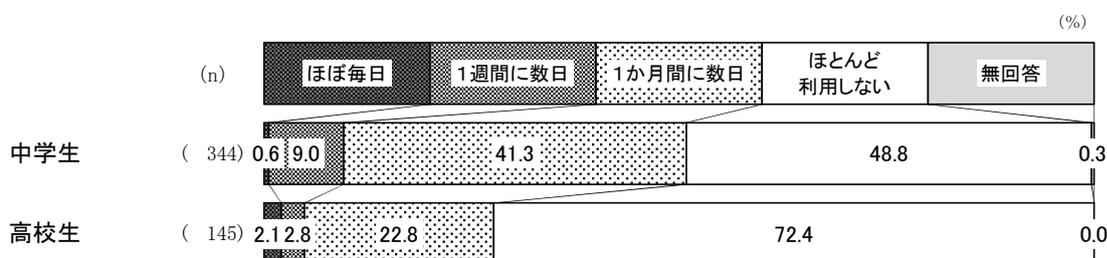


(2) 豊島区立図書館の利用頻度

[中高生:問19]

豊島区立図書館を利用した（行った）ことがあると回答した中学生及び高校生に、利用頻度についてたずねたところ、「ほとんど利用しない」が中学生（48.8%）、高校生（72.4%）ともに最も多くなっている。「1か月に数日」が中学生（41.3%）は4割近く、高校生（22.8%）は2割近くとなっている。

【 中学生・高校生 】

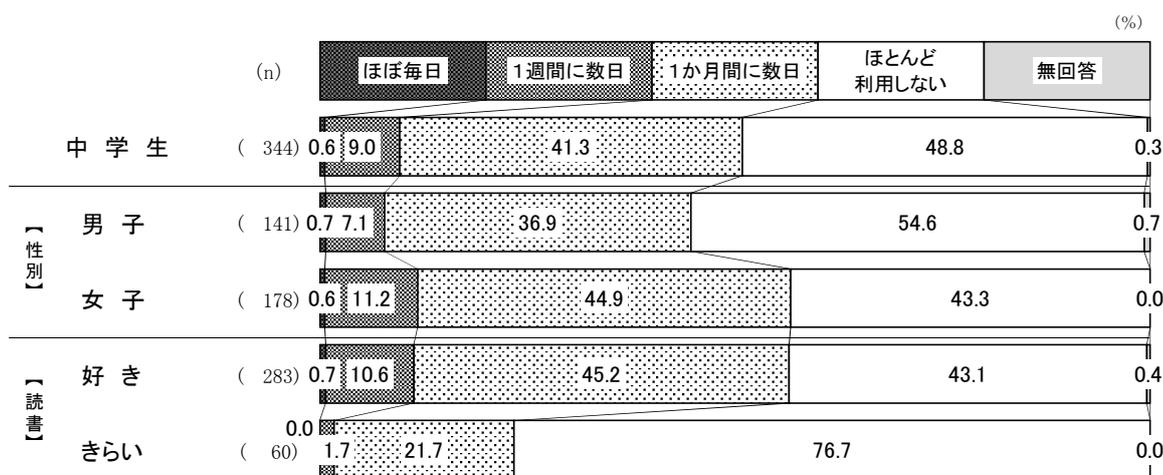


《 豊島区立図書館の利用頻度—学年・性別／読書が好きかどうか 》

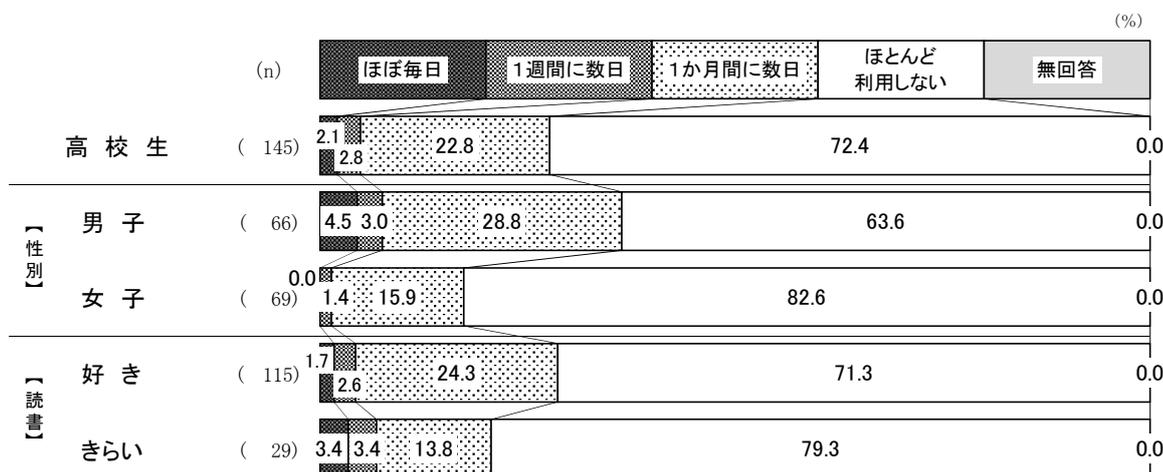
豊島区立の図書館の利用頻度について性別でみると、中学生は男子より女子で、高校生は女子より男子で利用頻度が高くなっている。

読書が好きかどうかでは、中学生、高校生ともに読書が好きな生徒は読書がきらいな生徒より図書館の利用頻度が高くなっている。

【 中 学 生 】



【 高 校 生 】

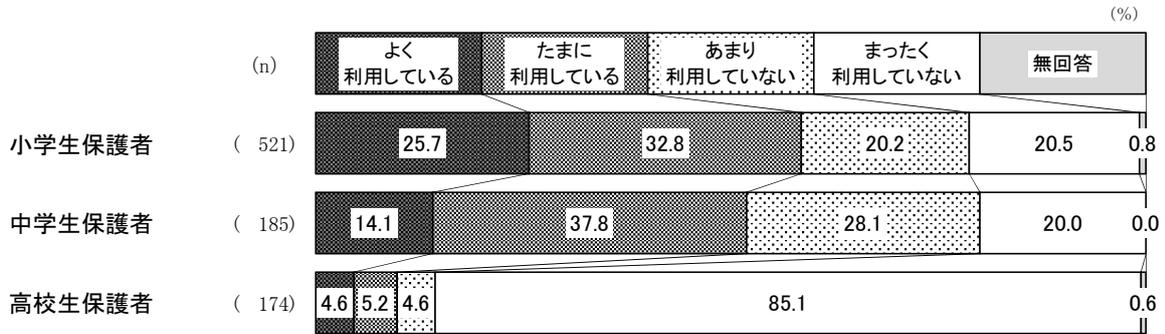


(3) 保護者自身の豊島区立図書館の利用程度

[保護者:問18]

保護者自身の豊島区立図書館の利用の程度について保護者にたずねたところ、「よく利用している」は小学生の保護者(25.7%)、中学生の保護者(14.1%)、高校生の保護者(4.6%)と子どもの学年が小さい保護者ほど多い傾向となっている。高校生の保護者は「まったく利用していない」(85.1%)が8割台半ばとなっており、生徒と同様、豊島区内に居住していない場合が含まれているためと思われる。

【 保護者自身 】

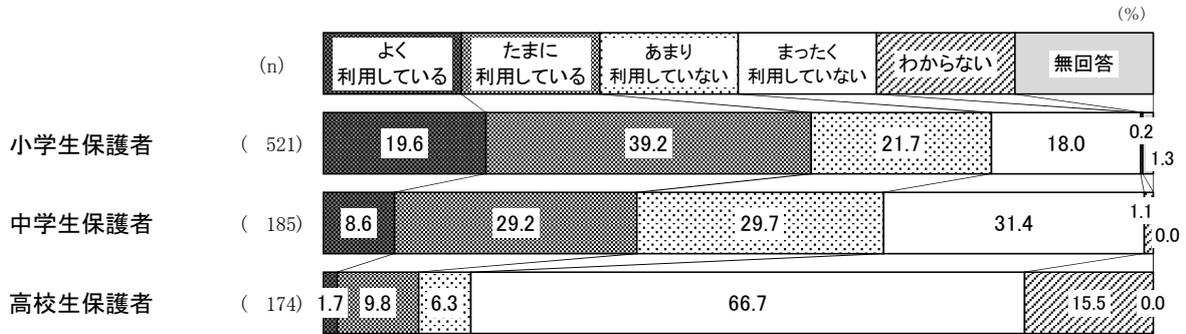


(4) 保護者からみた子どもの豊島区立図書館の利用程度

[保護者:問19]

保護者からみた子どもの豊島区立図書館の利用程度について保護者にたずねたところ、「よく利用している」は小学生の保護者(19.6%)は2割、中学生の保護者(8.6%)は1割近く、高校生の保護者(1.7%)は1割未満、「たまに利用している」は小学生の保護者(39.2%)は4割、中学生の保護者(29.2%)は3割、高校生の保護者(9.8%)は1割となっており、子どもが小さいほど図書館をよく利用している割合が多くなっている。

【 保護者からみた子どもの状況 】



《 保護者からみた子どもの豊島区立図書館の利用程度

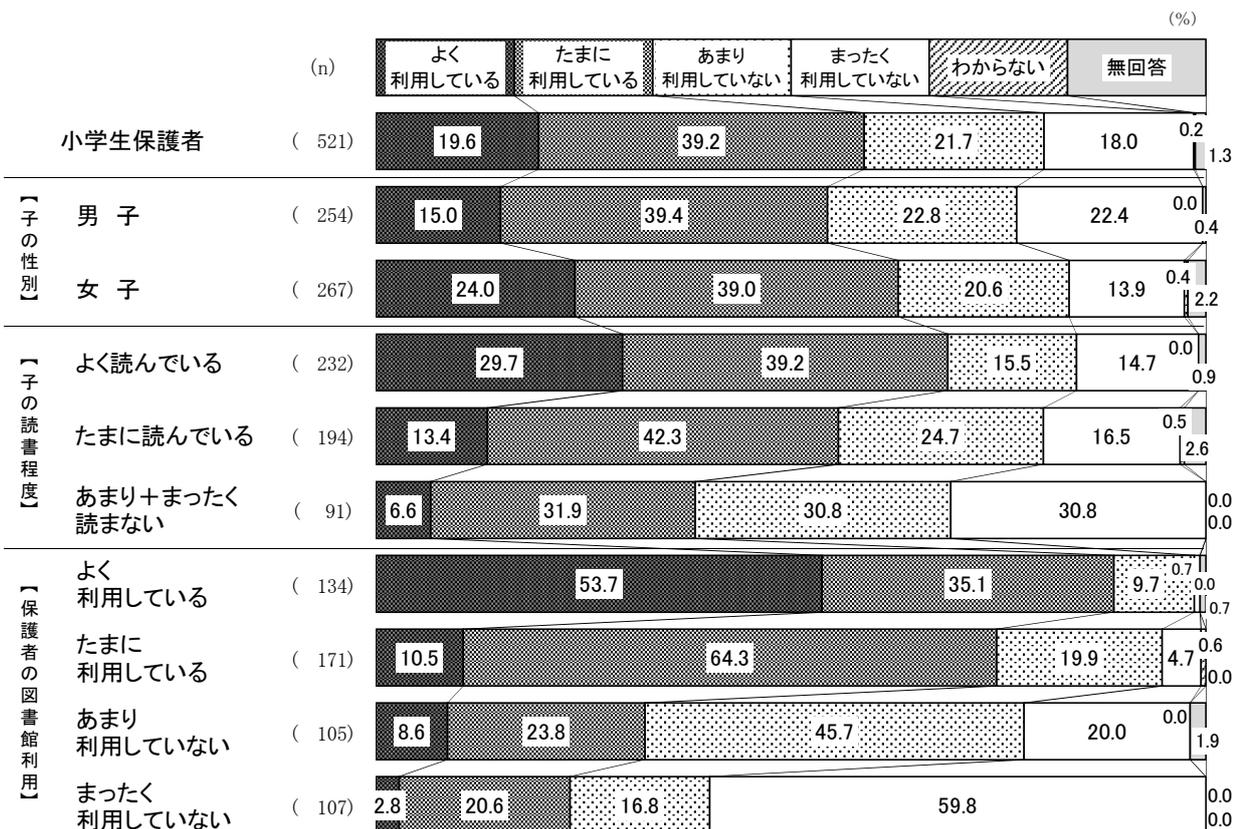
—子どもの性別／子どもの読書程度別／保護者の図書館利用程度別—

保護者からみた子どもの豊島区立図書館の利用の程度について子どもの性別でみると、小学生の保護者は男子より女子の保護者の方が子どもがよく利用していると回答している。

子どもの読書の程度別では、子どもがよく読んでいると思う保護者ほど子どもが図書館をよく利用していると回答している。

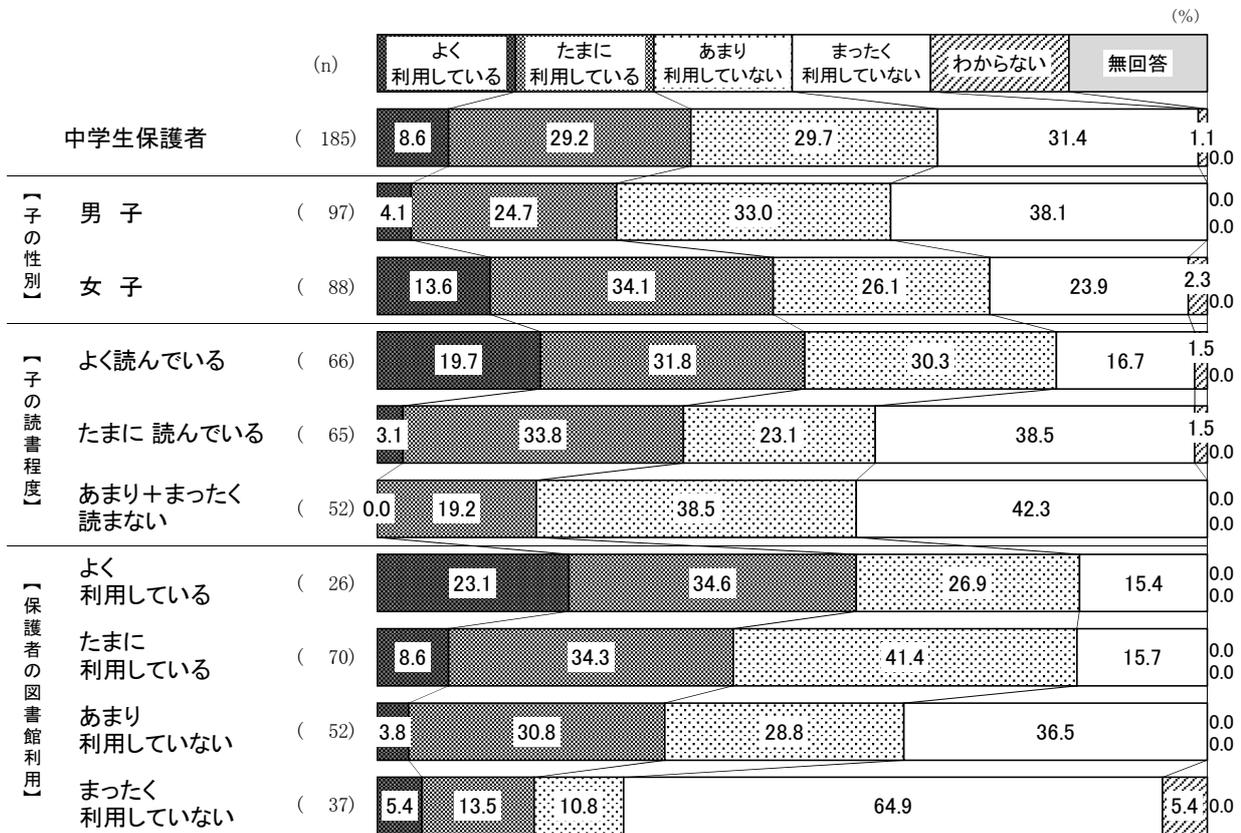
保護者自身の豊島区立図書館の利用状況別でみると、図書館をよく利用している保護者ほど子どもも図書館をよく利用していると回答する割合が多い傾向となっている。

【 小学生保護者 】



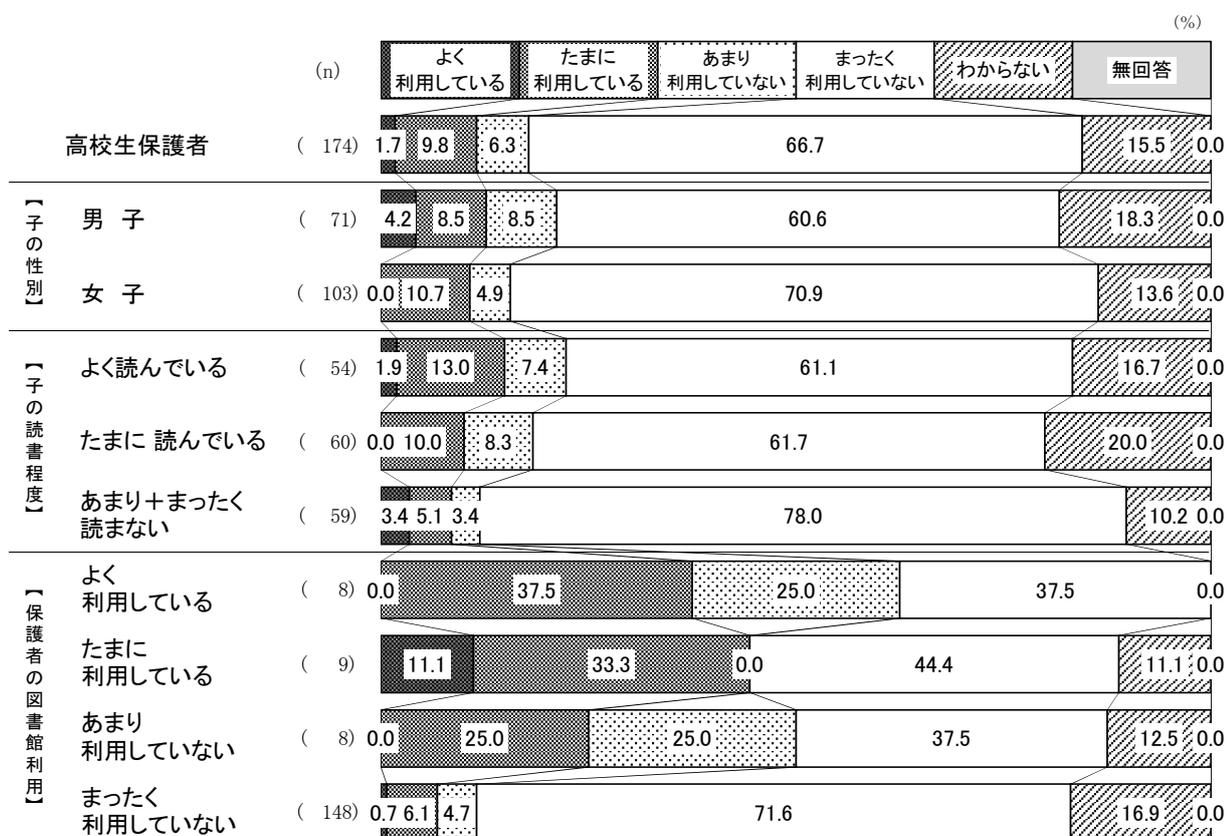
中学生の保護者についても、子どもの性別では男子より女子の保護者で、子どもの読書の程度別ではよく読んでいると思う保護者で、保護者自身の図書館の利用の程度別ではよく利用している保護者で、子どもが豊島区立図書館をよく利用していると回答する割合が多く、小学生の保護者と同様の傾向となっている。

【 中学生保護者 】



高校生の保護者については、子どもの性別では女子より男子の保護者の方が子どもが豊島区立図書館を利用していると回答する割合が多くなっている。

【 高校生保護者 】



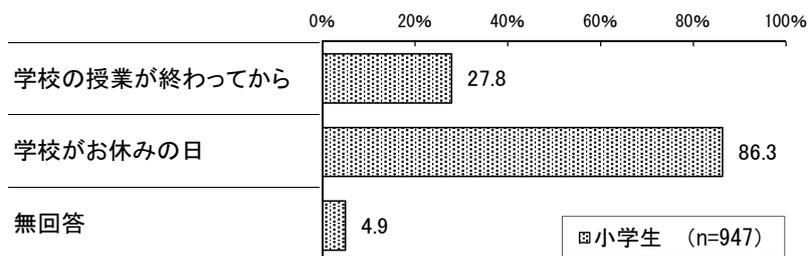
(5) 豊島区立図書館の利用日（複数回答）

〔小学生:問17〕〔中高生:問20〕

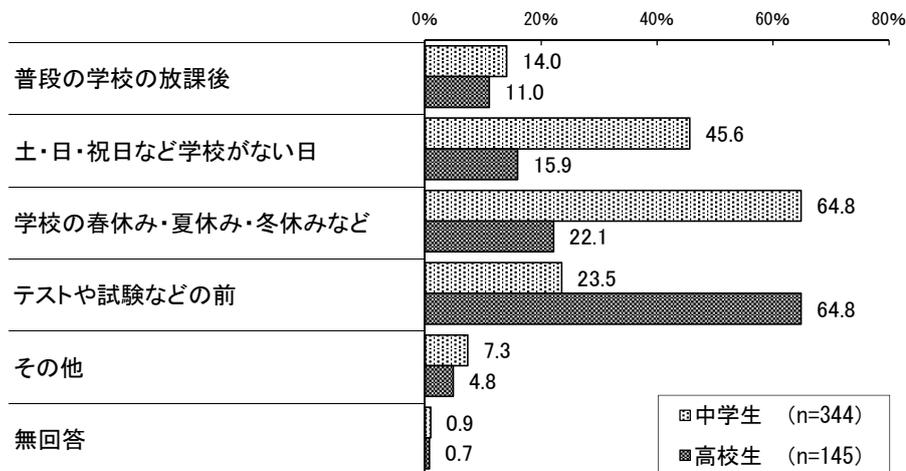
豊島区立図書館を利用した（行った）ことがあると回答した小学生（調査票では全員に）、中学生及び高校生に豊島区立図書館の利用日についてにたずねたところ、小学生は「学校がお休みの日」（86.3%）が8割台半ば、「学校の授業が終わってから」（27.8%）が2割台半ばとなっている。中学生は「学校の春休み・夏休み・冬休みなど」（64.8%）が6割台半ばと最も多く、次いで「土・日・祝日など学校がない日」（45.6%）が4割台半ばとなっている。高校生は「テストや試験などの前」（64.8%）が6割台半ばと最も多く、次いで「学校の春休み・夏休み・冬休みなど」（22.1%）が2割近くとなっている。

【 小学生 】

※集計上：豊島区立図書館の利用経験者（2年生＝小学校に入ってから／5年生＝4年生になってから）のみ



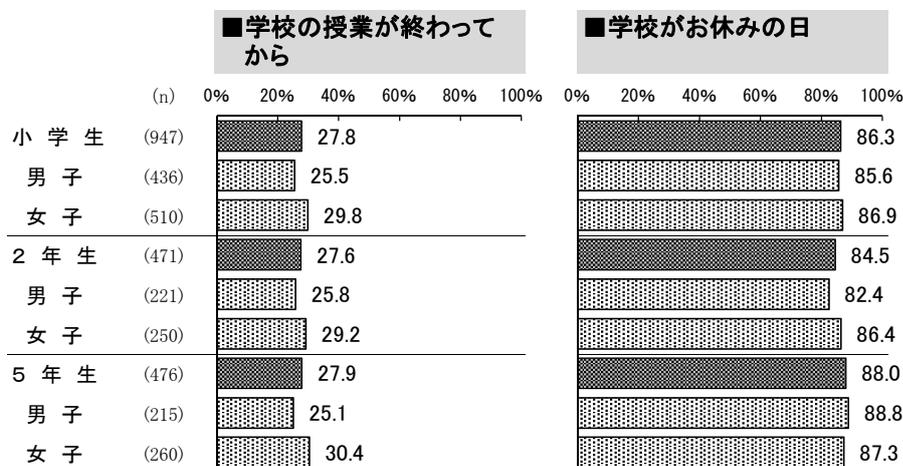
【 中学生・高校生 】



《 豊島区立図書館の利用日－学年・性別 》

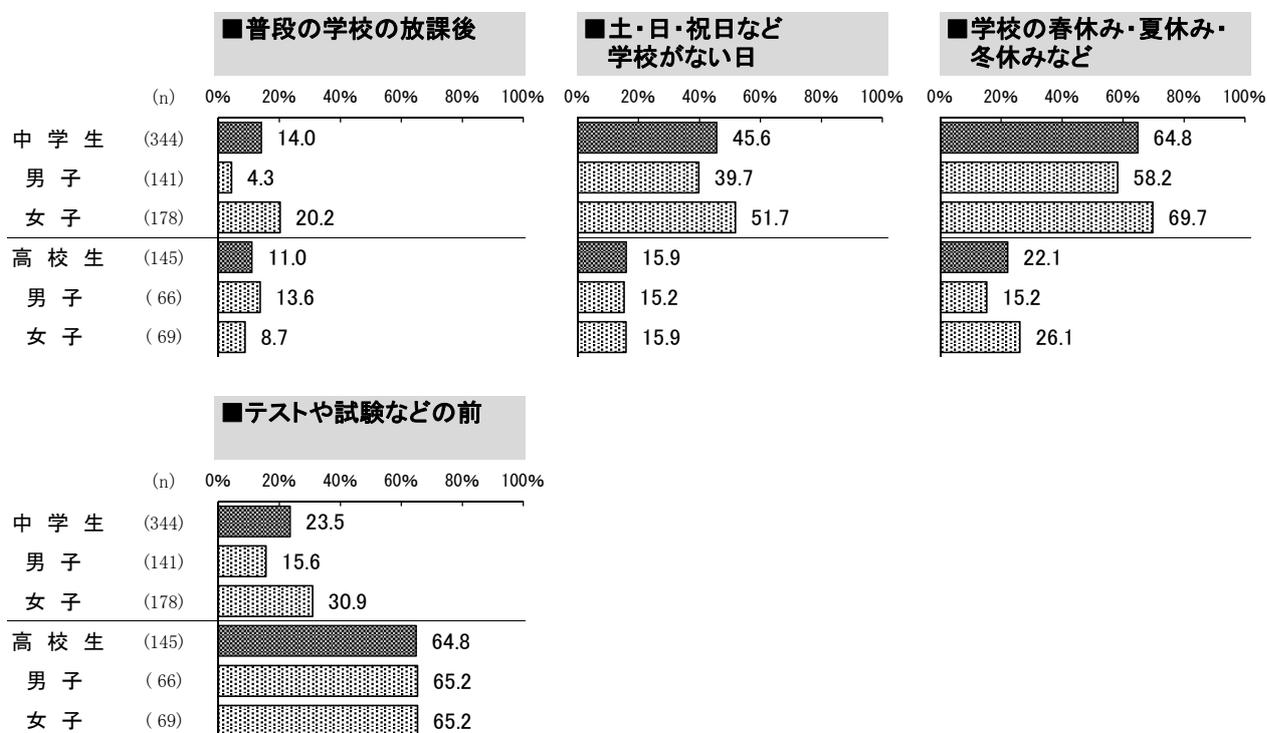
豊島区立図書館の利用日について小学生の学年別及び性別でみると、2年生と5年生、男子と女子とで大きな差はみられない。

【 小学生 】



中学生の性別でみると、いずれの項目も男子より女子の回答が多くなっている。高校生は「普段の学校の放課後」は女子より男子で、「学校の春休み・夏休み・冬休みなど」は男子より女子の回答が多くなっている。

【 中学生・高校生 】



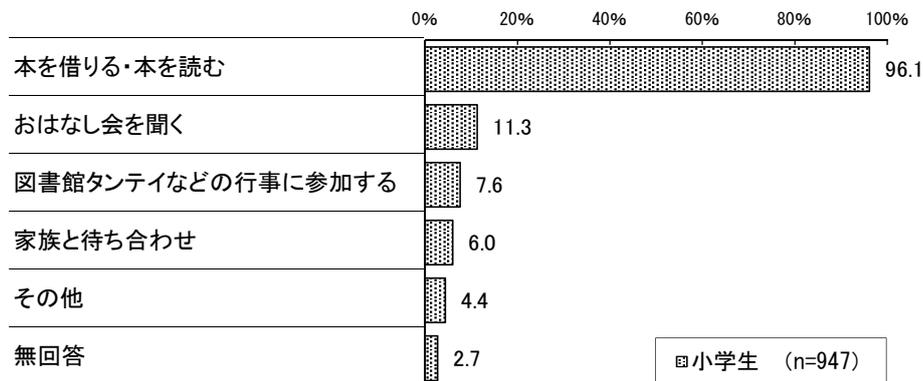
(6) 豊島区立図書館の利用目的（複数回答）

[小学生:問18][中高生:問21]

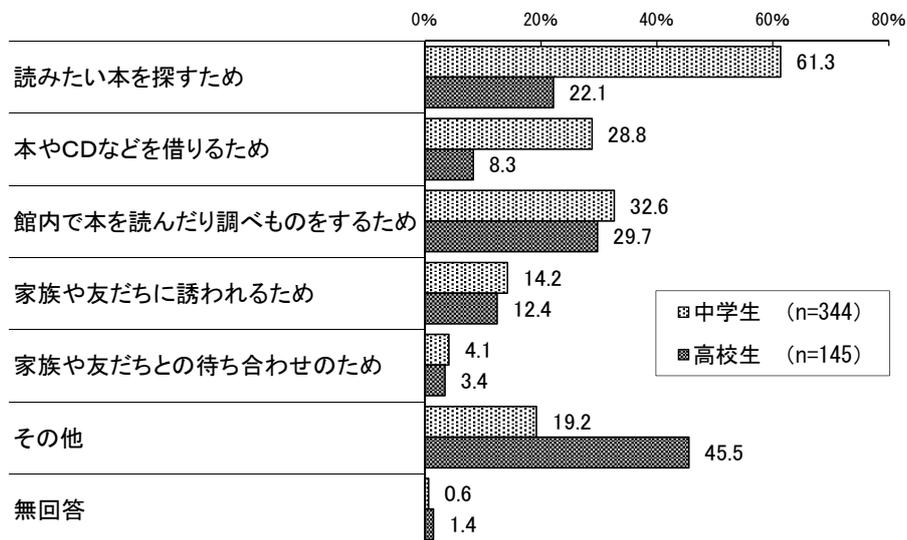
豊島区立図書館を利用した（行った）ことがあると回答した小学生（調査票では全員に）、中学生及び高校生に、豊島区立図書館の利用目的についてたずねたところ、小学生は「本を借りる・本を読む」（96.1%）が9割を超えて中心となっており、「おはなし会を聞く」（11.3%）、「図書館タンテイなどの行事に参加する」（7.6%）、「家族と待ち合わせ」（6.0%）は1割から1割未満となっている。中学生は「読みたい本を探すため」（61.3%）が6割近くと最も多く、「館内で本を読んだり調べものをするため」（32.6%）、「本やCDなどを借りるため」（28.8%）が各々3割近くで次いでいる。高校生は「館内で本を読んだり調べものをするため」（29.7%）が3割と最も多く、「読みたい本を探すため」（22.1%）が2割近くで次いでいる。

【 小学生 】

※集計上：豊島区立図書館の利用経験者（2年生＝小学校に入ってから／5年生＝4年生になってから）のみ



【 中学生・高校生 】



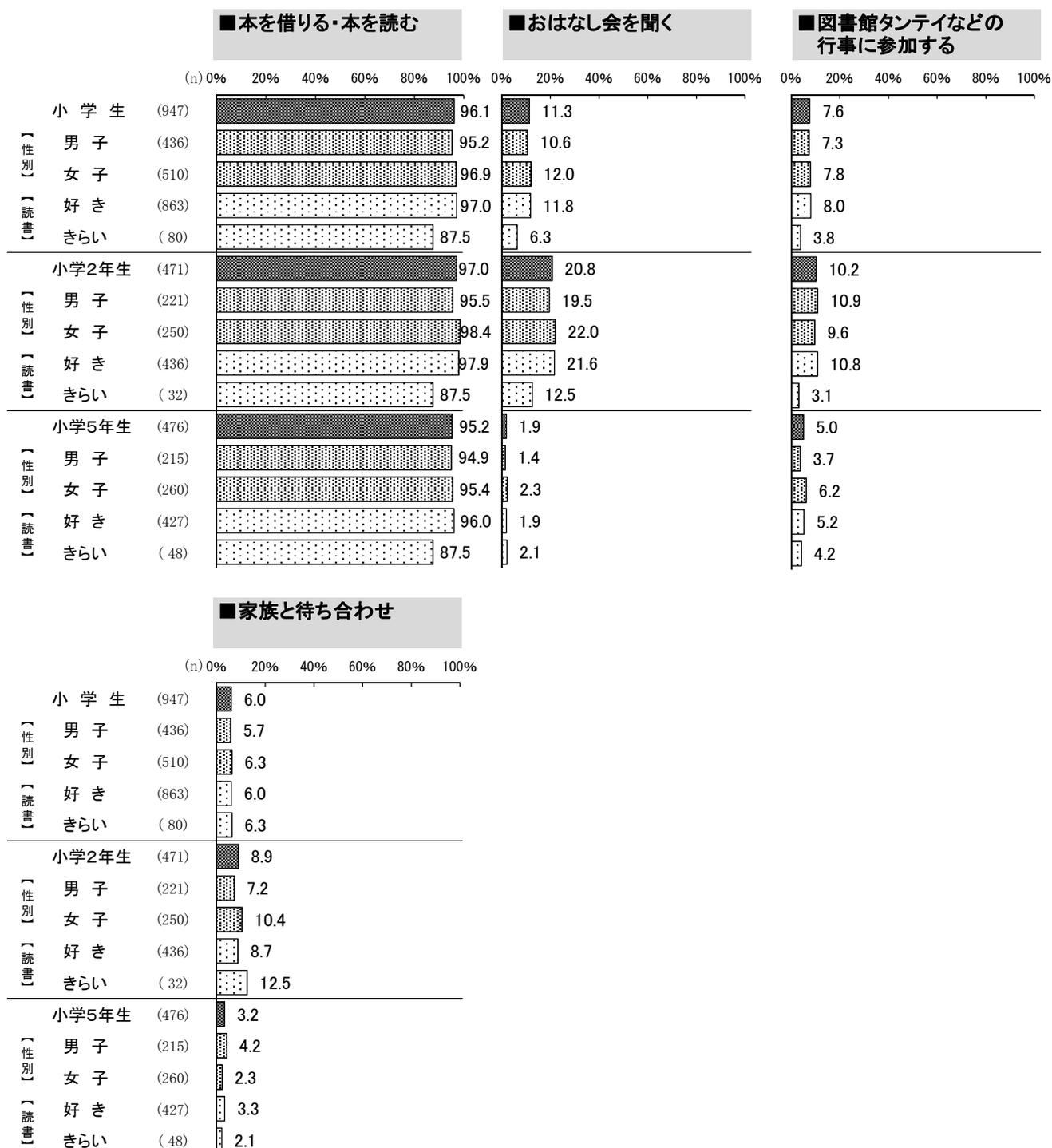
《 豊島区立図書館の利用目的—学年・性別／読書が好きかどうか 》

図書館区立図書館の利用目的について小学生の学年別で見ると、「本を借りる・本を読む」は2年生(97.0%)も5年生(95.2%)も9割を超えており差はみられない。「おはなし会を聞く」、「図書館タンテイなどの行事に参加する」、「家族との待ち合わせ」は5年生より2年生の回答が多くなっている。

性別で見ると、2年生、5年生ともに男子と女子とで大きな差はみられない。

読書が好きかどうかで見ると、2年生、5年生ともに読書が好きな児童は読書がきらいな児童より全般的に各項目の回答が多くなっている。

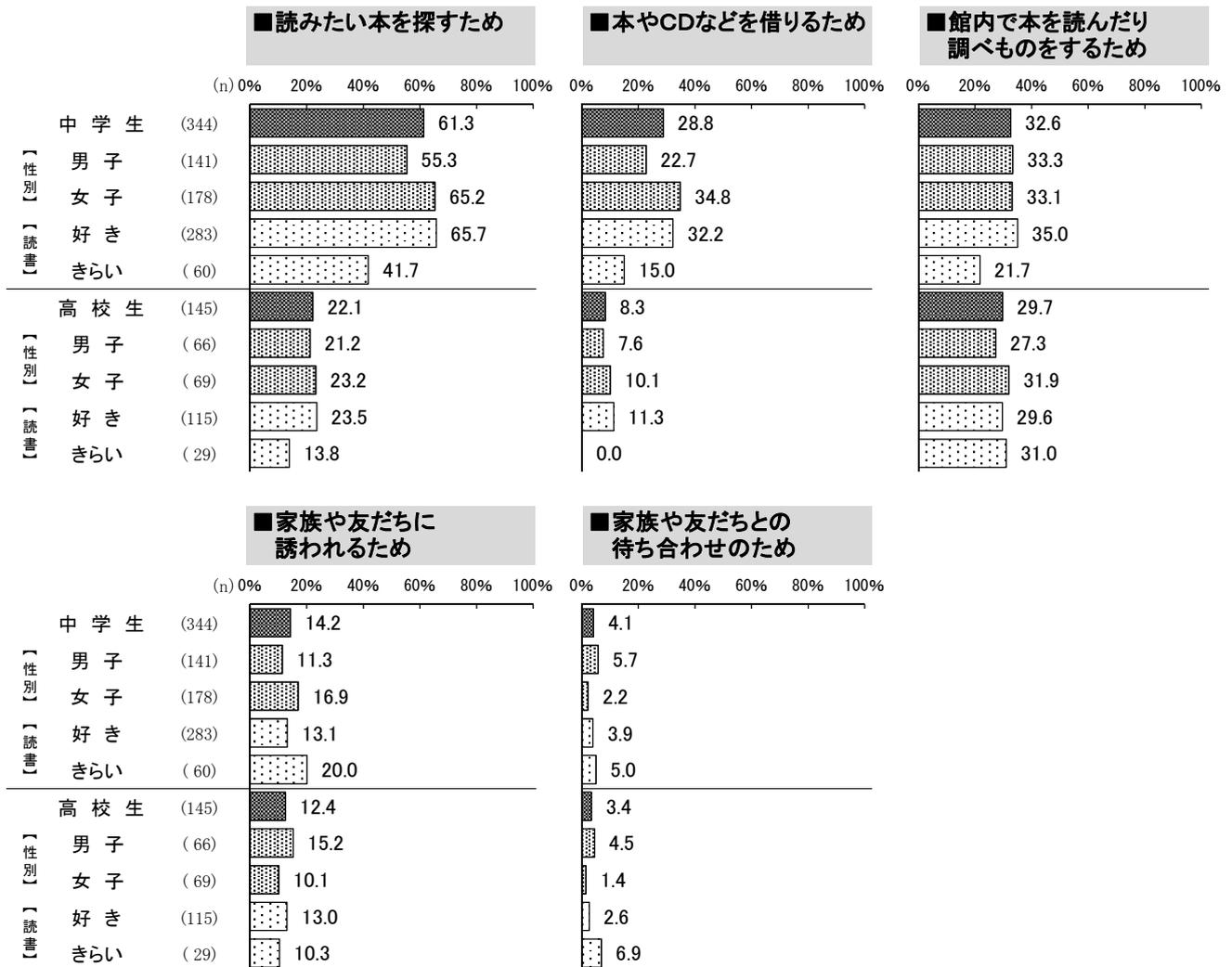
【 小学生 】



中学生及び高校生の性別でみると、中学生は男子より女子で「読みたい本を探すため」、「本やCDなどを借りるため」、「家族や友だちに誘われるため」などが多くなっている。高校生は女子より男子で「家族や友だちに誘われるため」などの回答が多くなっている。

読書が好きかどうかでみると、読書が好きな生徒は読書がきらいな生徒より全般的に各項目の回答が多い傾向であるが、中学生では読書が好きな生徒より読書がきらいな生徒で「家族や友だちに誘われるため」の回答が多くなっている。

【 中学生・高校生 】



(7) 豊島区立図書館を利用していない状況

[中高校生:問22]

豊島区立図書館を中学生になってから利用していない中学生、及び高校生になってから利用していない高校生に、図書館を利用していない状況についてたずねたところ、「利用したいけど利用していない(できない)」は中学生(17.0%)が2割近く、高校生(10.3%)が1割となっている。「特に利用する必要がないから利用していない」は中学生(81.0%)が8割、高校生(88.4%)が9割近くとなっている。

【 中学生・高校生 】

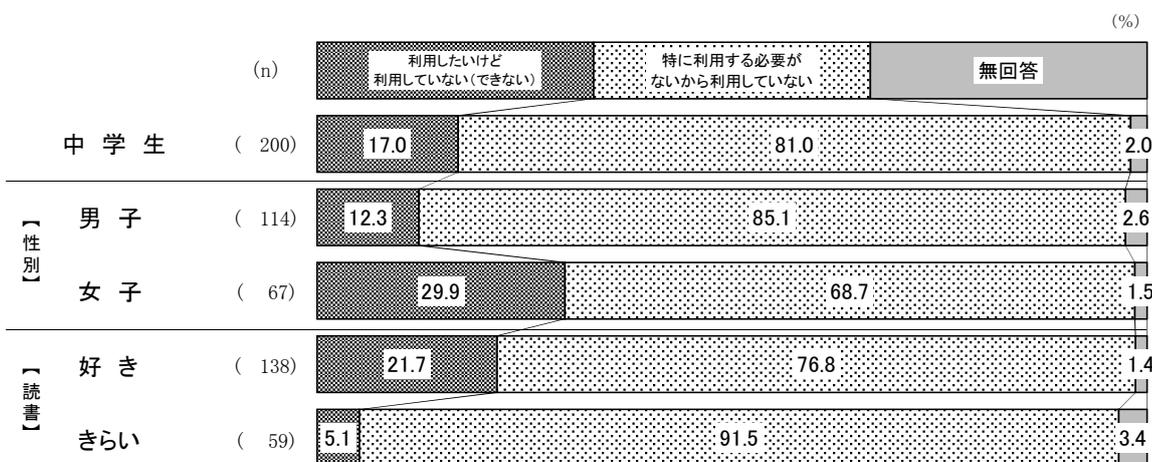


《 豊島区立図書館を利用していない状況—学年・性別／読書が好きかどうか 》

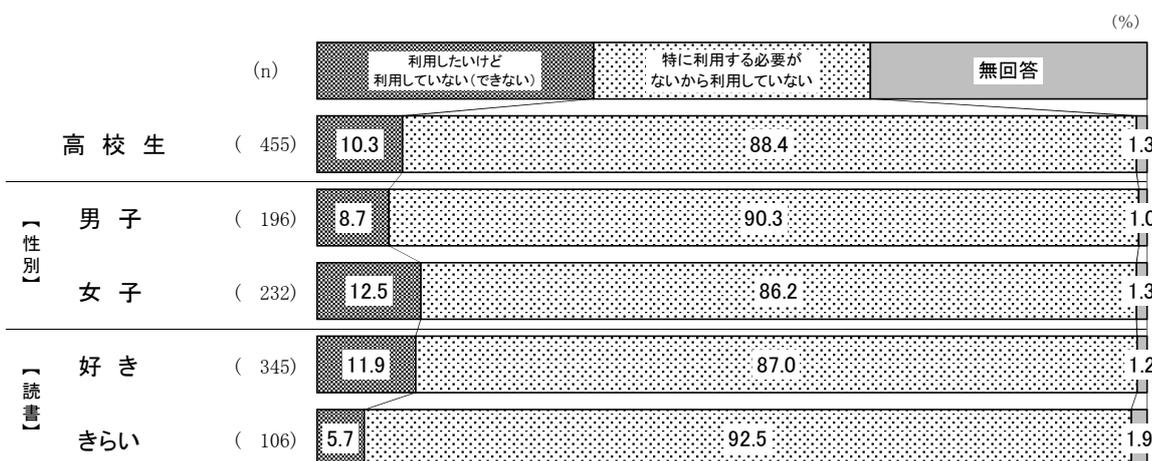
豊島区立図書館を利用しない状況について、中学生及び高校生の性別でみると、中学生、高校生ともに男子より女子で「利用したいけど利用していない(できない)」の割合多く、中学生はその差が大きくなっている。

読書が好きかどうかでみると、中学生、高校生ともに読書が好きな生徒は読書がきらいな生徒より「利用したいけど利用していない(できない)」の割合が多く、中学生はその差が大きくなっている。

【 中学生 】



【 高校生 】

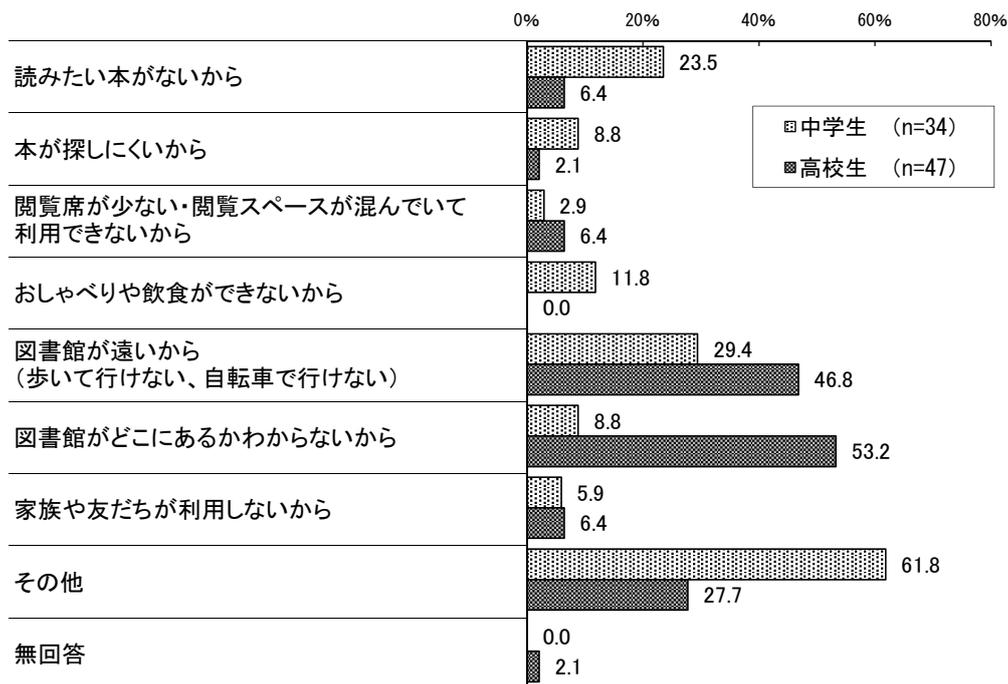


(8) 豊島区立図書館を利用したいが利用していない(できない)理由(複数回答)

〔中高生:問23〕

豊島区立図書館を「利用したいけど利用していない(できない)」と回答した中学生及び高校生に、その理由をたずねたところ、中学生は「図書館が遠いから(歩いて行けない、自転車で行けない)」(29.4%)が3割で最も多く、次いで「読みたい本がないから」(23.5%)となっている。高校生は「図書館がどこにあるかわからないから」(53.2%)と半数を越えて最も多く、次いで「図書館が遠いから(歩いて行けない、自転車で行けない)」(46.8%)が4割台半ばとなっている。高校生は豊島区内に居住していない生徒もいることから立地に関する回答が中心となっているものと思われる。

【 中学生・高校生 】



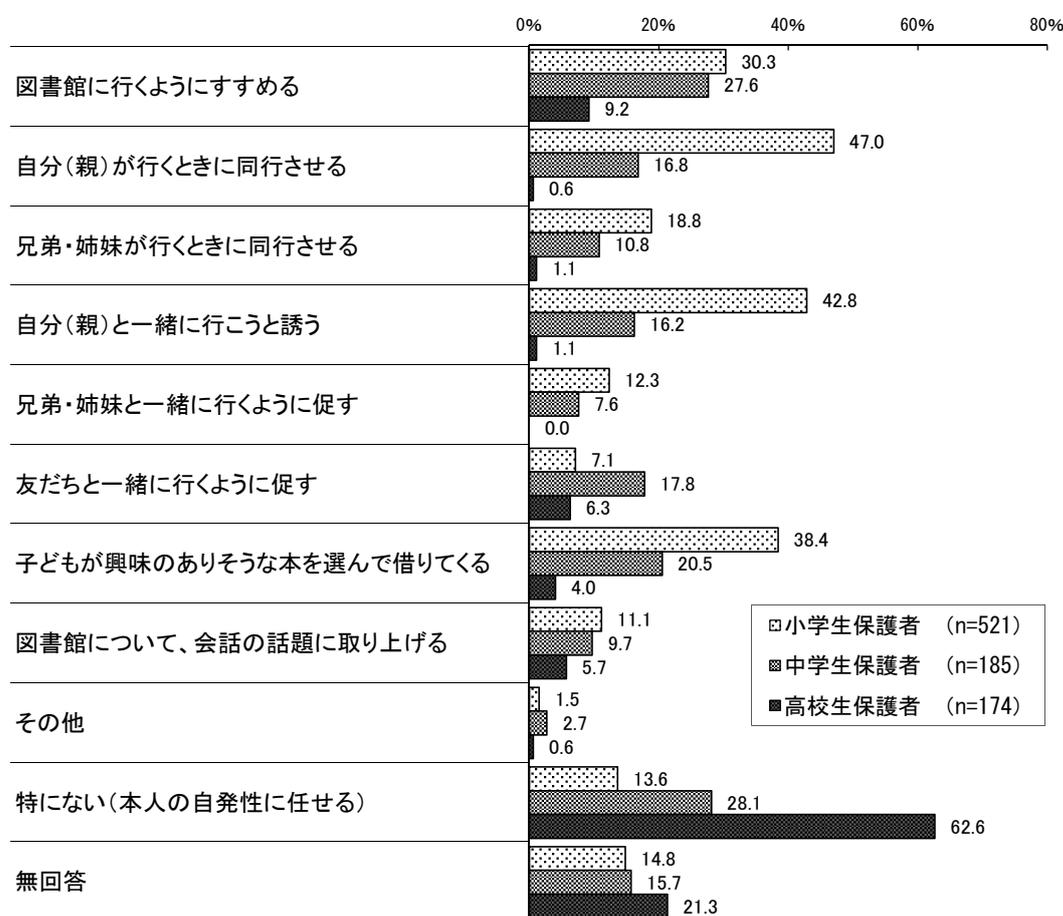
(9) 子どもの豊島区立図書館の利用促進のために普段行っていること（複数回答）

〔保護者：問20〕

子どもの豊島区立図書館の利用促進のために普段行なっていることについて保護者にたずねたところ、小学生の保護者の第1位は「自分（親）が行くときに同行させる」（47.0%）、第2位は「自分（親）と一緒にいこうと誘う」（42.8%）、「子どもが興味のある本を選んで借りてくる」（38.4%）となっている。中学生の保護者の第1位は「特にない（本人の自発性に任せる）」（28.1%）、第2位は「図書館に行くようにすすめる」（27.6%）、第3位は「子どもが興味のある本を選んで借りてくる」（20.5%）となっている。高校生の保護者の第1位は「特にない（本人の自発性に任せる）」（62.6%）と6割を超えており、第2位は「図書館に行くようにすすめる」（9.2%）、第3位は「友だちと一緒にいこうと促す」（6.3%）となっている。

小学生、中学生、高校生と子どもが大きくなるにつれ図書館の利用促進のために普段実施していることは少なくなる傾向となっている。

【保護者】

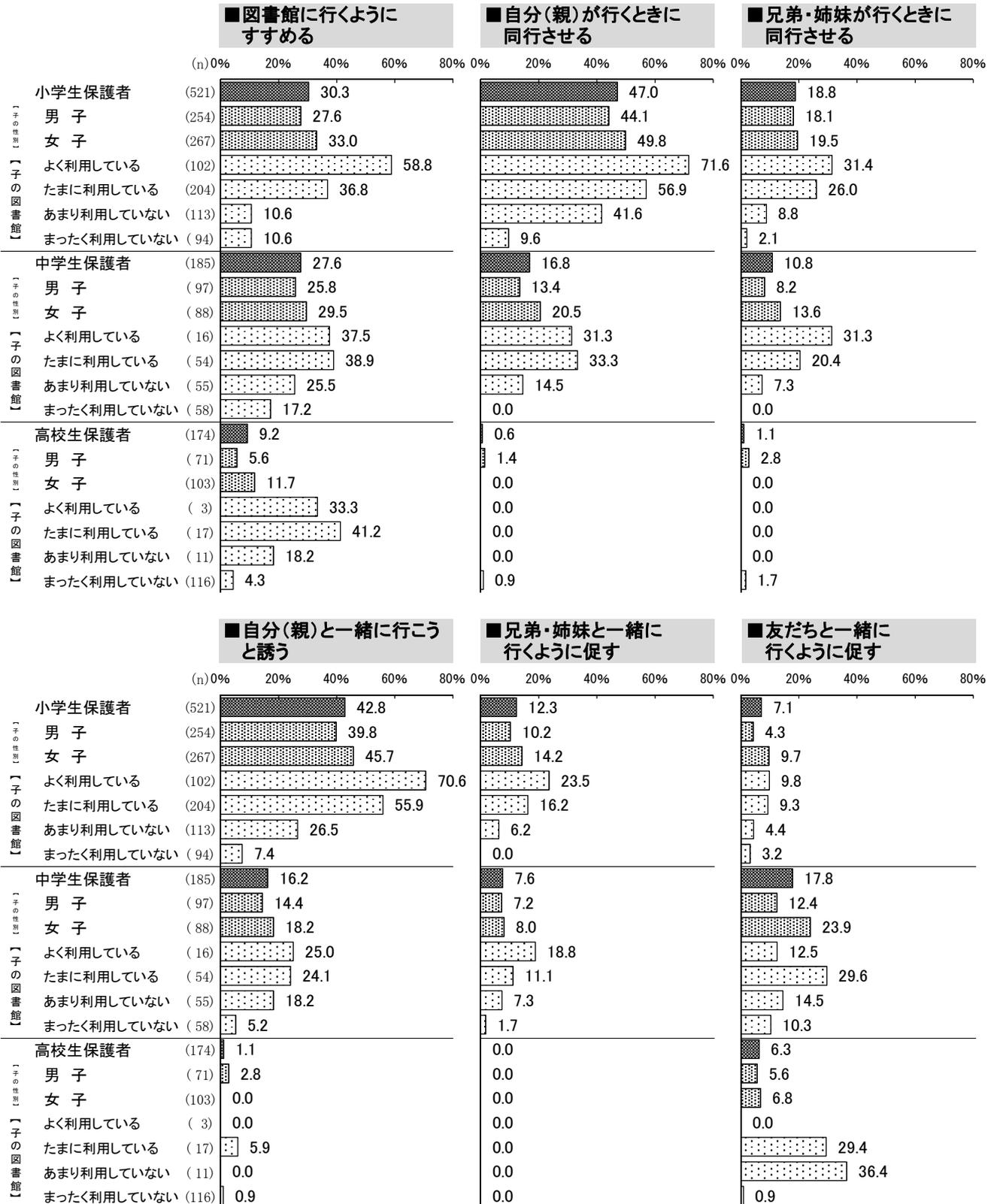


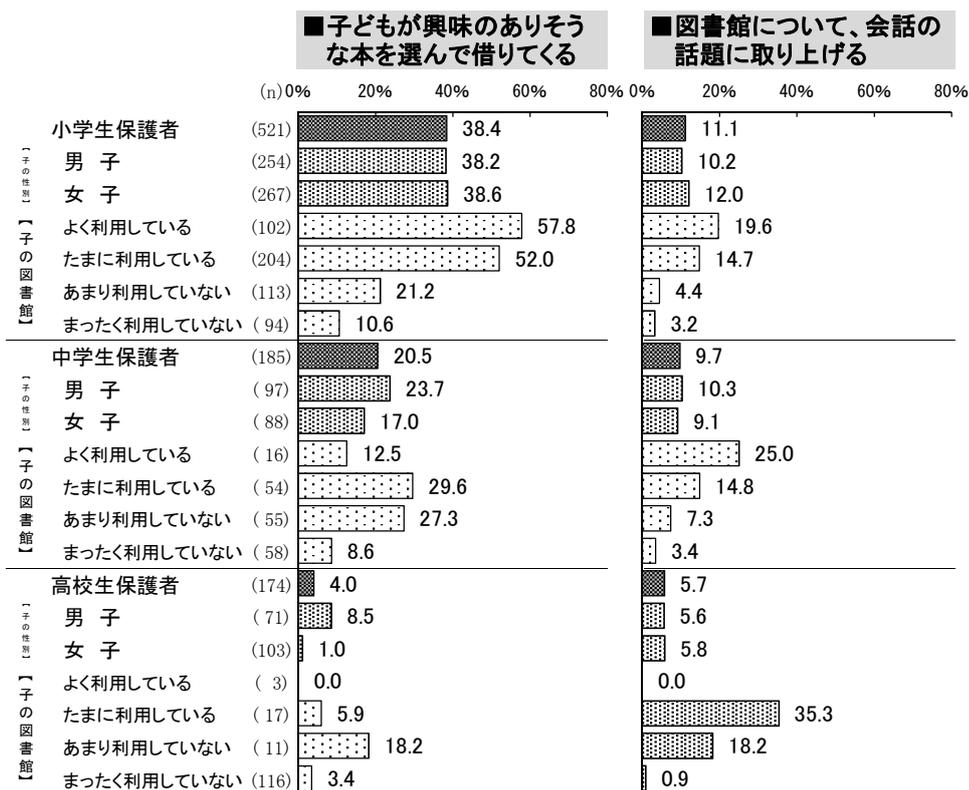
小学生保護者 (n=521)	1位	自分(親)が行くときに同行させる	47.0%
	2位	自分(親)と一緒にいこうと誘う	42.8%
	3位	子どもが興味のある本を選んで借りてくる	38.4%
中学生保護者 (n=185)	1位	特にない(本人の自発性に任せる)	28.1%
	2位	図書館に行くようにすすめる	27.6%
	3位	子どもが興味のある本を選んで借りてくる	20.5%
高校生保護者 (n=174)	1位	特にない(本人の自発性に任せる)	62.6%
	2位	図書館に行くようにすすめる	9.2%
	3位	友だちと一緒にいこうと促す	6.3%

《 子どもの豊島区立図書館の利用促進のために普段行っていること
 —子どもの学年・性別／子どもの図書館利用程度別— 》

子どもの豊島区立図書館の利用促進のために普段行なっていることについて、子どもの性別で見ると、小学生、中学生、高校生ともに全般的に男子より女子の保護者で各項目の回答が多い傾向となっているが、「子どもの興味のある本を選んで借りてくる」は中学生、高校生では女子より男子の保護者の方が回答が多くなっている。

子どもの豊島区立図書館の利用状況別で見ると、全般的に子どもが図書館をよく利用していると思う保護者ほど各項目の回答が多い傾向となっている。



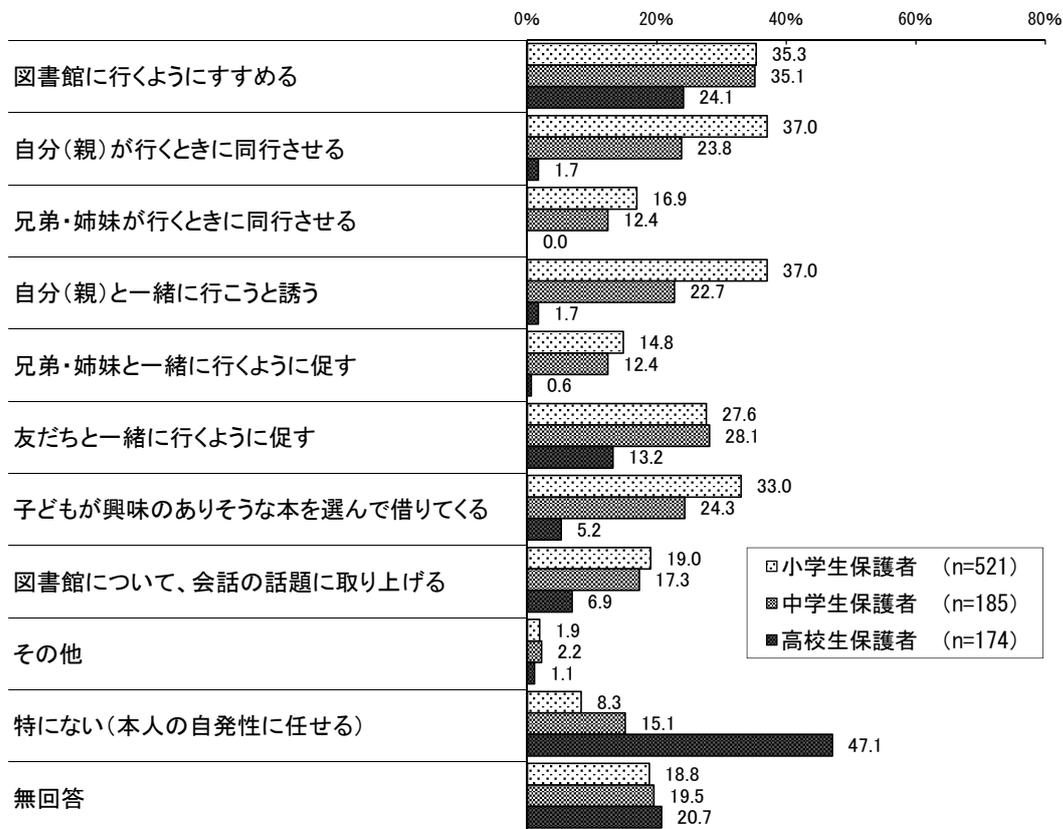


(10) 子どもの豊島区立図書館の利用促進のために今後行いたいこと（複数回答）

〔保護者：問20〕

子どもの豊島区立図書館の利用促進のために今後行いたいことについて保護者にたずねたところ、小学生の保護者の第1位は「自分（親）が行くときに同行させる」、「自分（親）と一緒にいこうと誘う」（ともに37.0%）となっており、現在行なっていることの第1位、第2位と同様の項目が上位となっており、第3位は「図書館に行くようにすすめる」（35.3%）となっている。中学生の保護者の第1位は「図書館に行くようにすすめる」（35.1%）、第2位は「友だちと一緒にいこうと誘う」（28.1%）、第3位は「子どもが興味のある本を選んで借りてくる」（24.3%）となっている。高校生の保護者の第1位は「特にない（本人の自発性に任せる）」（47.1%）が半数近くとなっており、第2位は「図書館に行くようにすすめる」（24.1%）、第3位は「友だちと一緒にいこうと誘う」（13.2%）となっている。

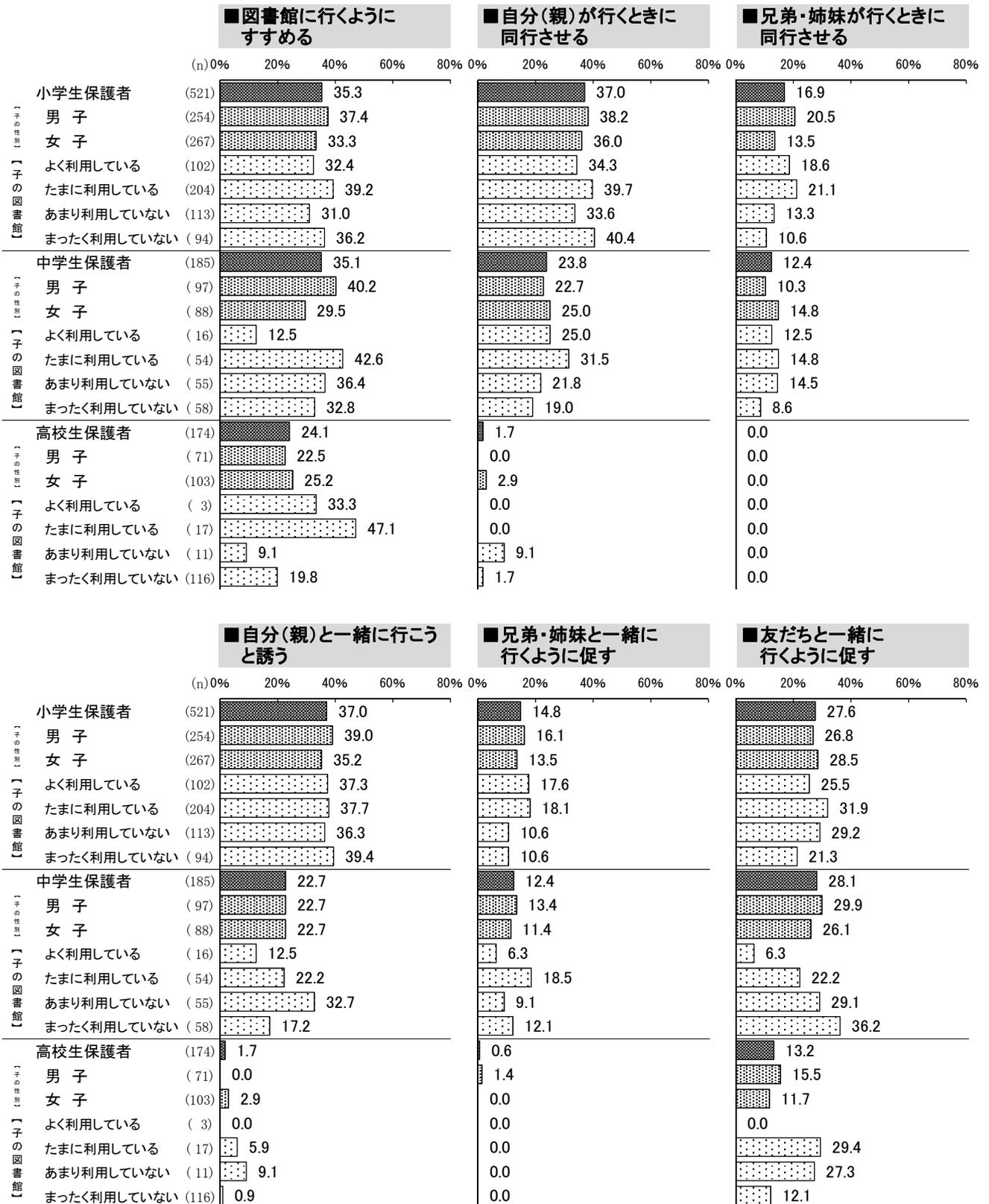
【保護者】

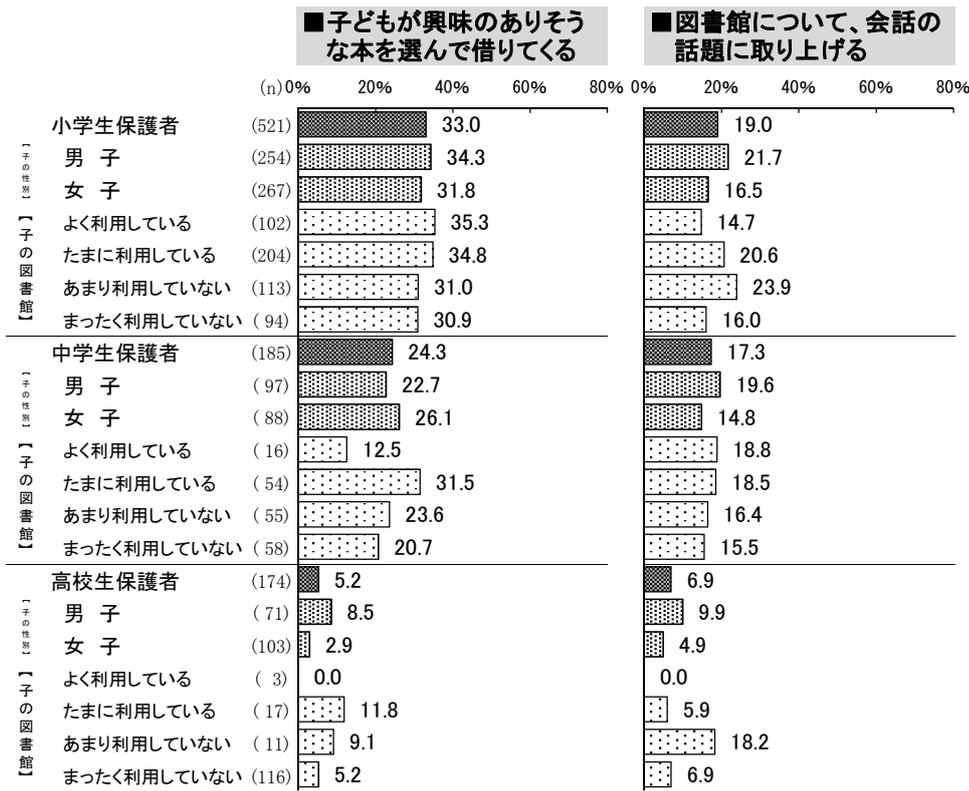


小学生保護者 (n=521)	1位	自分(親)が行くときに同行させる	37.0%
	1位	自分(親)と一緒にいこうと誘う	37.0%
	3位	図書館に行くようにすすめる	35.3%
中学生保護者 (n=185)	1位	図書館に行くようにすすめる	35.1%
	2位	友だちと一緒にいこうと促す	28.1%
	3位	子どもが興味のある本を選んで借りてくる	24.3%
高校生保護者 (n=174)	1位	特にない(本人の自発性に任せる)	47.1%
	2位	図書館に行くようにすすめる	24.1%
	3位	友だちと一緒にいこうと促す	13.2%

《 子どもの豊島区立図書館の利用促進のために今後行いたいこと —子どもの学年・性別／子どもの図書館利用程度別— 》

子どもの豊島区立図書館の利用促進のために今後行いたいことについて、子どもの性別でみると、小学生は女子より男子の保護者で各項目の回答が多い傾向となっている。中学生は「図書館に行くようにすすめる」、「友だちと一緒に行くように促す」、「図書館について、会話の話題に取り上げる」などは女子より男子の保護者で多くなっている。





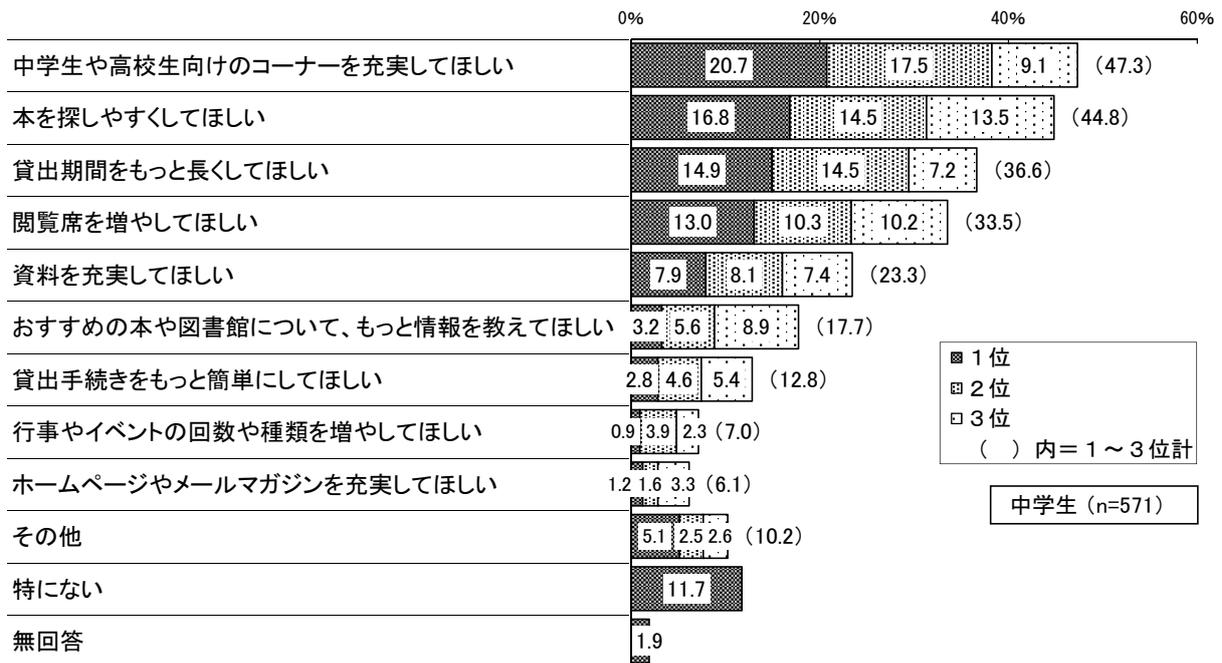
(11) 豊島区立図書館の改善点・要望

[中学生: 問24]

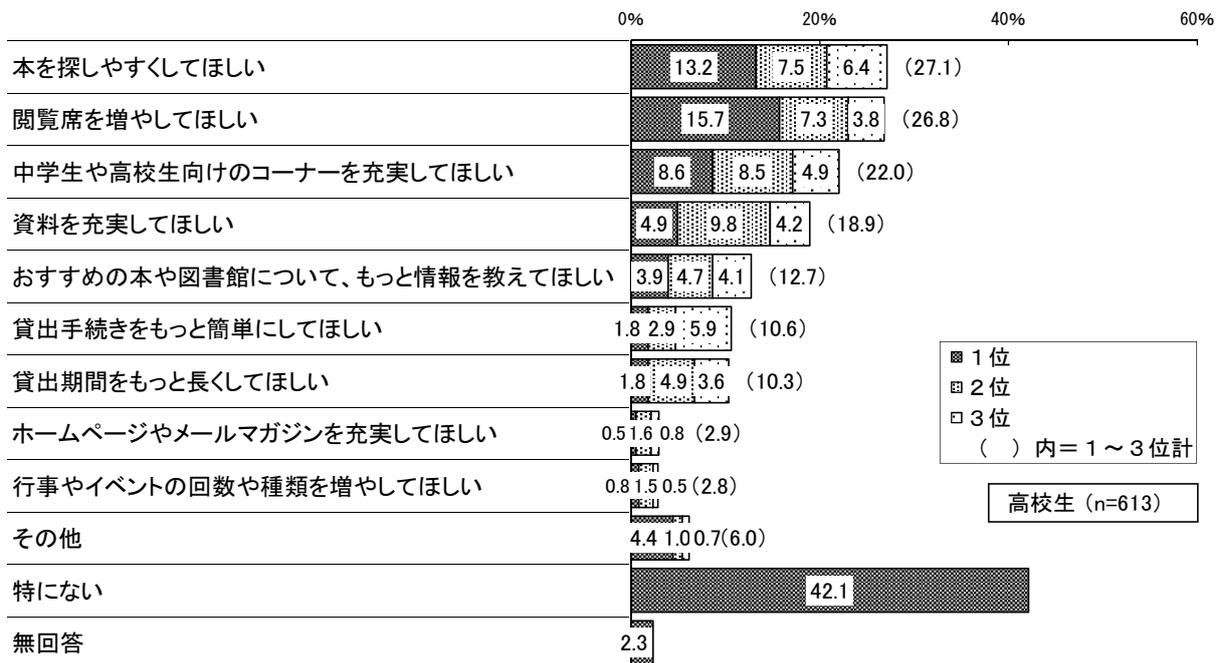
豊島区立図書館の改善点・要望について中学生及び高校生にたずねたところ、中学生の1位は「中学生や高校生向けのコーナーを充実してほしい」(20.7%)が最も多く、「本を探しやすくしてほしい」(16.8%)、「貸出期間をもっと長くしてほしい」(14.9%)の順となっている。1位で最も多い「中学生や高校生向けのコーナーを充実してほしい」は3位までの計(47.3%)が半数近くとなっている。

高校生の1位は「閲覧席を増やしてほしい」(15.7%)が最も多く、「本を探しやすくしてほしい」(13.2%)、「中学生や高校生のコーナーを充実してほしい」(8.6%)の順となっている。1位～3位までの計では「本を探しやすくしてほしい」(27.1%)が最も多くなっている。

【 中 学 生 】

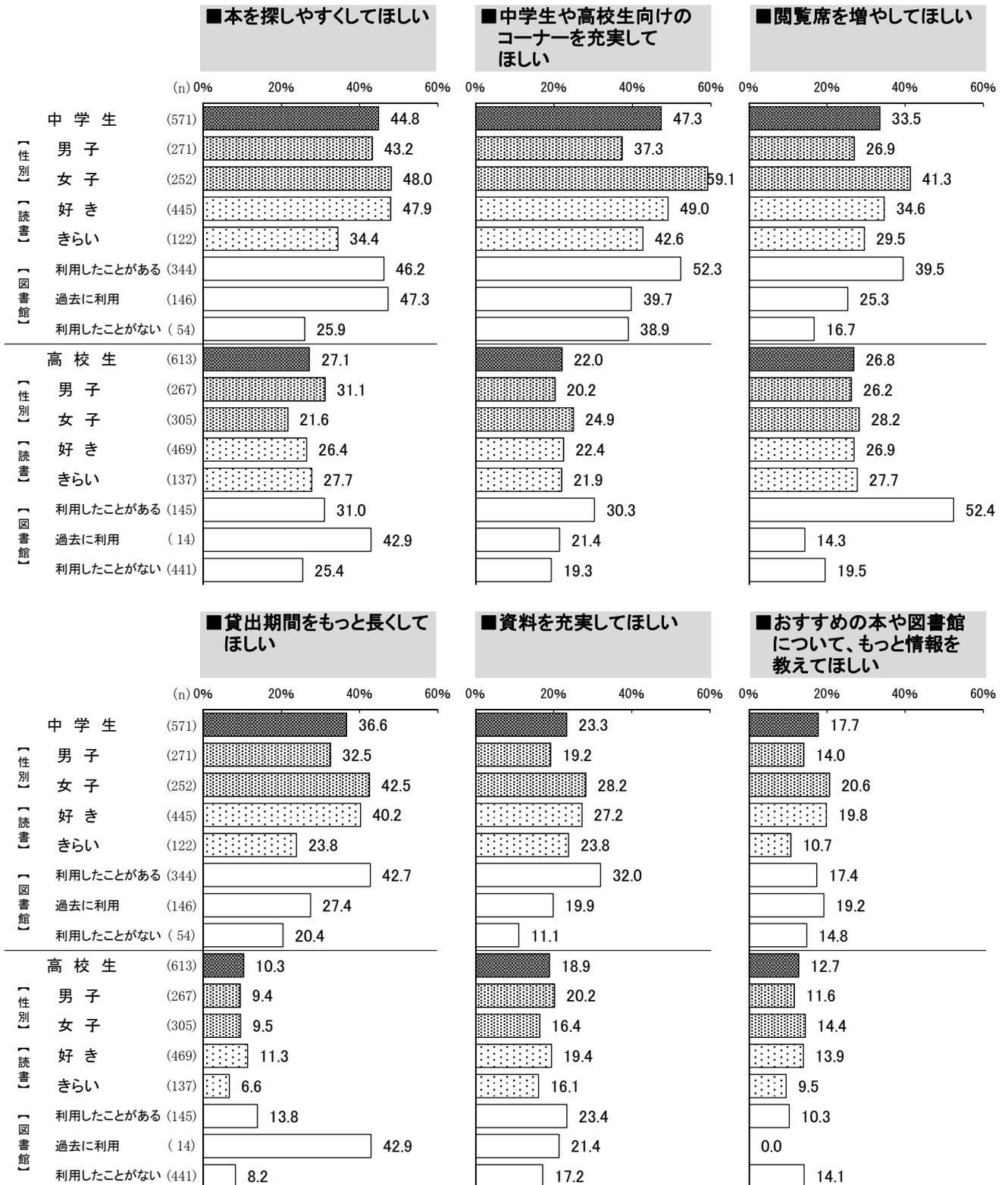


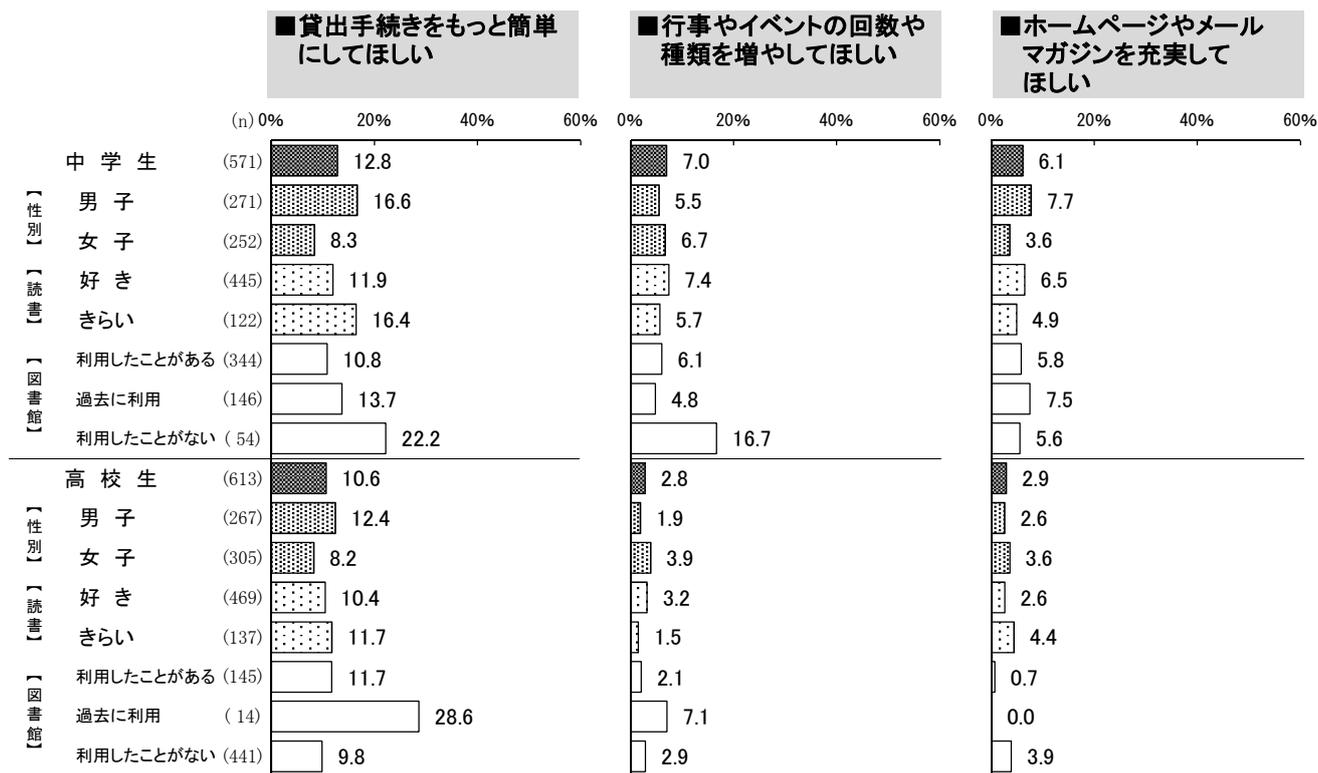
【 高 校 生 】



《 豊島区立図書館の改善点・要望（1～3位計）
 —学年・性別／読書が好きかどうか／図書館利用程度別— 》

豊島区立図書館の改善点・要望の1～3位の計について性別でみると、中学生、高校生ともに「中学生や高校生向けのコーナーを充実してほしい」、「閲覧席を増やしてほしい」、「おすすめの本や図書館について、もっと情報を教えてほしい」は男子より女子で回答が多くなっており、「貸出手続きをもっと簡単にしてほしい」は中学生、高校生ともに女子より男子で回答が多くなっている。「本を探しやすくしてほしい」、「資料を充実してほしい」は中学生では男子より女子で、高校生では女子より男子で回答が多くなっている。



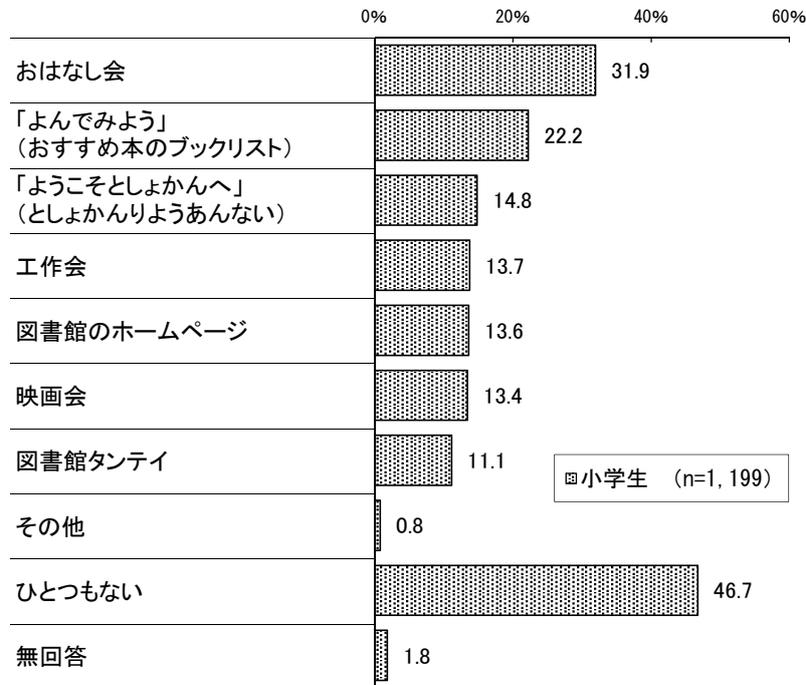


(12) 豊島区立図書館の参加経験行事・認知行事（複数回答）

〔小学生：問19〕

図書館立図書館の参加経験行事・認知行事について小学生にたずねたところ、「おはなし会」（31.9%）が3割近くで最も多く、「「よんでみよう」（おすすめの本のブックリスト）」（22.2%）、「「ようこそとしょかんへ」（としょかんりようあんない）」（14.8%）の順となっている。なお、「ひとつもない」（46.7%）は半数近くとなっている。

【 小 学 生 】

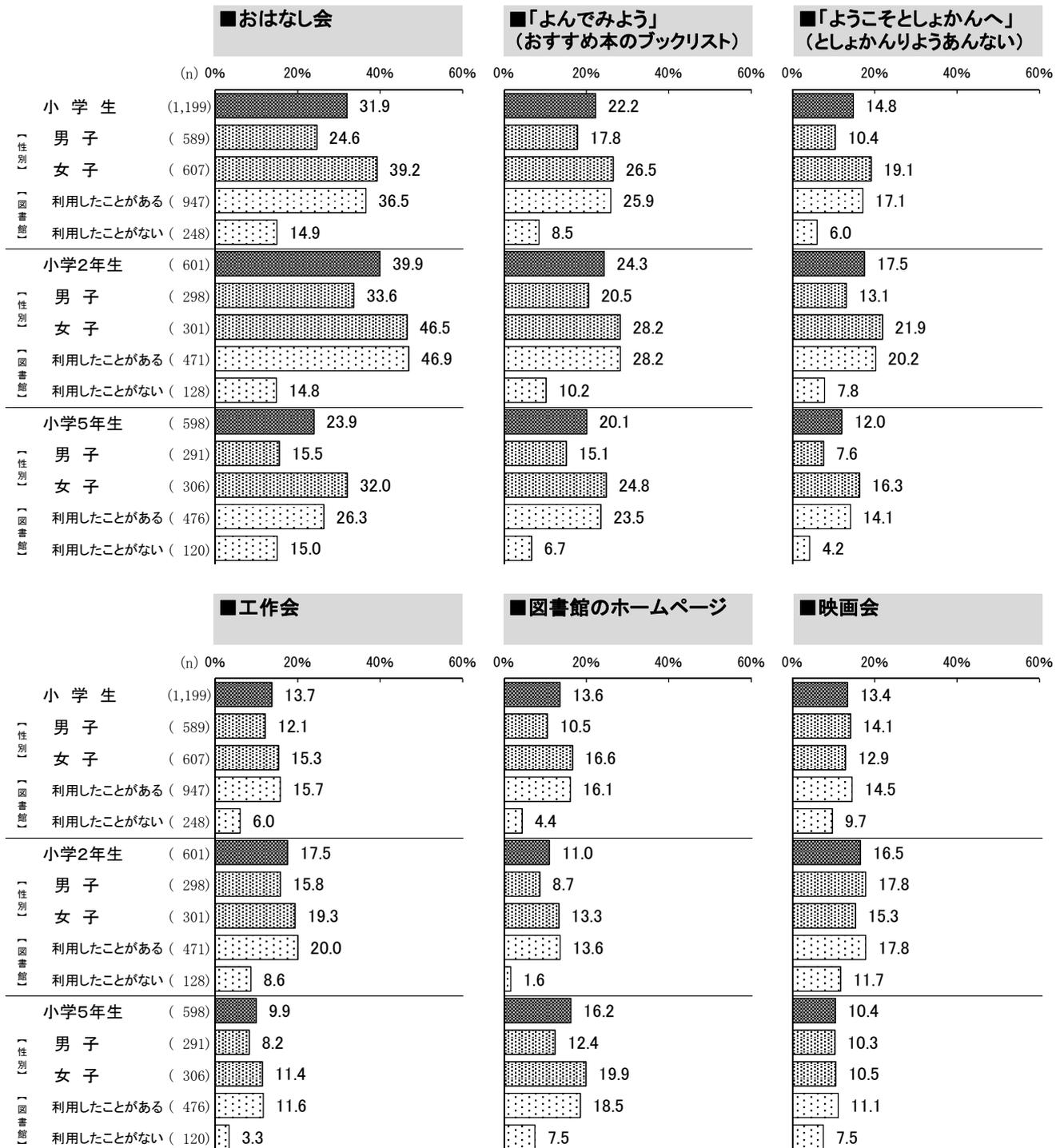


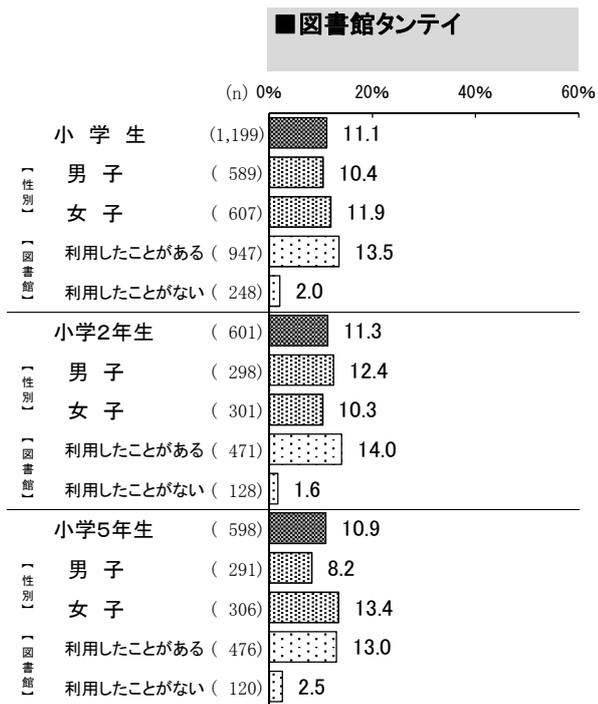
《 豊島区立図書館の参加経験行事・認知行事—学年・性別／図書館利用状況別》

豊島区立図書館の参加経験行事・認知行事について小学生の学年別でみると、「図書館のホームページ」を除く行事で5年生より2年生で回答が多くなっている。

性別でみると、2年生、5年生ともに全般的に男子より女子の方が回答が多くなっている。

豊島区立図書館の利用状況別では、2年生、5年生ともに図書館の利用経験のある児童は利用経験のない児童に比べて参加・認知行事が多くなっており、図書館の利用経験のある2年生では「おはなし会」（46.9%）の参加もしくは認知が約半数となっている。



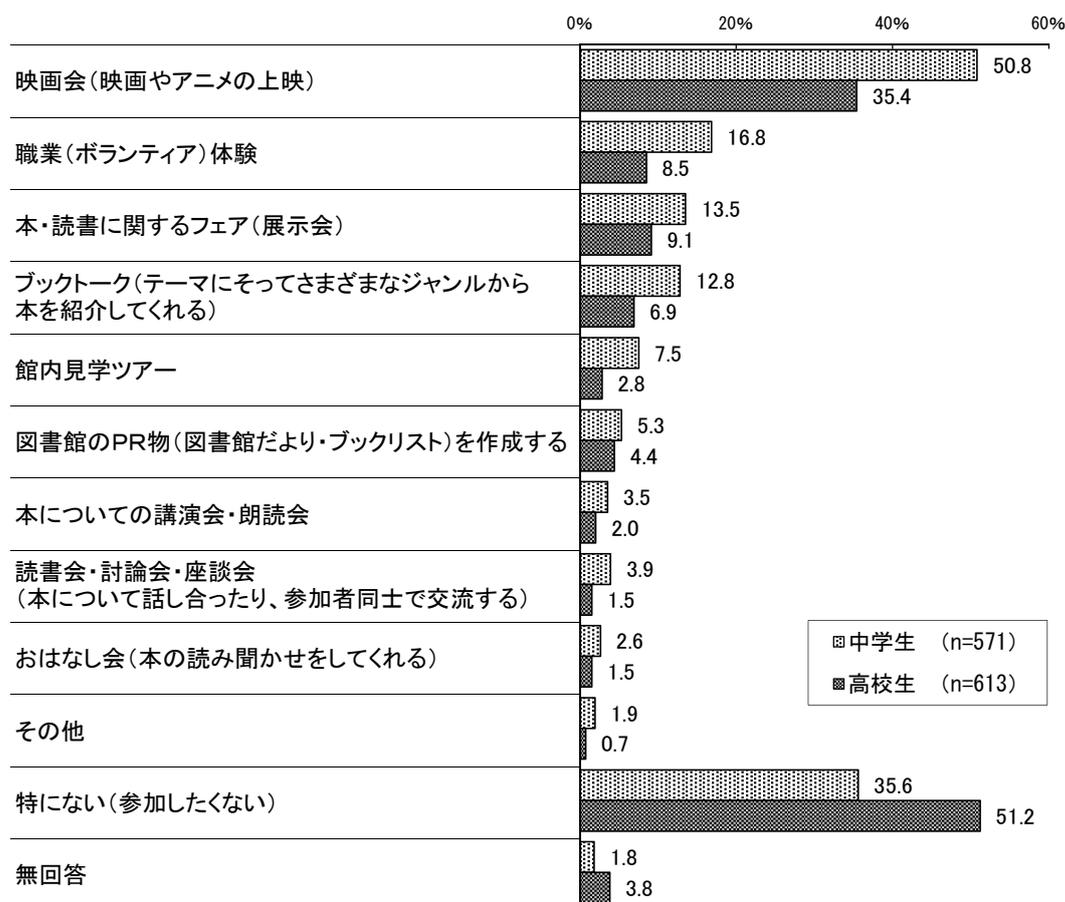


(13) 参加してみたい豊島区立図書館の行事・イベント (複数回答)

[中高生:問25]

参加してみたい豊島区立図書館の行事・イベントについて中学生及び高校生にたずねたところ、「映画会 (映画やアニメの上映)」が中学生 (50.8%)、高校生 (35.4%) とともに最も多くなっている。次いで、中学生は「職業 (ボランティア) 体験」 (16.8%)、「本・読書に関するフェア (展示会)」 (13.5%) の順となっており、高校生は「本・読書に関するフェア (展示会)」 (9.1%)、「職業 (ボランティア) 体験」 (8.5%) の順となっている。「特にない (参加したくない)」は高校生 (51.2%) は半数、中学生 (35.6%) は3割半ばとなっている。

【 中学生・高校生 】

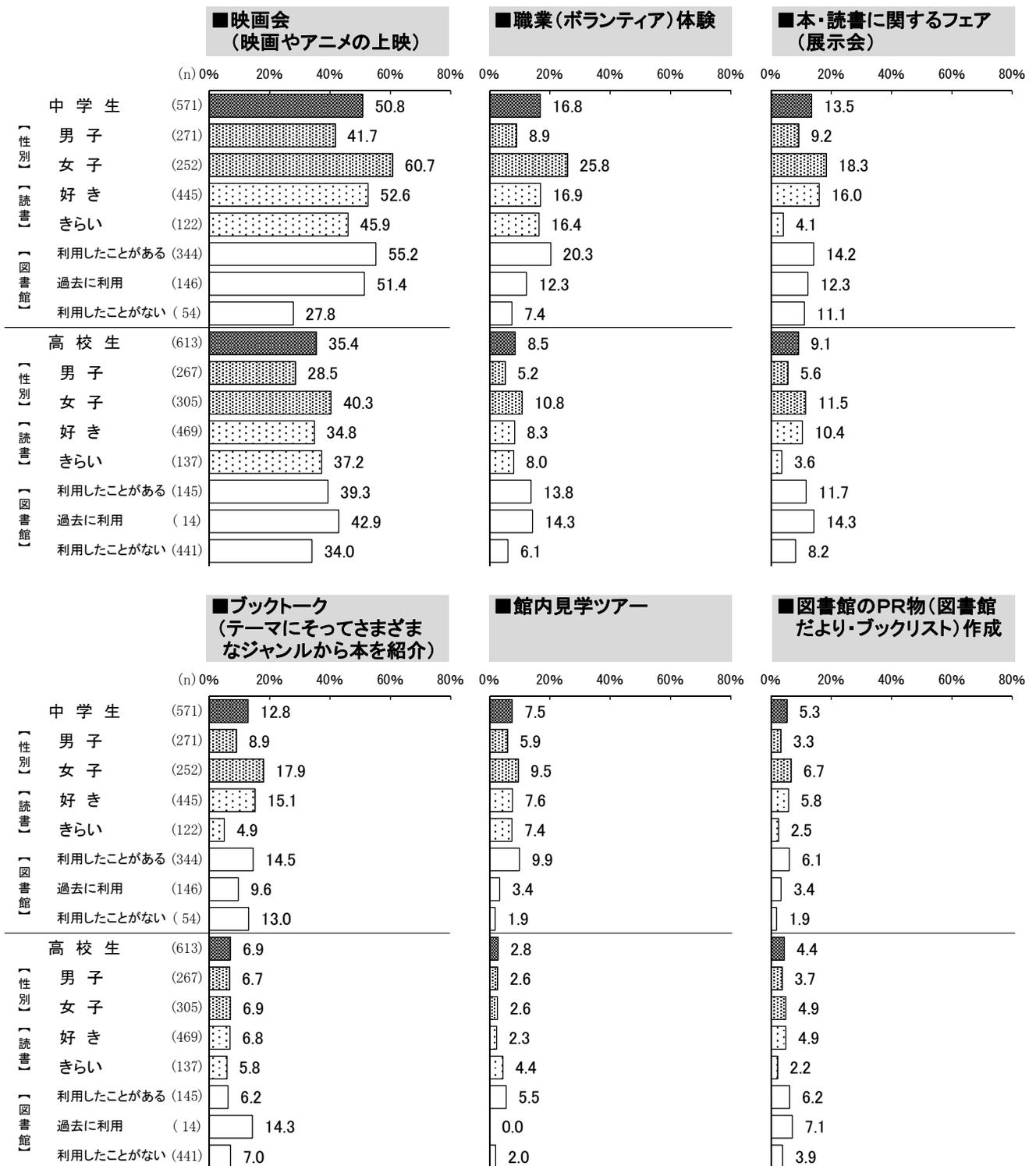


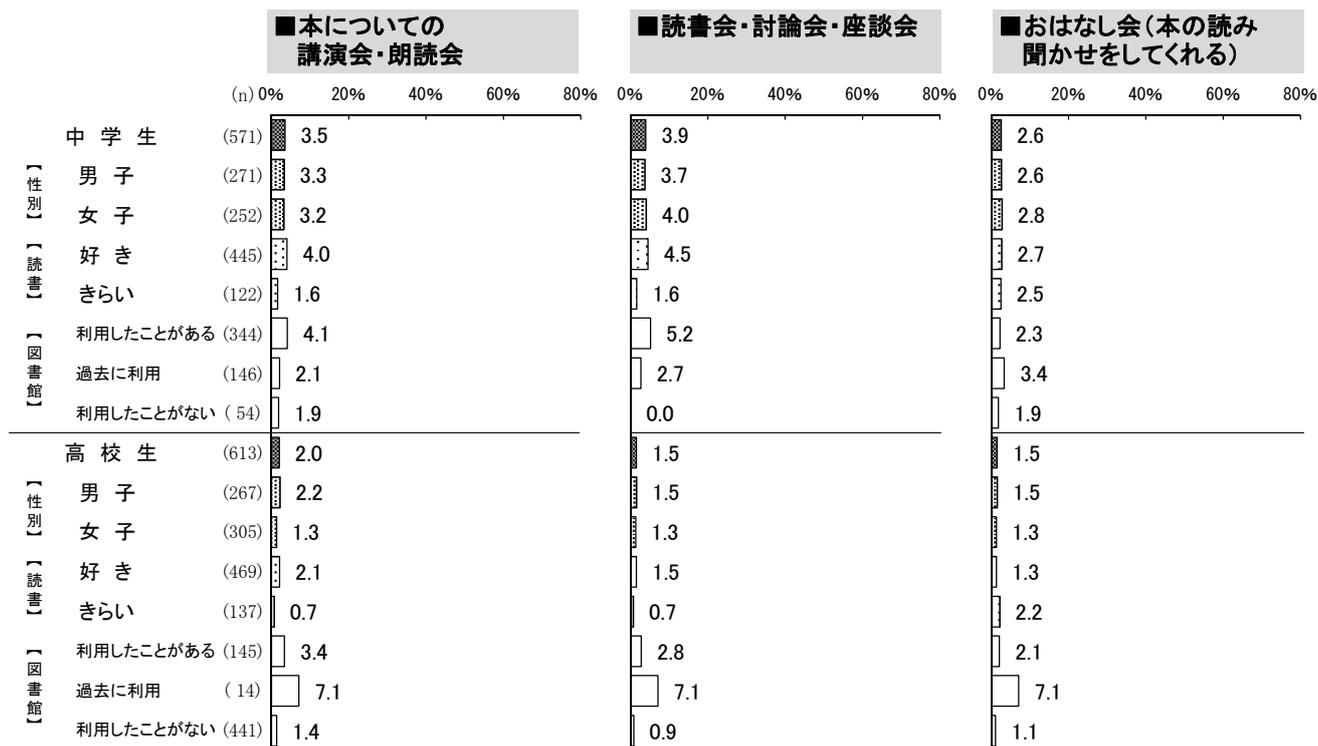
《 参加してみたい豊島区立図書館の行事・イベント
 — 学年・性別／読書が好きかどうか／図書館利用状況別 — 》

参加してみたい豊島区立図書館の行事・イベントについて性別でみると、中学生、高校生ともに全般的に男子より女子で回答が多くなっている。

読書が好きかどうかでは、中学生、高校生ともに「本・読書に関するフェア（展示会）」や「ブックトーク（テーマにそってさまざまなジャンルから本を紹介）」は読書が好きな生徒は読書がきらいな生徒より回答が多い傾向となっている。

豊島区立図書館の利用状況別でみると、中学生、高校生ともに利用したことがある生徒は利用したことのない生徒より全般的に回答が多くなっている。豊島区立図書館を利用したことのない生徒については、「映画会（映画やアニメの上映）」が中学生（27.8%）が3割近く、高校生（34.0%）が3割台半ばとなっている。





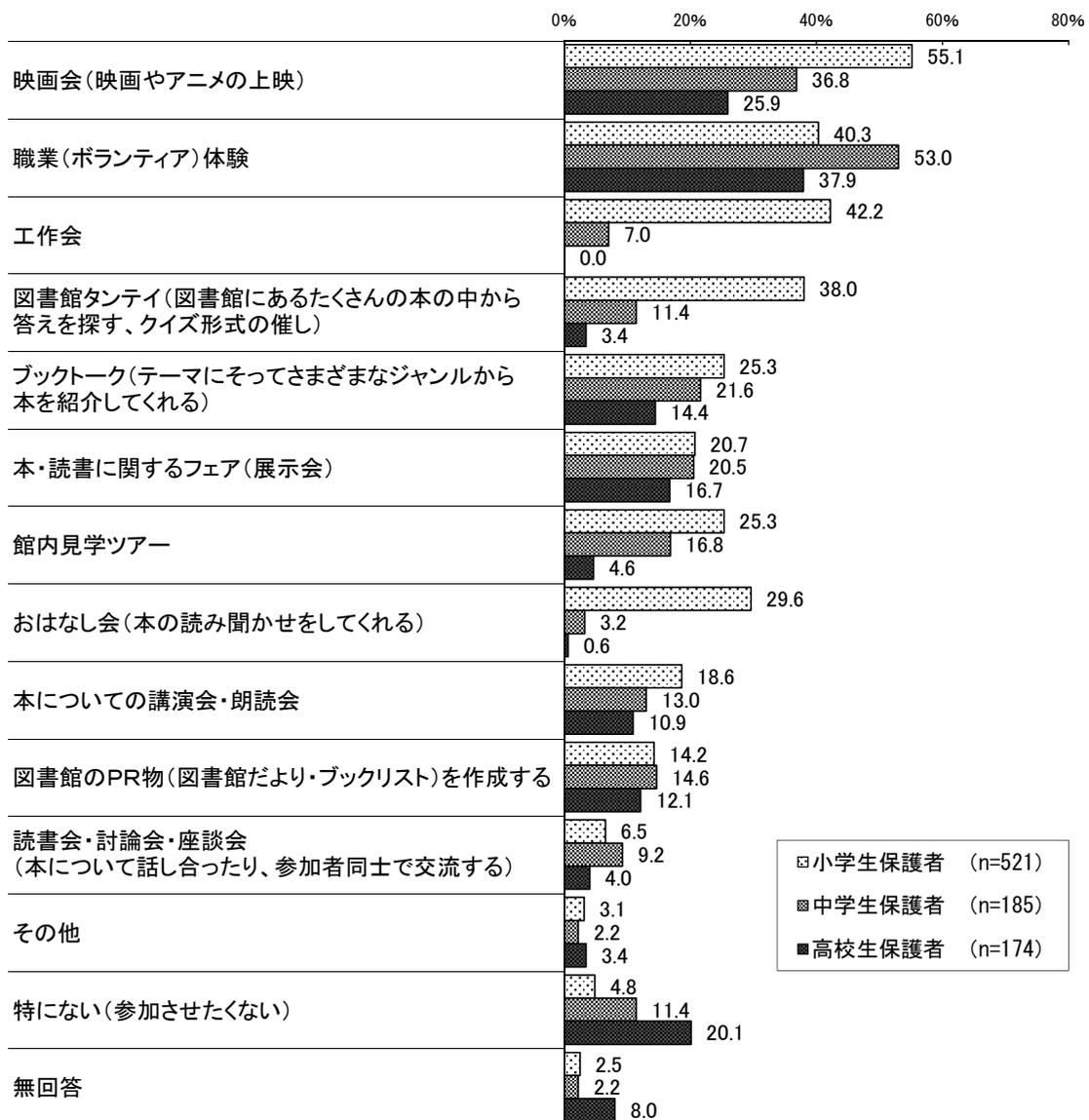
(14) 子どもに参加させたい豊島区立図書館の行事・イベント

〔保護者:問21〕

子どもに参加させたい豊島区立図書館の行事・イベントについて保護者にたずねたところ、小学生の保護者は「映画会（映画やアニメの上映）」（55.1%）が最も多く、「工作会」（42.2%）、「職業（ボランティア）体験」（40.3%）の順となっている。中学生の保護者は「職業（ボランティア）体験」（53.0%）が最も多く、「映画会（映画やアニメの上映）」（36.8%）、「ブックトーク（テーマにそってさまざまなジャンルから本を紹介してくれる）」（21.6%）の順となっている。高校生の保護者は中学生の保護者と上位2項目は同順で「職業（ボランティア）体験」（37.9%）が最も多く、「映画会（映画やアニメの上映）」（25.9%）となっており、次いで「本・読書に関するフェア（展示会）」（16.7%）となっている。

「工作会」、「図書館タンテイ（図書館にあるたくさんの本の中から答えを探す、クイズ形式の催し）」、「おはなし会（本の読み聞かせをしてくれる）」は児童向けの行事・イベントであることから、小学生の保護者の回答が中心となっている。

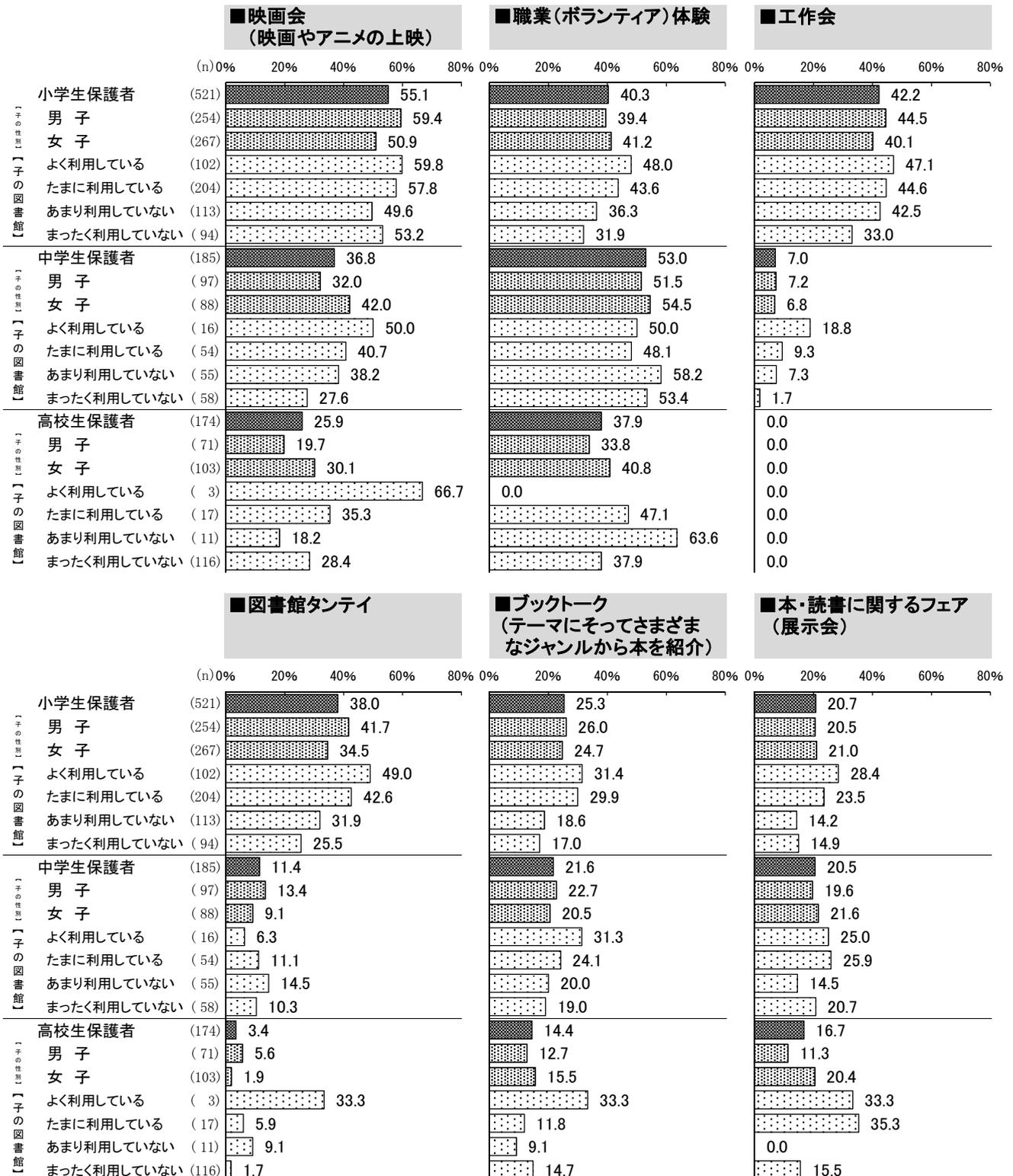
【 保 護 者 】

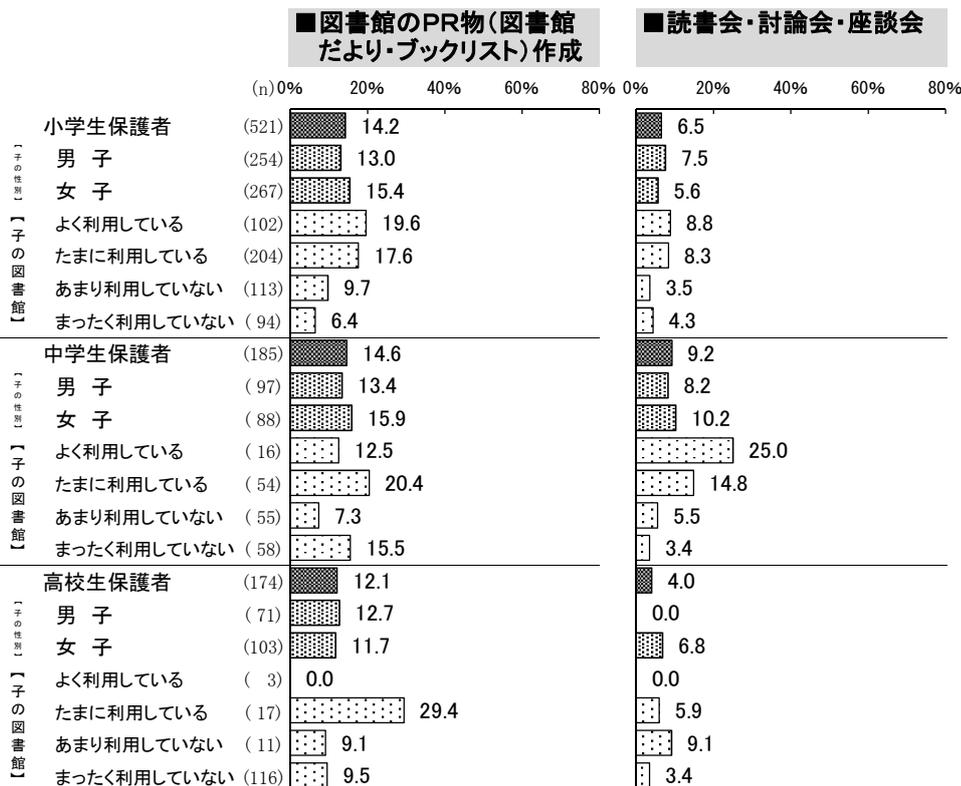
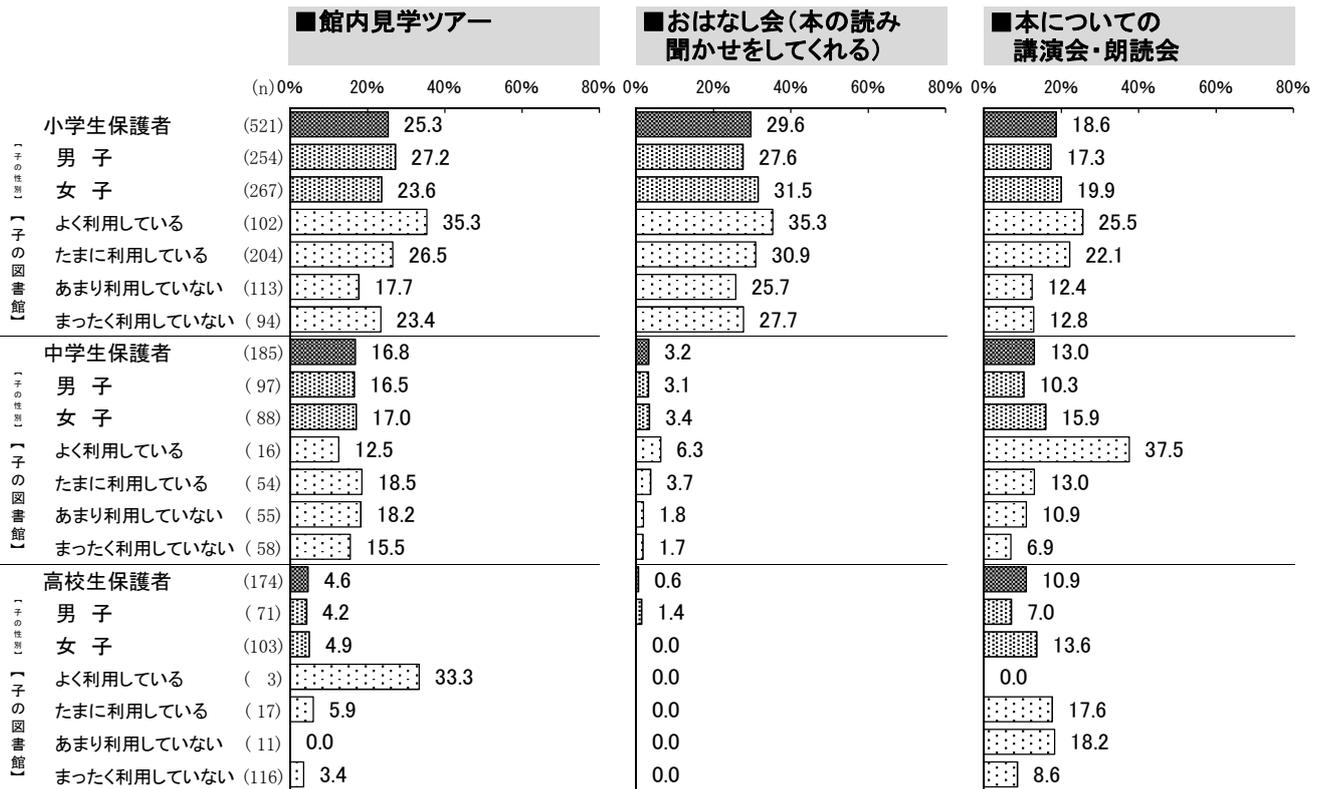


《 子どもに参加させたい豊島区立図書館の行事・イベント —子どもの学年・性別／子どもの図書館利用程度別— 》

子どもに参加させたい豊島区立図書館の行事・イベントについて子どもの性別でみると、小学生は女子より男子の保護者で「映画会」、「工作会」、「図書館タンテイ」などの回答が多くなっている。中学生は男子より女子の保護者で「映画会」、「本についての講演会・朗読会」などの回答が多くなっている。高校生は男子より女子の保護者で「映画会」、「職業（ボランティア）体験」、「本・読書に関するフェア（展示会）」、「本についての講演会・朗読会」など全般的に回答が多くなっている。

子どもの豊島区立図書館の利用状況別では、子どもが豊島区をよく利用している保護者ほど、各行事・イベントに参加させたいとする回答が多い傾向となっている。





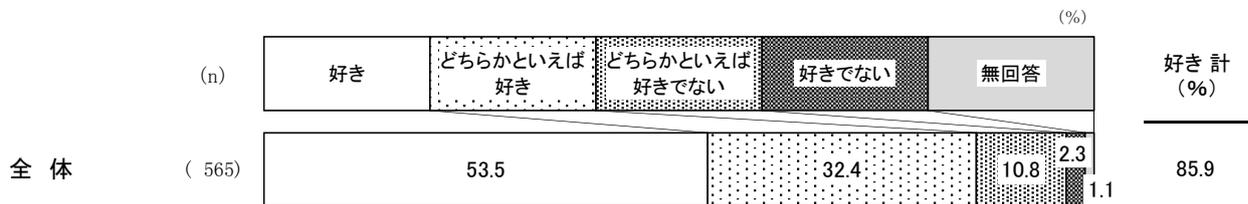
第3章 調査Ⅱ：一般区民の部

1. 読書の意識・実態

(1) 読書が好きかどうか

〔区民：問1〕

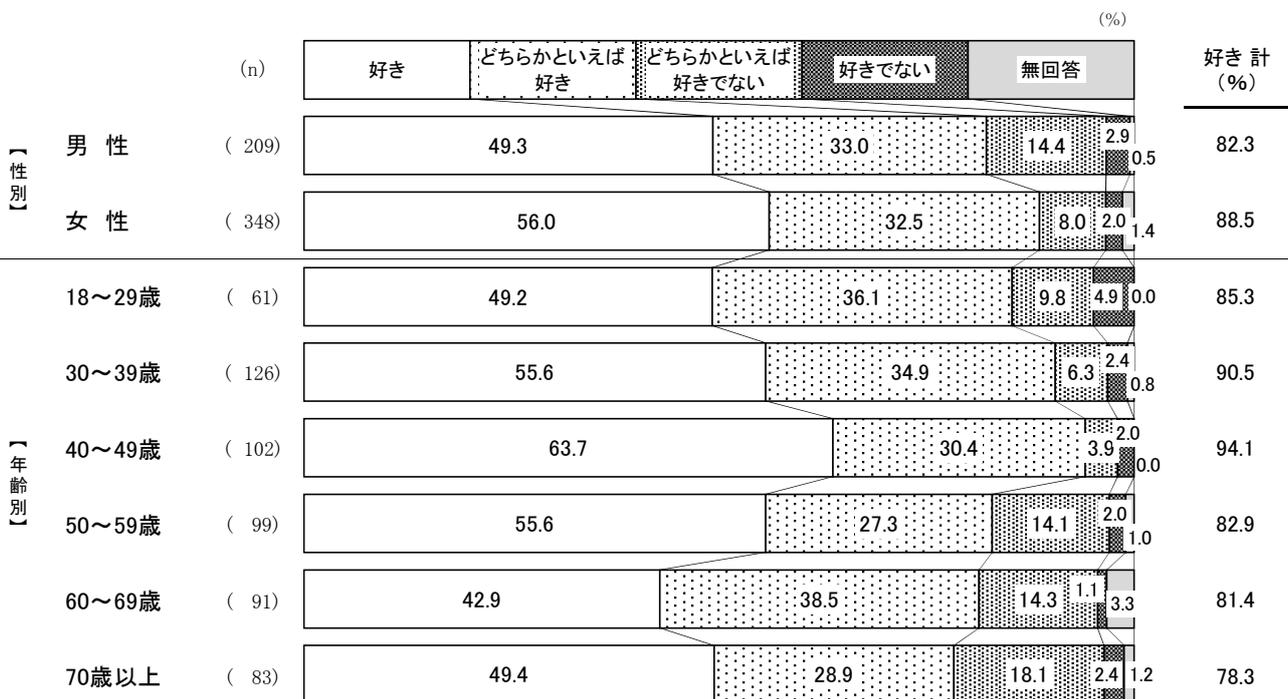
読書が好きかどうかについてたずねたところ、全体で「好き」（53.5%）が半数を越え、「どちらかといえば好き」（32.4%）が3割近く、「好き」計（85.9%）は8割台半ばとなっている。



《 読書が好きかどうか－性別／年齢別 》

読書が好きかどうかについて性別でみると、男性は「好き」（49.3%）、「どちらかといえば好き」（33.0%）の「好き」計（82.3%）が8割近く、女性は「好き」（56.0%）、「どちらかといえば好き」（32.5%）の「好き」計（88.5%）が9割近くとなっており、男性より女性の方が読書を好む人の割合が多くなっている。

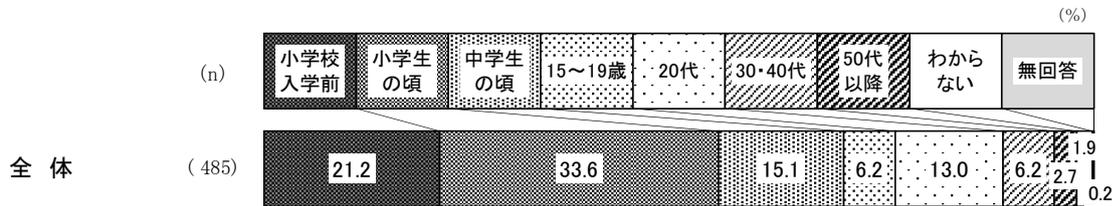
年齢別でみると、40～49歳までは年代が上がるにつれて「好き」の割合が多くなり、40～49歳で「好き」（63.7%）が6割を超えて最も多く、「好き」計（94.1%）が9割台半ばとなっている。50歳以降は年代が上がるにつれて「好き」の割合が少なくなる傾向となっている。



(2) 読書を好きになった時期

〔区民:問2〕

読書が「好き」あるいは「どちらかといえば好き」と回答した人に、読書を好きになった時期についてたずねたところ、全体で「小学生の頃」(33.6%)が3割近くで最も多く、「小学校入学前」(21.2%)、「中学生の頃」(15.1%)の順となっている。「20代」(13.0%)、「30・40代」(6.2%)、「50代以降」(2.7%)と、大人になってから読書が好きになったのは合わせて2割近くとなっている。

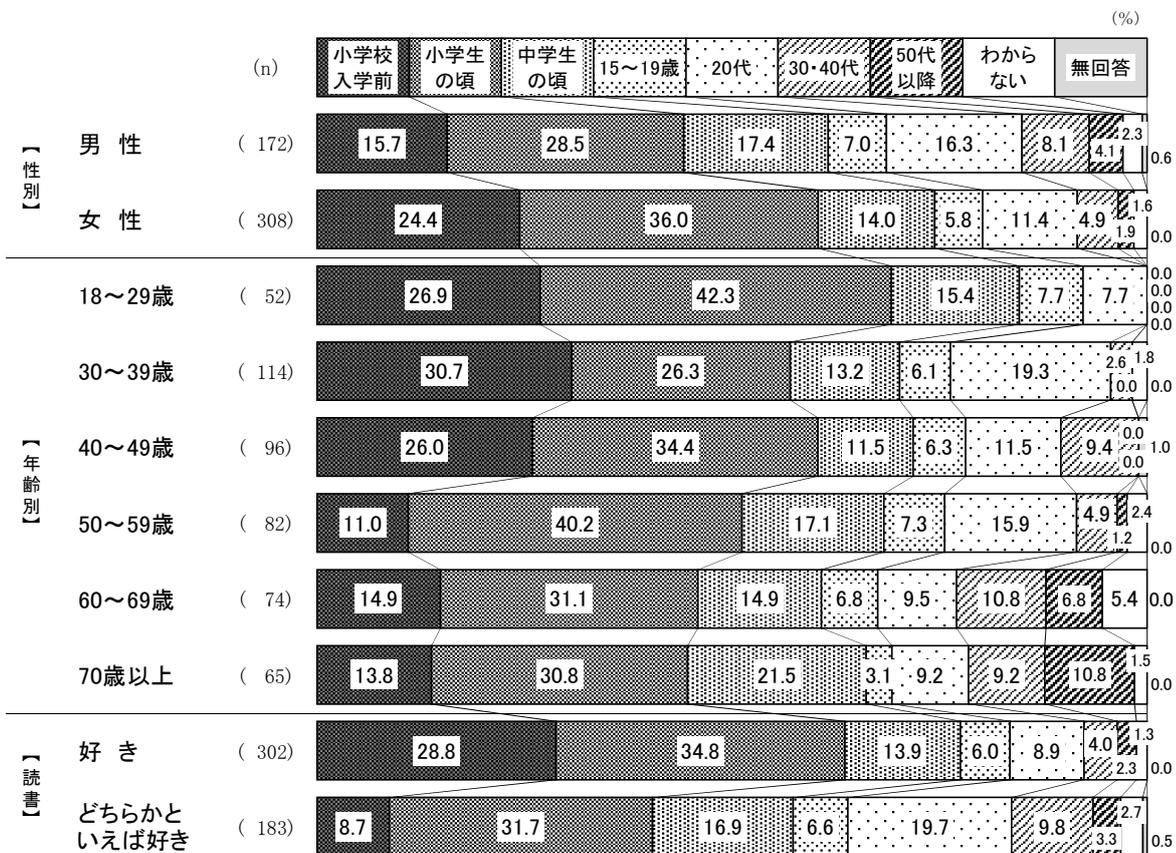


《 読書を好きになった時期－性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

読書を好きになった時期について性別でみると、男性より女性の方が「小学校入学前」、「小学生の頃」が多く、幼い頃から読書を好きになったと回答する割合が多くなっている。

年齢別でみると、多少ばらつきはあるが、年代が低いほど「小学校入学前」あるいは「小学生の頃」が多く、年代が上がるにつれ「20代」以降の大人になってから読書を好きになったとする割合が多くなっている。

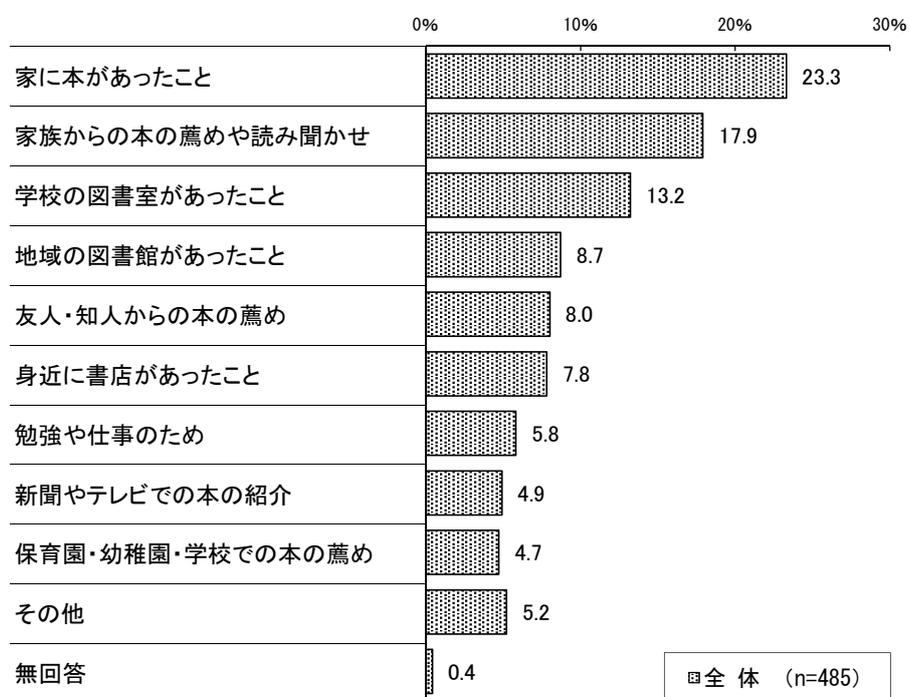
読書が好きかどうかでみると、読書が好きと回答した人はどちらかといえば好きと回答した人より「小学校入学前」や「小学生の頃」の幼い頃から好きになったと回答する割合が多くなっている。



(3) 本を好きになった最大のきっかけ（単数回答）

〔区民：問3〕

読書が「好き」あるいは「どちらかといえば好き」と回答した人に、読書を好きになった最大のきっかけについてたずねたところ、全体で「家に本があったこと」（23.3%）が最も多く、「家族からの本の薦めや読み聞かせ」（17.9%）、「学校の図書室があったこと」（13.2%）の順となっている。「地域の図書館があったこと」（8.7%）はそれに次いでいる。

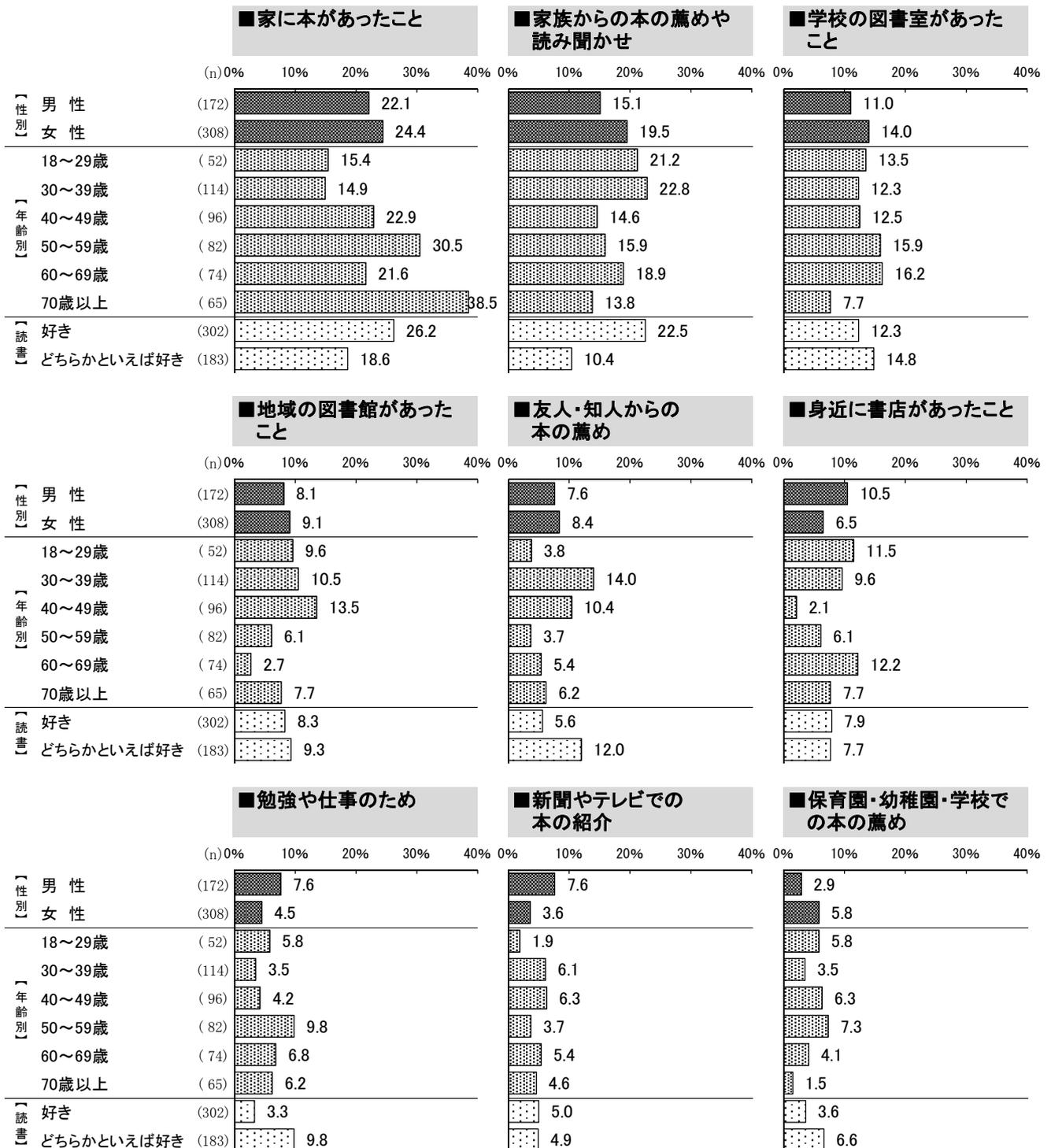


《 本を好きになった最大のきっかけ（単数回答）－性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

本を好きになった最大のきっかけについて性別でみると、女性は男性に比べ「家に本があったこと」、「家族からの本の薦めや読み聞かせ」、「学校の図書室があったこと」、「保育園・幼稚園・学校での本の薦め」など家庭、保育園・幼稚園や学校関連の回答が多くなっている。他方、男性は女性に比べ「身近に書店があったこと」、「勉強や仕事のため」、「新聞やテレビでの本の紹介」などの家庭、保育園・幼稚園や学校関連以外の項目の回答が多くなっている。

年齢別でみると、「家に本があったこと」は年代が上がるにつれ、「家族からの本の薦めや読み聞かせ」は18～29歳、30～39歳で、「地域の図書館があったこと」や「友人・知人からの本の薦め」は30～39歳、40～49歳で、「勉強や仕事のため」は50歳以降などの回答が多くなっている。

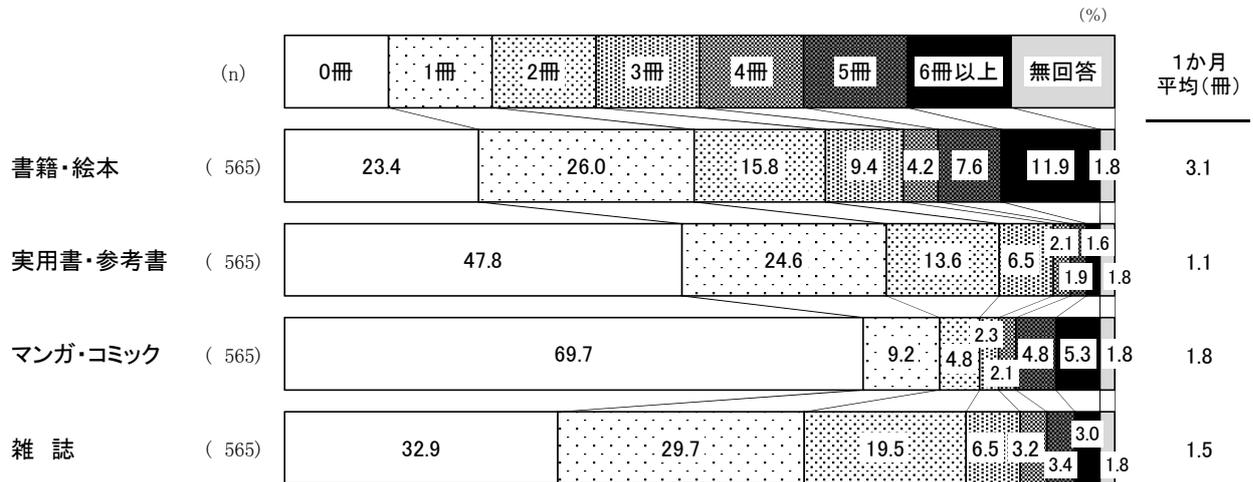
読書が好きかどうかでみると、読書が好きと回答した人はどちらかといえば好きと回答した人より「家に本があったこと」、「家族からの本の薦めや読み聞かせ」などが多くっており、読書がどちらかといえば好きと回答した人は好きと回答した人より「友人・知人からの本の薦め」、「勉強や仕事のため」などが多くとなっている。



(4) 1か月平均読書冊数【本の種別】

〔区民：問4〕

1か月の平均読書冊数についてたずねたところ、書籍・絵本は「0冊」(23.4%)が2割近く、「1冊」(26.0%)が2割台半ば、「2冊」(15.8%)が1割台半ばとなっており、平均は3.1冊となっている。実用書・参考書は「0冊」(47.8%)が半数近く、平均は1.1冊となっている。マンガ・コミックは「0冊」(69.7%)が7割と読まない人の割合も多いが、読む人の中では冊数が多いことから、平均は1.8冊となっている。雑誌は「0冊」(32.9%)が3割近く、「1冊」(29.7%)が3割、平均は1.5冊となっている。



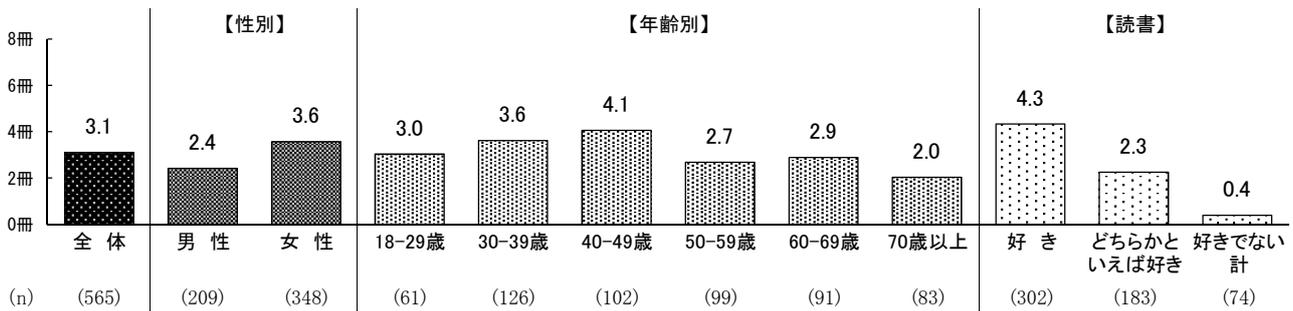
《 1か月平均読書冊数【本の種別】－性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

1か月平均読書冊数の平均値を性別で見ると、書籍・絵本は男性（2.4冊）より女性（3.6冊）で多く、マンガ・コミックは男性（2.5冊）は女性（1.4冊）より多くなっている。

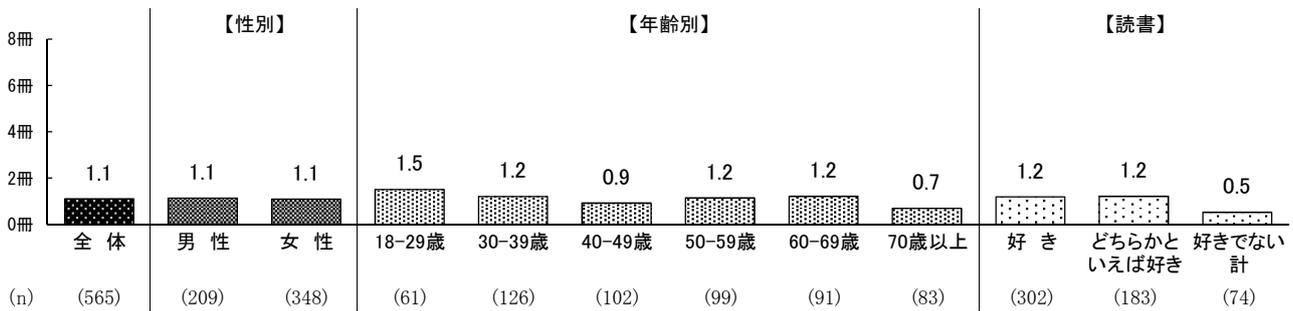
年齢別で見ると、書籍・絵本は40～49歳までは年代が上がるにつれて多くなり、40～49歳（4.1冊）が最も多く、50歳を過ぎると少なくなる傾向となっている。実用書・参考書は18～29歳（1.5冊）が最も多くなっている。マンガ・コミックは年代が低いほど多く、18～29歳（6.2冊）が最も多くなっている。雑誌もマンガ・コミック同様、年代が低いほど多くなっているが、マンガ・コミックほど冊数の差はみられない。

読書が好きかどうかで見ると、書籍・絵本は実用書・参考書、マンガ・コミック、雑誌に比べて読書の好きかどうかによる差が大きく、読書が好きと回答した人の平均（4.3冊）に対し、読書が好きではないと回答した人の平均（0.4冊）となっている。

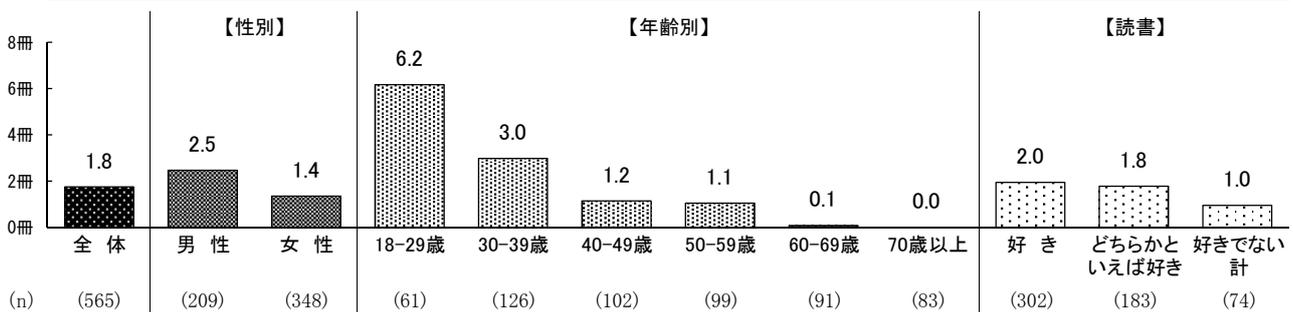
■書籍・絵本



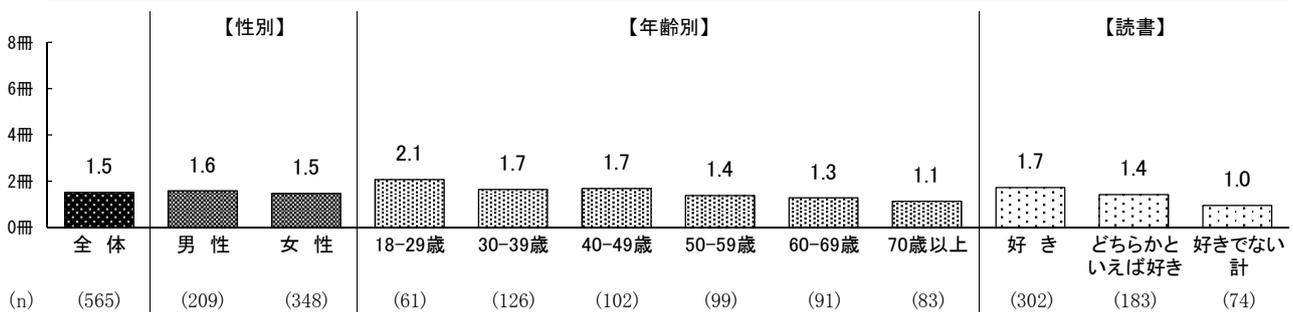
■実用書・参考書



■マンガ・コミック



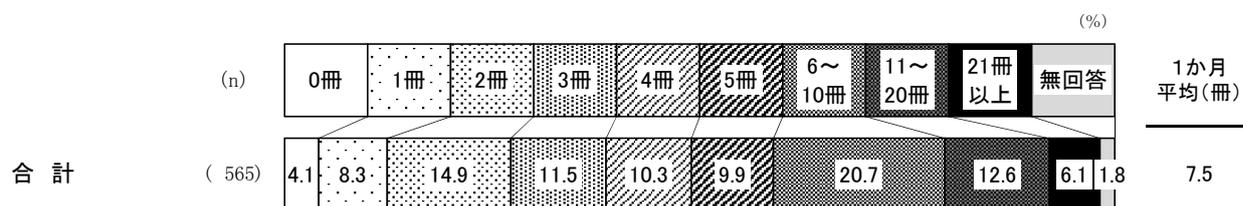
■雑誌



(5) 1か月平均読書冊数【合計】

〔区民:問4〕

書籍・絵本、実用書・参考書、マンガ・コミック、雑誌の合計の1か月平均読書冊数については、全体で「6～10冊」(20.7%)が最も多く、「2冊」(14.9%)、「11～20冊」(12.6%)の順であり、平均は7.5冊となっている。

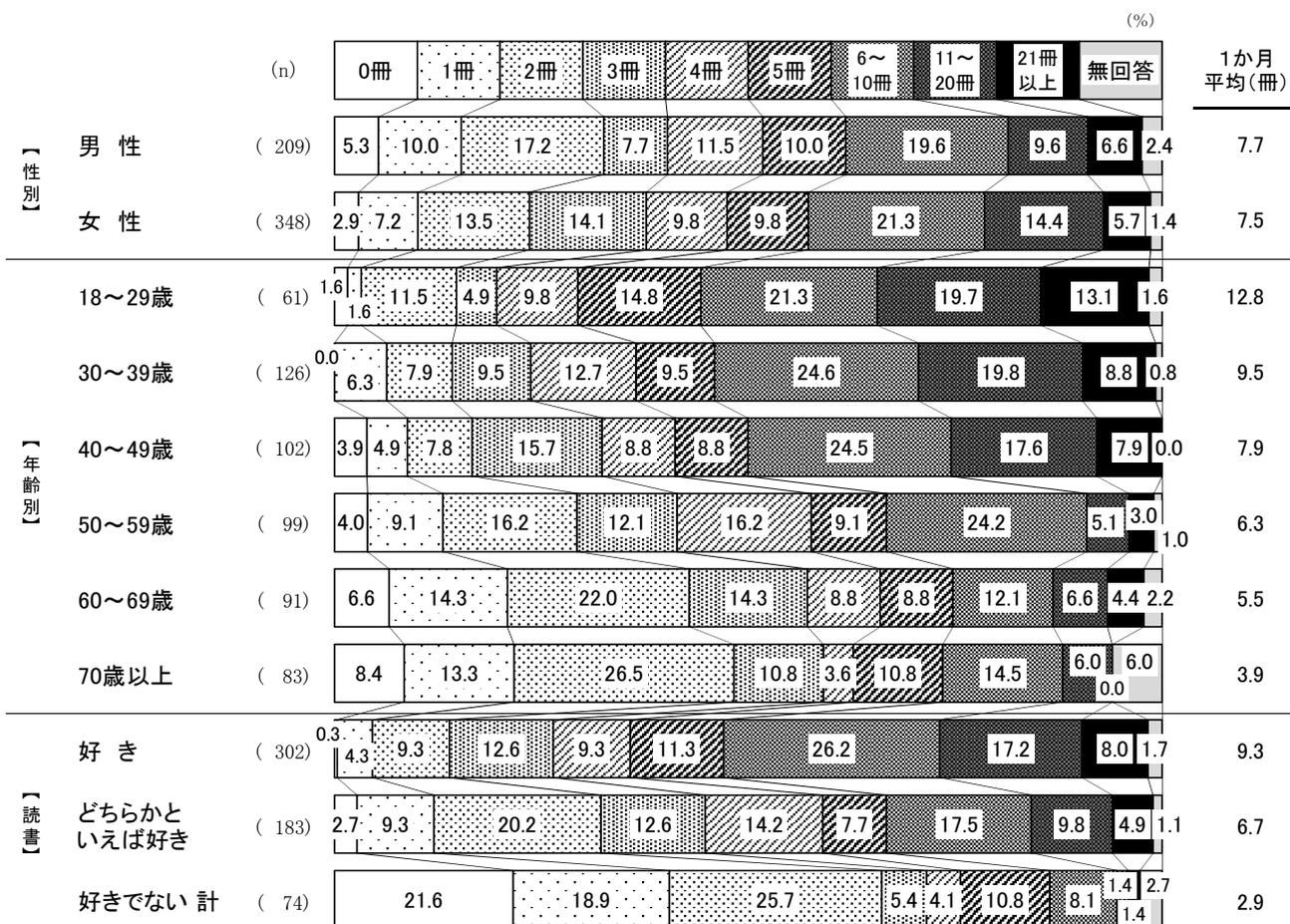


《 1か月平均読書冊数【合計】－性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

合計の1か月平均読書冊数について性別で見ると、男性の平均(7.7冊)と女性の平均(7.5冊)とに大きな差はみられない。

年齢別で見ると、18～29歳の平均(12.8冊)が最も多く、年代が低いほど平均読書冊数が多い傾向であり、前述のマンガ・コミックの冊数が影響していると思われる。18～29歳の平均(12.8冊)は70歳以上の平均(3.9冊)と比べて約3倍ほどとなっている。

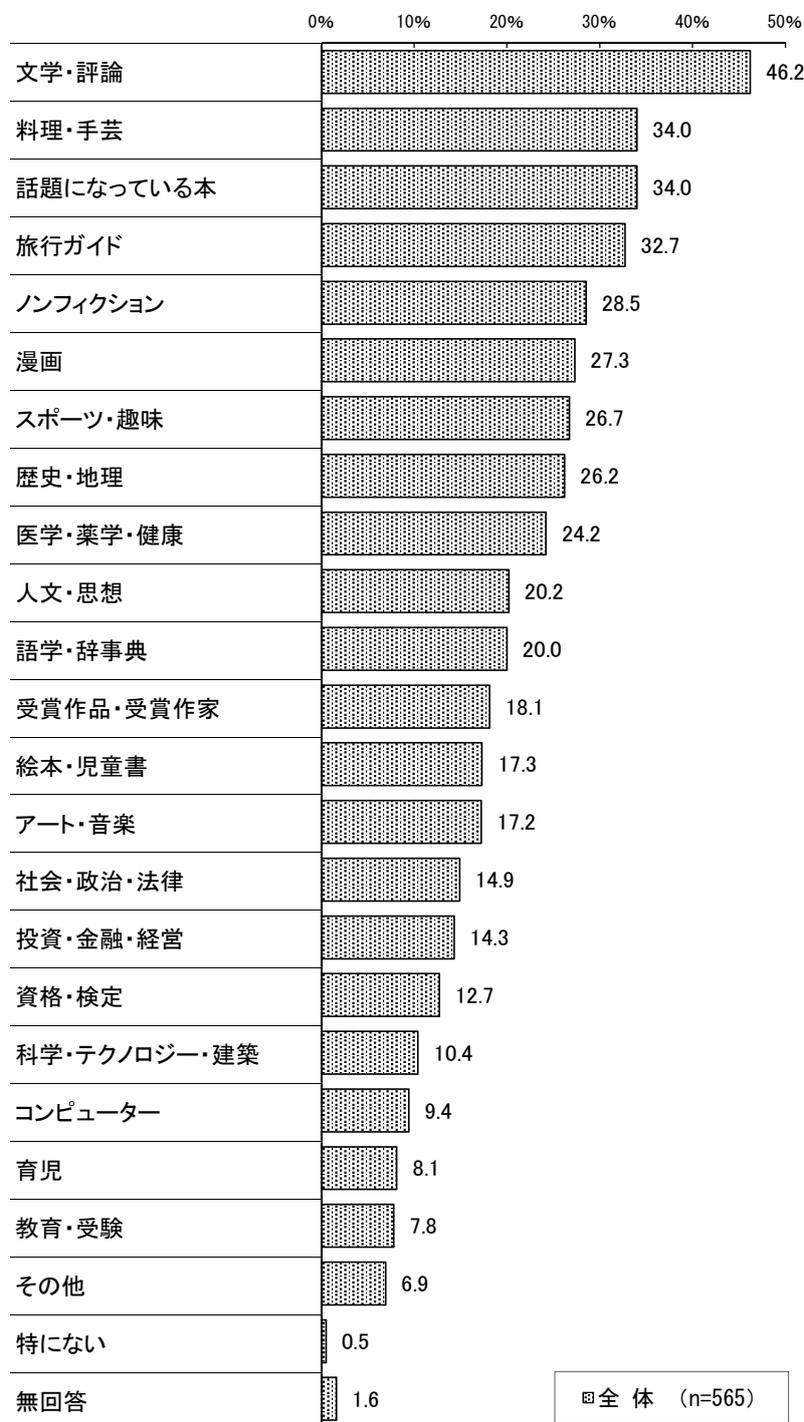
読書が好きかどうかで見ると、読書が好きの人ほど読書冊数は多く、読書が好きと回答した人の平均(9.3冊)は読書が好きでないと回答した人の平均(2.9冊)に比べて約3倍ほどとなっている。



(6) 普段読む本のジャンル（複数回答）

〔区民：問5〕

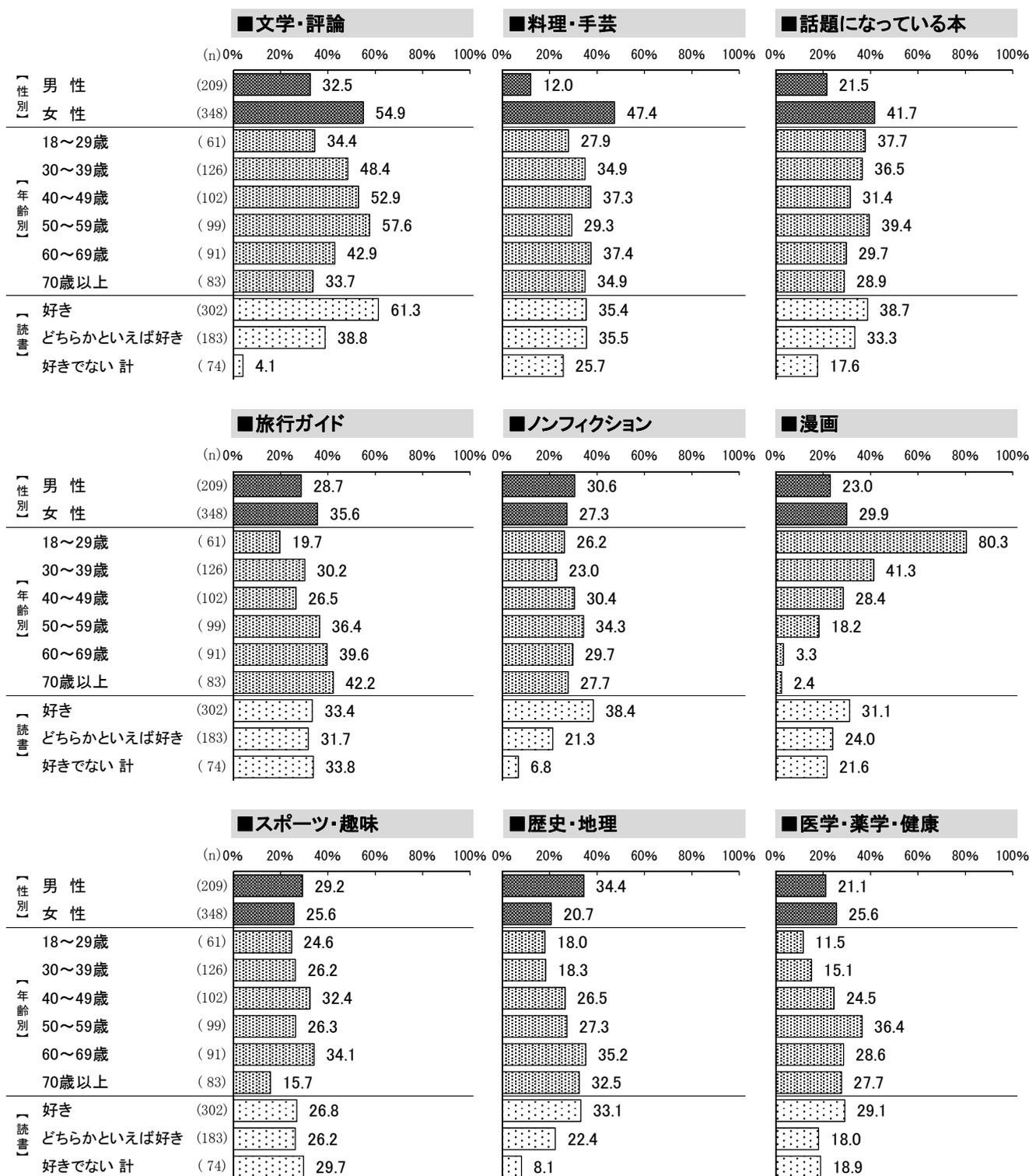
普段読む本のジャンルについてたずねたところ、全体で「文学・評論」（46.2%）が4割台半ばで最も多く、「料理・手芸」、「話題になっている本」（各々34.0%）、「旅行ガイド」（32.7%）、「ノンフィクション」（28.5%）の順となっている。



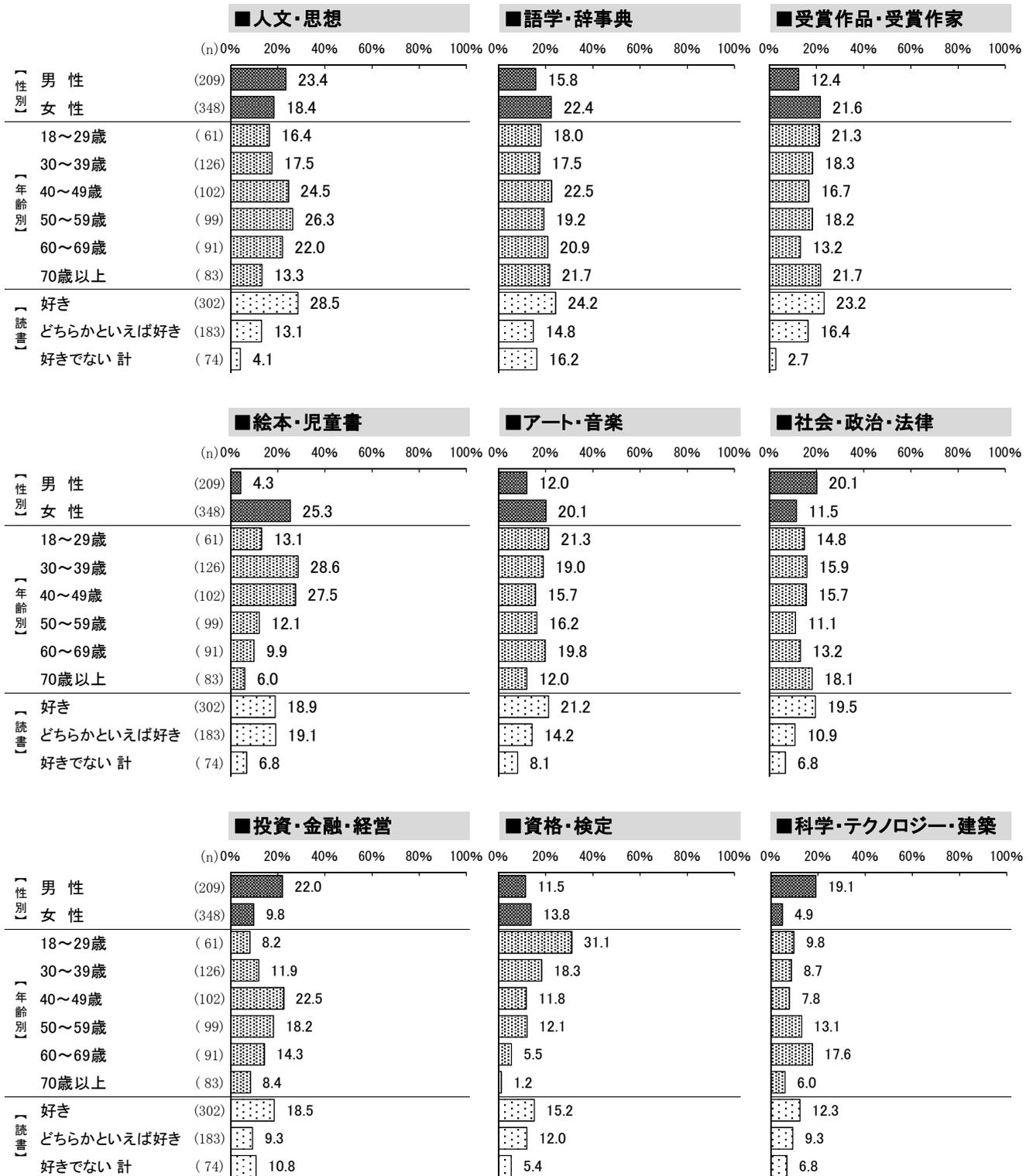
《 普段読む本のジャンル／性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

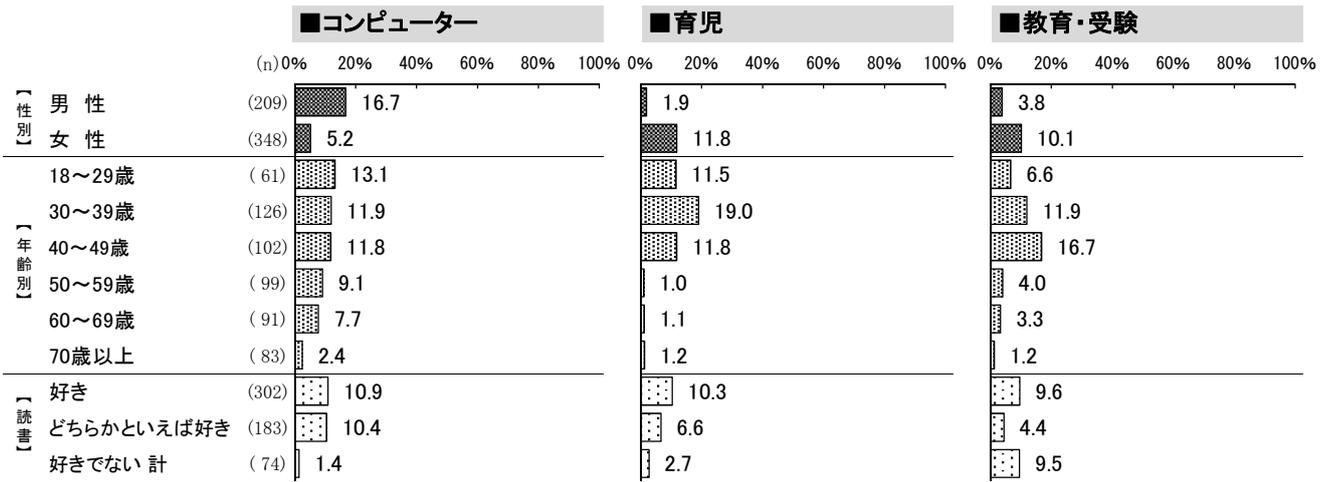
普段読む本のジャンルについて性別でみると、男性は女性より「歴史・地理」、「社会・政治・法律」、「投資・金融・経営」、「科学・テクノロジー・建築」、「コンピューター」などの回答が多く、女性は男性より「文学・評論」、「料理・手芸」、「話題になっている本」、「旅行ガイド」、「受賞作品・受賞作家」、「絵本・児童書」、「育児」などの回答が多くなっている。

年齢別でみると、「旅行ガイド」、「歴史・地理」、「医学・薬学・健康」などは年代が上がるほど回答が多く、「漫画」、「資格・検定」、「コンピューター」などは年代が低いほど回答が多くなっている。また、「文学・評論」、「人文・思想」などは40～49歳、50～59歳で回答が多く、「絵本・児童書」、「育児」、「教育・受験」などは子育て世代の30～39歳、40～49歳の回答が多い傾向となっている。なお、「話題になっている本」、「ノンフィクション」、「受賞作品・受賞作家」などは年代による差が比較的小さくなっている。



読書が好きかどうかでみると、読書が好きな人ほど全般的に各ジャンルの回答が多い傾向であるが、「料理・手芸」、「旅行ガイド」、「スポーツ・趣味」などは読書が好きかどうかによる差が比較的小さくなっている。

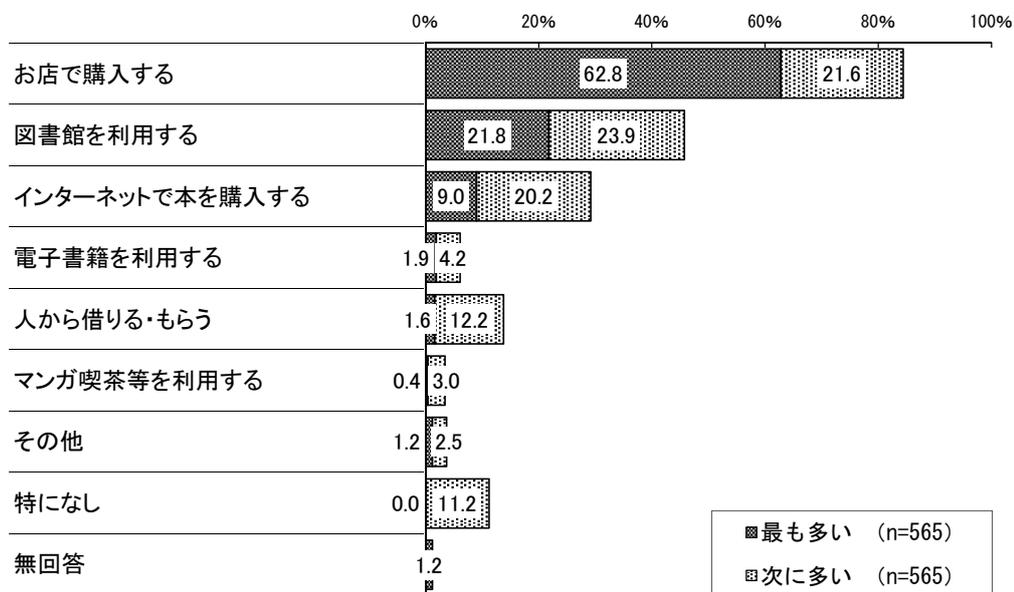




(7) 読みたい本の入手方法

〔区民:問6〕

読みたい本の入手方法についてたずねたところ、最も多い入手方法は、全体で「お店で購入する」(62.8%)が6割を超えて最も多く、「図書館を利用する」(21.8%)が2割近くで次いでおり、「インターネットで本を購入する」(9.0%)が1割近くの順となっている。次に多い入手方法は「お店で購入する」、「図書館を利用する」、「インターネットで本を購入する」がともに2割近くとなっている。

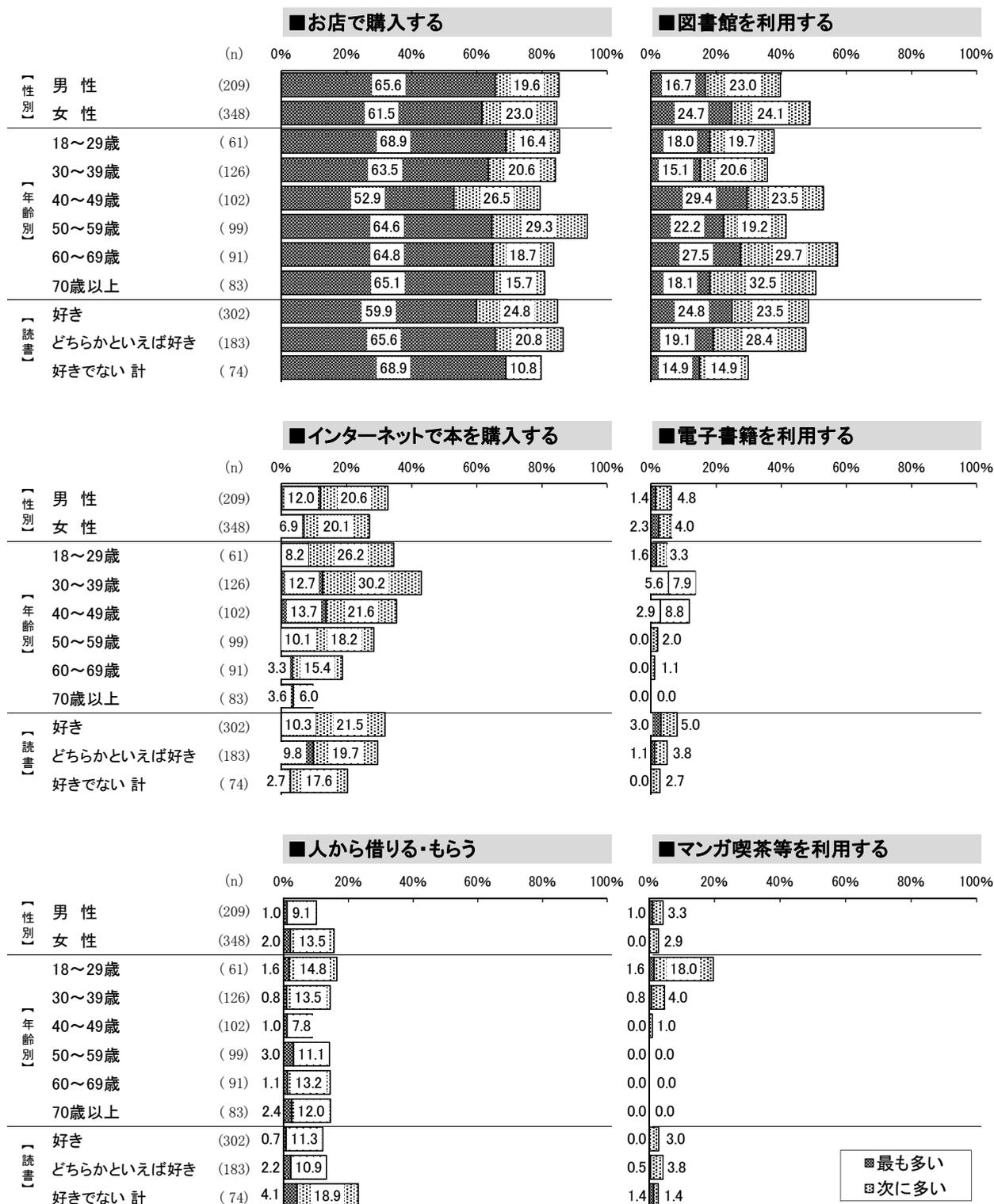


《 読みたい本の入手方法－性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

読みたい本の入手方法について性別でみると、大きな差ではないが、男性は女性より「お店で購入する」、「インターネットで本を購入する」の割合が多く、女性は男性より「図書館を利用する」「人から借りる・もらう」の割合が多い傾向となっている。

年齢別でみると、「お店で購入する」、「図書館を利用する」は特徴的な差はみられない。「インターネットで本を購入する」や「電子書籍を利用する」は30～39歳が最も多く、年代が上がるにつれて割合が少なくなる傾向となっている。「マンガ喫茶等を利用する」は年代が低いほど割合が多くなっている。

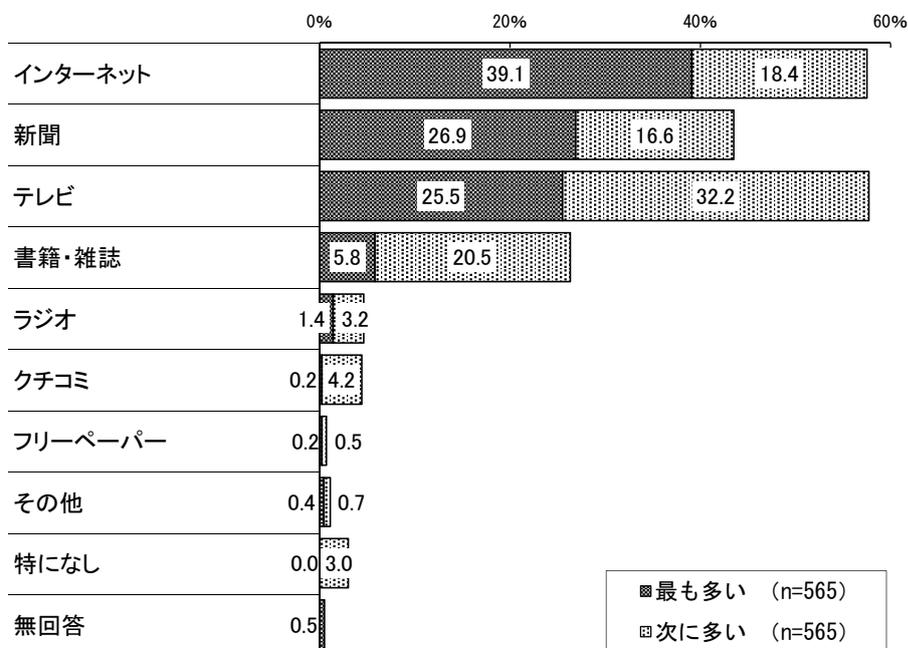
読書が好きかどうかでみると、読書が好きな人ほど「図書館を利用する」、「インターネットで本を買う」の割合が多い傾向となっている。



(8) 情報を得る媒体

〔区民：問7〕

情報を得る媒体についてたずねたところ、最も多い媒体は、全体で「インターネット」(39.1%)が4割で最も多く、「新聞」(26.9%)、「テレビ」(25.5%)が各々2割台半ばの順となっている。次に多い媒体は、「テレビ」(32.2%)が3割を超えて最も多く、「書籍・雑誌」(20.5%)が2割で次いでおり、「インターネット」(18.4%)、「新聞」(16.6%)の順となっている。

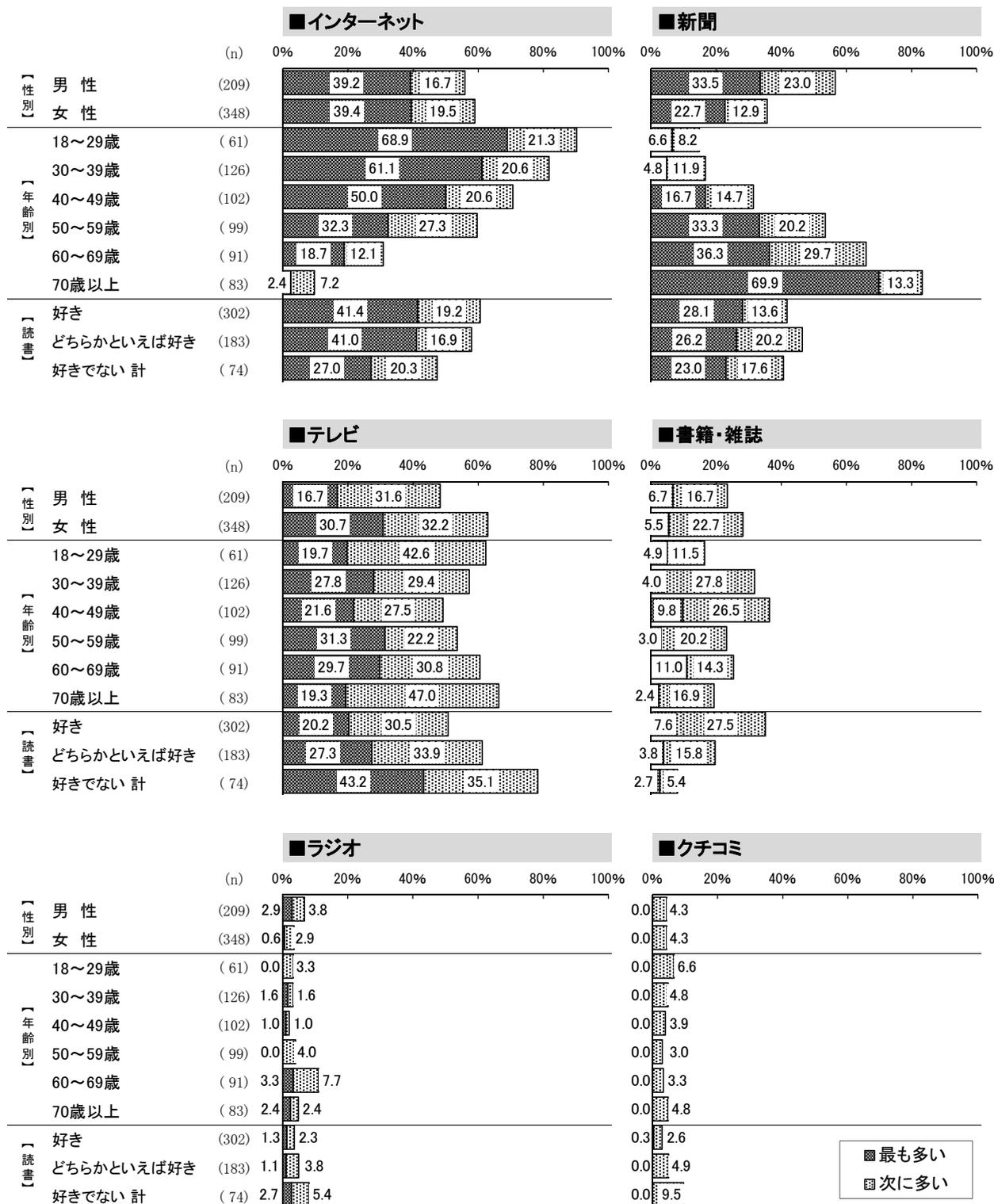


《 情報を得る媒体－性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

情報を得る媒体について性別で見ると、男性は女性より「新聞」の回答が多く、女性は男性より「テレビ」の回答が多くなっており、「インターネット」、「書籍・雑誌」は性別による差が小さい傾向となっている。

年代別で見ると、「インターネット」は年代が低いほど、「新聞」は年代が高いほど回答が多くなっている。「書籍・雑誌」は30～39歳、40～49歳で回答が比較的多くなっている。

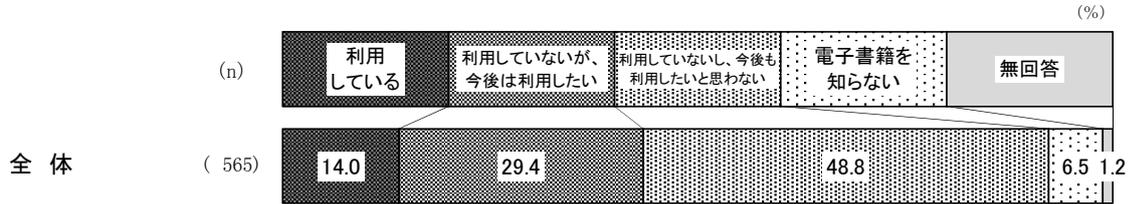
読書が好きかどうかで見ると、読書が好きの人ほど「書籍・雑誌」の回答が多くなり、反対に読書が好きでない人ほど「テレビ」の回答が多い傾向となっている。



(9) 『電子書籍』の利用状況

[区民:問8]

電子書籍の利用状況についてたずねたところ、全体で「利用している」(14.0%)が1割台半ば、「利用していないが、今後は利用したい」(29.4%)が3割となっている。「利用していないし、今後も利用したいと思わない」(48.8%)が約半数を占めている。

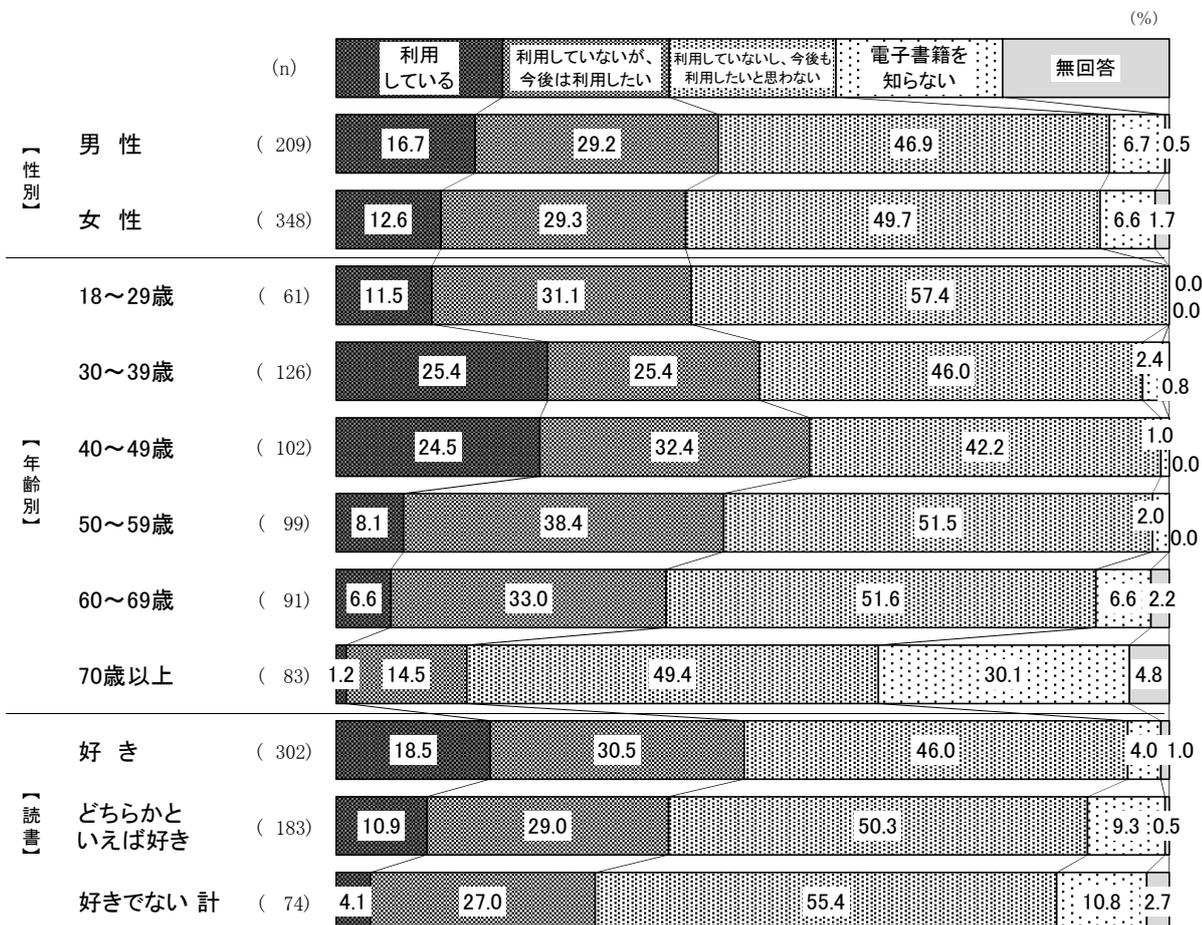


《『電子書籍』の利用状況－性別／年齢別／読書が好きかどうか》

電子書籍の利用状況について性別で見ると、「利用している」は男性(16.7%)は女性(12.6%)より4.1ポイント多くなっている。「利用していないが、今後は利用したい」は性別による差はなく、ともに3割となっている。

年齢別で見ると、「利用している」は30～39歳(25.4%)及び40～49歳(24.5%)は2割台半ばと他の年代の1割～1割未満に比べて多くなっている。「利用していないが、今後は利用したい」は70歳以上を除く各年代で2割台半ばから3割台となっており、「利用している」と「利用していないが、今後は利用したい」を含めた割合(56.9%)は40～49歳が最も多くなっている。

読書が好きかどうかで見ると、読書が好きの人ほど「利用している」の割合が多くなっている。「利用していないが、今後は利用したい」の割合は差は小さいが、読書が好きの人ほど多い傾向となっている。

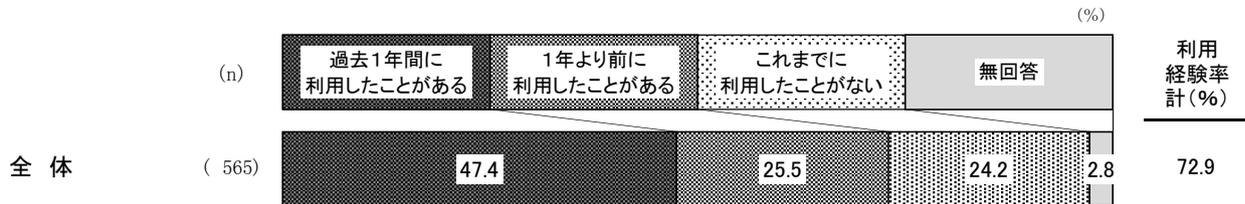


2. 豊島区立図書館について

(1) 豊島区立図書館の利用経験

〔区民：問13〕

豊島区立図書館の利用経験についてたずねたところ、全体で「過去1年間に利用したことがある」（47.4%）が約半数、「1年より前に利用したことがある」（25.5%）が2割台半ばとなり、利用経験率の計（72.9%）は7割近くとなっている。



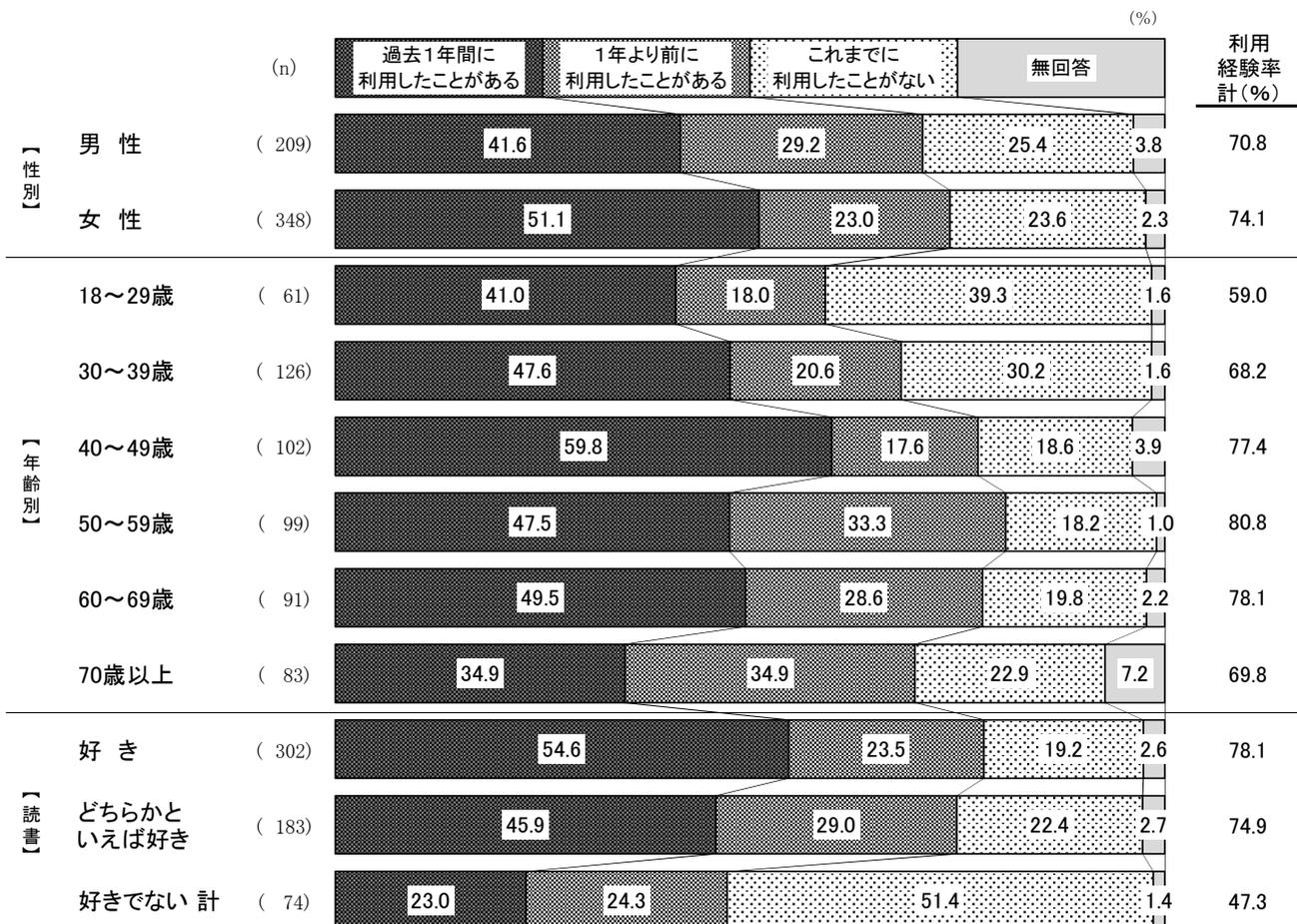
《 豊島区立図書館の利用経験—性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

豊島区立図書館の利用経験について性別でみると、「過去1年間に利用したことがある」の割合は男性（41.6%）が4割近く、女性（51.1%）が5割近くで女性が9.5ポイント多くなっている。

年齢別でみると、「過去1年間に利用したことがある」の割合は40～49歳（59.8%）が6割と最も多く、30～39歳、50～59歳、60～69歳は5割弱となっている。18～29歳（41.0%）は4割、70歳以上（34.9%）は3割台半ばとなっている。「1年より前に利用したことがある」を含めた利用経験の計では、50～59歳（80.8%）が最も多く、60～69歳（78.1%）が次いでいる。

読書が好きかどうかでみると、読書が好きの人ほど「過去1年間に利用したことがある」の割合が多くなっている。

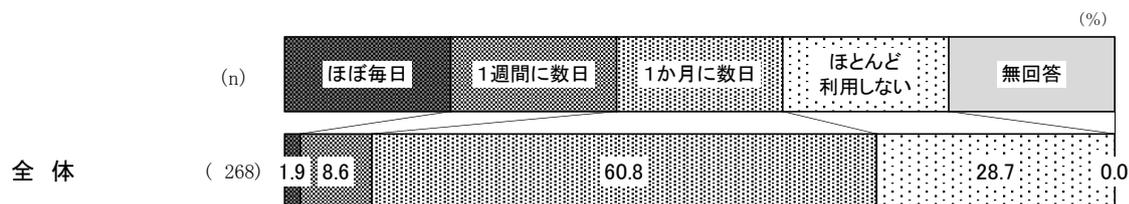
「これまでに利用したことがない」割合は18～29歳が最も多くなっている。



(2) 豊島区立図書館の利用頻度

[区民:問14]

豊島区立図書館の過去1年間の利用経験者に、利用頻度をたずねたところ、全体で「1か月に数日」(60.8%)が6割と最も多く、「ほとんど利用しない」(28.7%)が3割近くとなっている。「ほぼ毎日」と「1週間に数日」を合わせた1週間に数日以上は1割となっている。

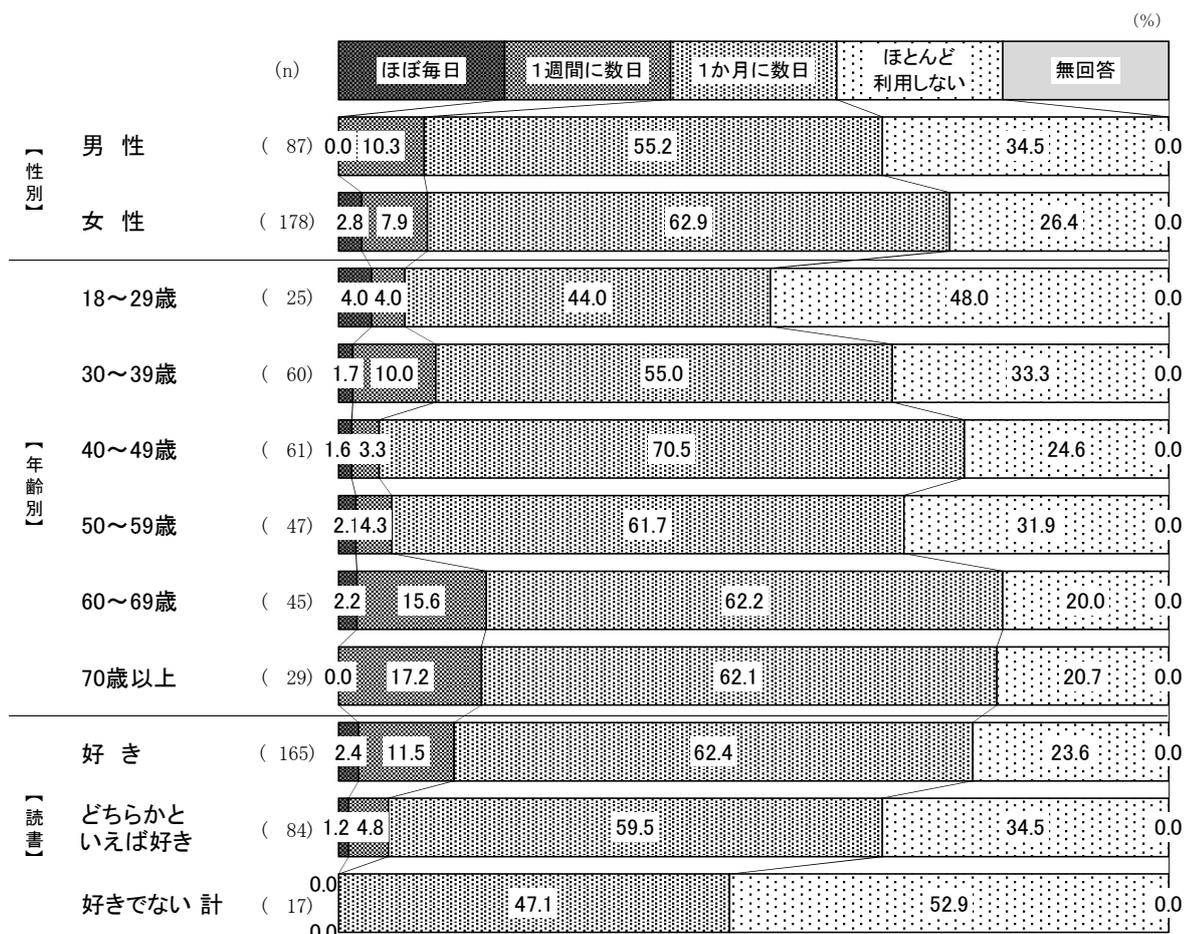


《 豊島区立図書館の利用頻度－性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

豊島区立図書館の利用頻度について性別でみると、「ほぼ毎日」、「1週間に数日」は男女ともに合わせて1割となっており、「1か月に数日」の割合は男性(55.2%)より女性(62.9%)が多くなっている。

年齢別でみると、多少ばらつきはあるが、年代が高いほど利用頻度が高くなる傾向であり、60～69歳、70歳以上は「ほぼ毎日」と「1週間に数日」の計が2割弱と他の年代に比べて多くなっている。

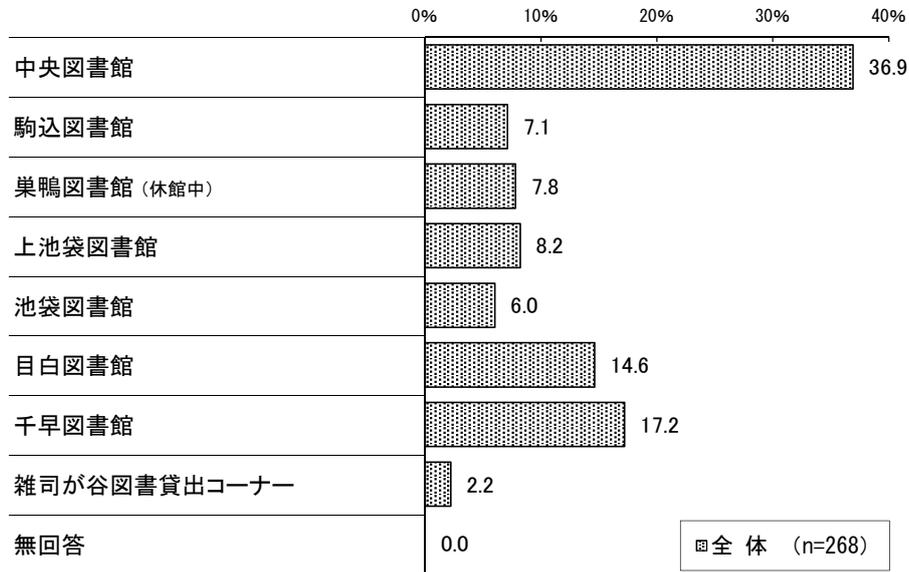
読書が好きかどうかでは、読書が好きな人ほど利用頻度が高い傾向となっている。



(3) 最も頻繁に利用する豊島区立図書館（単数回答）

〔区民：問15〕

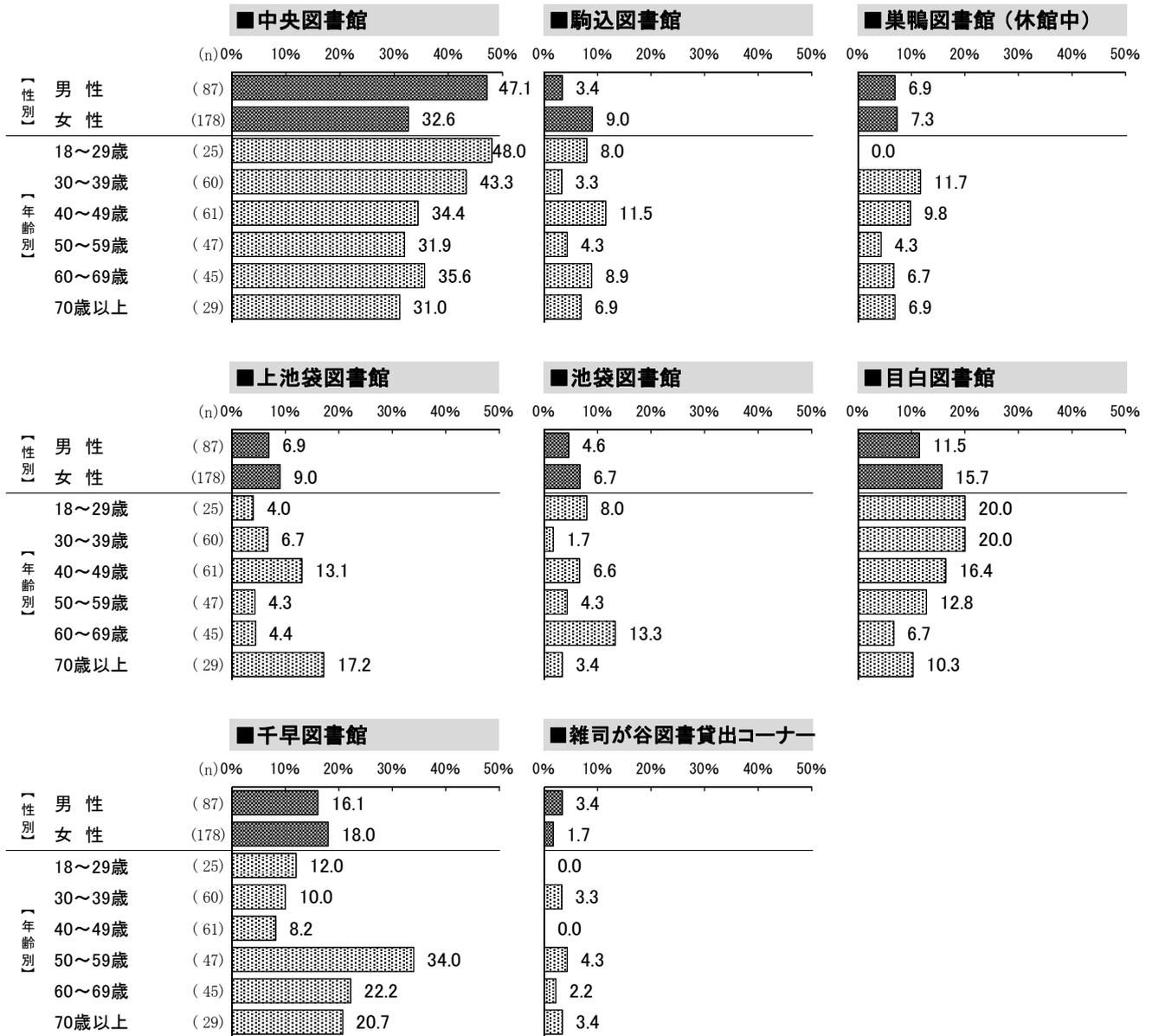
豊島区立図書館の過去1年間の利用経験者に、最も頻繁に利用する図書館をたずねたところ、全体で「中央図書館」（36.9%）が4割と最も多く、「千早図書館」（17.2%）、「目白図書館」（14.6%）の順となっている。



《 最も頻繁に利用する豊島区立図書館（単数回答）－性別／年齢別 》

最も頻繁に利用する豊島区立図書館について性別でみると、「中央図書館」、「雑司が谷図書貸出コーナー」は女性より男性の回答が多く、それ以外の図書館は男性より女性の回答が多くなっている。

年齢別でみると、「中央図書館」、「目白図書館」は年代が低いほど回答が多い傾向となっている。「千早図書館」は50～59歳以降の年代で回答が多くなっている。



《 最も頻繁に利用する豊島区立図書館別の居住地域 》

参考までに、最も頻繁に利用する豊島区立図書館別の居住地域は、以下の通りとなっている。

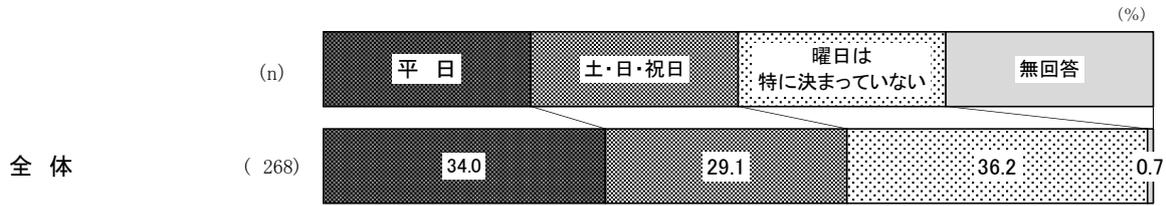
中央図書館の最頻利用者は東池袋居住者の割合が多いが、豊島区全域の回答がみられ、他の図書館は施設所在地に近い地域の居住者が中心となっている。

	全 体	中 央 図 書 館	駒 込 図 書 館	巣 鴨 図 書 館 (休 館 中)	上 池 袋 図 書 館	池 袋 図 書 館	目 白 図 書 館	千 早 図 書 館	雑 司 が 谷 図 書 館 出 借 コ ー ナ ー	(%)
(n)	(268)	(99)	(19)	(21)	(22)	(16)	(39)	(46)	(6)	
駒 込	6.3	-	89.5	-	-	-	-	-	-	-
巣 鴨	5.6	3.0	5.3	47.6	4.5	-	-	-	-	-
西巣鴨	3.4	2.0	-	19.0	13.6	-	-	-	-	-
北大塚	3.7	9.1	-	4.8	-	-	-	-	-	-
南大塚	6.3	11.1	-	23.8	-	6.3	-	-	-	-
上池袋	5.6	3.0	-	-	54.5	-	-	-	-	-
東池袋	8.2	21.2	-	-	-	6.3	-	-	-	-
南池袋	2.6	5.1	-	-	-	12.5	-	-	-	-
西池袋	6.0	3.0	-	-	-	18.8	25.6	-	-	-
池 袋	3.4	3.0	-	-	4.5	31.3	-	-	-	-
池袋本町	3.0	-	5.3	-	22.7	6.3	-	2.2	-	-
雑司が谷	5.6	11.1	-	-	-	6.3	-	-	50.0	-
高 田	5.2	11.1	-	-	-	-	2.6	-	33.3	-
目 白	9.3	7.1	-	-	-	-	43.6	-	16.7	-
南長崎	4.5	3.0	-	-	-	-	20.5	2.2	-	-
長 崎	4.9	3.0	-	-	-	-	5.1	17.4	-	-
千 早	9.3	1.0	-	-	-	-	2.6	50.0	-	-
要 町	1.9	-	-	-	-	-	-	10.9	-	-
高 松	1.9	1.0	-	-	-	12.5	-	4.3	-	-
千 川	2.6	1.0	-	-	-	-	-	13.0	-	-
無回答	0.7	1.0	-	4.8	-	-	-	-	-	-

(4) 豊島区立図書館の主な利用日

[区民:問16]

豊島区立図書館の過去1年間の利用経験者に、最も頻繁に利用する図書館の主な利用日をたずねたところ、全体で「平日」(34.0%)、「土・日・祝日」(29.1%)、「曜日は特に決まっていない」(36.2%)と分散している。

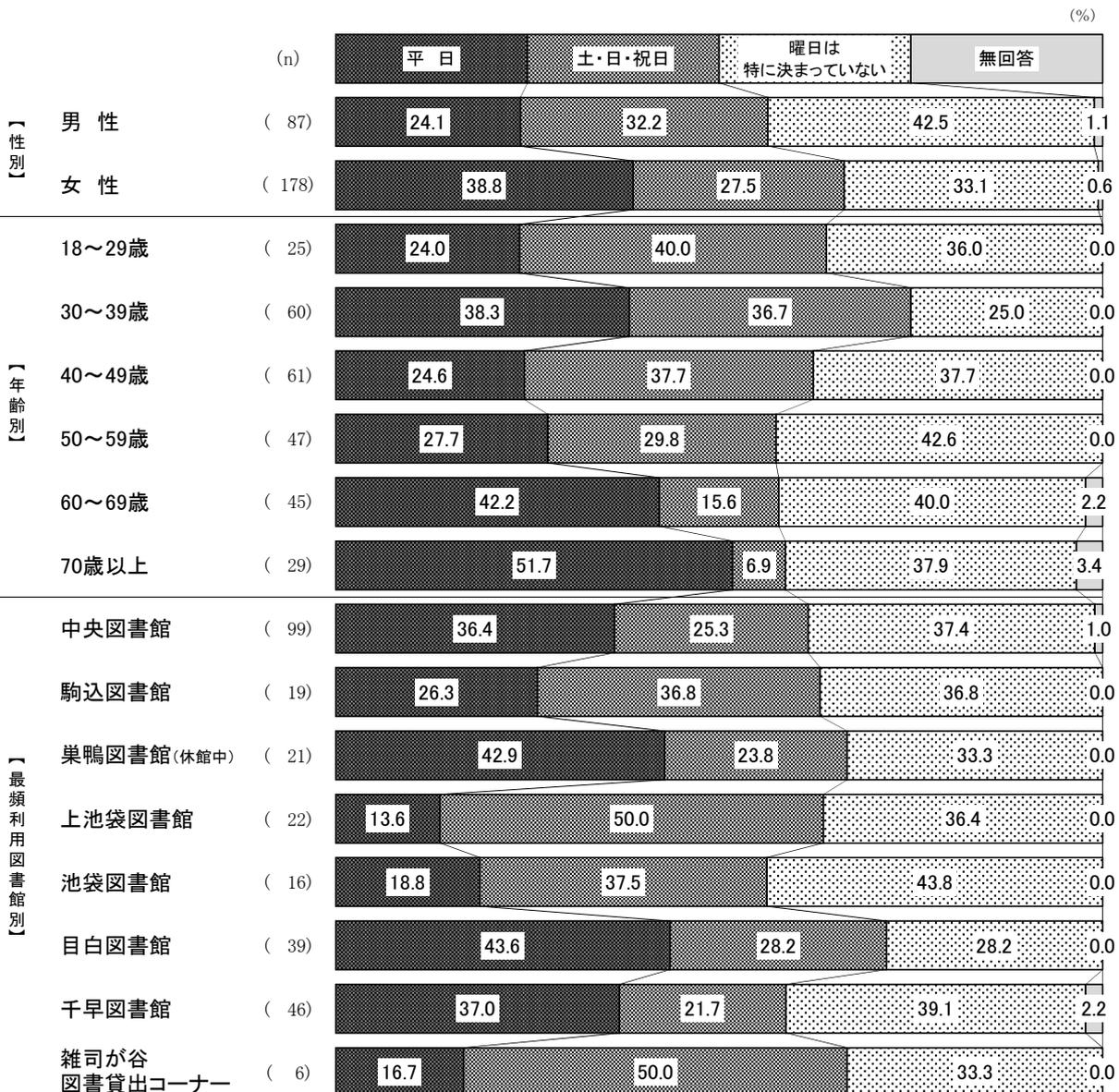


《 豊島区立図書館の主な利用日－性別／年齢別／最頻利用図書館別 》

豊島区立図書館の主な利用日について性別でみると、男性は「土・日・祝日」(32.2%)、「曜日は特に決まっていない」(42.5%)の割合がより女性より多く、女性は「平日」(38.8%)の割合が男性より多くなっている。

年齢別でみると、多少ばらつきはあるが、年代が高いほど「平日」の割合が多く、年代が低いほど「土・日・祝日」の割合が多い傾向となっている。

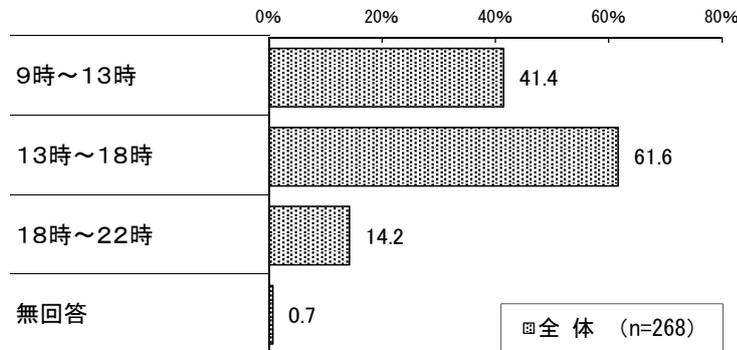
最も頻繁に利用する図書館別でみると、中央図書館、巣鴨図書館、目白図書館、千早図書館利用者は他の図書館利用者より「平日」の割合が多く、駒込図書館、上池袋図書館、池袋図書館利用者は「土・日・祝日」の割合が多くなっている。



(5) 豊島区立図書館の主な利用時間帯（複数回答）

〔区民：問17〕

豊島区立図書館の過去1年間の利用経験者に、最も頻繁に利用する図書館の主な利用時間帯についてたずねたところ、「13時～18時」（61.6%）が6割と最も多く、「9時～13時」（41.4%）が4割、「18時～22時」（14.2%）が1割台半ばとなっている。

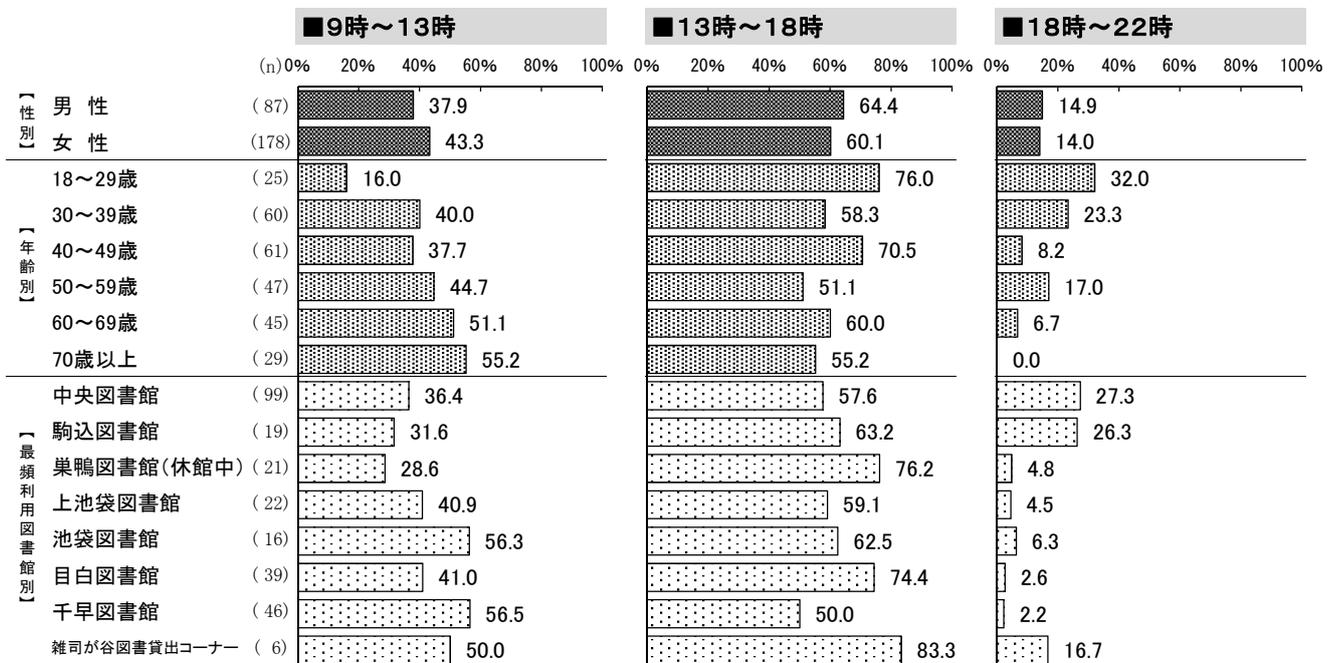


《 豊島区立図書館の主な利用時間帯－性別／年齢別／最頻利用図書館別 》

豊島区立図書館の主な利用時間帯について性別でみると、男性は女性より「13時～18時」の回答が多く、女性は男性より「9時～13時」の回答が多くなっている。

年齢別では、多少ばらつきはあるが、年代が高いほど「9時～13時」の回答が多く、年代が低いほど「13時～18時」、「18時～22時」の回答が多くなる傾向となっている。

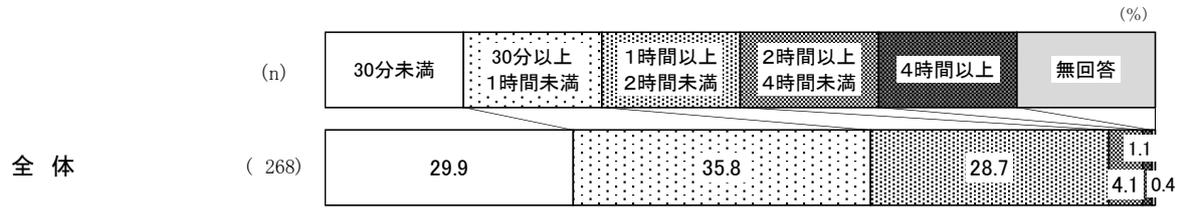
最も頻繁に利用する図書館別では、池袋図書館、千早図書館利用者は他の図書館利用者より「9時～13時」の回答が多く、巣鴨図書館、目白図書館利用者は「13時～18時」の回答が多く、中央図書館、駒込図書館利用者は「18時～22時」の回答が多くなっている。



(6) 豊島区立図書館の1回あたりの利用時間

【区民:問18】

豊島区立図書館の過去1年間の利用経験者に、最も頻繁に利用する図書館の1回あたりの利用時間をたずねたところ、全体で「30分未満」(29.9%)、「30分以上1時間未満」(35.8%)、「1時間以上2時間未満」(28.7%)とに分散している。2時間を越える利用時間は1割未満となっている。

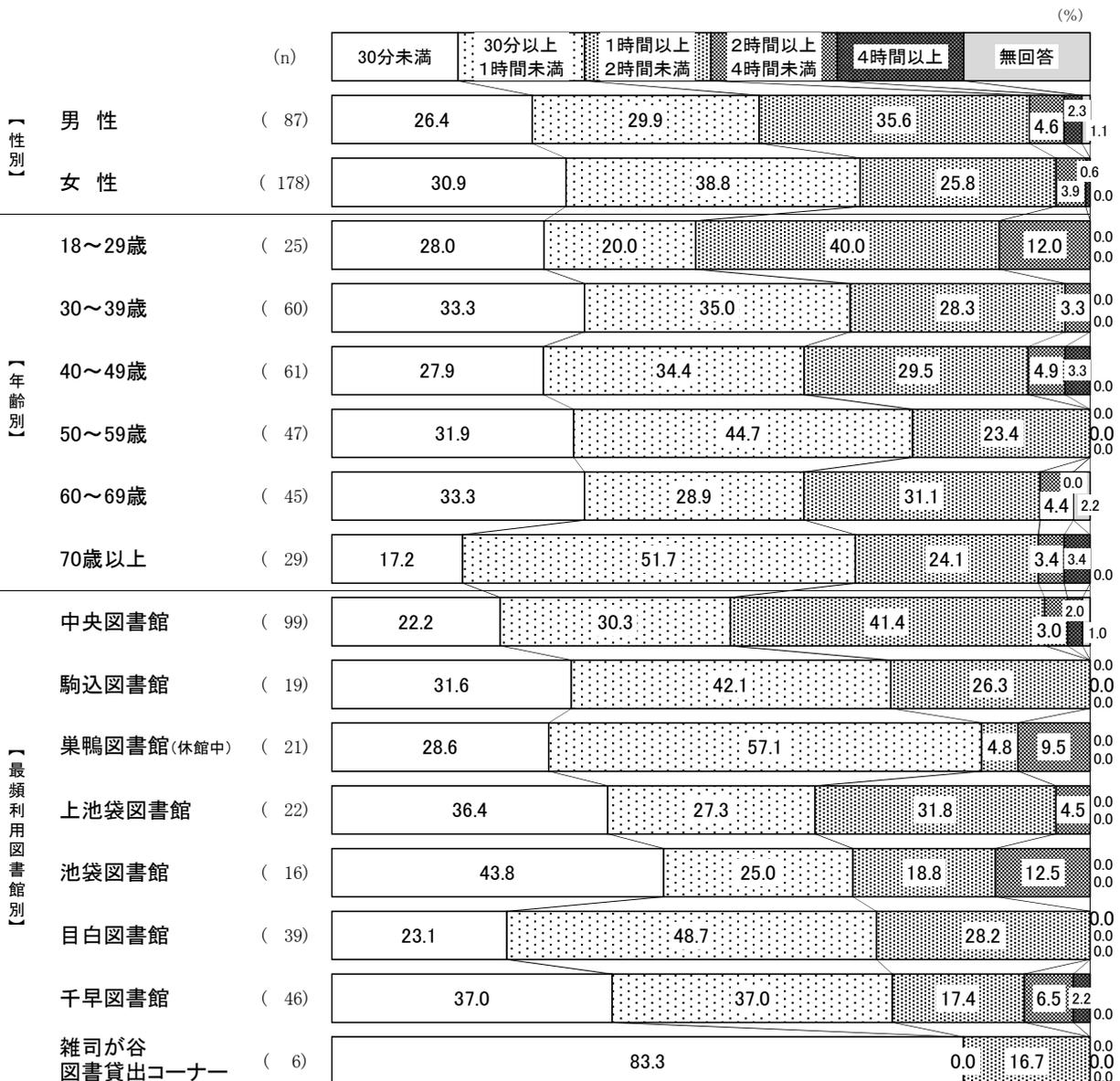


《 豊島区立図書館の1回あたりの利用時間－性別／年齢別／最頻利用図書館別 》

豊島区立図書館の1回あたりの利用時間について性別でみると、男性は「1時間以上2時間未満」(35.6%)の割合が女性(25.8%)より多く、利用時間が長い傾向となっている。

年齢別でみると、特徴的な差はみられない。

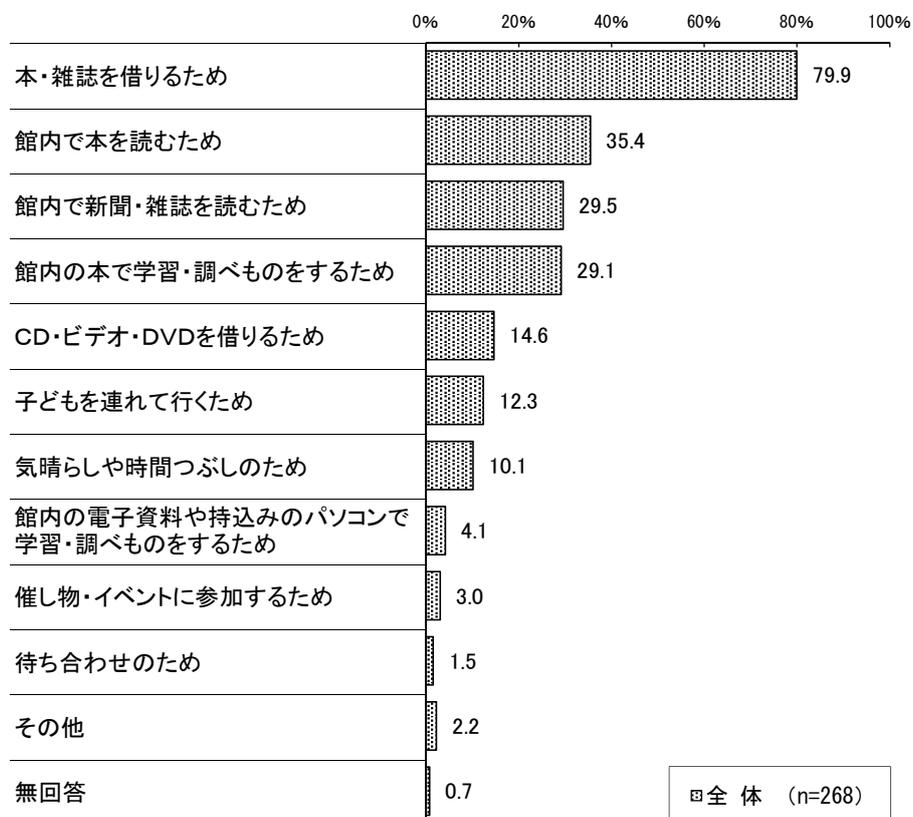
最も頻繁に利用する図書館別では中央図書館利用者は「1時間以上2時間未満」が他の図書館利用者より多くなっており、上池袋図書館、池袋図書館、千早図書館利用者は「30分未満」が多くなっている。



(7) 豊島区立図書館の利用目的（複数回答）

〔区民：問19〕

豊島区立図書館の過去1年間の利用経験者に、利用目的をたずねたところ、全体で「本・雑誌を借りるため」（79.9%）が8割と最も多く、「館内で本を読むため」（35.4%）、「館内で新聞・雑誌を読むため」（29.5%）、「館内の本で学習・調べものをするため」（29.1%）の順となっている。

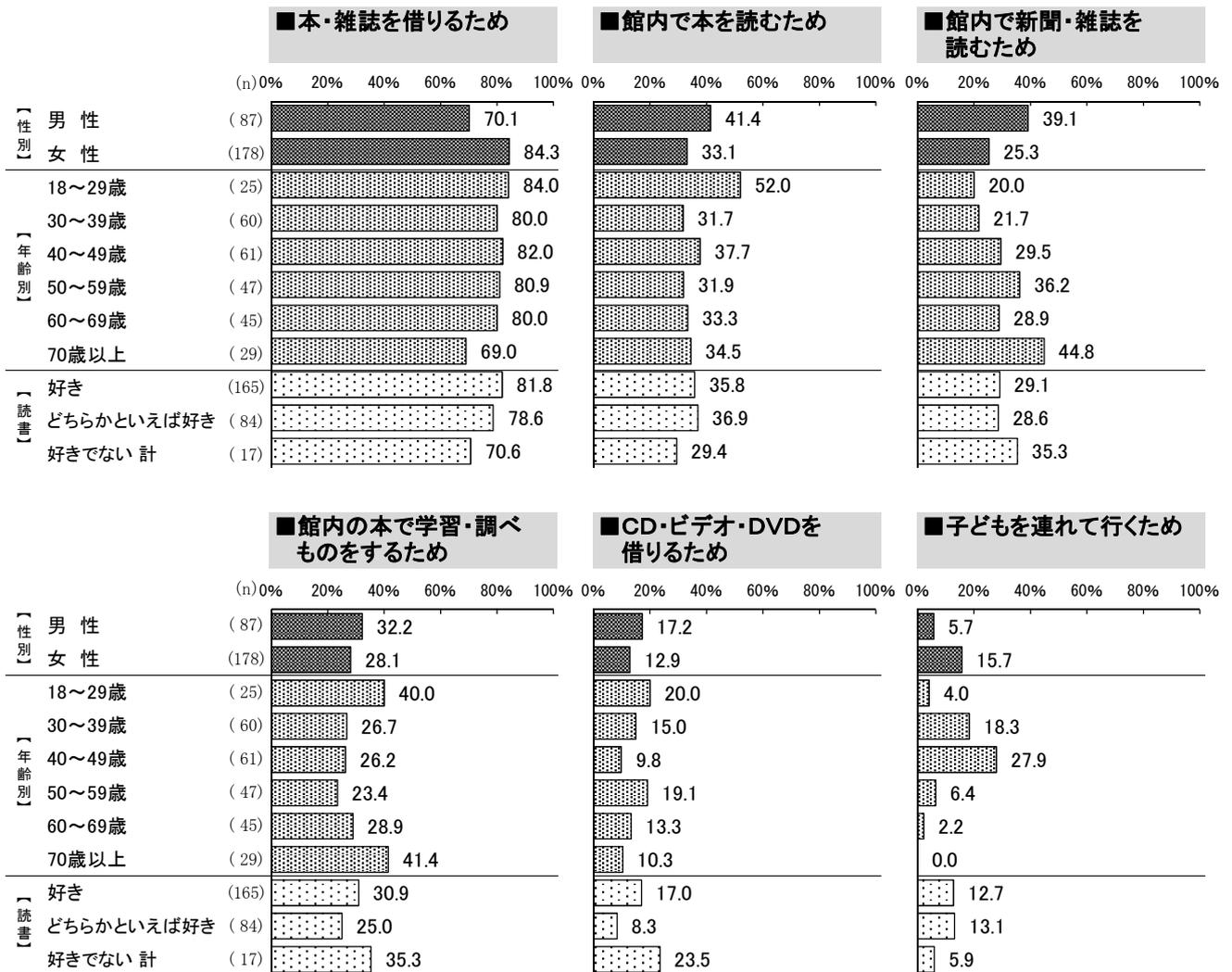


《 豊島区立図書館の利用目的－性別／年齢別／読書が好きかどうか 》

豊島区立図書館の利用目的について性別でみると、「館内で本を読むため」、「館内で新聞・雑誌を読むため」、「館内の本で学習・調べものをするため」、「CD・ビデオ・DVDを借りるため」などは女性より男性の回答が多く、「本・雑誌を借りるため」、「子どもを連れて行くため」などは男性より女性の回答が多くなっている。

年齢別でみると、多少ばらつきはあるが、「本・雑誌を借りるため」は年代が低いほど回答が多く、「館内で新聞・雑誌を読むため」は年代が高いほど回答が多くなる傾向がみられる。また、「子どもを連れて行くため」は子育て世代の30～39歳、40～49歳で多く、「館内の電子資料や持ち込みのパソコンで学習・調べものをするため」は18～29歳で多くなっている。

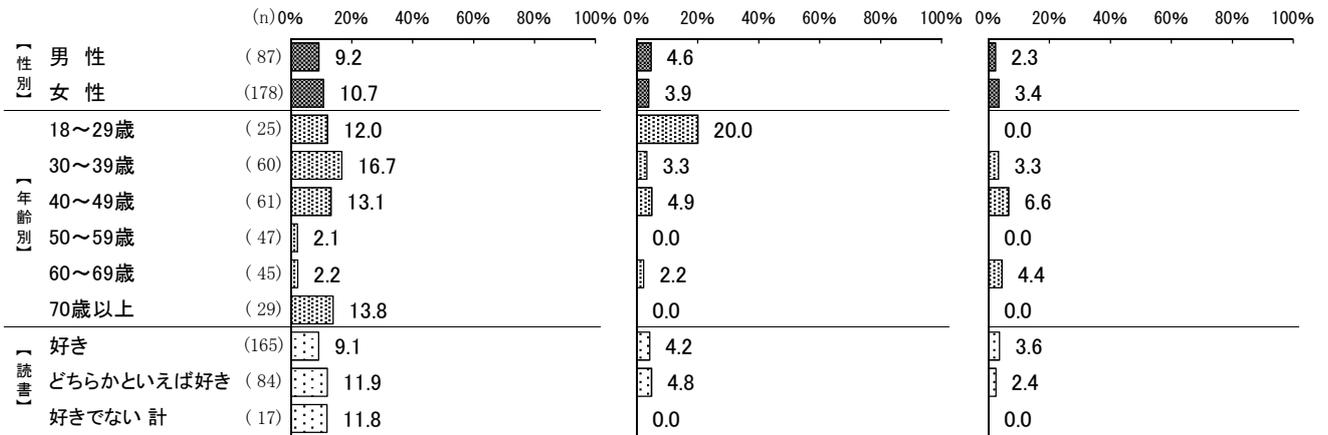
読書が好きかどうかでみると、「本・雑誌を借りるため」、「館内で本を読むため」、「子どもを連れて行くため」などは読書好きな人は読書好きでない人に比べて回答が多くなっている。



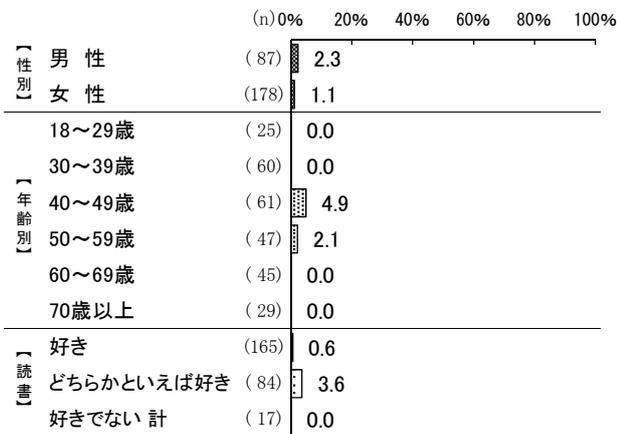
■ 気晴らしや時間つぶしの
ため

■ 館内の電子資料や持込
みのパソコンで学習・
調べものをするため

■ 催し物・イベントに参加
するため



■ 待ち合わせのため

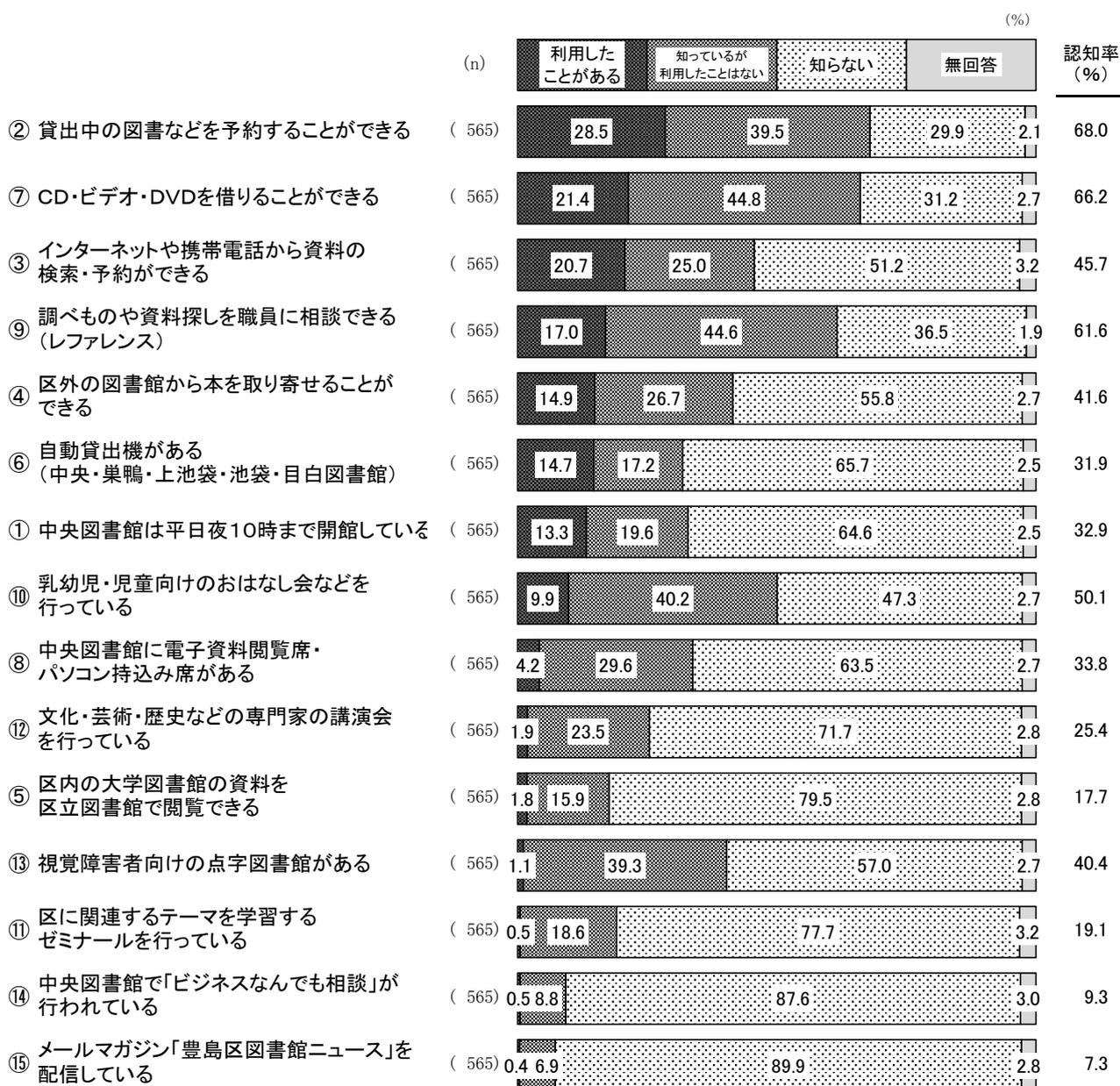


(8) 豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験

[区民:問9]

豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験についてたずねたところ、全体で利用経験者の割合が多い順に、②貸出中の図書などを予約することができる(28.5%)が3割近く、⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができる(21.4%)、③インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる(20.7%)などが2割台となっている。次いで、⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)(17.0%)、④区外の図書館から本を取り寄せることができる(14.9%)、⑥自動貸出機がある(中央・巣鴨・上池袋・池袋・目白図書館)(14.7%)、①中央図書館は平日夜10時まで開館している(13.3%)などが1割台で続いている。

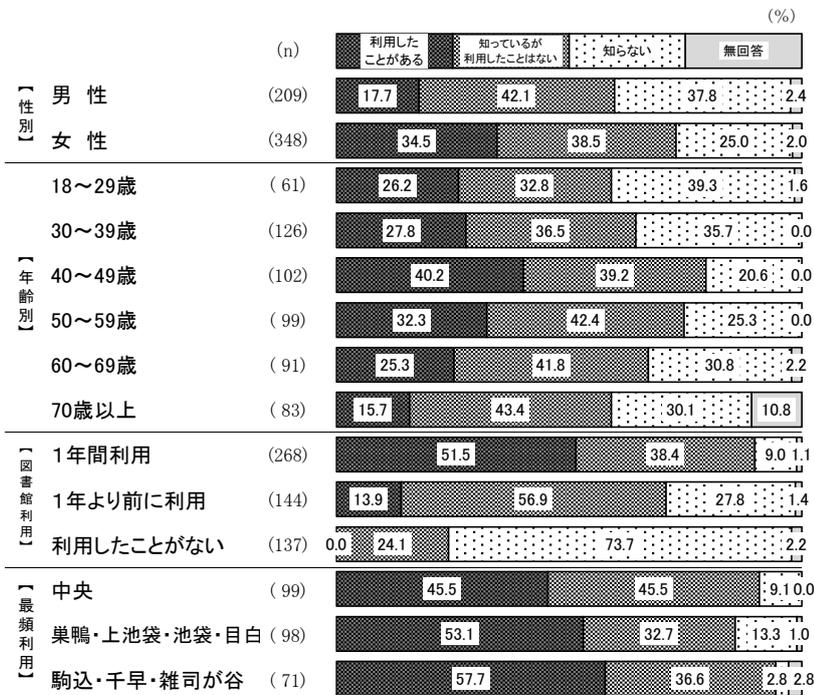
利用経験者の割合に比して、「知っているが利用したことはない」が多いのは、⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)(44.6%)、⑩乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている(40.2%)、⑬視覚障害者向けの点字図書館がある(39.3%)などとなっている。



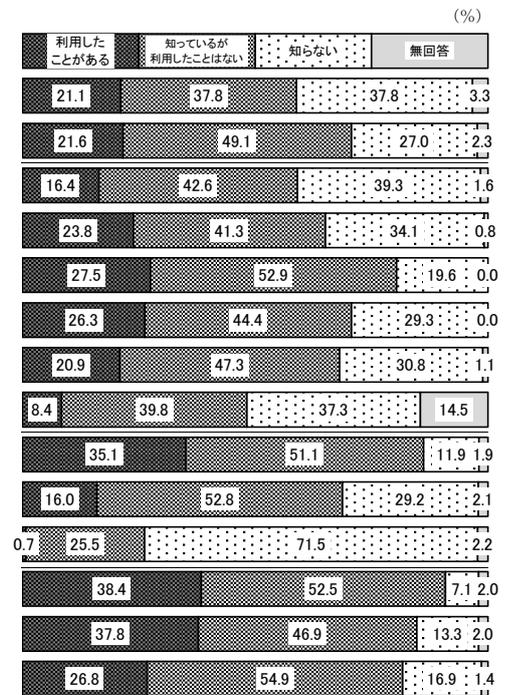
《 豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験—性別／年齢別／図書館利用状況別》

豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験について性別でみると、全般的に男性より女性の認知・利用経験者の割合が多くなっており、②貸出中の図書などを予約することができる、③インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる、④区外の図書館から本を取り寄せることができる、⑩乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っているなどで、その差が比較的大きくなっている。

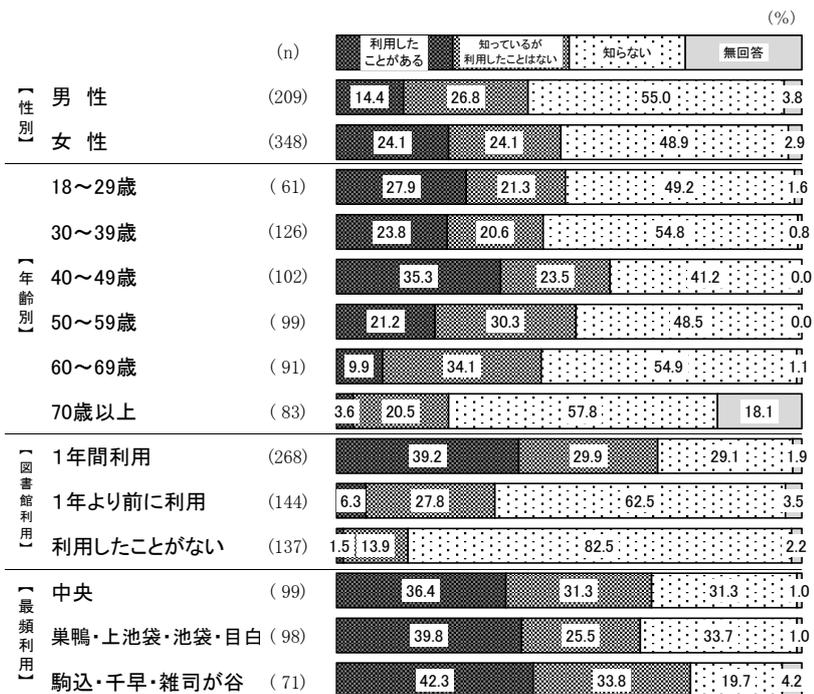
②貸出中の図書などを予約することができる



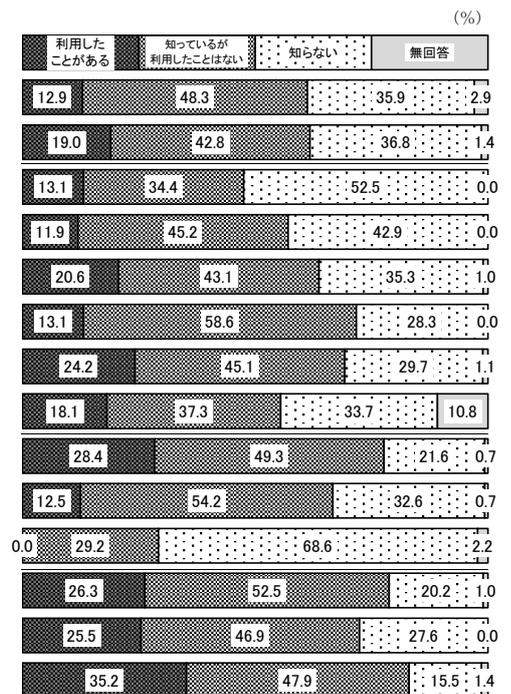
⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができる



③インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる



⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)

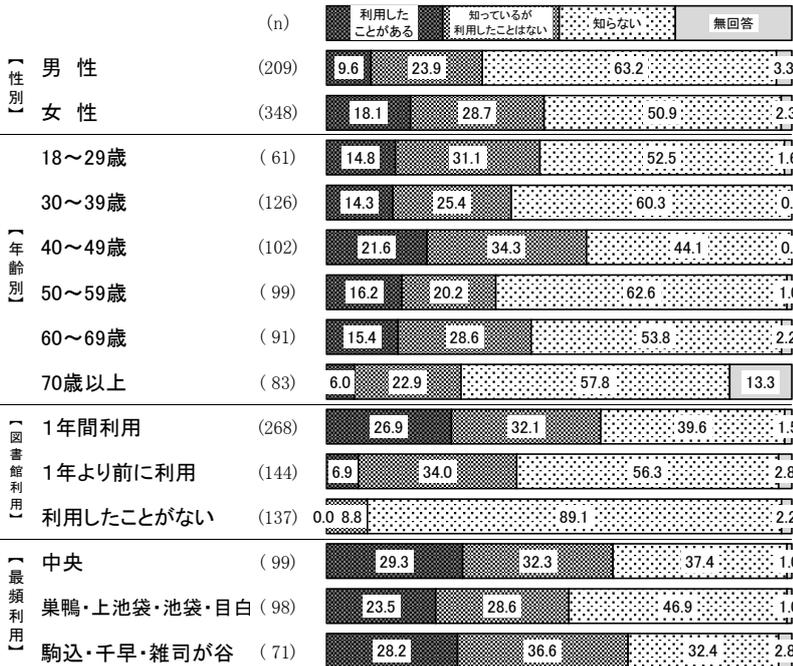


年齢別で見ると、一部のサービスを除き、全般的に 40～49歳までは年代が上がるほど認知・利用経験者の割合が多くなり、50歳以降は年代が上がるほど認知・利用経験者の割合が少なくなる傾向となっている。

豊島区立図書館の利用経験別で見ると、過去1年間利用者は1年より前利用者、利用したことがない人に比べて各サービスの認知・利用経験者の割合が多くなっている。図書館の過去1年間利用者は、②貸出中の図書などを予約することができるについては、利用経験者の割合（51.5%）が5割を超え、認知者の割合（89.9%）は9割、⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができるについては、利用経験者の割合（35.1%）は3割台半ば、認知者の割合（86.2%）は8割台半ばとなっている。

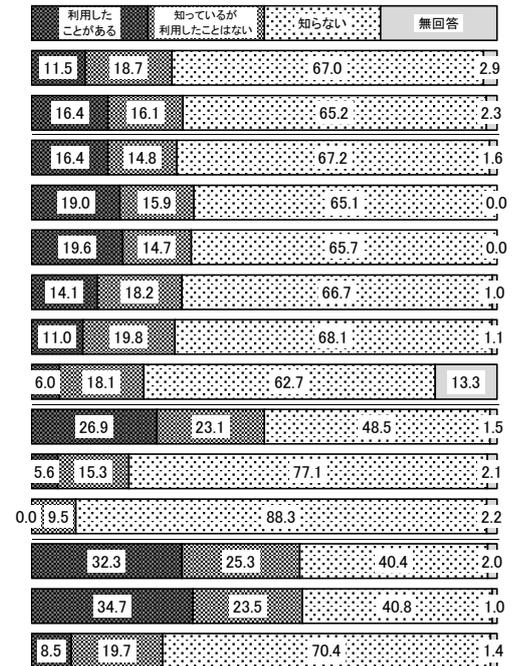
④区外の図書館から本を取り寄せることができる

(%)



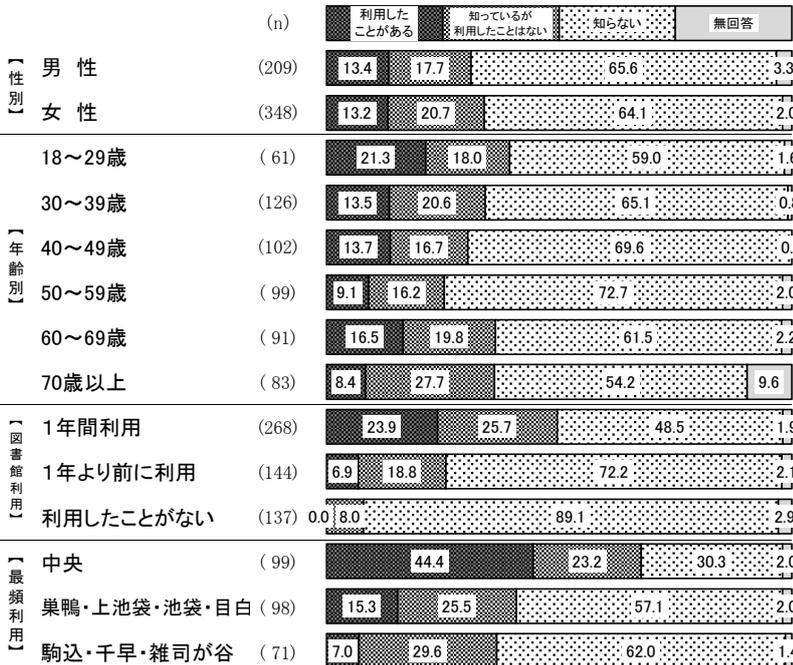
⑥自動貸出機がある(中央・巣鴨・上池袋・池袋・目白図書館)

(%)



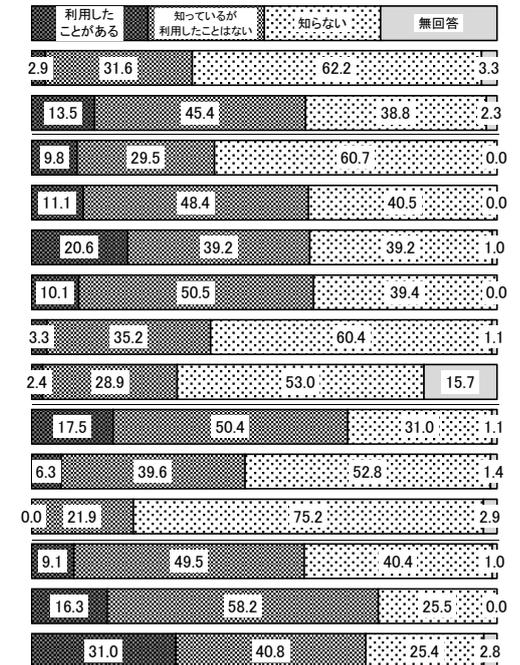
①中央図書館は平日夜10時まで開館している

(%)



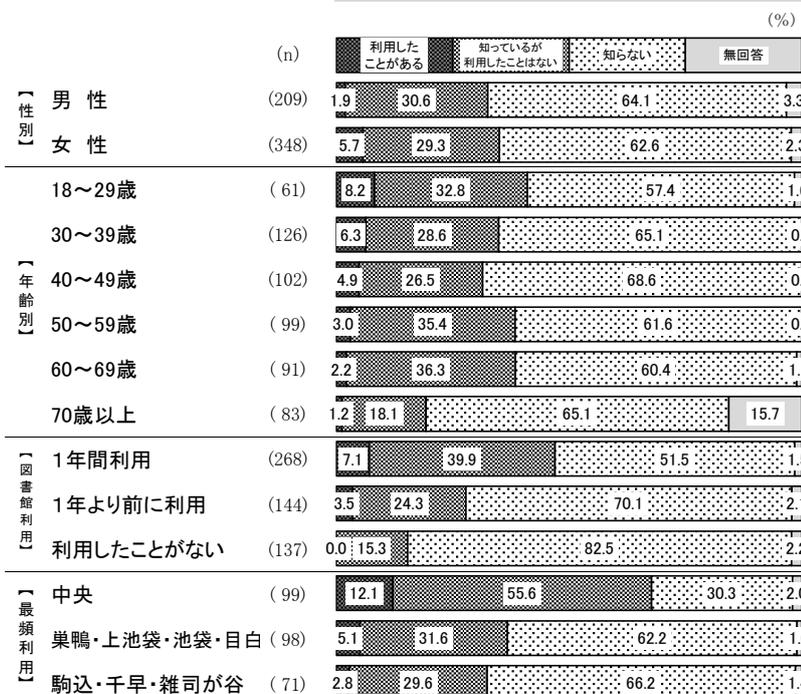
⑩乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている

(%)

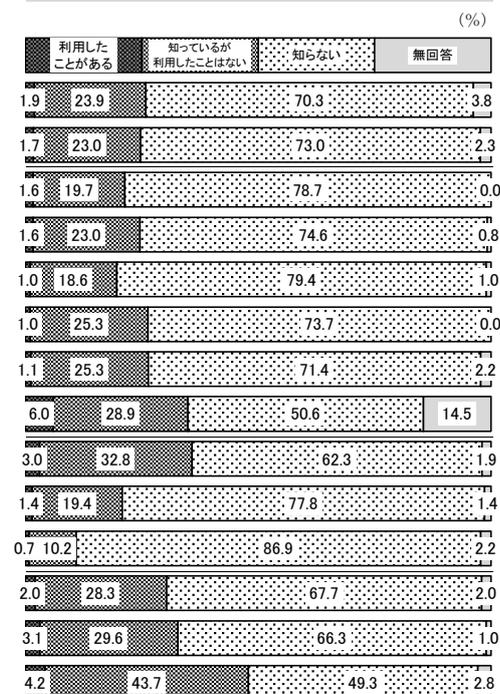


最も頻繁に利用する図書館別でみると、⑥自動貸出機があるについては、自動貸出機のある中央図書館利用者のうち利用経験者の割合（32.3%）は3割近く、巣鴨、上池袋、池袋、目白図書館利用者のうち利用経験者の割合（34.7%）は3割台半ば、認知者の割合はともに6割近くとなっている。また、①中央図書館は平日夜10時まで開館しているについては、中央図書館利用者のうち利用経験者の割合（44.4%）は4割台半ば、認知者の割合（67.6%）は6割台半ばとなっている。

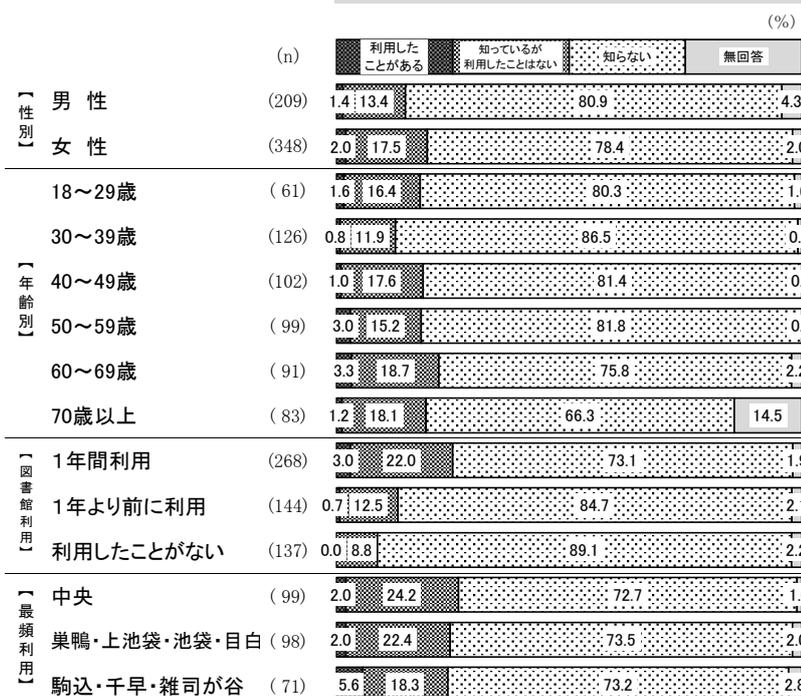
⑧中央図書館に電子資料閲覧席・パソコン持込み席がある



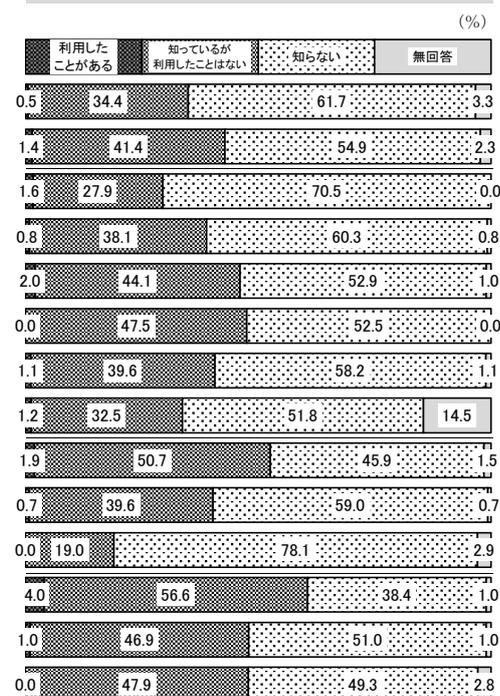
⑩文化・芸術・歴史などの専門家の講演会を行っている



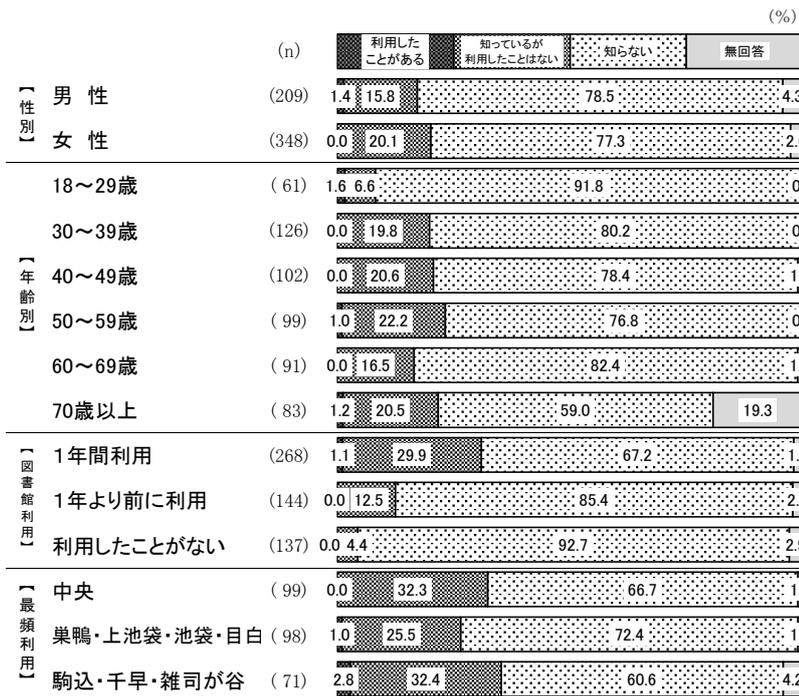
⑤区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる



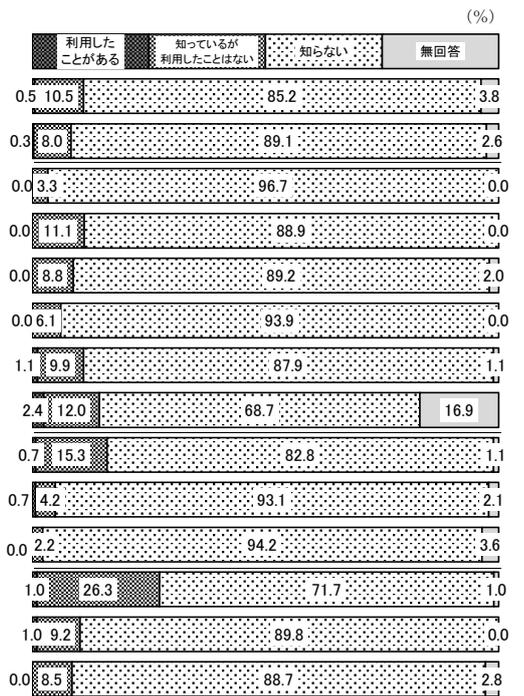
⑬視覚障害者向けの点字図書館がある



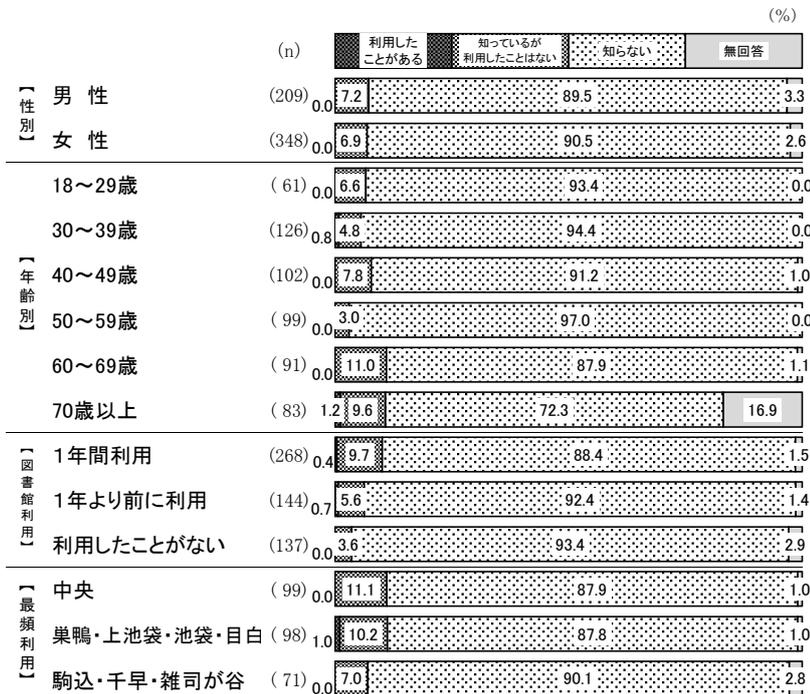
⑪区に関連するテーマを学習する
ゼミナールを行っている



⑭中央図書館で「ビジネスなんでも相談」
が行われている



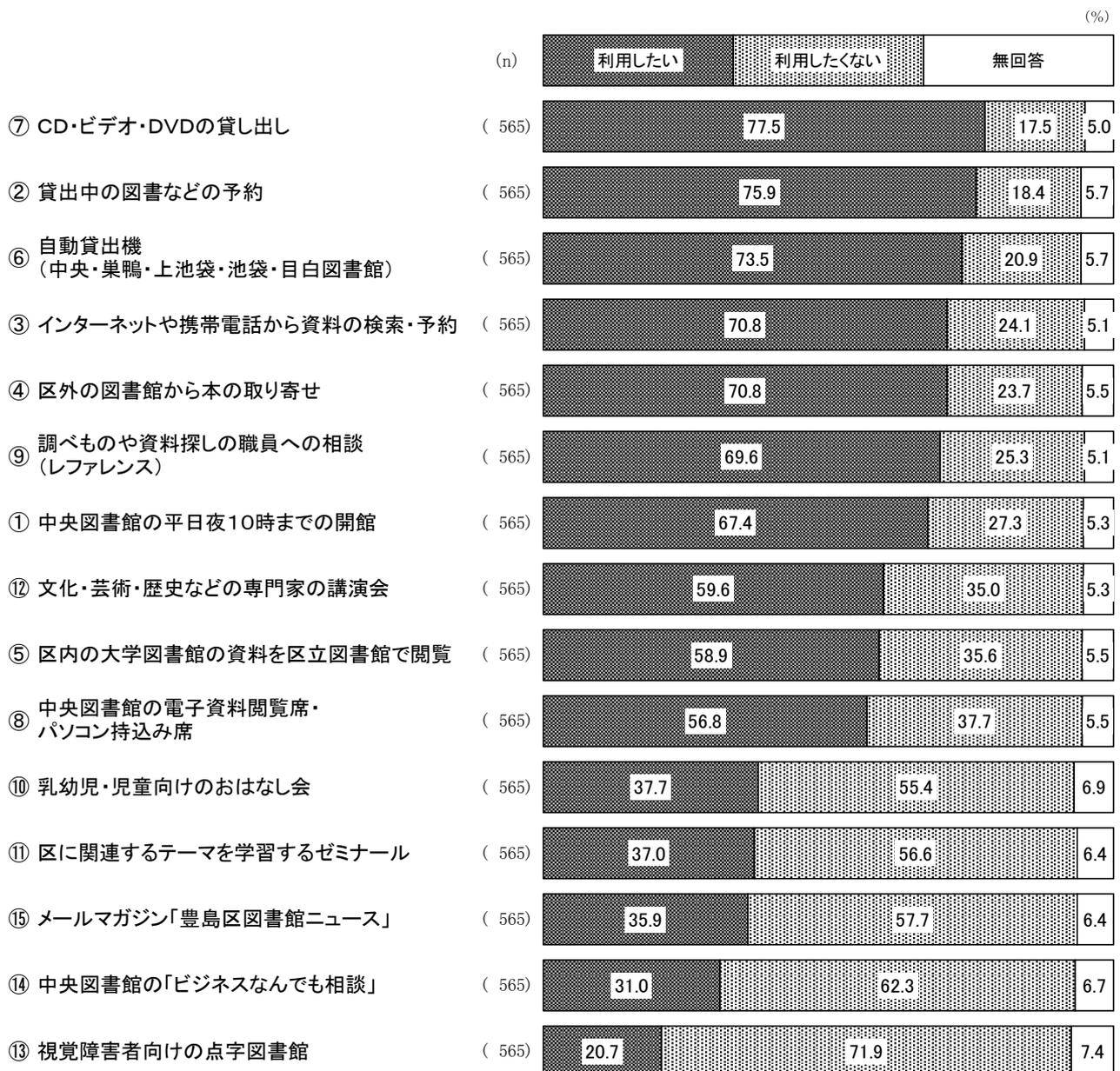
⑮メールマガジン
「豊島区図書館ニュース」を配信している



(9) 豊島区立図書館のサービスの利用意向

〔区民:問10〕

豊島区立図書館のサービスの利用意向についてたずねたところ、全体で利用意向者の割合が多い順に⑦CD・ビデオ・DVDの貸し出し（77.5%）、②貸出中の図書などの予約（75.9%）、⑥自動貸出機（73.5%）、③インターネットや携帯電話から資料の検索・予約④区外の図書館からの本の取り寄せ（各々 70.8%）などが7割台となっている。次いで、⑨調べものや資料探しの職員への相談（69.6%）、①中央図書館の平日夜10時までの開館（67.4%）などが6割台で続いている。



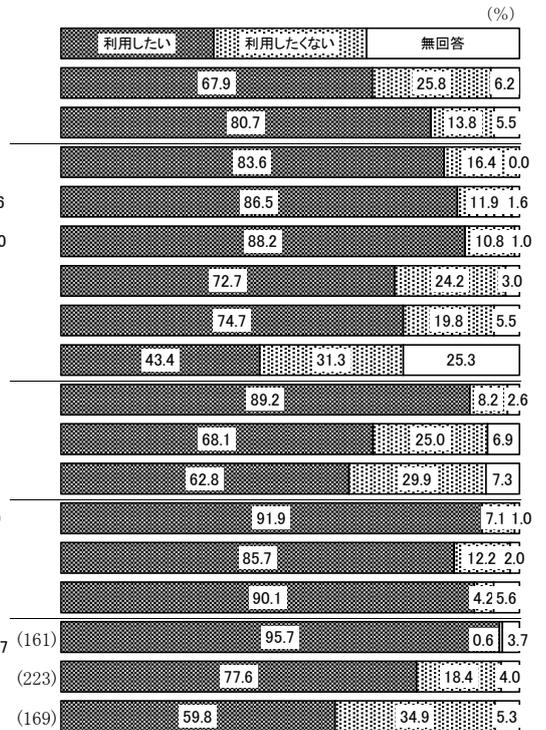
《 豊島区立図書館のサービスの利用意向－性別／年齢別／図書館利用状況別 》

豊島区立図書館のサービスの利用意向について性別でみると、⑤区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧、⑮メールマガジン「豊島区豊島区ニュース」、⑭中央図書館の「ビジネスなんでも相談」などは、女性より男性の利用意向者の割合が多く、それ以外のサービスは男性より女性の割合が多くなっている。

⑦CD・ビデオ・DVDの貸し出し



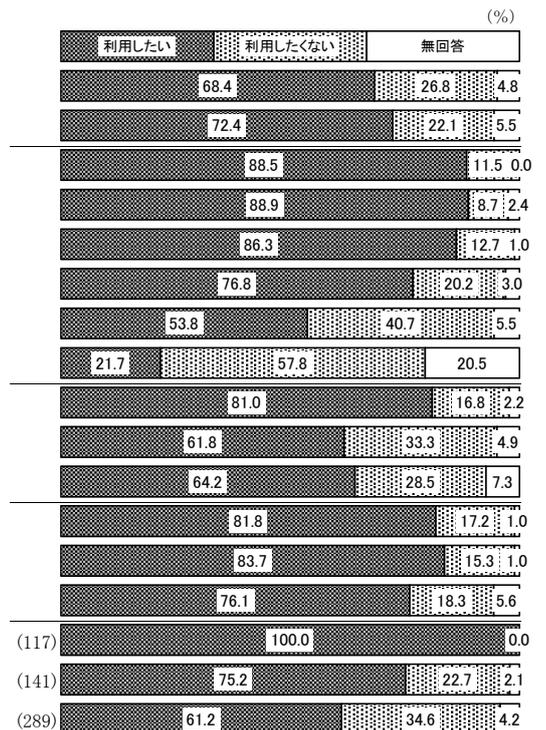
②貸出中の図書などの予約



⑥自動貸出機 (中央・巣鴨・上池袋・池袋・目白図書館)

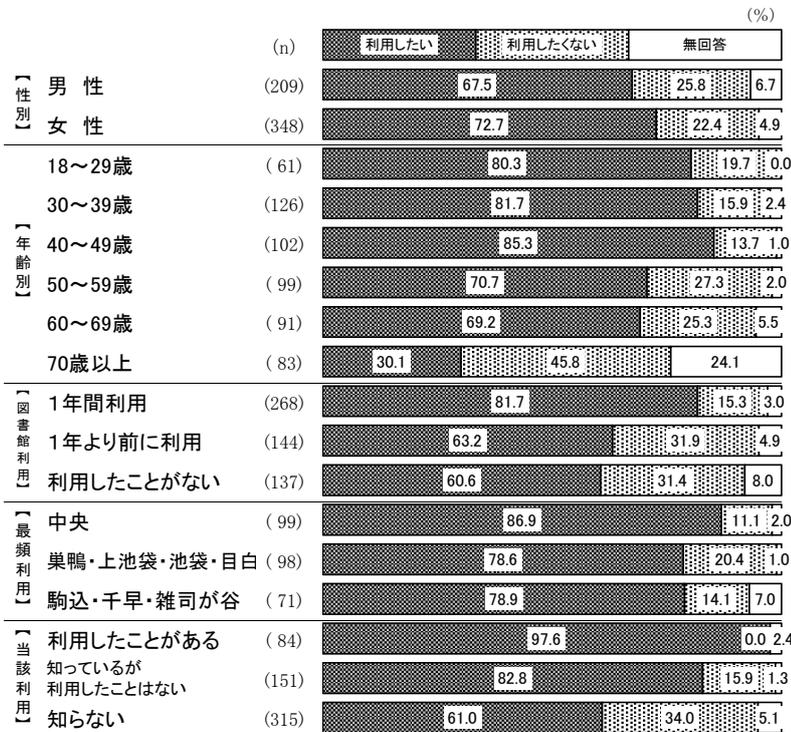


③インターネットや携帯電話から資料の検索・予約

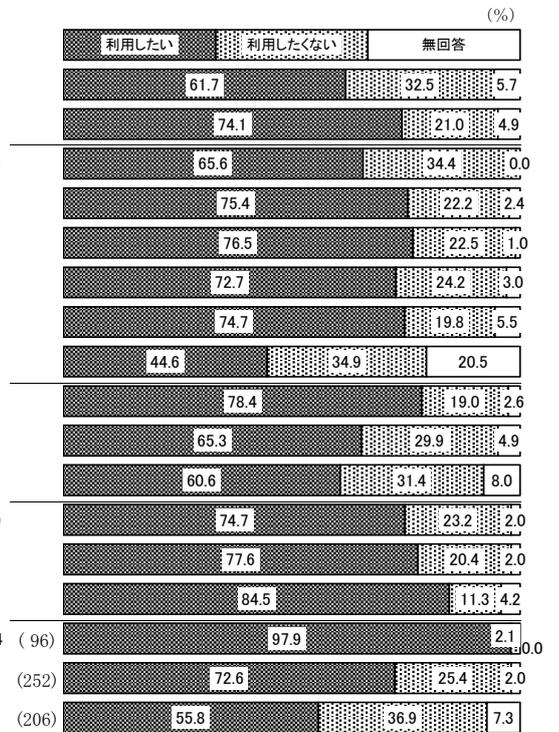


年齢別で見ると、一部のサービスを除き全般的には18～29歳、30～39歳、40～49歳で利用意向の割合が多く、50歳以降は年代が上がるにつれて利用意向者の割合が少なくなる傾向となっている。
 ⑫文化・芸術・歴史など専門家の講演会は 50～59歳までは年代が上がるにつれて利用意向者の割合が多くなっている。

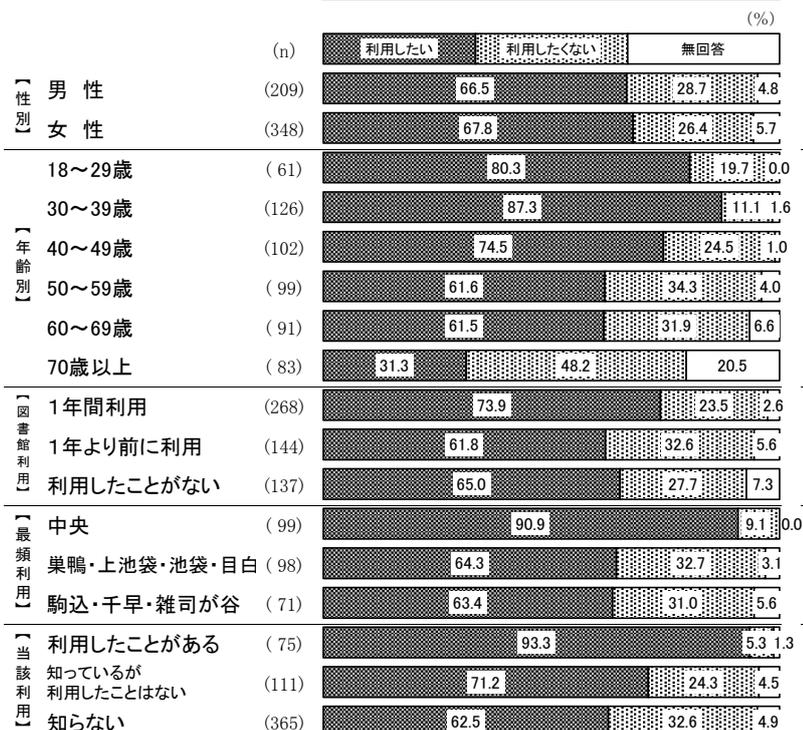
④区外の図書館から本の取り寄せ



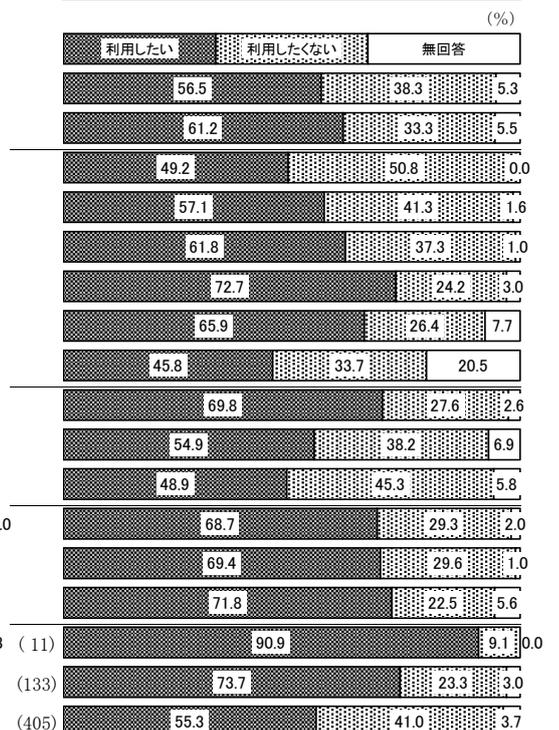
⑨調べものや資料探しの職員への相談(レファレンス)



①中央図書館の平日夜10時までの開館



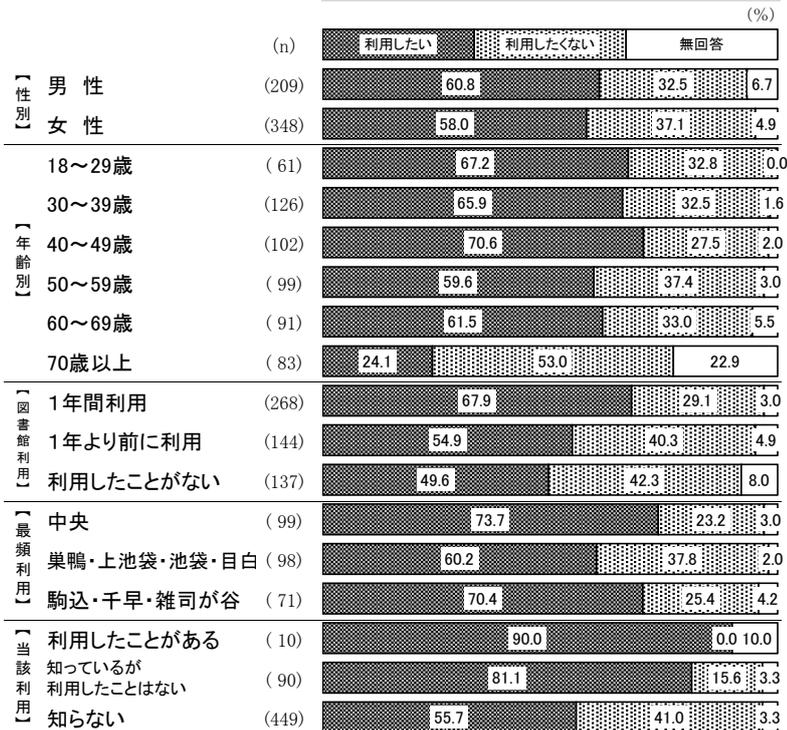
⑫文化・芸術・歴史などの専門家の講演会



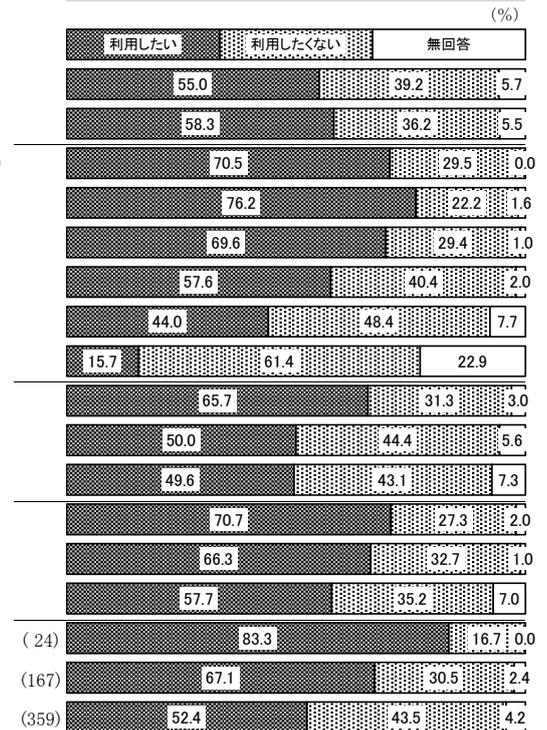
豊島区立図書館の利用経験別でみると、過去1年間利用者は1年より前の利用者や利用したことのない人より各サービス全般的に利用意向者の割合が多くなっている。

当該サービスの利用経験別では、ほとんどのサービスで、当該サービスを利用したことがある人の利用意向の割合は8割～9割であり、今後も継続して利用したいとする回答が大半となっている。また、当該サービスを知っているが利用したことはない人の利用意向の割合は大半が6～8割、当該サービスを知らない人の利用意向の割合は大半が5～7割となっている。なお、⑩乳幼児・児童向けのおはなし会、⑪区に関連するゼミナール、⑭中央図書館の「ビジネスなんでも相談」、⑬視覚障害者向けの点字図書館などは特定の利用者向けの内容であることから、利用意向の割合は利用者を特定しない他のサービスに比べて低くなっている。

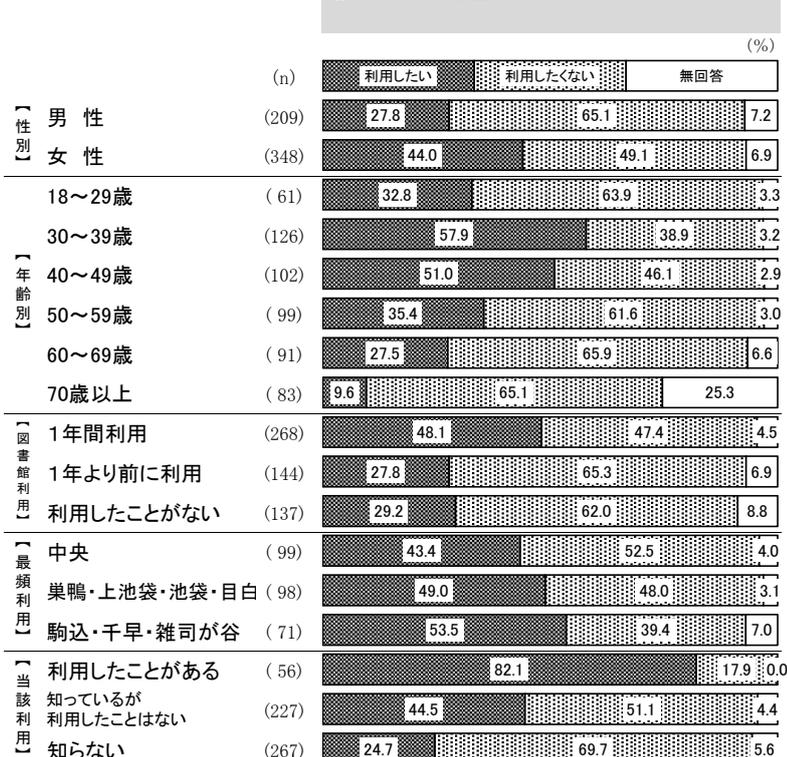
⑤区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧



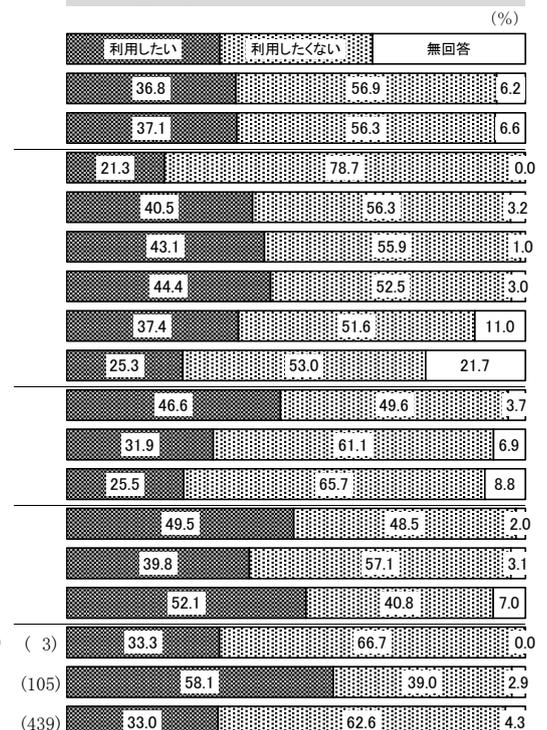
⑧中央図書館の電子資料閲覧席・パソコン持込み席



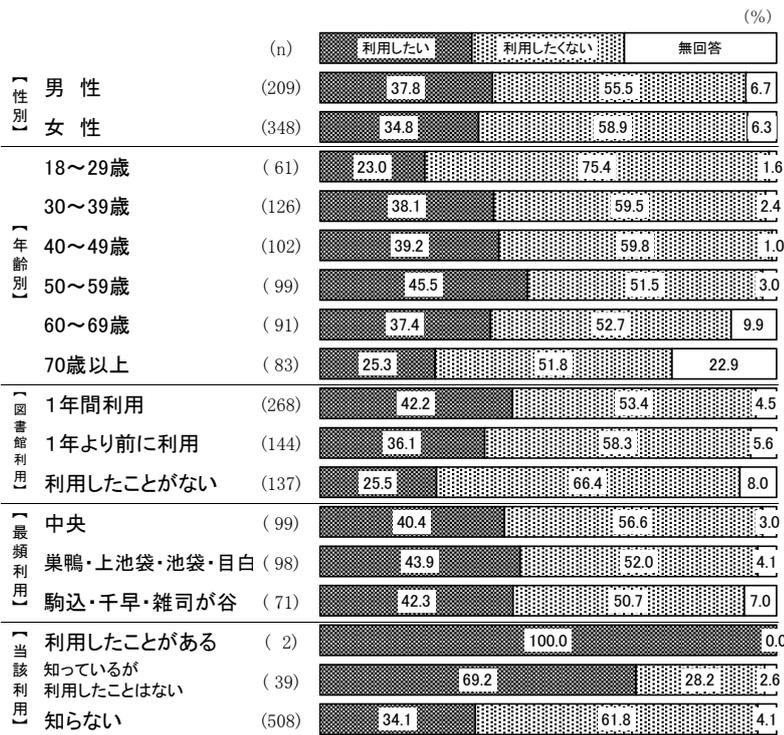
⑩乳幼児・児童向けのおはなし会



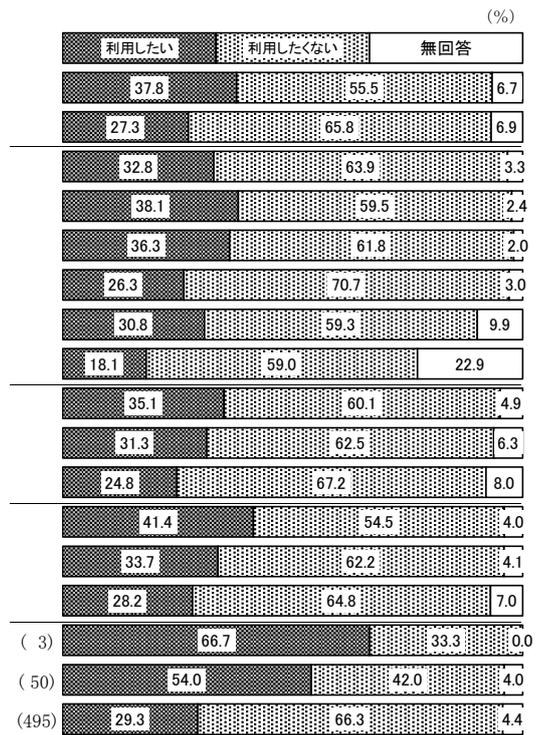
⑪区に関連するテーマを学習するゼミナール



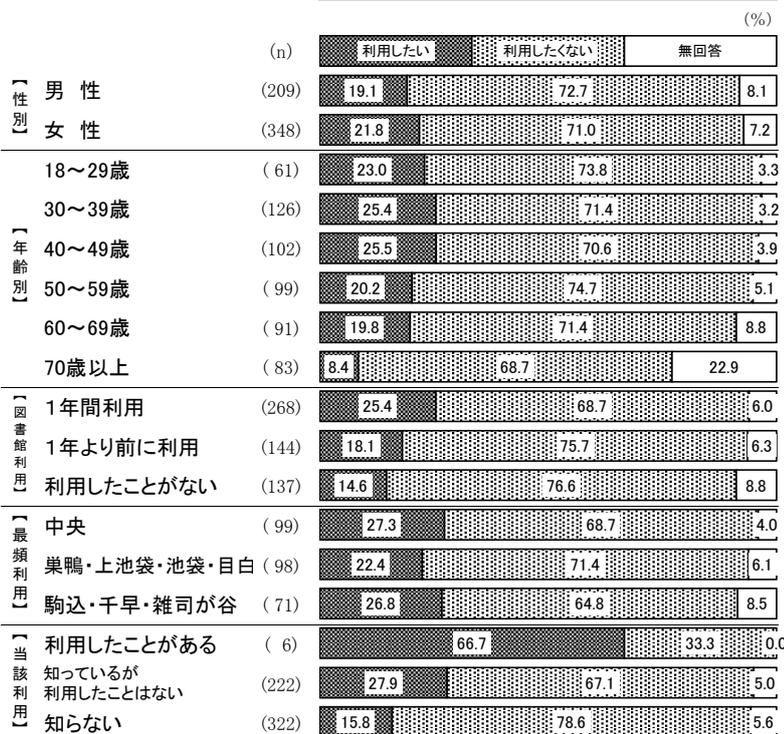
⑮メールマガジン
「豊島区図書館ニュース」



⑭中央図書館の「ビジネスなんでも相談」



⑬視覚障害者向けの点字図書館



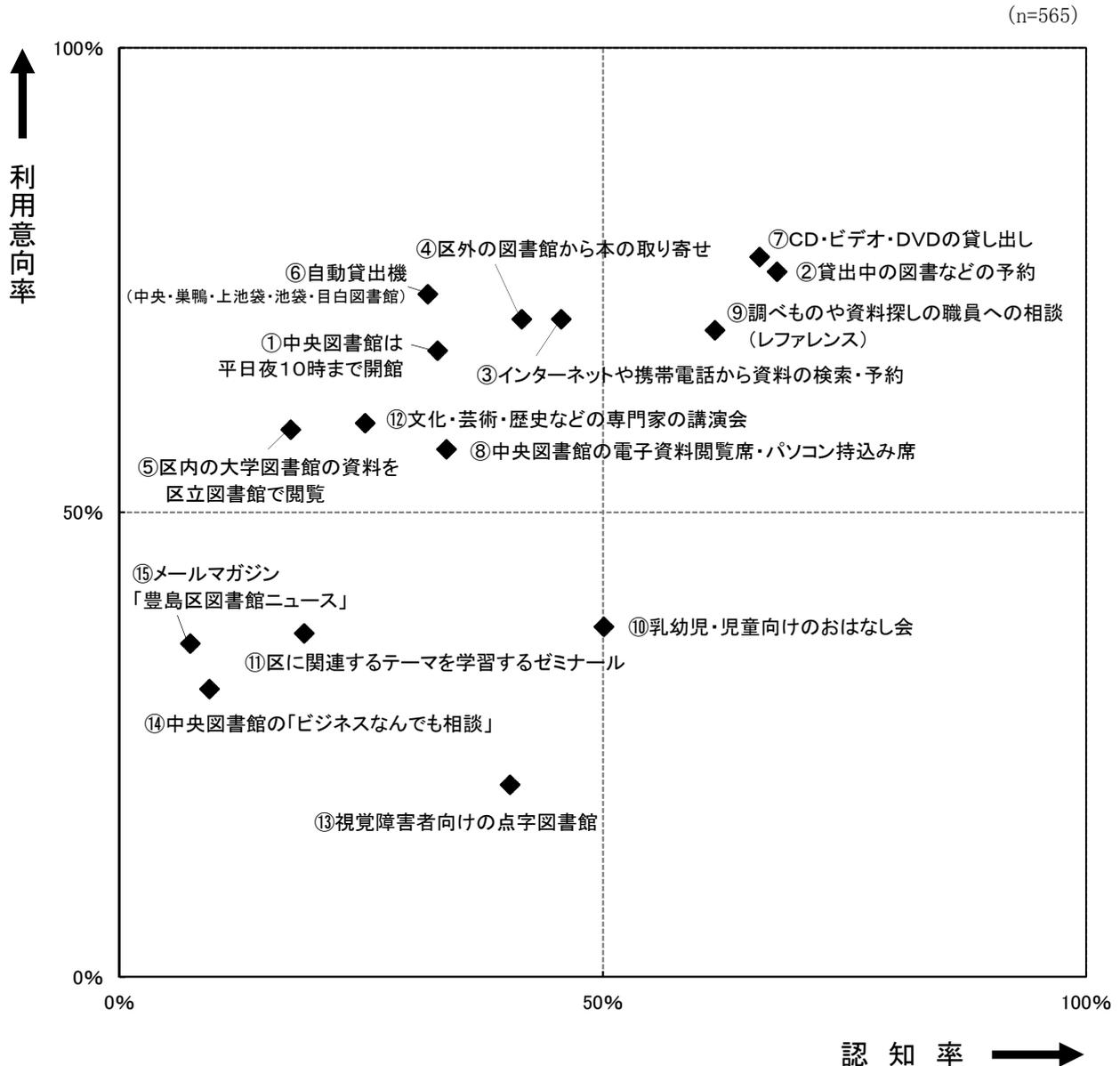
(10) 豊島区立図書館のサービスの認知率と利用意向率

[区民:問9・問10]

豊島区立図書館のサービスについて、認知率を横軸に、利用意向率を縦軸に分布すると以下の通りである。

認知率、利用意向率ともに比較的高いのは、②貸出中の図書などの予約、⑦CD・ビデオ・DVDの貸し出し、⑨調べものや資料探しの職員への相談（レファレンス）などとなっている。

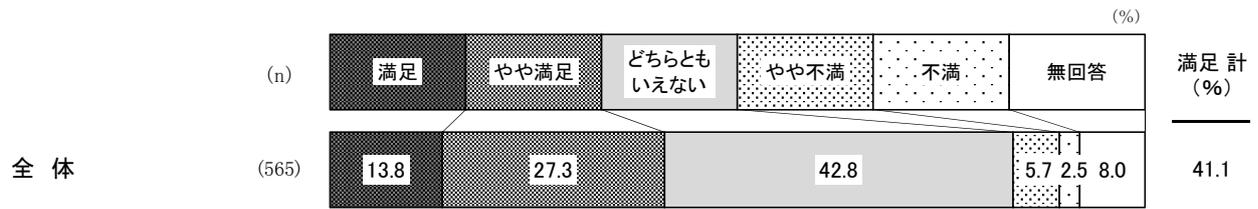
認知率は比較的低いが、利用意向率が比較的高いのは、⑥自動貸出機、①中央図書館は平日夜10時まで開館、④区外の図書館からの本の取り寄せ、③インターネットや携帯電話から資料の検索・予約などであり、これらのサービスについては認知率をより高めることで利用者がより増えることが示唆される。



(11) 豊島区立図書館の満足度

【区民:問11】

豊島区立図書館の満足度についてたずねたところ、全体で「満足」(13.8%)、「やや満足」(27.3%)と「満足」計(41.1%)は4割となっている。

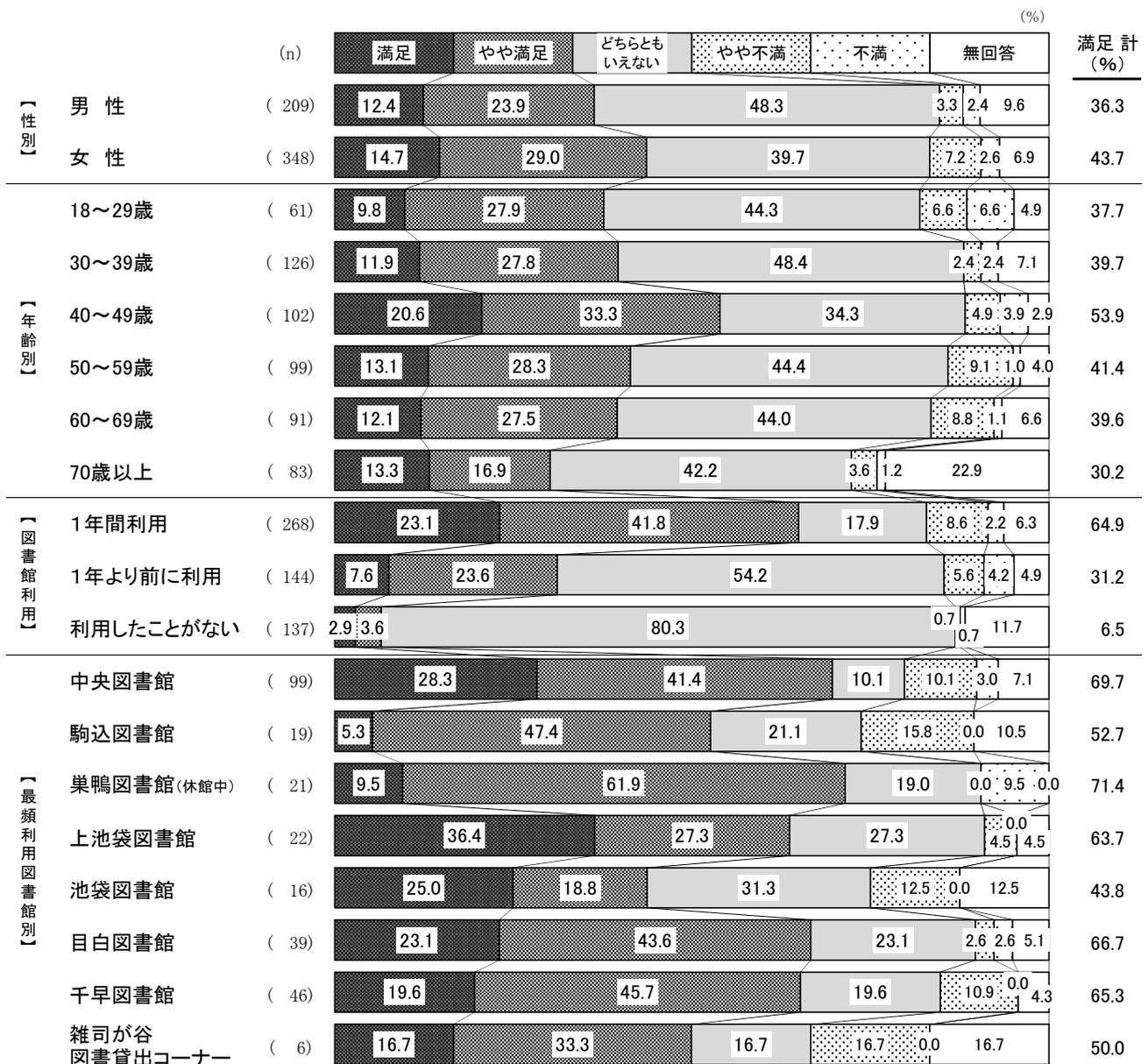


《 豊島区立図書館の満足度—性別／年齢別／図書館利用状況別 》

豊島区立図書館の満足度について性別でみると、「満足」計の割合は男性(36.3%)より女性(43.7%)で多くなっている。

年齢別でみると、「満足」計の割合は40～49歳(53.9%)が半数を越えて他の年代より多く、50～59歳(41.4%)が次いで多くなっている。

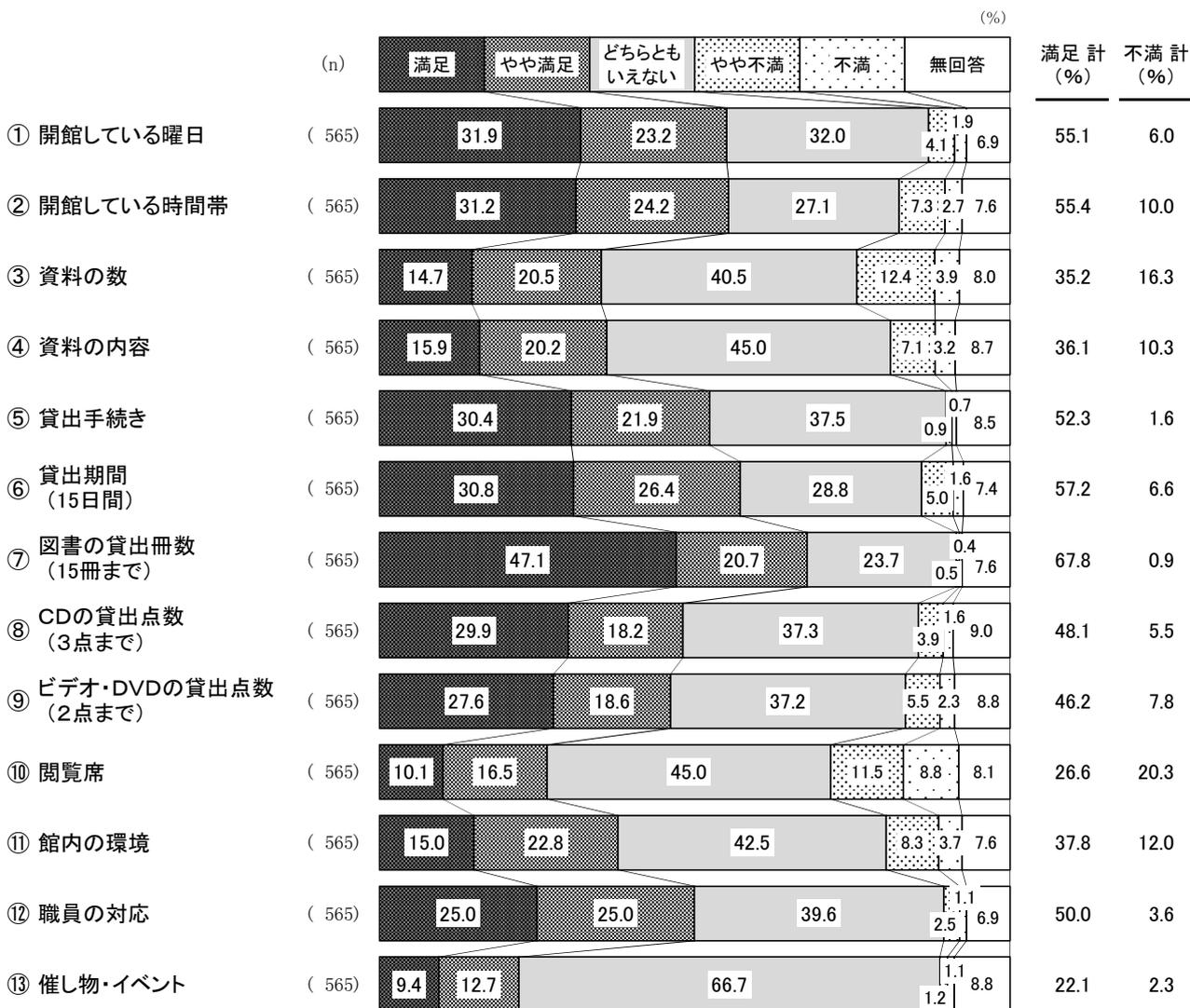
豊島区立図書館の利用状況別では、過去1年間利用者の「満足」計の割合(64.9%)は6割半ば、1年より前に利用者(31.2%)は3割となっている。



(12) 豊島区立図書館のサービス等満足度

[区民:問12]

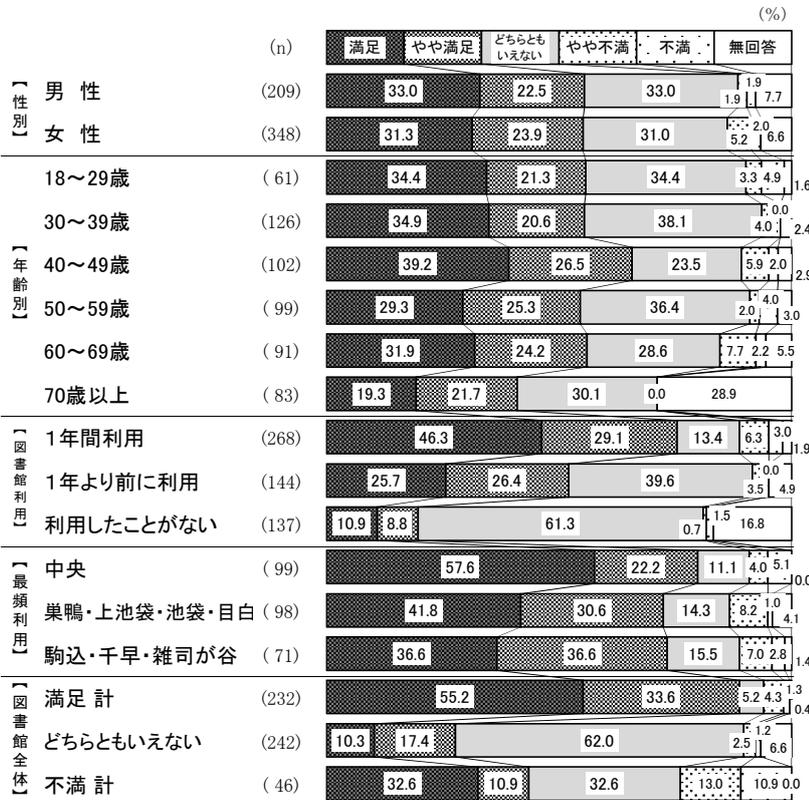
豊島区立図書館のサービス等の満足度についてたずねたところ、全体で「満足」計（「満足」＋「やや満足」）の割合が多い多い順に⑦図書の貸出冊数（15冊まで）（67.8%）、⑥貸出期間（15日間）（57.2%）、②開館している時間帯（55.4%）、①開館している曜日（55.1%）、⑤貸出手続き（52.3%）、⑫職員の対応（50.0%）となっており、これらの項目の満足度は5割を超えている。他方、「不満」計（「やや不満」＋「不満」）の割合については、多い順に⑩閲覧席（20.3%）、③資料の数（16.3%）、⑪館内の環境（12.0%）となっている。



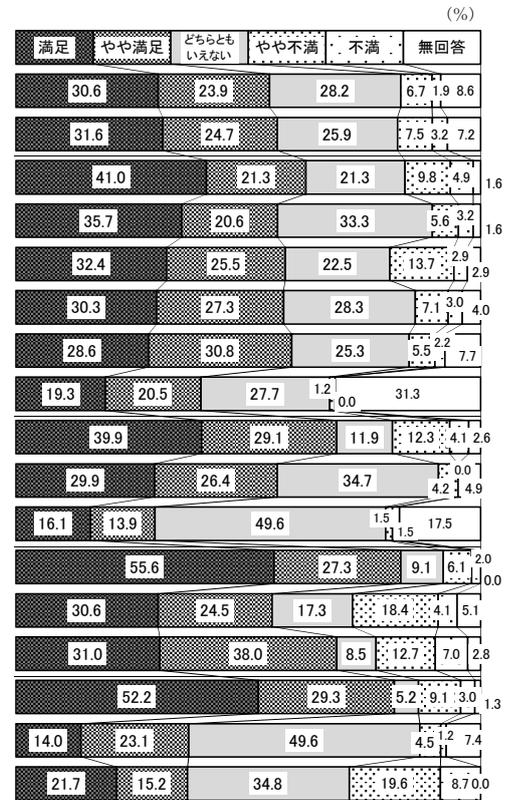
《 豊島区立図書館のサービス等満足度－性別／年齢別／図書館利用状況別／図書館満足度別 》

豊島区立図書館のサービス等の満足度について性別でみると、⑤貸出手続き、⑥貸出期間、⑦図書の貸出冊数、⑧CDの貸出点数、⑨ビデオ・DVDの貸出点数などの貸出関連、⑬催し・イベントについては、男性より女性の満足の割合が多い傾向となっており、他の項目は性別による大きな差はみられない。

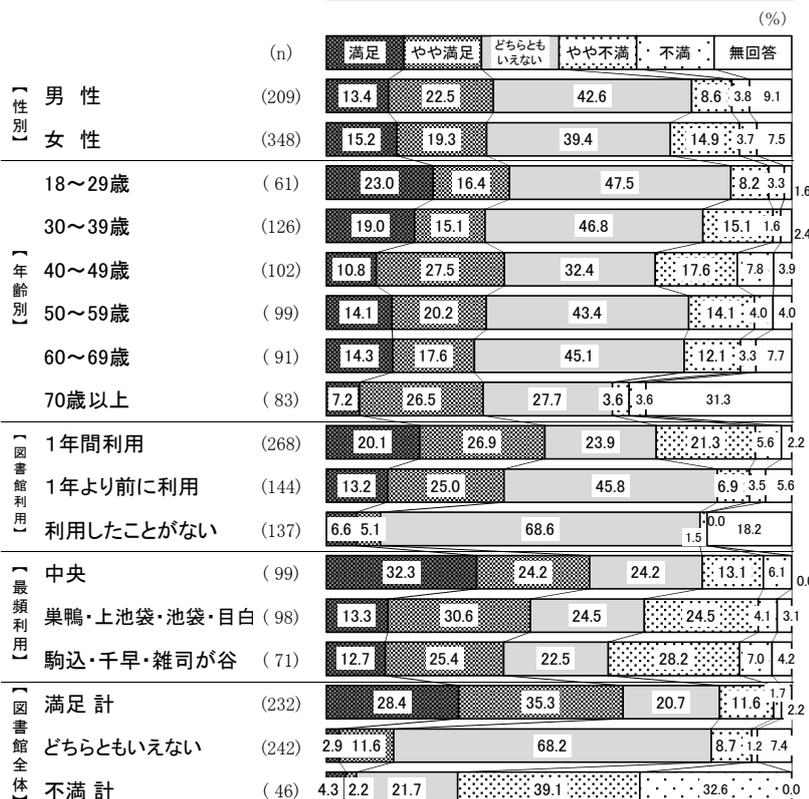
①開館している曜日



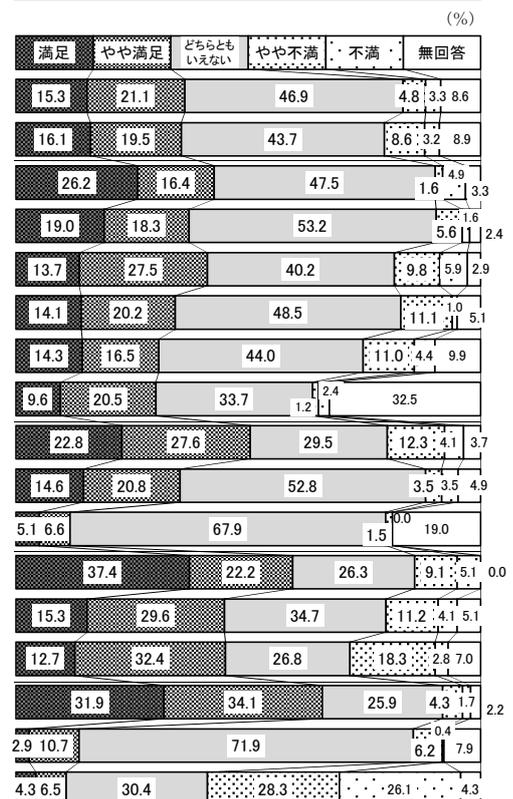
②開館している時間帯



③資料の数

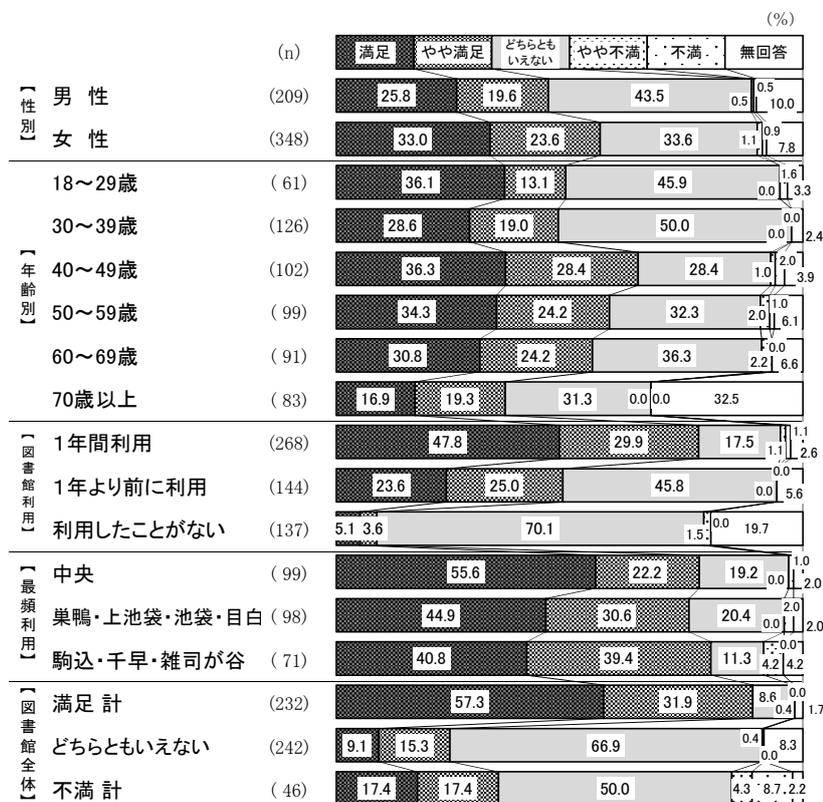


④資料の内容

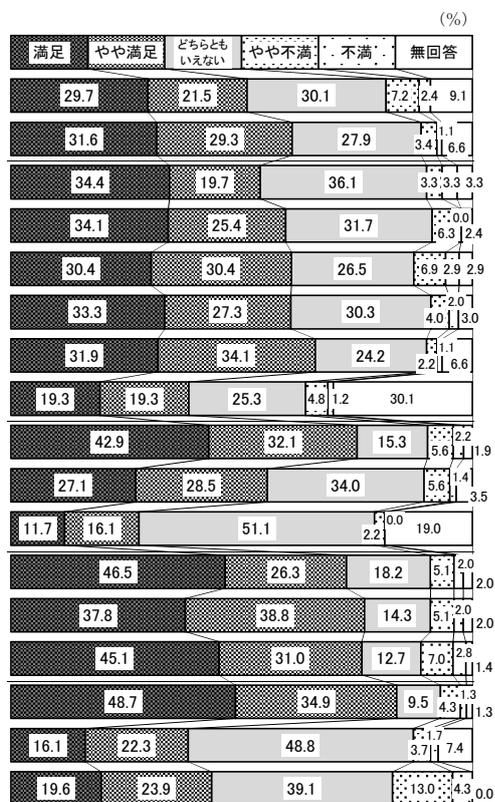


年齢別で見ると、多少ばらつきはあるが、①開館している曜日、⑤貸出手続き～⑨ビデオ・DVDの貸出点数などの貸出関連、⑫職員の対応などは40～49歳までは年代が上がるにつれ満足の割合が多くなり、50歳以降は年代が下がるにつれ満足の割合が少なくなっている。また、②開館している時間帯、③資料の数、④資料の内容などは年齢が低いほど満足の割合が多い傾向となっている。

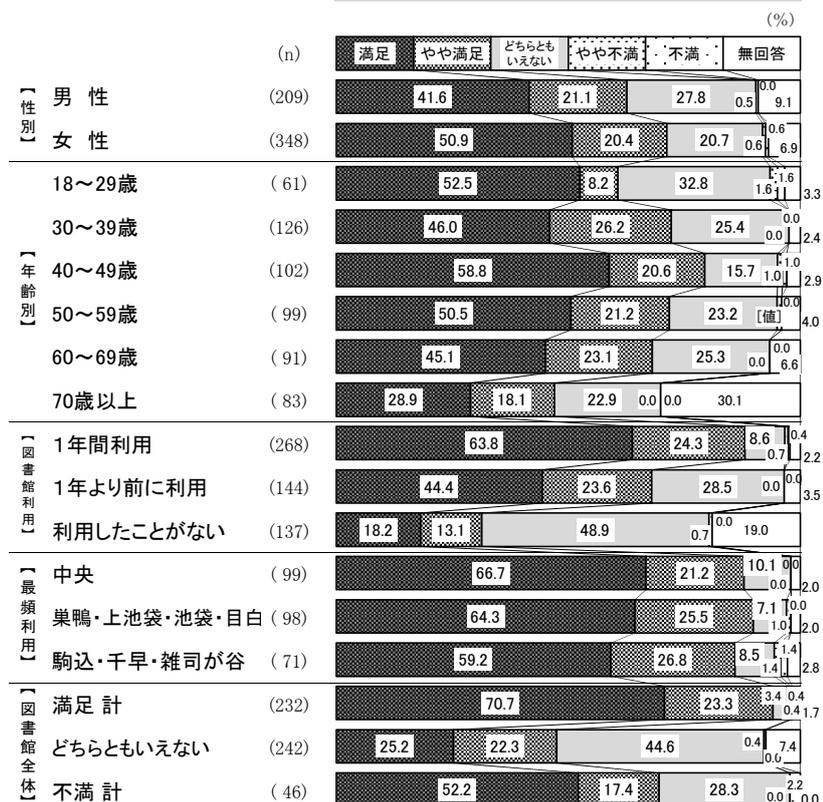
⑤貸出手続き



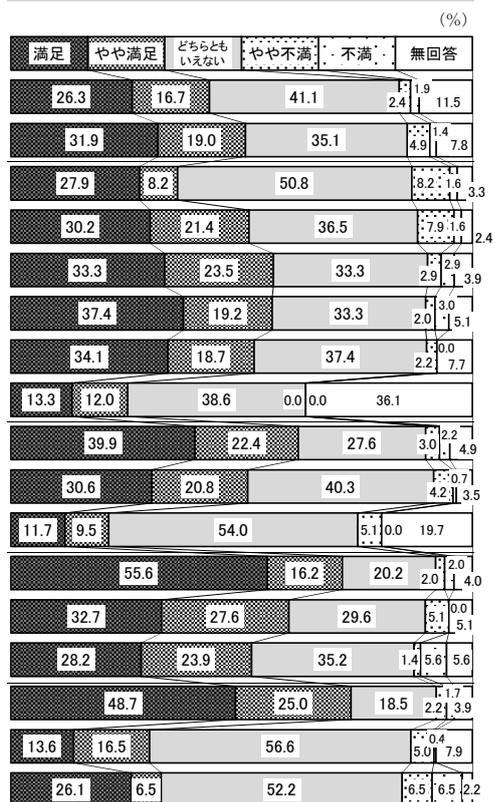
⑥貸出期間 (15日間)



⑦図書の貸出冊数 (15冊まで)



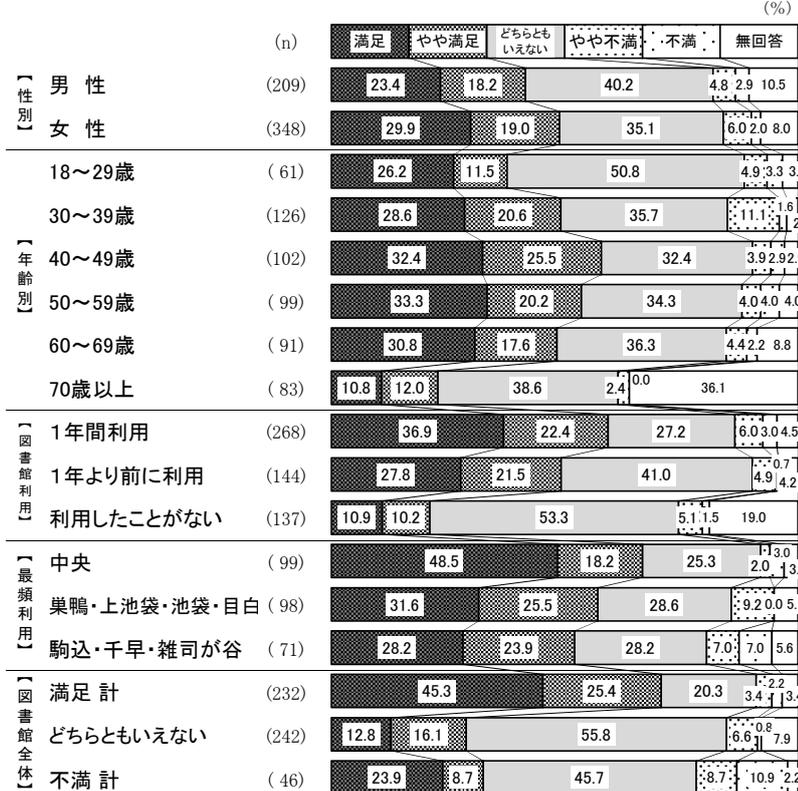
⑧CDの貸出点数 (3点まで)



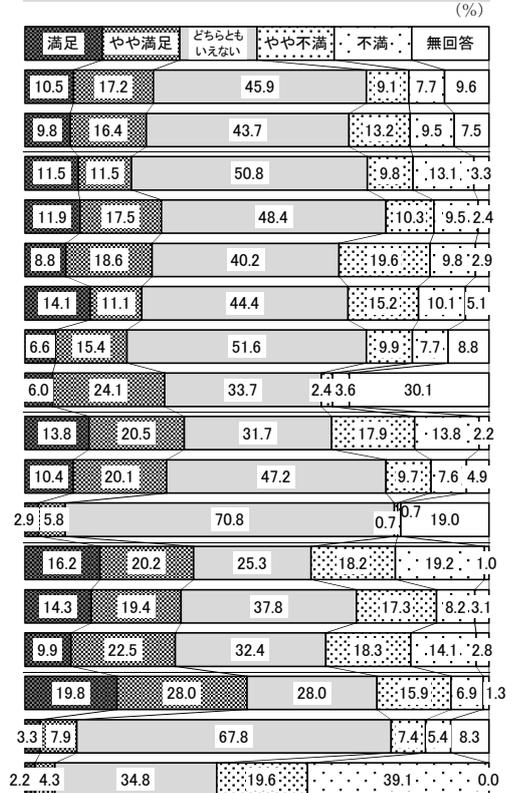
豊島区立図書館の利用状況別でみると、全ての項目で過去1年間利用者は1年より前の利用者より満足割合が多く、1年より前の利用者は利用したことがない人より満足割合が多くなっている。過去1年間利用者において「満足」計（「満足」＋「やや満足」）が半数を下回っている項目は、③資料の数（47.0%）、⑩閲覧席（34.3%）となっている（⑬催し物・イベントは「どちらともいえない」の割合が多いため除く）。

最も頻繁に利用する図書館別でみると、中央図書館は他の図書館と比較して、「満足」計の割合が比較的多い傾向となっている。

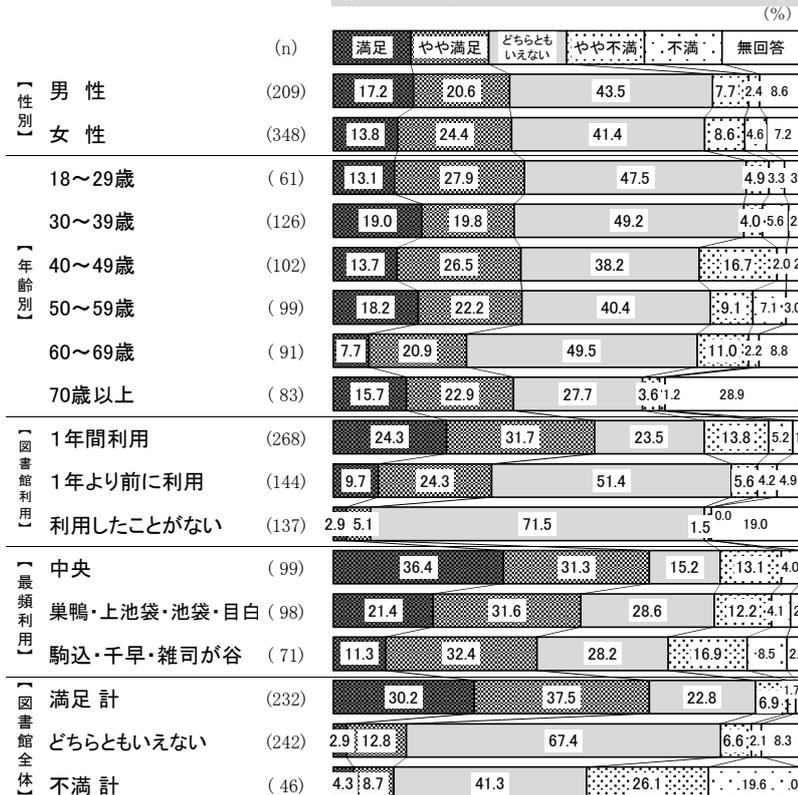
⑨ビデオ・DVDの貸出点数（2点まで）



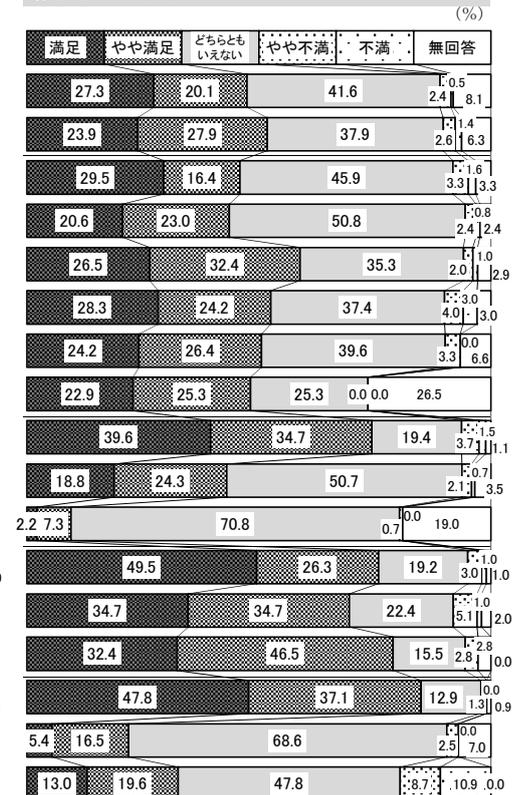
⑩閲覧席



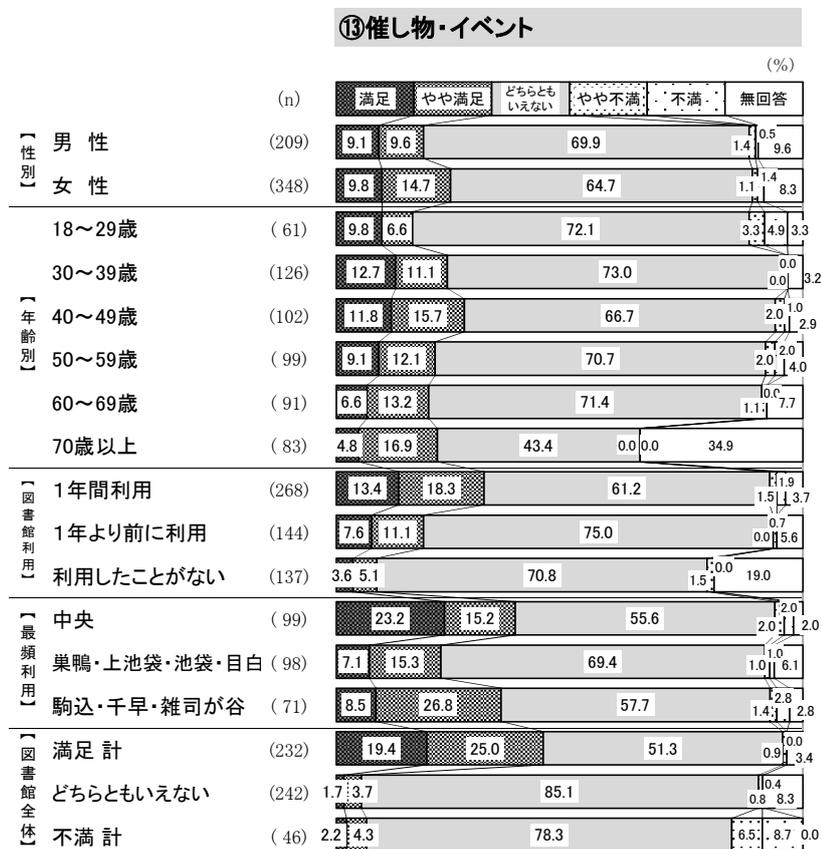
⑪館内の環境



⑫職員の対応



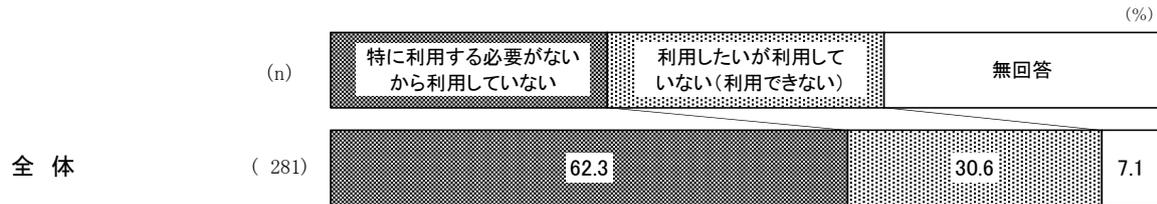
豊島区立図書館の全体の満足度別では、図書館全体として満足している人は、ほとんどの項目で「満足」計（「満足」＋「やや満足」）が半数を越えているが、⑩閲覧席については「満足」計が半数を下回っている。他方、図書館全体として不満を感じている人は、③資料の数、④資料の内容、⑩閲覧席について「不満」計（「不満」＋「やや不満」）が半数を越えており、他の項目と比較して割合が多くなっている。



(13) 豊島区立図書館を利用していない状況

【区民：問20】

豊島区立図書館を過去1年間に利用していない人に、利用していない状況についてたずねたところ、全体で「特に利用する必要がないから利用していない」(62.3%)が6割を超えており、「利用したいが利用していない(利用できない)」(30.6%)が3割となっている。



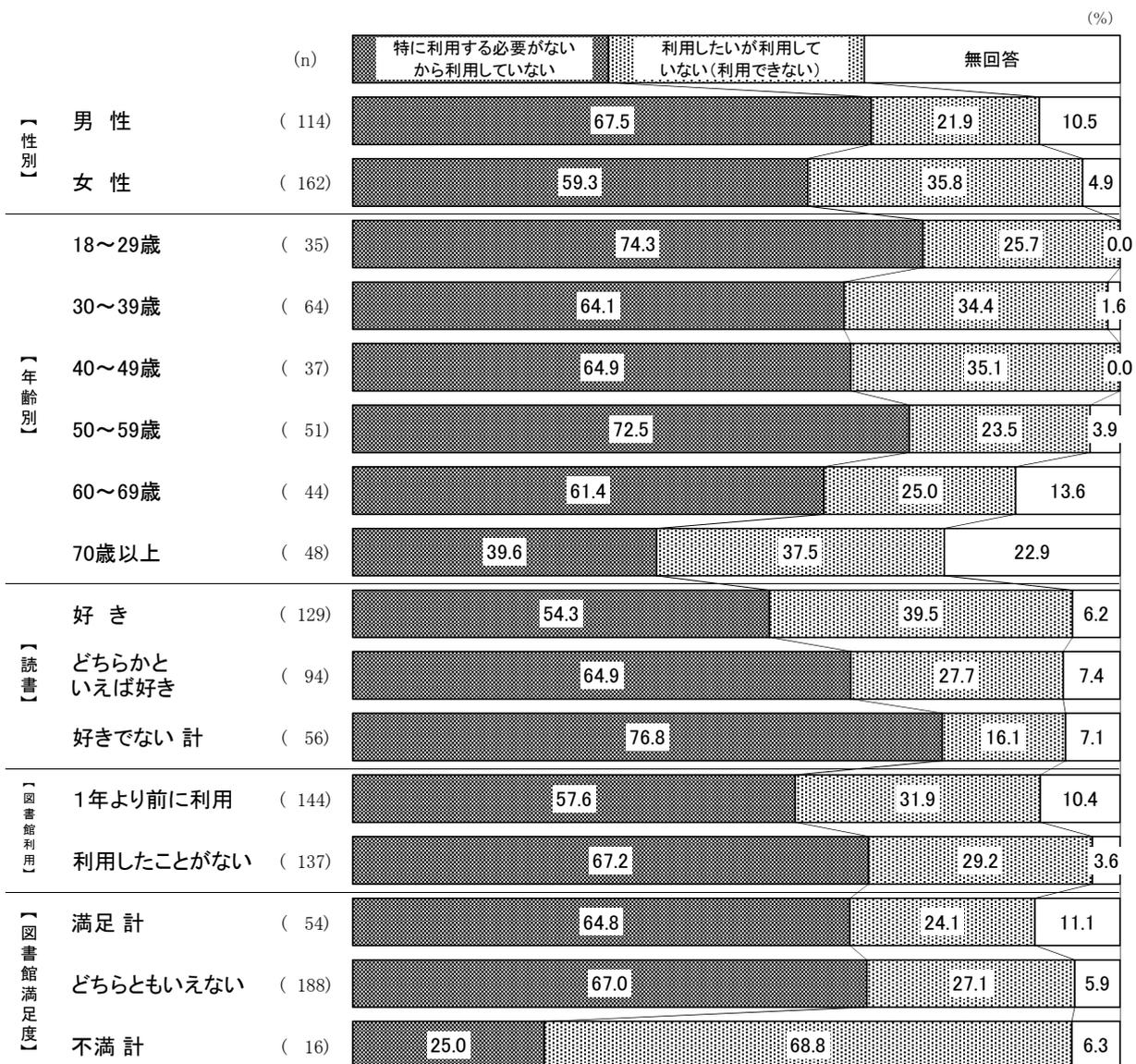
《 豊島区立図書館を利用していない状況

－性別／年齢別／読書が好きかどうか／図書館利用状況別／図書館満足度別－》

豊島区立図書館を利用しない状況について性別でみると、「利用したいが利用していない(利用できない)」は男性(21.9%)より女性(35.8%)で多くなっている。

年齢別では、「利用したいが利用していない(利用できない)」は30～39歳(34.4%)、40～49歳(35.1%)、70歳以上(37.5%)が3割台と他の年代に比べて多くなっている。

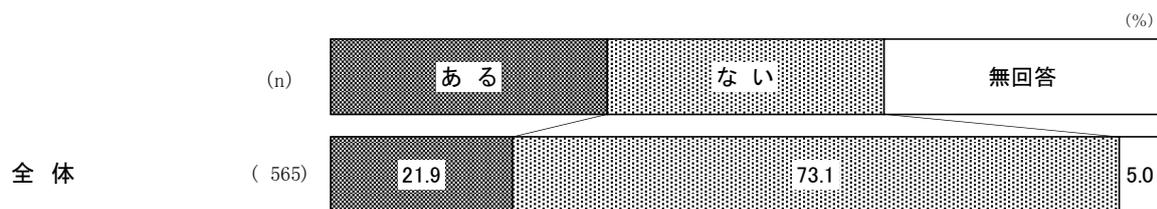
読書が好きかどうかでみると、読書が好きの人ほど「利用したいが利用していない(利用できない)」が多くなっている。



(14) 豊島区立以外に利用している図書館の有無

[区民:問22]

豊島区以外に利用している図書館の有無についてたずねたところ、全体で「ある」(21.9%)が2割となっている。



《 豊島区立以外に利用している図書館の有無

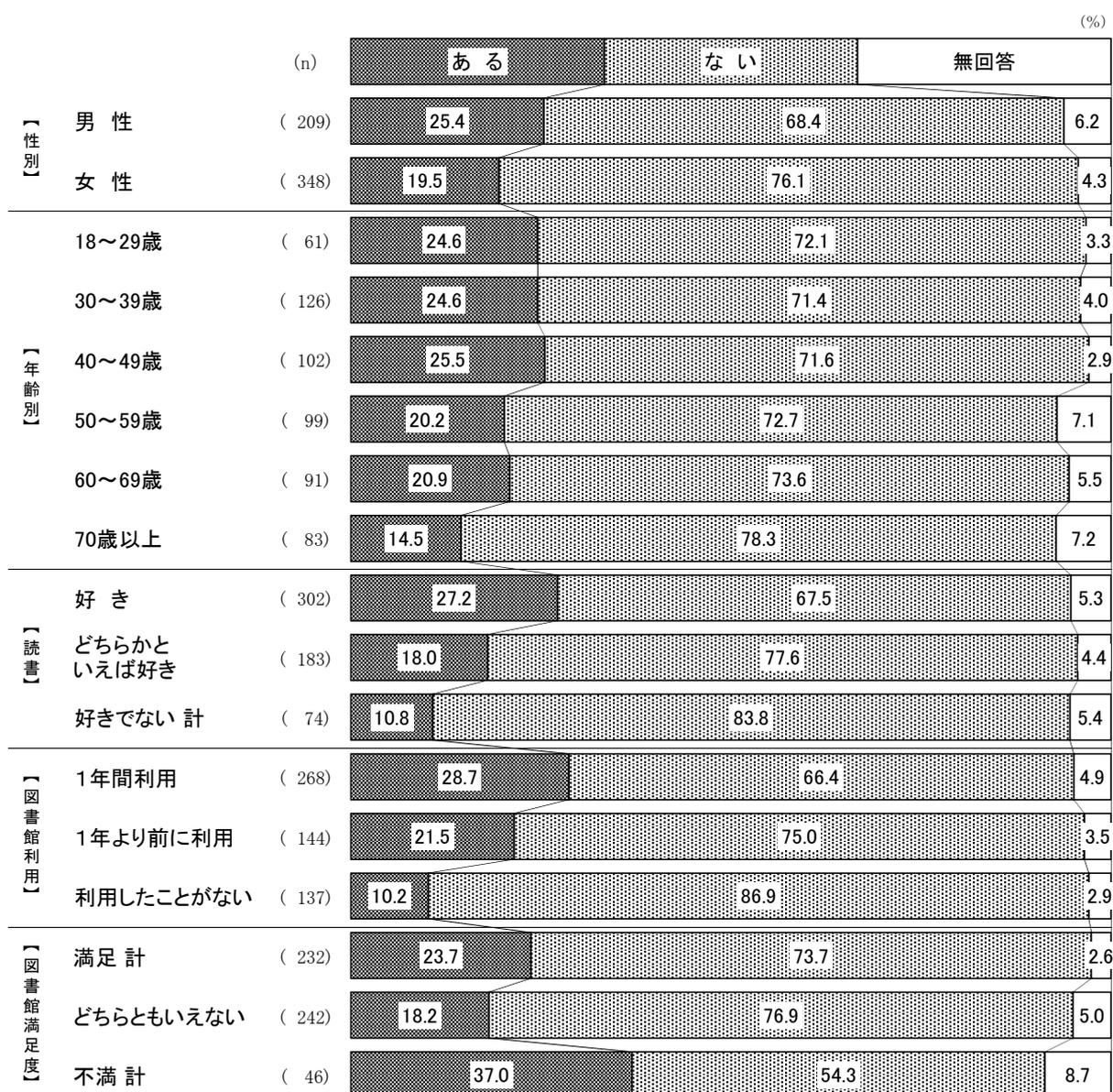
—性別／年齢別／読書が好きかどうか／図書館利用状況別／図書館満足度別—

豊島区以外に利用している図書館の有無について性別でみると、「ある」は女性(19.5%)より男性(25.4%)の方が多くなっている。

年齢別でみると、18～29歳、30～39歳、40～49歳は50歳以降と比べて「ある」の割合が多くなっている。

読書が好きかどうかでみると、読書が好きな人ほど「ある」の割合が多くなっている。

豊島区立図書館の満足度別でみると、不満と感じている人は「ある」(37.0%)と3割台半ばほどになっており、満足している人(23.7%)、どちらともいえないと感じる人(18.2%)より多くなっている。



(15) 豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス

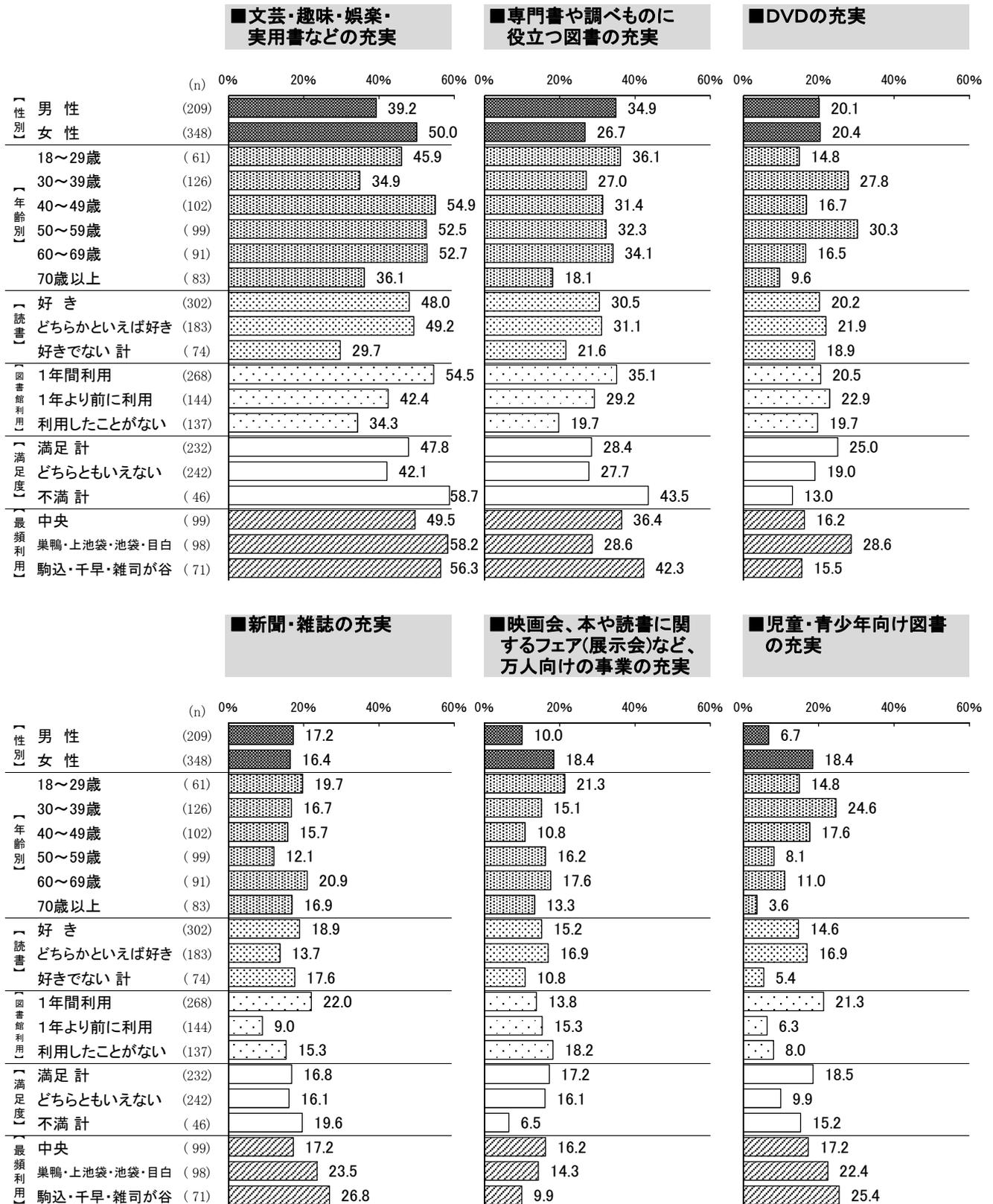
〔区民:問24〕

豊島区立図書館に取り組んでほしいサービスについて1位～3位までたずねたところ、1位は全体で「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」(31.3%)が最も多く、「専門書や調べものに役立つ図書の充実」(11.3%)、「児童・青少年向け図書の充実」(5.7%)の順となっている。1位から3位までの計では、「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」(45.7%)、「専門書や調べものに役立つ図書の充実」(29.4%)、「DVDの充実」(20.5%)、「新聞・雑誌の充実」(16.8%)の順となっている。



《 豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス（1～3位計）
 －性別／年齢別／読書が好きかどうか／図書館利用状況別／図書館満足度別 《

豊島区図書館に取り組んでほしいサービスの1～3位計について性別でみると、男性は女性に比べて「専門書や調べものに役立つ図書の充実」、「CDの充実」などの回答が多くなっており、女性は男性に比べて「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」、「映画会、本や読書に関するフェア（展示会）など、万人向けの事業の充実」、「児童・青少年向け図書の充実」、「読み聞かせやおはなし会など、子ども向けの事業の充実」などの回答が多くなっている。

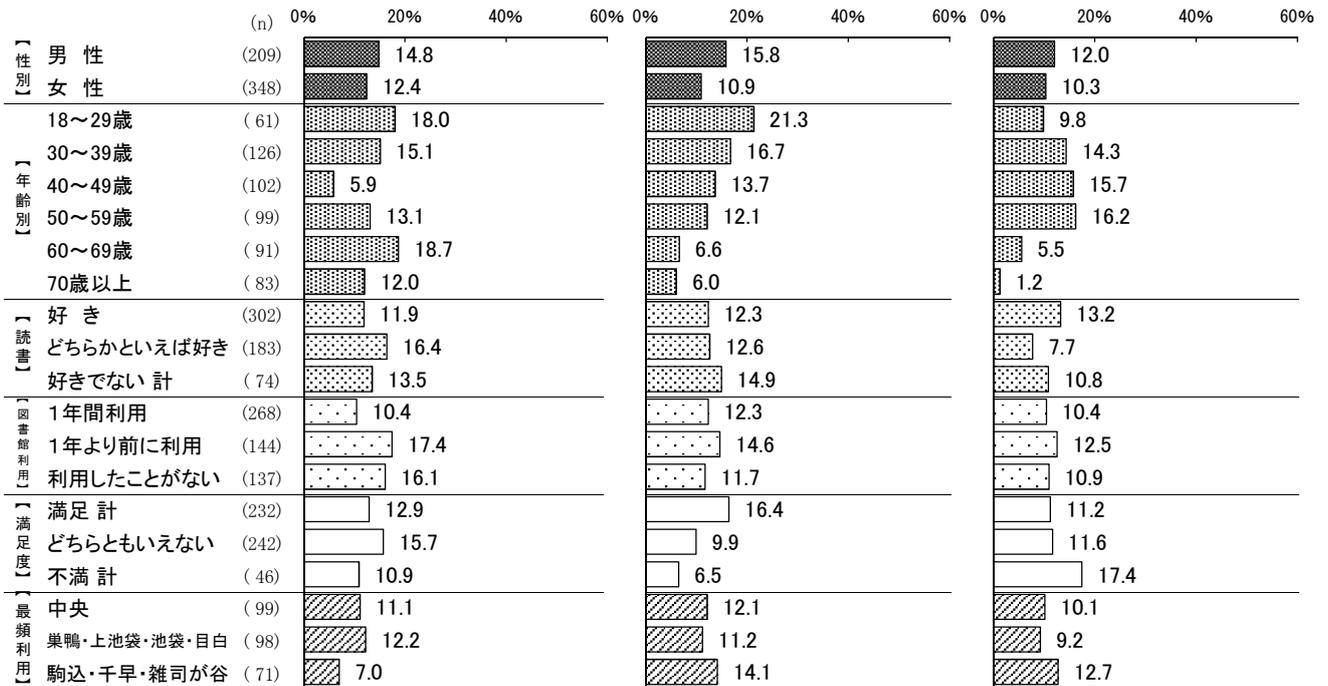


年齢別でみると、「児童・青少年向け図書の充実」、「読み聞かせやおはなし会など、子ども向けの事業の充実」などは30～39歳を中心に18～29歳、40～49歳の子育て世代で回答が多くなっている。「オンラインデータベースの充実」は18～29歳、30～39歳、40～49歳で他の年代に比べて回答が多くなっている。「CDの充実」は年代が低いほど回答が多く、「調べものや資料探しの職員相談（レファレンス）」は年代が高いほど回答が多くなっている。

■就労、ビジネス、子育て、医療、法律などの課題を解決する上で必要な情報提供

■CDの充実

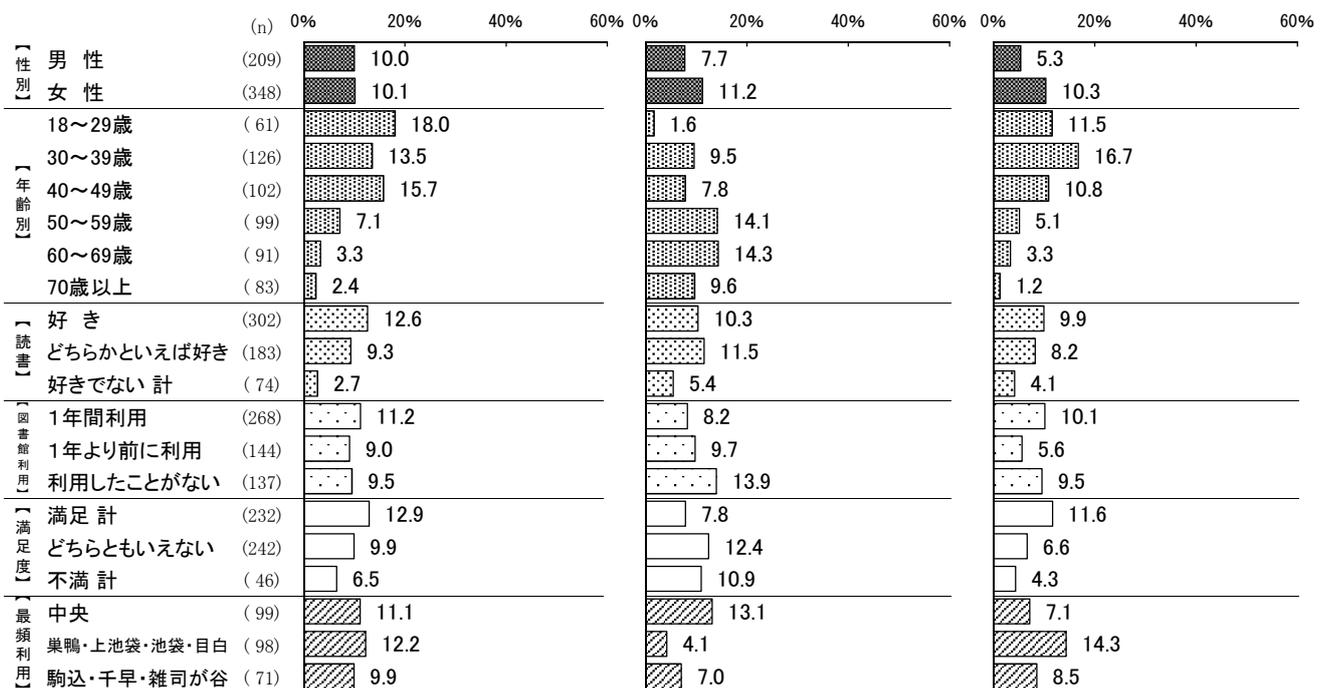
■電子書籍の導入



■オンラインデータベースの充実

■講演会や朗読会など、大人向けの事業の充実

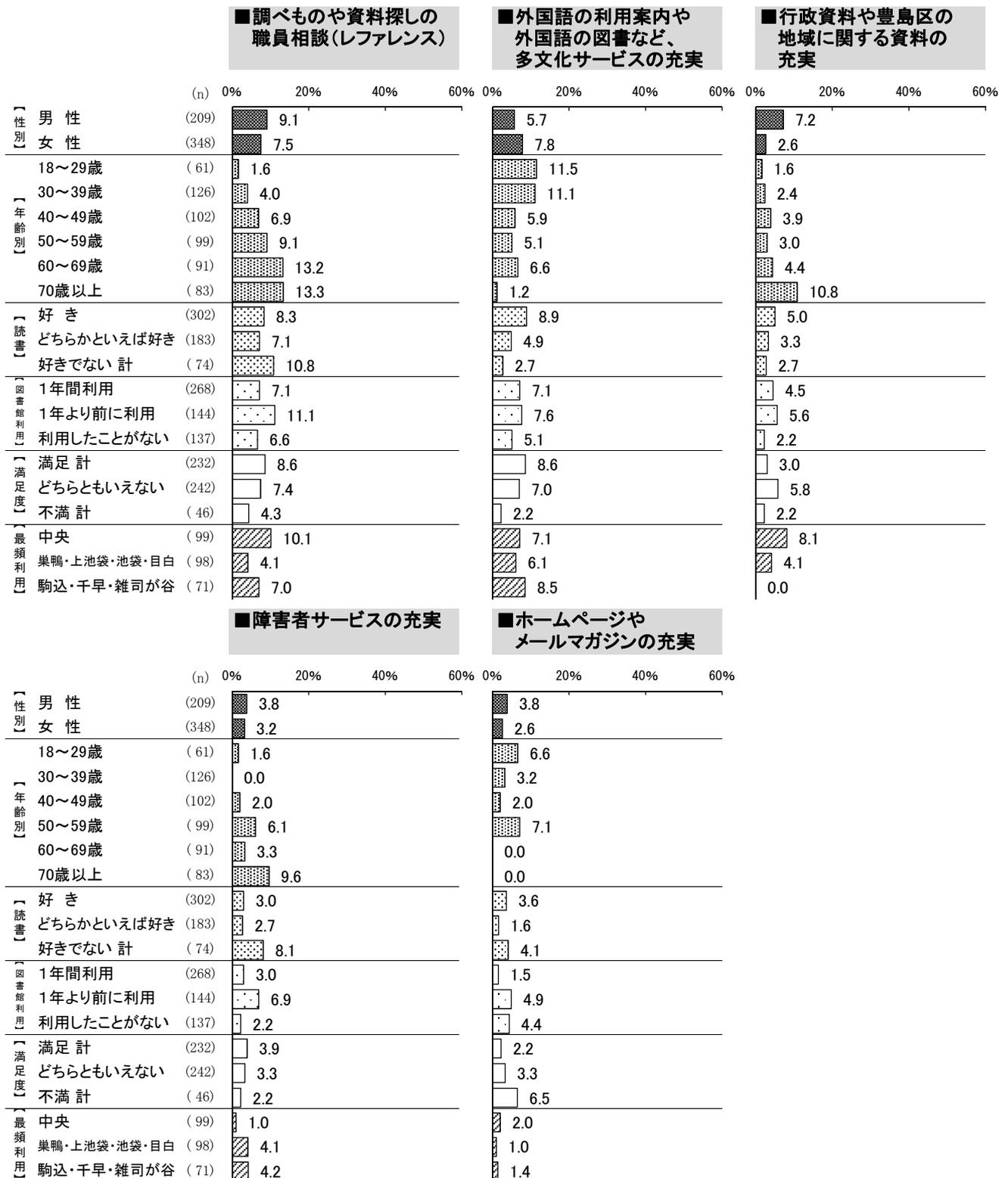
■読み聞かせやおはなし会など、子ども向けの事業の充実



読書が好きかどうかでみると、読書が好きな人は「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」、「専門書や調べものに役立つ図書の充実」、「児童・青少年向け図書の充実」などの書籍や図書類の充実に関する回答が多くなっている。他方、読書が好きでない人は、相対的に図書類以外の「DVDの充実」、「新聞・雑誌の充実」、「CDの充実」などの回答が多く、あるいは「電子書籍の導入」、「調べものや資料探しの職員相談（レファレンス）」などの回答が多くなっている。

図書館の利用状況別でみると、利用したことのない人は「映画会、本や読書に関するフェアなど」、「講演会や朗読会」などの回答が利用者より多くなっている。

豊島区立図書館の満足度別でみると、不満と感じている人は満足している人より「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」、「専門書や調べものに役立つ図書の充実」、「新聞・雑誌の充実」、「児童・青少年向け図書の充実」などの書籍や図書類の充実に関する回答が多くなっている。



自由記述（一般区民の部）

（１）豊島区立図書館「利用したいが利用していない（できない）」理由

〔区民：問21〕

性別	年齢	「利用したいが利用していない」理由
女性	80歳以上	2年位前から強い腰痛になり、長い時間同じ姿勢ができなくなり今は治療に専念しています。今は書店から雑誌を求め、調子のよいときに楽しんでおります。図書館へ行きたい気持ちはおおいにあります。その節は宜しくお願い致します。
男性	30～39歳	4月に転居してきて、家の近所に図書館があるとわかり喜んでいたところ、現在閉館中とのことでがっかりしている。
女性	30～39歳	4月に引越ししてきて巣鴨図書館に行こうとしたが、工事中と知ったので。
女性	80歳以上	80歳を過ぎて目がよく見えなくなって疲れているので…。孫は小学生ですが、土日は必ず図書館に行き10冊くらい借りています。休館日が続くともとても悲しんでいます。今後とも宜しくお願い致します。
男性	50～59歳	アクセスがよくない（主要駅池袋等が近いとよい）。たとえ延滞するとペナルティとして延滞日数借りられなくなり、返却しても再度行かなければ借りられない。文京区（職場）はそういうことがないので頻繁に利用している。悪質なら仕方ないが、たまたま返せないこともある。
女性	40～49歳	足が不自由になった。
女性	30～39歳	あまり習慣がない。場所がわからない。機会があれば行ってみたい。
女性	50～59歳	家から遠い。
女性	80歳以上	家に本がたくさんありすぎて、その上に本屋さんが大好きでついつい本を買ってしまいますので増えるばかり。なのに捨てられないという困った性格です。これは両親から受け継いだDNAかも…。そんなわけで年齢も80歳を過ぎて借りに行ったり返しに行ったりが面倒になりました。
女性	40～49歳	家も近くて利用したいのだが、仕事の帰りも遅くてなかなか利用できない。あと、以前の図書館は駅のところに返却ボックスなどがあって返却しやすかった。借りても返却が遅くなるかもと思うとなかなか利用しにくいです。
女性	40～49歳	以前、他区の図書館を利用していたが、落書、破れがひどかった。
女性	30～39歳	以前利用しに行ったとき、閲覧席は満席で騒々しく嫌気がさしたので、別の区の図書館を利用しています。学生や高齢者に占領されており、非常に不愉快です（これは区の施設全般に言えることですが…）。受益者負担の原則から考えますと、豊島区に納税実績のない方の利用は控えて頂くか、利用料を徴収していただきたいです。
女性	30～39歳	忙しくて行く時間がない。
女性	30～39歳	いつ行っても席が空いていないイメージ。忙しくて本を読むゆとりがない。
男性	70～79歳	いまだ一度も利用したことがないので、どのような本、雑誌、どのような施設なのか分からない。
男性	50～59歳	介護に8年間追われていたので利用できなかった。
男性	50～59歳	家族の介護などで時間が取れずに。
男性	80歳以上	からだが不自由なため。
男性	40～49歳	借りたい本がない。専門書はリクエストした本だけ置けばよいと思う。専門書は数が少なすぎるし、多少増加したとしても内容が充実していなければ意味がないので、リクエストがあった本以外は置かないで欲しい。旅行系のガイドブックも古いと意味がないので増やさないで欲しい。リクエスト時だけ増す。コミックは普段読みますが、図書館に置く必要はない。専門書や児童書を増やすべきだ。
女性	40～49歳	借りたい本が入ってないので、他の区立図書館で借りている。
女性	60～69歳	勤務しているの、勤務地に近い文京区の図書館をたまに利用している。
女性	70～79歳	空気が悪い（室内の）。本を探してもまた探すまでに座るところがない。机がいつも占領されている。
女性	50～59歳	県外から越してきてまだ間がないため、あるところも知りませんでした。今回のこのアンケートで知りました。機会があれば利用させて頂きたいと思います。
女性	60～69歳	高齢の親を東京－大阪間を行き来して看ているため、落ち着いて長く使える時間がないので今は利用できない。
女性	60～69歳	古典文学が少ない。
女性	70～79歳	この3年間病気のため行く元気がなかった。
男性	60～69歳	今回の調査で10時まで開館していると知り、読みたい（確認）本があるので利用したいと思います（勤務（タクシー乗務員）で借りに行く時間帯が大幅に広がったので）。
女性	50～59歳	最近忙しいので。以前は1週間ごとに通ったりしていました。
女性	20～29歳	最近東京に越してきたばかりなので、まだどこにあるかもわからないが、子どももこれから大きくなって児童本やレシピ本など借りに行きたいと思っている。
女性	20～29歳	最近引越しをしたばかりなので、今後利用できればと思っています。
女性	70～79歳	酸素チューブをつけているため、外に出られない。高齢のためインターネットもできない。
無回答	無回答	自営で時間が取れなくてあまり利用できなかった。また、どんなサービスがあるかもわからなかったの、今回この調査を通して少し内容がわかったので利用したいと思いました。

性別	年齢	「利用したいが利用していない」理由
女性	20～29歳	時間がない。
男性	70～79歳	時間がないため。
女性	40～49歳	仕事が月曜日休みなのだが、月曜日休みの目白図書館に行きたくて仕方ないのに行けない。
男性	30～39歳	仕事がなかなか忙しいため。
女性	30～39歳	仕事等で時間が取れない。場所が遠い。
男性	50～59歳	自宅の近くに図書館がない。休館日がある。蔵書が少ない。
女性	30～39歳	自分の選択肢になかった。自宅より少し遠く行きづらい。
女性	30～39歳	自分の都合。電子書籍の購入が多くて読み終わらず、図書館にだとりつけない。
女性	60～69歳	所在地不明のため。
男性	70～79歳	書店で購入した本を読むので。
無回答	70～79歳	心不全で健康第一になり図書館には行かなくなった。もう一つの原因は目の病気（網膜色素変性症）のため、図書、書類が苦手になった。
女性	20～29歳	少し遠いので、積極的に行こうと思っても、中々仕事の都合等で行けない。
男性	60～69歳	生活環境が変化し行くことができなかった。
女性	50～59歳	ダニが多くて刺されるので、行かないほうがよいと言われて。
男性	50～59歳	多忙。
女性	70～79歳	多忙のため遠いところまで行けない。近くにあれば別。
女性	30～39歳	近くの図書館は蔵書が少ない。少し距離がある。
男性	20～29歳	千歳図書館（雑司が谷図書館）がなくなったため。どのような図書館やその他のサービスシステムが分らない。
男性	70～79歳	電子辞書が使用禁止のため（音を出さなくてもダメでした）。
女性	30～39歳	遠い。わざわざ行かないといけない。10時まで開いているのを知らなかった。
男性	60～69歳	どこにあるか不明。いろいろな点でコマース不足と思う。
女性	20～29歳	どこにあるかもわからないし、借り方もわからない。今回のアンケートで興味を持った。自習室などがあるといいと思います。
女性	30～39歳	どこにあるかわからない。
女性	30～39歳	どこにあるのか知らない。
女性	40～49歳	図書館が少し遠いため。
女性	30～39歳	図書館が遠い。どうしても読みたい本は買ってしまふ。調べ物はPCで済んでしまうことが多いため。
女性	50～59歳	図書館まで行く時間がない。
女性	30～39歳	どの場所も遠い。小さな子どもがいるので、自分のためには行きづらい（子どもが騒ぐと迷惑になるのでは？）。誰でも利用可能なので、明らかにホームレスらしい人がいると少々怖く、不快を感じる。
男性	30～39歳	場所が遠い。
女性	70～79歳	場所が遠いので利用しません。
男性	30～39歳	場所が不明。
男性	50～59歳	場所がわからない（調べていない）。
女性	20～29歳	場所を把握していない。利用できる曜日、時間を調べる必要がある。池袋駅は利用するが、駅から出ないのでわざわざ立ち寄らない。
女性	40～49歳	引越して半年だから行く機会をまだ作っていない。忙しくて図書館に行く暇がない。図書館を使いたいときは勤務地の港区の図書館に行っていた。最近妊娠して仕事を辞めたが、出産準備のためやはり豊島区の図書館を使う暇がない。
男性	40～49歳	引越したばかり。
女性	20～29歳	引越してきたばかりで詳しいことも場所さえ知らなかったから。
男性	40～49歳	引越してきたばかりです。
無回答	60～69歳	必要なきっかけ時のみ利用する。
男性	20～29歳	不便（池袋ではないから）。開館当初行ったが、ビジネス関連の書籍が少なかった。最新本のリリースが遅い。区民を対象としているのは伝わるが、地域の教育機関の連携はとれているのか。
男性	50～59歳	閉館時間が中央図書館以外では早いので。わざわざ自分の休日に時間をさいて行かない。
男性	40～49歳	平日夜10時までの開館を知らなかった。休日のみ利用（図書館へ行く）可能な状況だったので行かなくなった。今後はもう少し通うようにしようと思う。
女性	30～39歳	平成26年4月に引越してきたばかり。生後4か月の子ども&幼稚園児がおり、なかなか外出ができない。自転車がなくて近くの図書館になかなか行けない。
女性	80歳以上	歩行がうまくいかなかったため。
女性	70～79歳	本屋で買うことが多い。
女性	70～79歳	本を買っていたのですが、色々整理をして捨てたので買うのは止めようと考えています。日数（借りたとき）も多いので、今後は借りようと思っています。

性別	年齢	「利用したいが利用していない」理由
女性	30～39歳	本を読みながら何か飲んだりできる雰囲気のところがない。堅苦しい雰囲気です。ゆったり長い時間図書館にいられないので利用しづらい（長時間滞在しづらい）。
女性	60～69歳	読みたい本がないからです。
女性	30～39歳	夜遅くまで利用できると知らなかった。
女性	40～49歳	利用したいと思い何度か場所等を調べたが、現実の生活では平日、休日関係なく長時間にわたり働いているため、なかなか行けません。もっと時間にゆとりができた際にはいずれ利用したいと思い、その日を楽しみにしています。是非とも閉館せずによりよいサービスをご提供していただけると嬉しいです。
女性	60～69歳	利用したいと思い入館したが、手続き時証明するものがなく、それからは入館していません。
女性	40～49歳	子どもが生まれてから自分のための本を読む時間が取れなくなったから。
女性	30～39歳	子どもと一緒に絵本を借りる機会が多いのですが、一番近い図書館が豊島区の図書館ではなく、新宿区の図書館なので、なかなか遠い図書館には行けない。
女性	60～69歳	-
女性	70～79歳	-

(2) 豊島区立以外に利用している図書館名と施設・サービスのよい点

〔区民:問23〕

図書館名	他の図書館の施設やサービスについてのよい点
■千代田区	
千代田区立図書館	あまり混んでいない（豊島区中央図書館と比べ）。
千代田区立図書館	格安で会議スペースが使える。電子図書がある（区民のみ利用可）。
千代田区立図書館	キャレル席という個人ブース席が1日1回2時間使用できる。勤務地から会社帰りに利用できる。中央図書館も夜22時までやっているが、会社帰りに行きにくい場所にある。中央図書館の席より、隣が気にならない。
千代田区立図書館	ブックカバー（紙製）があり、自分でカバーできる。
千代田区立図書館	-
千代田区立日比谷図書館	文化、学術等。記録映画会。
千代田区立日比谷図書館	環境がよい。あれもこれもやろうとして人であふれ使いづらい図書館にしているのはいかがなものか。武雄市の例のように一等地に集中させることなく分散させてそれぞれ独自の新しいものを作っていくといけない。人であふれる中央図書館はなくすべき。
千代田区立日比谷図書館	ビジネス書が充実しているため、仕事に必要な資料を探しやすい。
千代田区立千代田図書館 ／文京区立千石図書館 ／北区立滝野川図書館	千代田図書館はWindows8やエクセル2013などパソコン解説の最新本がある。図書館と同じフロアに食堂があり、図書館に行ったついでに利用している。千石図書館はCDがたくさん置いてあり、CDの貸出し点数も多い。クラシック音楽のCDが充実している。滝野川図書館は子どもの本（小学生向け）が充実している。かつ1回30点本が借りられCD貸出し点数も多い。
■港区	
港区立麻布図書館	オペラ、バレエのDVDがたくさんある。予約したDVDが届いたとき、携帯メールにその旨のメールが届く（とても便利です）。
港区立田町図書館	軽食の提供があった。
港区立三田図書館	会社に近いだけです。
港区立みなと図書館／国会図書館	-
■新宿区	
新宿区立図書館	資料や地図を調べるために大きい机があること。大きい地球儀があること。スライド撮影機があること（OHPも含む）。
新宿区立図書館	-
新宿区立図書館	-
新宿区／渋谷区立図書館	書籍が多い。
新宿区立中央図書館	学生以外用の席が確保されている。
新宿区立中央図書館	豊島区にない社交ダンス関連のDVD等がいっぱいある。
新宿区立中央図書館	-
新宿区立中央図書館（昨年6月末閉鎖）	-
新宿区／中野区立中央図書館	-
新宿区立落合図書館	公園の中にある。
新宿区立落合図書館	蔵書が多いので、話題の新刊など早く借りられること。例えば、豊島区立図書館の予約システムでは70位だったものが（蔵2冊）、新宿区立の図書館の予約システムでは20位内で2週間ほどで借りられた（蔵5冊）。
新宿区立落合図書館	-
新宿区立西落合図書館	資料の量が多い。子どもの本がたくさんある。新刊が多い。閲覧室の環境がよい。
新宿区立西落合図書館	公園が併設されているため、子どもと一緒に行くにはとても使いやすい。
新宿区立西落合図書館 ／練馬区立練馬／小竹図書館 ／板橋区立小茂根図書館 ／中野区立江古田図書館	図書を返却し、その場で即予約者がいない場合は再び借りることが上記の図書館では可能（豊島区を除いて）。期間を延長しても読みきれず返却となり、一度棚に戻す必要があるそうです。他の図書館同様に即、再び借りれるようにして頂きたい。書籍数が豊島区と比べ多い。インターネットで図書を探しています。
新宿区立西落合図書館	-
新宿区立上落合図書館（？）	新宿の図書館は本に書き込みや傍線などの記入がない。管理をしっかりとしているとのこと。豊島区も見習うべきだ。千川の図書館受付に行っても聞く耳持たない。
新宿区立こども図書館	子どもが学校の課題や調べものをしたいとき、役に立つ図書がとても充実している。新宿区こども図書館の場合、読みたい本がたくさんあり、他の図書館から取り寄せ（予約）をしなくてもその場で借りることができる。雑誌の数が充実している。

図書館名	他の図書館の施設やサービスについてのよい点
■文京区	
文京区立図書館	本は少ないが、1～2日延滞してもその場で借りられる。
文京区立図書館	-
文京区立図書館 ／千代田区日比谷図書館 ／中央区立図書館 ／国立国会図書館	文京区立図書館は蔵書検索がしやすい。他の館は取り寄せにかかる時間が短いので、すぐ必要な資料をネット上で予約でき、帰宅途中に借りられてよい。駅に近い公共施設内に返却ポストがあるのも助かる。中央図書館も池袋駅に返却ポストがあればもっと利用したい。
文京区立図書館／新宿区立図書館	文京区立図書館が一番よい。新刊書の購入が早い。蔵書の数が多い。開館の時間、日数が多い。担当者の対応がよい。
文京区立図書館／新宿区立図書館	予約して在庫があれば他館（同区立内の）からの取り寄せが早い。
文京区／新宿区／渋谷区 ／立川市立図書館	平日の閉館時刻22:00を延長願いたい。土日祝の閉館時間18:00を延長願いたい。
文京区立千石図書館	家により近いため。
文京区立千石図書館	以前千石に住んでおり、子どもも小さい頃から行っていたことと、家からもこちらの図書館のほうが近いため。
文京区立千石図書館	豊島区民ではあるが、近くにあるのは文京大塚公園図書室、千石図書館である。文京区のほうが借りたい本が多く近いので、利用している。中央図書館はエレベーターも混んでいるし、階段も使いにくいので、どうしてもものときにしか行きたくない。改善点が多すぎると思う。
文京区立千石図書館	庭が綺麗で和む。本が多い。職員と話しやすい。予約した本があれば翌日には来る。購入希望がわりと通りやすい。休館日が月1日のみ。
文京区立千石／本駒込図書館	豊島区立図書館に比べて本を読む環境、雰囲気を整っていて、図書数も多く、どうしてもそちらに足が向かいます。駒込もがんばっていい図書、いい環境を作ってほしいです。
文京区立千石図書館	-
文京区立千石図書館	-
文京区立千石図書館	-
文京区立目白台図書館	一般の新聞以外にスポーツ新聞も置いている。リサイクルの本を玄関のダンボール箱に毎日置いてあり、「ご自由にお持ち帰り下さい」となっている。若い人向けの雑誌も置いてある。
文京区立目白台図書館	人が少ない（席が確保できる、静か）。浮浪者、野宿者がいない（悪臭がない、清潔）。→豊島区中央図書館は特に野宿者の出入りがひどい。
文京区立目白台図書館 ／新宿区立中央図書館	近いため利用しています。サービスは変わりないと思っています。
文京区立目白台図書館 ／新宿区立鶴巻図書館	文京区は芸術、音楽系の書籍が多いように思う。Web検索で区内になかった資料をそのままリクエストができる（他区からの取り寄せ含む）。平日21時まで開館、月曜も開館（中央図書館でなくても）。
文京区立目白台図書館 ／港区立赤坂図書館 ／東京都立中央／国会図書館	静か。図書館に暇つぶしに来るような方が居ないので快適です。
文京区立目白台図書館	貸出冊数30冊まで。予約が15冊までできる点。
文京区立目白台図書館	品揃えが多く、借りたい図書が多くあるため。
文京区立目白台図書館	子どもと大人のフロアーが違うので、気兼ねせず行ける。色々なイベントがある。
文京区立目白台図書館 ／東京国際大学図書館	専門書、論文、問題集などターゲットを絞ったつくりになっている。
文京区立水道端図書館	-
文京区立本駒込図書館 ／勤務先社内の図書	閲覧席の数、スペース。
■北区	
北区立図書館	パソコンで予約と借りている本が同一画面で見れる。図書の予約冊数が多い。
北区立図書館	-
北区／文京区立図書館	-
北区立中央図書館 ／文京区立千石図書館	北区中央図書館は子どもも主役の図書館。
北区立中央図書館	貸出期限票が（字が大きく紙も駒込図書館より倍大きい）はっきり見える。
北区立中央図書館	-
北区立中央図書館	-
北区立中央図書館／滝野川図書館	家から一番近い。行きやすい。
北区立滝野川図書館	蔵書数が多い。
北区立滝野川図書館	-

図書館名	他の図書館の施設やサービスについてのよい点
■板橋区	
板橋区立図書館	-
板橋区立小茂根図書館	千早図書館にない雑誌が置いてある。
板橋区立小茂根図書館	豊島区内の図書館で貸し出し中のものがある、いつ借りられるかわからないとき、意外と在庫があったりする。雑誌の類（週間、月間発行のもの）の種類が多い。
板橋区立小茂根図書館	本やCDの数が多い。
板橋区立小茂根図書館	-
板橋区立小茂根図書館	-
板橋区立東板橋図書館 ／北区立図書館	東板橋→1区画（スペース）に飲み物の自販機がある。おにぎり等パッと食べられる。
板橋区立志村図書館	平日でも土日でも閉館時間が遅い。祝日も開館している。
板橋区立高島平図書館	小さい頃より通っているため親しみがある。映画会があり子どもを連れて行けた。
板橋区立西台図書館	同じようなサービスで充実しています。
板橋区立赤塚図書館	-
■その他の区	
江東区立深川図書館	駒込図書館で絵本を読もうと思うと、子ども優先で居心地が悪いが、深川は大人もゆっくり読めてよかった（広さが違います）。コーヒーとお茶が飲めるといい。（ex）スターバックスがあるとかTUTAYAみたいに。
品川区立図書館	-
渋谷区／中野区／新宿区 ／練馬区立図書館	中野、渋谷…返却のみのブックポストがある（図書館以外の場所に、中野駅、区役所など）。練馬、中野…開館時間が長い（地域図書館でも夜8時まで）。中野…有料宅配サービス。練馬…石神井公園駅そばで貸出・返却ができる。☆池袋駅で返却、貸出ししてくれたらとっても便利です！
渋谷区立中央図書館	-
中野区／北区／新宿区立中央 ／練馬区立小竹／板橋区立小茂根 中野区立中央図書館	月曜日もやっている。遅くまでやっている。図書が充実している。閲覧席がゆったりしている。 本の充実（種類の量）。話題の本を予約して借りる際は中野区で予約したほうが早く順番が来る気がします。普段目白図書館を利用しているので、開館日、時間の差も感じます。土日でもせめて19時くらいまでは開館して欲しい。仕事の後に行けないので。
中野区立中央図書館	-
中野区立東中野／新宿区立西落合	-
練馬区立光が丘図書館	座る椅子が多い。
練馬区立小竹図書館	-
他区の図書館	-
新潟市北区立図書館	外観が綺麗。水飲みがある。子どもの読み聞かせ広場がある。カフェがある。
■国立国会図書館	
国立国会図書館	紀要や研究の内容をパソコンで検索&コピー取り寄せが可能。
国立国会図書館	欲しい資料があった。
国立国会図書館	-
国立国会図書館／東京都立図書館	本が多い。読みたい本が読める。
国立国会図書館 ／板橋区立小茂根図書館	資料の数が多い。インターネット端末を利用できる。
国立国会図書館／某大学図書館	館内にコーヒー等を飲める喫茶スペースがある。

図書館名	他の図書館の施設やサービスについてのよい点
■大学・小学校の図書館	
大学の図書館	閲覧スペースがたくさんある点。
大学の図書館	他館の資料取り寄せ、検索。豊島区の図書館で資料相談したことがあるが、素人同様に単なる飾りであり、人形と変わりなかった。役に立たないものを置くより、人間を配置して欲しい。
大学の図書館	本が豊富。立地がよい。
大学の図書館	-
東京大学駒場図書館	資料が豊富。
東京大学総合図書館	学術書が揃っている。
早稲田大学中央図書館	PCを持ち込んで長時間学習、作業しやすい。学習、作業をする際、周囲にがんばっている学生がいるためよい刺激になる。席に電気スタンドがある。
早稲田大学中央図書館	-
早稲田大学図書館	自習用スペースが充実している（閲覧用）。気軽に館内に入れる。豊島区立中央図書館はエレベーターの待ち時間が長く、一度に多くの人を運べないため、利用時にストレスを感じます。階段利用ができるのか？案内を充実させて欲しい。
早稲田大学図書館 ／文京区大塚公園図書館	近い。子どもは安く習い事ができる（そろばん）。
明治大学図書館	-
津田塾大学図書館	特にない。豊島区立図書館のほうがよいと思う。
東洋大学図書館	専門書の充実。
東京外語大学図書館（勤務先）	専門書が多い。
東京芸術大学附属図書館	音楽、芸術に関するものがたくさんあること。
女子美術大学図書館	自分が通っている大学の図書館なので、安全に利用できる。区立のだと不審者がいる場合がある。
創価大学内図書館	-
勤務先の大学の図書館 （埼玉医科大学）	医学領域の専門論文のPDFが入手できる点。
勤務先の短大の図書館	レファレンス、予約、取り寄せ、複写依頼などで利用しています。司書の方が親切です。
職場附属大学の図書館	専門書が多数ある。論文の文献検索ができる。
小学校の図書館	-
小学校の図書室	-

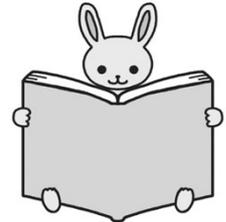
使用した調査票

【小学2年生・5年生】

区分	
----	--

読書活動についてのアンケート

～ ご協力のお願い ～



みなさんに日頃の読書についてお聞きします。

みなさんに答えていただいた内容を、これからの読書活動を進めていく取組や区立図書館のサービスなどに活かすために行いますので、ご協力をお願いいたします。

平成26年6月

豊島区長 高野之夫

【ご記入にあたってのお願い】

● 答えは、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。

(例) あなたはサッカーは好きですか。

1. すき

2. ふつう

3. きらい

● 答えの○印の数は、(あてはまる番号1つに○)、(あてはまる番号すべてに○)などと書いてありますので、それに合わせてください。

● 「その他」を選んだ場合は、その後にある()の中に内容を記入してください。

● わからないことは、先生に聞いてください。

【アンケート依頼元】 豊島区立中央図書館 児童・YAグループ

1 あなたについてお聞きします

問1 あなたは、何年生ですか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 2年生

2. 5年生

問2 あなたは、男子ですか。女子ですか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子

2. 女子

問3 あなたは、学校が終わってから何をしていますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 勉強や宿題や塾・習い事

2. 本やマンガや雑誌などを読む

3. テレビやDVDをみる

4. インターネットをする

5. ゲームをする

6. 友達と遊ぶ

7. その他 ()

次のページに進んでください →

2 どくしょ 読書についてお聞きします



問4 あなたは、本を読むことが好きですか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. すき	2. きらい
-------	--------

問5 あなたは、1日にどのくらいの時間、本を読みますか。
 本をまったく読まないときは、「0(ゼロ)」時間と書いてください。

<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	時間	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	分	くらい
---	----	---	---	-----

問6 あなたが読むものは何ですか。また、1か月のあいだに何冊くらい読みますか。
 答えには、教科書は入れないでください。
 まったく読まないものは、「0(ゼロ)」冊と書いてください。
 (□の中に数字を書いてください)

1.	ものがたり 絵本	→	1か月のあいだに	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	冊くらい読む
2.	がくしゅう さんこうしょ 参考書・図鑑	→	1か月のあいだに	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	冊くらい読む
3.	マンガ・コミック	→	1か月のあいだに	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	冊くらい読む
4.	ざっし 雑誌	→	1か月のあいだに	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	冊くらい読む

問7 あなたは、どのような内容の本が好きですか。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 物語	6. マンガ
2. 伝記や歴史	7. 雑誌
3. 科学読み物	8. その他 ()
4. スポーツ・趣味	9. 特にない
5. 絵本	

つぎのページに進んでください →

問8 あなたが本を読んでみようと思うきっかけは何ですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 人からすすめられたから
2. 学校や友だちの間で流行っているから
3. 図書館や本屋さんで見たら
4. テレビや映画になった本だから
5. その他 ()
6. 特にない

問9 あなたに本を選んだりすすめてくれる人はいますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 家族
2. 友だちや上級生・下級生
3. 先生
4. その他 ()
5. 特にない

問10 あなたは、おとなに本を読んでもらっていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 読んでもらっている
2. 読んでもらわない

問11 読みたい本があるときはどうしていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 家族に買ってもらう
2. 自分のおこづかいで買う
3. 学校の図書室で借りる
4. 区の図書館で借りる
5. 人から借りたり、もらったりする
6. その他 ()

次のページに進んでください →

問12 あなたは、どのくらい本を読みますか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日 | 4. 1週間に1日 |
| 2. 1週間に4~5日 | 5. 1か月に数日 |
| 3. 1週間に2~3日 | 6. ほとんど読まない |

問13 あなたは、どこで本を読みますか。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | |
|--------------|
| 1. 家 |
| 2. 学校の教室や図書室 |
| 3. 区の図書館 |
| 4. その他 () |

問14 本を読むのはなぜですか。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | |
|--------------------|
| 1. おもしろいから |
| 2. 知らないことがわかるから |
| 3. 勉強や宿題のため |
| 4. 家族や先生からすすめられるから |
| 5. その他 () |

問15 あなたの家には、たくさん本がありますか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

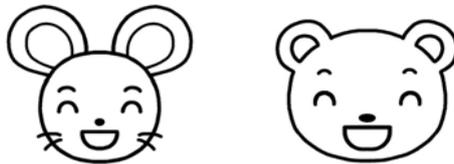
- | | |
|-----------|----------|
| 1. たくさんある | 2. あまりない |
|-----------|----------|

次のページに進んでください →

問19 図書館の行事で参加したことがあるものや、図書館について知っているものはありますか
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おはなし会
2. 図書館タンテイ
3. 工作会
4. 映画会
5. 「よんでみよう」(おすすめ本のブックリスト)
6. 「ようこそとしゃかんへ」(としゃかんりようあんない)
7. 図書館のホームページ
8. その他()
9. ひとつもない

アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
今後とも区内の図書館をよろしくお願いします。



【 中学2年生／高校2年生 】

区分	
----	--

読書活動についてのアンケート

～ ご協力をお願い ～

みなさんに日頃の読書活動についておたずねします。

みなさんに答えていただいた内容を、これからの読書活動を進めていく取組や区立図書館のサービスなどに活かすために行いますので、ご協力をお願いいたします。

平成26年6月

豊島区長 高野之夫

【 ご記入にあたってのお願い 】

- ご回答は、選択肢の番号を選んで○印をつけていただく場合と、数字や選択肢の番号を記入していただく場合があります。
- ご回答の○印の数は、(あてはまる番号1つに○)、(あてはまる番号すべてに○)などと表示していますので、それに合わせてください。
- 「その他」を選んだ場合は、その後にある()内に具体的な内容を記入してください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。
- わからないことは、先生におたずねください。

【 アンケート依頼元 】

豊島区立中央図書館 児童・YAグループ

1 はじめに、あなたご自身と普段のことについてお聞きします

問1 あなたの性別はどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 男子	2. 女子
-------	-------

問2 あなたは普段の生活の中で、次にあげる①～⑦を1日に平均どのくらいの時間行っていますか。

※ 学校の授業は除いてください。

※ 行っていない場合は「0」時間とご記入ください。

① 勉強や宿題をする(塾を含めて)	⇒	時間	分	分くらい
② 本、マンガ、雑誌などを読む	⇒	時間	分	分くらい
③ テレビやDVDをみる	⇒	時間	分	分くらい
④ インターネットをする	⇒	時間	分	分くらい
⑤ メールやラインをする	⇒	時間	分	分くらい
⑥ ゲームをする	⇒	時間	分	分くらい
⑦ スポーツなど体を動かす	⇒	時間	分	分くらい

2 次に、あなたの読書活動・意識についてお聞きします

※ これより先は、「本」(電子書籍を含む)についてお聞きします。

「本」に含まれるもの… 書籍、絵本、学習参考書、図鑑、マンガ・コミック、新聞・雑誌など (教科書以外の読みものすべて)

問3 あなたは、本を読むことが好きですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 好き	2. どちらかといえば好き	3. どちらかといえば嫌い	4. 嫌い
-------	---------------	---------------	-------

→ 問6へ

次の問4・問5は、問3で「1. 好き」「2. どちらかといえば好き」と答えた方にお聞きします

問4 あなたは、いつ頃から本を好きになりましたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 小学校入学前から	4. 中学生の頃から
2. 小学校低学年の頃から	5. 高校生の頃から
3. 小学校高学年の頃から	6. 覚えていない

全員の方にお聞きします

問8 あなたは、どのような内容・ジャンル(分野)の本が好きですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 小説・ライトノベル | 6. マンガ |
| 2. 伝記・歴史 | 7. 雑誌 |
| 3. 科学・自然 | 8. その他() |
| 4. スポーツ・趣味 | 9. 特にない |
| 5. 絵本 | |

問9 あなたが普段、読んでみようと思うのはどのような本ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 人からすすめられた本 |
| 2. 学校や友だちの間に流行している本 |
| 3. 書店などで気になった本 |
| 4. 受賞作品や話題になっている本 |
| 5. ドラマ、映画、アニメなどの原作本 |
| 6. その他() |
| 7. 特にない |

問10 普段、あなたに本を選んでくれたり、本をすすめる人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|-----------------|
| 1. 家族 |
| 2. 友だちや学校の先輩・後輩 |
| 3. 学校の先生 |
| 4. その他() |
| 5. 特にない |

問11 あなたは普段、読みたい本があるとき、どのように入手していますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|----------------|
| 1. 親や家族に買ってもらう |
| 2. 自分のおこづかいで買う |
| 3. 学校の図書室を利用する |
| 4. 公共の図書館を利用する |
| 5. 人から借りる・もらう |
| 6. その他() |

問12 あなたは普段、どのくらいの頻度で本を読んでいますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 3. 1週間に2~3日 | 5. 1か月間に数日 |
| 2. 1週間に4~5日 | 4. 1週間に1日 | 6. ほとんど読まない |

次の問22は、問18で「2. 中学生／高校生になる前に利用したことがある」または「3. これまでに利用したことがない」と答えた方にお聞きします

問22 豊島区立の図書館を、中学生／高校生になってから利用していない、またはこれまでに利用したことがないのは、次のうちどちらにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 利用したいけど利用していない(できない)

→ 問23へ

2. 特に利用する必要がないから利用していない

→ 問24へ

次の問23は、問22で「1. 利用したいけど利用していない(できない)」と答えた方にお聞きします

問23 区立の図書館を利用したいけど利用していない(できない)理由をお聞かせください。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 読みたい本がないから
2. 本が探しにくいから
3. 閲覧席が少ない・閲覧スペースが混んでいて利用できないから
4. おしゃべりや飲食ができないから
5. 図書館が遠いから(歩いて行けない、自転車で行けない)
6. 図書館がどこにあるかわからないから
7. 家族や友だちが利用しないから
8. その他 ()

裏に続きます →

【保護者】

お子様の読書活動についての調査

～ ご協力をお願い ～

日頃より、豊島区の図書館運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。豊島区では子どもの読書活動の取組に活かすため、お子様とその保護者の方を対象に読書活動に関する調査を実施することといたしました。

今回の調査は、区内全校の中から調査対象の学校を選ばせていただき、小学2年生・5年生、中学2年生、高校2年生の各学年約600人を対象に実施いたします。

そのため、同じ学校に通学しているお子様でも、この調査を実施しない学年がございます。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査と同時期に、区民を対象とした調査を実施しておりますので、複数の調査をお願いする場合がありますが、ご容赦ください。

平成26年6月

豊島区長 高野之夫

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票を保護者の方に渡したお子様のことについてお答えください。
→この調査票上では、「対象のお子様」と表記しています。
- 2人以上のお子様をお持ちの方で、調査票を複数受け取った場合は、それぞれのお子様について回答をお願いいたします。
- 黒または青のボールペン、鉛筆で調査票に直接記入してください。
- ご回答は、選択肢の番号を選んで○印をつけていただく場合と、数字や選択肢の番号を記入していただく場合があります。
- ご回答の○印の数は、(あてはまる番号1つに○)、(あてはまる番号すべてに○)などと表示していますので、それに合わせてください。
- また、「その他」を選んだ場合は、その後にある()内に具体的な内容を記入してください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。
(切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません)

ご投函締切り

7月18日(金)

【お問い合わせ先】

豊島区立中央図書館 児童・YAグループ

〒170-8442 東京都豊島区東池袋四丁目5番2号
ライズアリーナビル5階

電話 : 03-3983-7861

FAX : 03-3983-9904

問10 対象のお子様が読む本は、どのように入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分(親)や家族が買う	4. 公共の図書館で借りる
2. 子ども本人がおこづかいで買う	5. 人から借りる・もらう
3. 学校の図書室で借りる	6. その他()

全員の方におたずねします

問11 あなたはこれまでの間、対象のお子様にとどの程度読み聞かせをしてきましたか。
(あてはまる番号1つに○)

1. よく していた (している)	2. たまに していた (している)	3. あまり してこなかった	4. まったく してこなかった
-------------------------	--------------------------	-------------------	--------------------

→ 問13へ

次の問12は、問11で「1」「2」「3」と答えた方におたずねします

問12 対象のお子様がいつ頃まで読み聞かせをしていましたか。
現在も読み聞かせをしている場合は、対象のお子様の年齢に該当する番号をお選びください。
(あてはまる番号1つに○)

1. 小学校入学前まで	3. 小学校高学年まで	5. 高校生まで
2. 小学校低学年まで	4. 中学生まで	6. 覚えていない

全員の方におたずねします

問13 対象のお子様の読書活動を促すために、どのような環境が必要と思いますか。
次の中から効果的と思う順に2つ選んで右の口の中に番号をご記入ください。

1. 家庭での読書環境を整える
2. 学校での読書時間を増やす
3. 学校の図書室を充実させる
4. 公共の図書館を充実させる
5. 学校の図書室と公共の図書館の連携を強化する
6. その他()
7. 特にない

↓ 番号を記入

最も効果的	次に効果的

問14 対象のお子様の読書活動を促すために、あなたや家族で行っていることはありますか。
また、対象のお子様のもと本を読むように、今後は(今後も)行っていきたいと思うことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

	① 普段 行っている こと	② 今後は (今後も) 行いたい こと
	↓	↓
1. 本の読み聞かせをする	1	1
2. 本をすすめる・本を読むようにすすめる	2	2
3. 誕生日や季節のイベントなどに本をプレゼントする	3	3
4. 子どもがほしいという本を買う	4	4
5. 電子書籍を買う	5	5
6. 読書をする習慣を付けさせる	6	6
7. 本で調べる習慣を付けさせる	7	7
8. 家の中の目に触れる場所に本を置く	8	8
9. 家族が本を読んでいる姿を見せる	9	9
10. 家族で読書あるいは本を話題にする	10	10
11. 家族で図書館や書店に行く	11	11
12. 他のこと(テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話など)をする時間を制限する	12	12
13. その他()	13	13
14. 特になし(本人の自発性に任せる)	14	14

問15 対象のお子様に、どのような内容・ジャンル(分野)の本を読んでほしいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 小説・ライトノベル	6. マンガ
2. 伝記・歴史	7. 雑誌
3. 科学・自然	8. その他()
4. スポーツ・趣味	9. 特になし
5. 絵本	

問16 対象のお子様は、『電子書籍』を利用していますか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 利用している
2. 利用していないが、今後は利用させたい
3. 利用していないし、今後も利用させたいと思わない
4. 電子書籍を知らない

問17 あなたご自身は普段、どの程度本を読んでいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日	3. 1週間に2~3日	5. 1か月間に数日
2. 1週間に4~5日	4. 1週間に1日	6. ほとんど読まない

問21 豊島区立の図書館でどのような行事や参加型・体験型のイベントなどを行っていたら、対象のお子様に参加させたいと思いますか。 (あてはまる番号すべてに○)

1. 図書館のPR物(図書館だより・ブックリスト)を作成する
2. 読書会・討論会・座談会(本について話し合ったり、参加者同士で交流する)
3. 本についての講演会・朗読会
4. 映画会(映画やアニメの上映)
5. 本・読書に関するフェア(展示会)
6. おはなし会(本の読み聞かせをしてくれる)
7. 図書館タネイ(図書館にあるたくさんの本の中から答えを探す、クイズ形式の催し)
8. 工作会
9. ブックトーク(テーマにそってさまざまなジャンルから本を紹介してくれる)
10. 職業(ボランティア)体験
11. 館内見学ツアー
12. その他()
13. 特にない(参加させたくない)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、7月18日までにポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません)

集計結果は、ホームページ、図書館通信等でご報告させていただき、これからの図書館運営に役立てさせていただきます。
今後とも豊島区立図書館をどうぞよろしくお願いします。

【区民】

読書と図書館サービスについての調査

～ ご協力のお願い ～

区民のみなさまには、日ごろから区立図書館の運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

豊島区では、これからの図書館のサービスの検討に活かしていくため、みなさまの読書に関する意識や図書館の利用状況についての調査をさせていただきます。

調査にあたっては、区内に居住する満18歳以上の方の中から無作為に2,500人を対象に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査と同時期に、区内小・中・高校の児童生徒及びその保護者を対象とした調査を実施していますので、複数の調査をお願いする場合もございますがご容赦ください。

平成26年6月

豊島区長 高野之夫

【 ご記入にあたってのお願い 】

- 調査のご回答は、封筒の宛名のご本人が必ずご記入ください。
- 黒または青のボールペン、鉛筆で調査票に直接記入してください。
- ご回答は、選択肢の番号を選んで○印をつけていただく場合と、数字や選択肢の番号を記入していただく場合があります。
- ご回答の○印の数は、(あてはまる番号1つに○)、(あてはまる番号すべてに○)などと表示していますので、それに合わせてください。
- また、「その他」を選んだ場合は、その後にある()内に具体的な内容を記入してください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。
(切手を貼らずにお出しく下さい。住所・氏名を記入する必要はありません)

ご投函締切り

7月18日(金)

【 お問い合わせ先 】

豊島区立中央図書館 企画調整グループ

〒170-8442 東京都豊島区東池袋四丁目5番2号
ライズアリーナビル5階

電話 : 03-3983-7861

FAX : 03-3983-9904

問6 読みたい本があるときには、どのようにして読むことが多いですか。
次の中から多い順に2つ選んで、右の口の中に番号をご記入ください。

- | |
|-------------------|
| 1. お店で購入する |
| 2. インターネットで本を購入する |
| 3. 電子書籍を利用する |
| 4. 図書館を利用する |
| 5. 人から借りる・もらう |
| 6. マンガ喫茶等を利用する |
| 7. その他 () |



↓番号を記入

最も多い	次に多い

問7 あなたは普段、知識や情報をどの媒体から得ることが多いですか。
次の中から多い順に2つ選んで、右の口の中に番号をご記入ください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 新聞 | 5. 書籍・雑誌 |
| 2. テレビ | 6. フリーペーパー |
| 3. ラジオ | 7. クチコミ |
| 4. インターネット | 8. その他 () |



↓番号を記入

最も多い	次に多い

問8 あなたは、『電子書籍』を利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。
(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 利用している |
| 2. 利用していないが、今後は利用したい |
| 3. 利用していないし、今後も利用したいと思わない |
| 4. 電子書籍を知らない |

2 次に、豊島区立図書館についておたずねします

問9 豊島区立図書館では、下記のようなサービスを全て無料で行っています。
①～⑮の各サービスについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	あ り 用 し た こ と が	な い 用 つ し て た い こ と が は	知 ら な い
(記入例) 中央図書館は平日夜10時まで開館している ⇒	1	②	3
① 中央図書館は平日夜10時まで開館している ⇒	1	2	3
② 貸出中の図書などを予約することができる ⇒	1	2	3
③ インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる ⇒	1	2	3
④ 区外の図書館から本を取り寄せることができる ⇒	1	2	3
⑤ 区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる ⇒	1	2	3
⑥ 自動貸出機がある(中央・巣鴨・上池袋・池袋・目白図書館) ⇒	1	2	3
⑦ CD・ビデオ・DVDを借りることができる ⇒	1	2	3
⑧ 中央図書館に電子資料閲覧席・パソコン持込み席がある ⇒	1	2	3

→ ⑨～⑮は次のページに続きます。

(問9: 続き)

		あ 利 用 し た こ と が	な 利 用 し た こ と は	知 ら な い	
⑨	調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)	⇒	1	2	3
⑩	乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている	⇒	1	2	3
⑪	区に関連するテーマを学習するゼミナールを行っている	⇒	1	2	3
⑫	文化・芸術・歴史などの専門家の講演会を行っている	⇒	1	2	3
⑬	視覚障害者向けの点字図書館がある	⇒	1	2	3
⑭	中央図書館で「ビジネスなんでも相談(※1)」が行われている	⇒	1	2	3
⑮	メールマガジン「豊島区図書館ニュース(※2)」を配信している	⇒	1	2	3

※1「ビジネスなんでも相談」… 中小企業診断士が創業・起業・多角化・事業継承・経営など、ビジネスに関する相談に無料で応じています。

※2「豊島区図書館ニュース」… 登録されたパソコンへ、新着案内、特集案内、行事・催し物のお知らせなどをメールにてお送りしています(毎月1日発行)。

問10 豊島区立図書館が行っている以下の①～⑮のサービスについて、今後(今後も)利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

		利 用 し た い	利 用 し た く な い	
①	中央図書館の平日夜10時までの開館	⇒	1	2
②	貸出中の図書などの予約	⇒	1	2
③	インターネットや携帯電話から資料の検索・予約	⇒	1	2
④	区外の図書館から本の取り寄せ	⇒	1	2
⑤	区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧	⇒	1	2
⑥	自動貸出機(中央・巣鴨・上池袋・池袋・目白図書館)	⇒	1	2
⑦	CD・ビデオ・DVDの貸し出し	⇒	1	2
⑧	中央図書館の電子資料閲覧席・パソコン持込み席	⇒	1	2
⑨	調べものや資料探しの職員への相談(レファレンス)	⇒	1	2
⑩	乳幼児・児童向けのおはなし会	⇒	1	2
⑪	区に関連するテーマを学習するゼミナール	⇒	1	2
⑫	文化・芸術・歴史などの専門家の講演会	⇒	1	2
⑬	視覚障害者向けの点字図書館	⇒	1	2
⑭	中央図書館の「ビジネスなんでも相談」	⇒	1	2
⑮	メールマガジン「豊島区図書館ニュース」	⇒	1	2

問11 豊島区立図書館について、あなたはどの程度満足していますか。

(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

1. 満足	2. やや満足	3. どちらともいえない	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	--------------	---------	-------

問12 豊島区立図書館の以下の点について、あなたはどの程度満足していますか。

①～⑬について、あてはまる番号に1つずつ○をけてください。

(○はそれぞれ1つ)

		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
① 開館している曜日	⇒	1	2	3	4	5
② 開館している時間帯	⇒	1	2	3	4	5
③ 資料の数	⇒	1	2	3	4	5
④ 資料の内容	⇒	1	2	3	4	5
⑤ 貸出手続き	⇒	1	2	3	4	5
⑥ 貸出期間(15日間)	⇒	1	2	3	4	5
⑦ 図書の貸出冊数(15冊まで)	⇒	1	2	3	4	5
⑧ CDの貸出点数(3点まで)	⇒	1	2	3	4	5
⑨ ビデオ・DVDの貸出点数(2点まで)	⇒	1	2	3	4	5
⑩ 閲覧席	⇒	1	2	3	4	5
⑪ 館内の環境	⇒	1	2	3	4	5
⑫ 職員の対応	⇒	1	2	3	4	5
⑬ 催し物・イベント	⇒	1	2	3	4	5

問13 あなたは、過去1年間に、豊島区立図書館を利用したことがありますか。

(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

1. 過去1年間に利用したことがある	2. 1年より前に利用したことがある	3. これまでに利用したことがない
--------------------	--------------------	-------------------

→ 5ページの間20へ

次の問14～問19は、問13で「1. 過去1年間に利用したことがある」と回答した方におたずねします

問14 あなたは、どれくらいの頻度で豊島区立図書館を利用しますか。本を読む・借りる以外の目的も含みます。

(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

1. ほぼ毎日	2. 1週間に数日	3. 1か月間に数日	4. ほとんど利用しない
---------	-----------	------------	--------------

問15 あなたが最も頻繁に利用する豊島区立の図書館はどちらですか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 中央図書館	5. 池袋図書館
2. 駒込図書館	6. 目白図書館
3. 巣鴨図書館(休館中)	7. 千早図書館
4. 上池袋図書館	8. 雑司が谷図書貸出コーナー

↓ 番号を記入

最も頻繁

※ これより先の間16～間19は、最も頻繁に利用している豊島区立の図書館(問15でお答えになった図書館)についておうかがいします。

問16 主な利用日はいつですか。最も多いパターンをお聞かせください。
(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

1. 平日 2. 土・日・祝日 3. 曜日は特に決まっていない

問17 主に利用している時間帯はいつ頃ですか。
(複数の時間帯にまたがる場合は、あてはまるものすべてに○)

(○はいくつでも)

1. 9時～13時 2. 13時～18時 3. 18時～22時

問18 1回あたりのご利用時間はおよそどのくらいですか。最も多いパターンをお聞かせください。
(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

1. 30分未満 3. 1時間以上2時間未満 5. 4時間以上
2. 30分以上1時間未満 4. 2時間以上4時間未満

問19 利用目的をお聞かせください。
(あてはまる番号すべてに○)

(○はいくつでも)

1. 本・雑誌を借りるため 7. 催し物・イベントに参加するため
2. CD・ビデオ・DVDを借りるため 8. 気晴らしや時間つぶしのため
3. 館内で本を読むため 9. 子どもを連れて行くため
4. 館内で新聞・雑誌を読むため 10. 待ち合わせのため
5. 館内の本で学習・調べものをするため 11. その他()
6. 館内の電子資料や持込みのパソコンで
学習・調べものをするため

→ ここまで終わりましたら、6ページの間22にお進みください。

問13で「2. 1年より前に利用したことがある」または「3. これまでに利用したことがない」と回答した方におたずねします

問20 豊島区立図書館をこの1年間に利用していないのは、次のうち、どちらにあてはまりますか。
(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

1. 特に利用する必要がないから利用していない → 6ページの間22へ
2. 利用したいが利用していない(できない)

問21は、問20で「2. 利用したいが利用していない(できない)」と回答した方におたずねします。

問21 差し支えなければ理由をご記入ください。

3 最後に、あなたご自身のことについておたずねします

F1 あなたの年齢をお聞かせください。

(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18~19歳 | 4. 40~49歳 | 7. 70~79歳 |
| 2. 20~29歳 | 5. 50~59歳 | 8. 80歳以上 |
| 3. 30~39歳 | 6. 60~69歳 | |

F2 あなたの性別を下記にご記入ください。

()

F3 あなたのご家族についてお聞かせください。

(○は1つ)

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. ひとり暮らし | 3. 親と子ども | 5. その他() |
| 2. 夫婦のみ | 4. 三世代家族 | |

F4 あなたのお住まいの地域をお聞かせください。

(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 駒込 | 6. 上池袋 | 11. 池袋本町 | 16. 長崎 |
| 2. 巢鴨 | 7. 東池袋 | 12. 雑司が谷 | 17. 千早 |
| 3. 西巢鴨 | 8. 南池袋 | 13. 高田 | 18. 要町 |
| 4. 北大塚 | 9. 西池袋 | 14. 目白 | 19. 高松 |
| 5. 南大塚 | 10. 池袋 | 15. 南長崎 | 20. 千川 |

F5 あなたのご職業をお聞かせください。

(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|-----------|
| 1. 自営業・事業主 | 5. 学生 |
| 2. 会社役員・団体役員 | 6. 家事専業 |
| 3. 会社員・団体職員・公務員(パート・アルバイト含む) | 7. 無職 |
| 4. 自由業・フリーランス | 8. その他() |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、7月18日までにポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません)

集計結果は、ホームページ、図書館通信等でご報告させていただき、これからの図書館運営に役立てさせていただきます。
今後とも豊島区立図書館をどうぞよろしく申し上げます。

読書活動に関する実態調査 報告書

平成26年12月発行

発行 豊島区 文化商工部 図書館課
豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル5階
電話 03-3983-7861

調査 株式会社 総合企画
東京都台東区浅草橋1-7-2 岩崎ビル4階
電話 03-5829-6203 (代表)

